

令和2年度 老人保健事業推進費等補助金
老人保健健康増進等事業

介護分野に係る特定技能等の受入れの実態に関する
調査研究事業
【報告書】

令和3年3月



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

◆◇目 次◇◆

第1章 事業の概要	1
1. 事業の目的	1
2. 事業の実施体制	2
3. 事業内容	3
(1) アンケート調査	3
(2) ヒアリング調査	3
(3) 特定技能外国人の受入れに関する介護事業者向けガイドブックの作成	3
第2章 事業所向けアンケート調査	4
1. 調査実施概要	4
(1) 調査の目的	4
(2) 調査対象	4
(3) 調査方法	4
(4) 調査時点	4
(5) 調査実施期間	4
(6) 調査項目	4
(7) 回収結果	5
2. 調査結果概要	6
(1) 施設・事業所の概要	6
(2) 特定技能外国人の受入れ	6
(3) 外国人介護職員の受入れ体制	6
(4) 外国人介護職員の今後の受入れ意向	7
(5) 今後の課題	7
3. 調査結果	8
(1) 施設・事業所の概要	8
(2) 特定技能外国人の受入れ	14
(3) 技能実習生の受入れ	25
(4) 現地の送出し機関や教育機関との関係	26
(5) 外国人介護職員の受入れ体制	28
(6) 外国人介護職員のキャリア支援	33
(7) 現在受け入れている外国人介護職員の現状と期待	39
(8) 新型コロナウイルス感染症への対応	50
(9) 外国人介護職員の今後の受入れ意向	54
第3章 外国人介護職員向けアンケート調査	56
1. 調査実施概要	56

(1) 調査の目的.....	56
(2) 調査対象.....	56
(3) 調査方法.....	56
(4) 調査実施期間.....	56
(5) 調査項目.....	56
(6) 回収結果.....	57
2. 調査結果概要.....	58
(1) 将来展望と要因分析.....	58
(2) 新型コロナウイルス感染症の影響による困りごと.....	62
(3) 在留資格別の状況.....	63
3. 調査結果.....	64
(1) 回答者の基本属性.....	64
(2) (来日前の)母国における状況.....	76
(3) 日本語能力・日本語学習の状況.....	84
(4) 仕事について.....	96
(5) 日常生活について.....	102
(6) 将来について.....	109
第4章 特定技能外国人受入れ事業所等へのヒアリング調査.....	114
1. 調査実施概要.....	114
(1) 調査の目的.....	114
(2) 調査対象.....	114
(3) 調査方法.....	114
(4) 調査実施期間.....	114
(5) 調査項目.....	114
2. 調査結果.....	115

【参考資料】

第1章 事業の概要

1. 事業の目的

我が国では2008年より、EPA（経済連携協定）に基づき、インドネシア、フィリピン、ベトナムから外国人介護福祉士候補者の受入れを行ってきた。また、2017年9月には、在留資格「介護」の追加、11月には技能実習制度に介護職が追加されている。さらに、2018年末の出入国管理及び難民認定法の改正に伴い、2019年4月からは、在留資格「特定技能」が新設され、介護分野での受入れが開始された。

特定技能制度開始2年目となる令和2年度は、新型コロナウイルスの影響を踏まえつつ、介護分野における特定技能外国人の受入れの増加が見込まれており、介護事業所における受入れ環境の整備を進めていくことが求められている。

このため、我が国に入国した特定技能外国人の就労・生活実態、及び受入れ事業所における受入れの準備や支援の実態を把握するための調査を実施した。さらに、その結果をガイドブックの形にまとめることで、介護分野における特定技能外国人の受入れ及び定着促進を図ることを目的として事業を行った。

2. 事業の実施体制

本事業では、調査の設計や結果について助言を得るため、検討委員会を設置した。

<委員> (敬称略)

(座長)

藤井賢一郎 上智大学 総合人間科学部 社会福祉学科 准教授

(委員：五十音順)

今村 文典 公益社団法人日本介護福祉士会 副会長

遠藤由美子 学校法人 ARC 学園 ARC 東京日本語学校 校長

小野 努 公益財団法人国際研修協力機構 実習支援部 職種相談課 課長

白井 孝子 学校法人滋慶学園 東京福祉専門学校 副学校長

角田 隆 公益社団法人国際厚生事業団 専務理事

濱田 和則 全国社会福祉法人経営者協議会 福祉人材対策委員会

外国人介護人材特命チームリーダー

<オブザーバー>

厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課 福祉人材確保対策室

<事務局>

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

<開催経緯>

	開催日時・場所	議題
第1回	令和2年8月25日(金) 14:00-16:00 ビジョンセンター日比谷 301 会議室	・ 特定技能等、外国人介護職員の受入れと定着に関する問題意識の共有 ・ 事業計画について ・ アンケート調査票について
合同 ヒアリング	令和2年11月10日(火) 13:00-15:00 ビジョンセンター日比谷 301 会議室	・ 横浜市の取組に関する合同ヒアリング
第2回	令和3年1月15日(金) 10:00-12:00 ビジョンセンター日比谷 301 会議室	・ アンケート調査結果について ・ ヒアリング調査結果について
第3回	令和3年3月9日(火) 10:00-12:00 ビジョンセンター日比谷 301 会議室	・ アンケート調査結果について ・ ガイドブック案について

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、全ての回で、Microsoft Teams によるオンライン形式も併用した。

3. 事業内容

(1) アンケート調査

本事業では、主に2種類のアンケート調査を実施した。

1つ目は、外国人介護職員を受け入れている事業所を対象として、外国人介護職員の就労及び生活の実態、及び職場への「定着」に影響すると考えられる要因と必要な取組みを整理することを目的としたアンケート調査である。

2つ目は、外国人介護職員の4つの受入れルートで入国・在留している外国人介護職員本人に対して、従事する職務内容、介護知識・技能及び日本語能力の実態、育成や支援の取組み、今後の働き方やキャリア形成の考え等について実態を把握することを目的としたアンケート調査である。

(2) ヒアリング調査

主に、在留資格「特定技能1号」で外国人介護職員を受け入れる施設の参考になるよう、1号特定技能外国人を受け入れた介護施設・事業所、及び、登録支援機関、送出し機関等に対してヒアリング調査を実施した。

また、神奈川県横浜市の担当者より、自治体による取組として、横浜市が行ってきた外国人介護職員受入れの取組について紹介していただき、検討委員会委員とのディスカッションの場を設けた。

(3) 特定技能外国人の受入れに関する介護事業者向けガイドブックの作成

主に介護分野における特定技能外国人の円滑な受入れの促進を目的に、「特定技能外国人の受入れに関する介護事業者向けガイドブック」を作成した。

本事業で実施したアンケート調査やヒアリング調査、公表されている統計情報等をもとに、介護分野における特定技能外国人受入れの状況や、実際の受入れ施設の取組などを内容とした。また、ガイドブック冒頭には、新型コロナウイルス感染症が拡大するなかにおける人材確保の在り方をテーマに、有識者、受入れ事業所担当者等による座談会を開催し、その内容を収録した。

第2章 事業所向けアンケート調査

1. 調査実施概要

(1) 調査の目的

外国人介護職員の就労及び生活の実態、及び職場への「定着」に影響すると考えられる要因と必要な取組みを整理するため、介護事業所へのアンケート調査を実施した。

(2) 調査対象

特定技能外国人、あるいはその他の外国人介護職員（EPA、在留資格「介護」、技能実習）を受け入れている 5,527 事業所（全数。このうち特定技能外国人を受け入れている事業所は 49 事業所）

(3) 調査方法

郵送配付・郵送回収

(4) 調査時点

令和2年10月1日

(5) 調査実施期間

令和2年11月4日～令和3年1月5日

(6) 調査項目

(事業所調査票①)

- ・ 施設・事業所の概要
- ・ 特定技能外国人・技能実習生の受入れ状況
- ・ 登録支援機関・監理団体の利用状況
- ・ 海外現地の送出し機関や教育機関との関係
- ・ 外国人介護職員の受入れ体制
- ・ 外国人介護職員のキャリア支援
- ・ 新型コロナウイルス感染症への対応
- ・ 外国人介護人材の今後の受入れ意向 など

(事業所調査票②)

- ・ 外国人介護人材のプロフィール
- ・ 能力・スキル等、業務についての評価 など

(7) 回収結果

- ・ 発送数：5,527 件（事業所）
- ・ 宛先不明による返送：12 件
- ・ 有効回答数：1,252 件（有効回答率 22.7%）

2. 調査結果概要

(1) 施設・事業所の概要

- 施設・事業所が所属している法人の従業員数は「300人以上」38.3%、「200～299人」が14.3%と、比較的規模の大きい事業所が多かった。
- 加算の取得状況をみると、令和2年度の「介護職員処遇改善加算（Ⅰ）」は81.0%、「介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）」は44.6%と、全国の介護事業所の取得状況（それぞれ75.6%、32.3%）よりやや高め割合だった。また、「介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）」は、比較的規模の大きい法人で取得している割合が高かった。

(2) 特定技能外国人の受入れ

- 特定技能外国人を受け入れている事業所は、全体の6.9%（87事業所）、入国を待っている・手続きの途中が5.8%（72事業所）であった。調査実施時点で、制度開始から1年半が経過していたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、受入れ人数は限定的であることがわかった。
- 登録支援機関の利用状況は、登録支援機関を利用している事業所が46.5%、利用していない事業所が48.4%と半々程度であった。受けている支援内容は、「入国・在留諸申請・届出支援」（73.0%）、「特定技能外国人の斡旋」（60.8%）などが高い割合になっていた。

(3) 外国人介護職員の受入れ体制

- 外国人介護職員だけに実施しているキャリア支援の取組みは、「業務の理解度や介護技術の習得状況等の把握」が24.5%、「テキストや教材の提供あるいは費用助成」が22.8%だった。外国人か日本人かを問わず実施しているキャリア支援の取組みは、「上司・管理者とのキャリア面談・相談等」が69.3%、「外部で実施される研修等の受講料の助成」が61.6%だった。外国人か日本人かを問わず、職員全体に対して支援を実施する施設・事業所のほうが多い傾向がみられた。
- 介護業務へのICT導入状況は、「記録業務に導入している」が44.4%、「記録業務以外の業務に導入している」が12.9%だった。外国人介護職員向けアンケート調査（本人調査）の回答と結びつけると、ICTを導入している施設・事業所のほうが、日本語の勉強への支援に対する外国人介護職員本人の満足度が高い傾向がみられた。
- 外国人介護職員の受入れにあたり、日本人職員に対して実施している研修等のテーマは、「施設・事業所としての外国人介護職員受入れの方針や姿勢」（68.4%）、「外国人介護職員に教育・指導する際の留意点」（63.4%）が半数以上の施設・事業所で実施されていた。

- 特定技能外国人や技能実習生が介護福祉士国家試験に合格するための支援は、「支援を実施している」が11.3%、「支援を実施する予定がある」が47.2%だった。

(4) 外国人介護職員の今後の受入れ意向

- 今後3年間の受入れ意向については、「積極的に受け入れる意向がある」が35.9%、「受け入れる意向がある」が37.0%だった。
- 今後の特定技能外国人の受入れルートとして、「技能実習からの在留資格変更」(45.4%)が最も高かった。

(5) 今後の課題

- 特定技能制度開始から2年度目となり、特定技能外国人の受入れ事業所、特定技能外国人を調査対象にした。特定技能外国人が意欲の高い人材であること、また半数以上の施設・事業所が介護福祉士国家資格の取得支援を実施しようとしていること等が分かった。
- しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響のため特定技能外国人の入国が少なく調査対象数も限りがあった。特定技能外国人の受入れ事業所の支援状況や課題感、特定技能外国人の実態、登録支援機関の利用状況等については来年度以降の本格的・継続的な調査が必要となる。
- 上記のとおり、今後の特定技能外国人の受入れルートについては、「技能実習からの在留資格変更」に対する施設・事業所の関心が高い。出入国在留管理庁が公表する在留状況の統計をみても、令和2年度は「技能実習からの在留資格変更」の実例がみられなかったが、介護職種での技能実習制度開始から3年が経過した令和3年以降は、当該事例が出てくることが見込まれる。
- こうした状況を踏まえ、今後は、技能実習2号修了者が、適正・円滑に特定技能へと移行が行われているか等の調査や、具体的な移行事例を見える形で示していくことが重要になると考えられる。

3. 調査結果

(1) 施設・事業所の概要

① 所在地

「神奈川県」の割合が最も高く6.6%となっている。次いで、「東京都(6.1%)」、「愛知県(5.8%)」となっている。

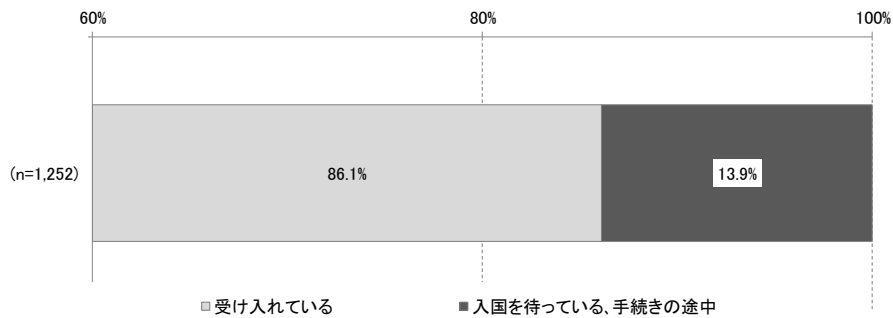
図表 2-1 所在地

都道府県名	件数	割合	都道府県名	件数	割合
北海道	41	3.3	滋賀県	10	0.8
青森県	3	0.2	京都府	33	2.6
岩手県	15	1.2	大阪府	71	5.7
宮城県	7	0.6	兵庫県	64	5.1
秋田県	12	1.0	奈良県	24	1.9
山形県	9	0.7	和歌山県	10	0.8
福島県	9	0.7	鳥取県	1	0.1
茨城県	53	4.2	島根県	3	0.2
栃木県	15	1.2	岡山県	30	2.4
群馬県	31	2.5	広島県	54	4.3
埼玉県	34	2.7	山口県	24	1.9
千葉県	57	4.6	徳島県	10	0.8
東京都	76	6.1	香川県	15	1.2
神奈川県	83	6.6	愛媛県	50	4.0
新潟県	21	1.7	高知県	6	0.5
富山県	9	0.7	福岡県	53	4.2
石川県	18	1.4	佐賀県	5	0.4
福井県	12	1.0	長崎県	16	1.3
山梨県	6	0.5	熊本県	11	0.9
長野県	35	2.8	大分県	11	0.9
岐阜県	29	2.3	宮崎県	8	0.6
静岡県	37	3.0	鹿児島県	23	1.8
愛知県	72	5.8	沖縄県	6	0.5
三重県	27	2.2	無回答	3	0.2
			全体	1,252	100.0

② 令和2年10月1日時点の外国人介護職員の受入れ状況

「受け入れている」が86.1%、「入国を待っている、手続きの途中」が13.9%だった。

図表 2-2 問0 R2.10.1 時点の外国人介護職員の受入れ状況

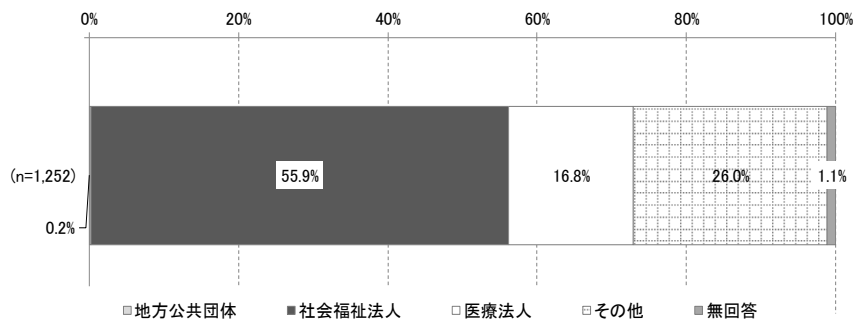


③ 事業所が所属している法人

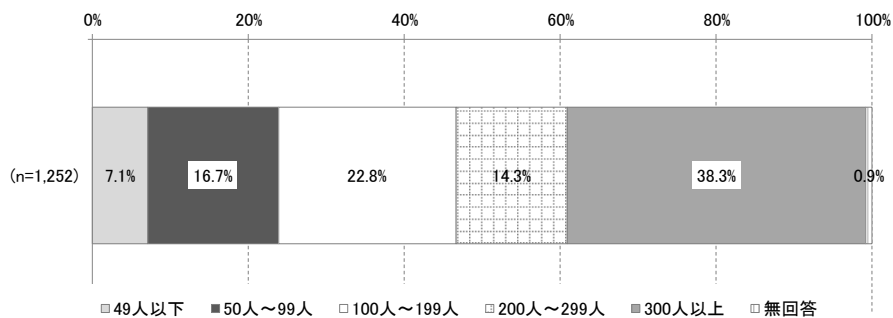
法人の種類は、「社会福祉法人」の割合が最も高く55.9%となっている。次いで、「その他（26.0%）」、「医療法人（16.8%）」となっている。

従業員数は、「300人以上」の割合が最も高く38.3%となっている。次いで、「100人～199人（22.8%）」、「50人～99人（16.7%）」となっている。

図表 2-3 問1(1) 法人の種類



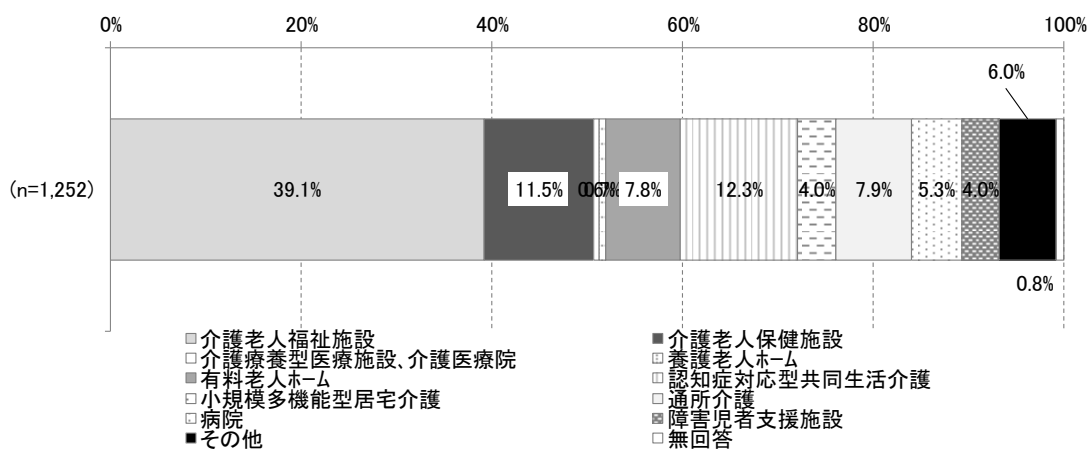
図表 2-4 問1(2) 法人全体の従業員数



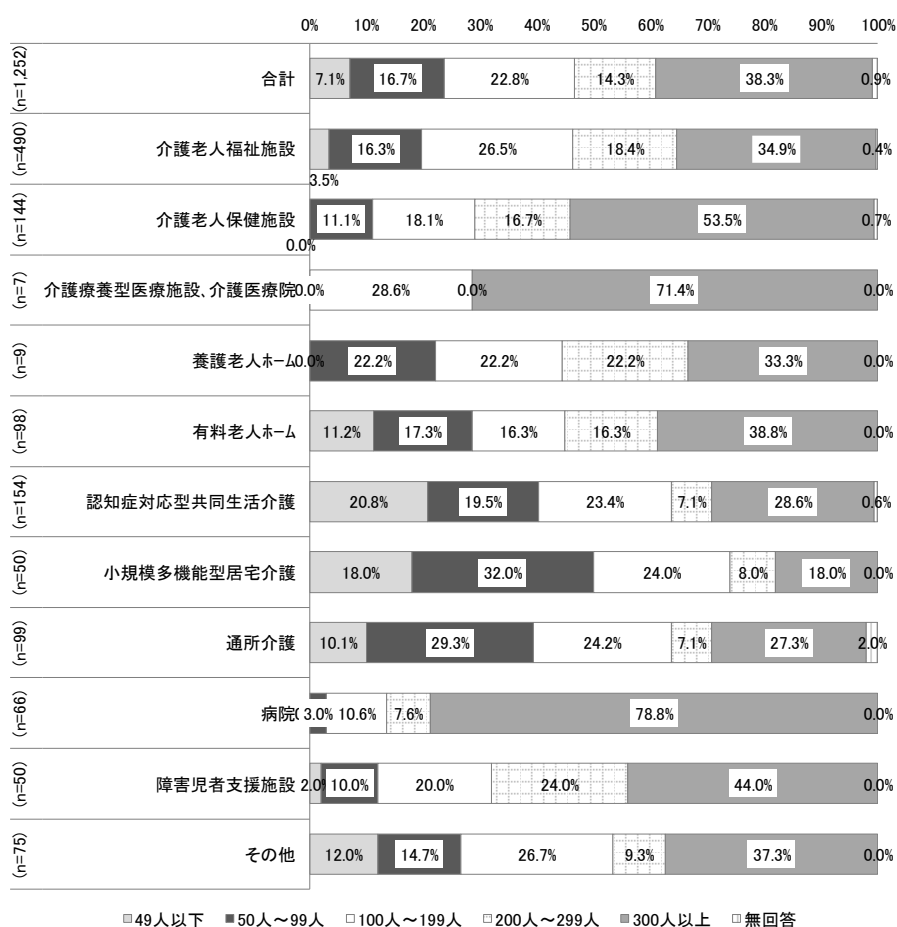
④ 施設・事業所の種類

「介護老人福祉施設」の割合が最も高く39.1%となっている。次いで、「認知症対応型共同生活介護（12.3%）」、「介護老人保健施設（11.5%）」となっている。

図表 2-5 問 2(1) 施設・事業所の種類



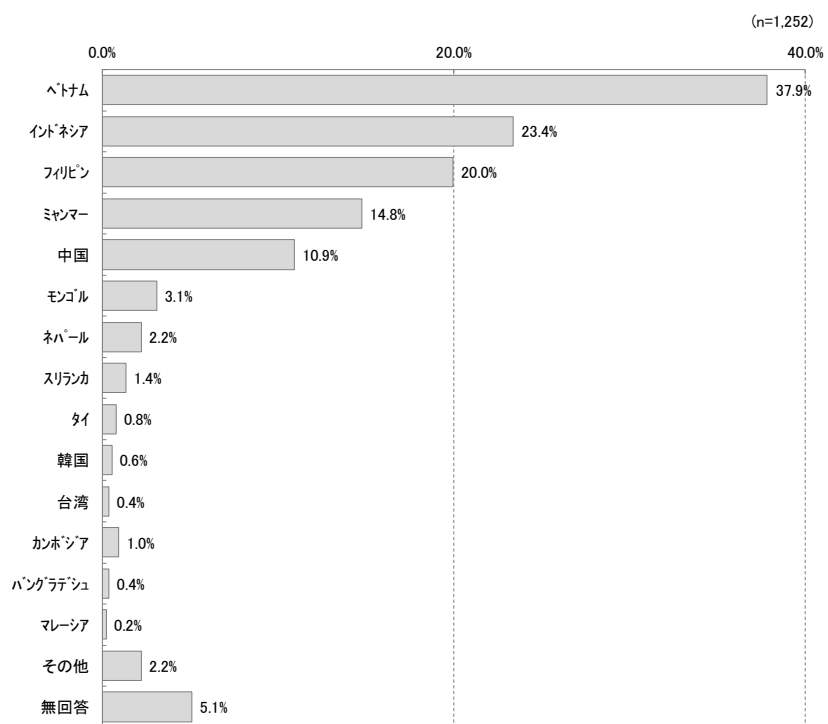
図表 2-6 問 2(1) 施設・事業所の種類別 法人全体の従業員数



⑤ 外国人介護職員を受け入れている国・地域

「ベトナム」の割合が最も高く37.9%となっている。次いで、「インドネシア(23.4%)」、「フィリピン(20.0%)」となっている。

図表 2-7 問 2(5) 外国人介護職員を受け入れている国・地域(複数回答)

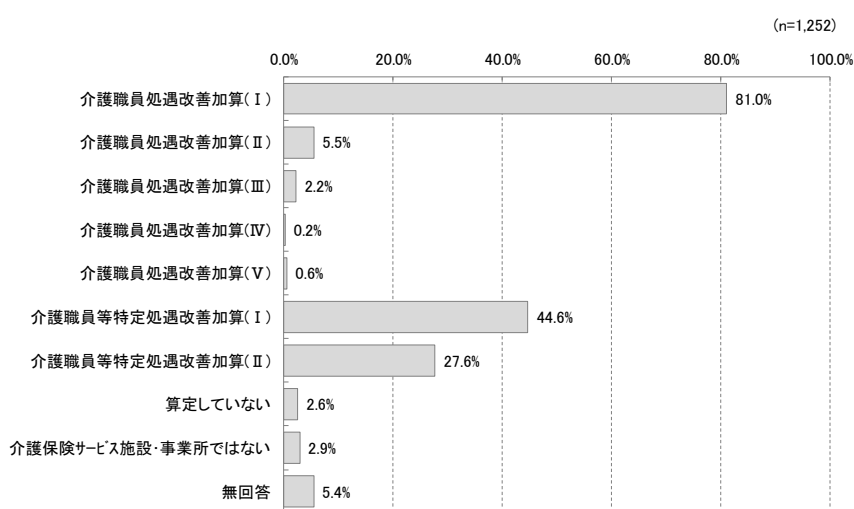


⑥ 介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算の取得（令和2年度）

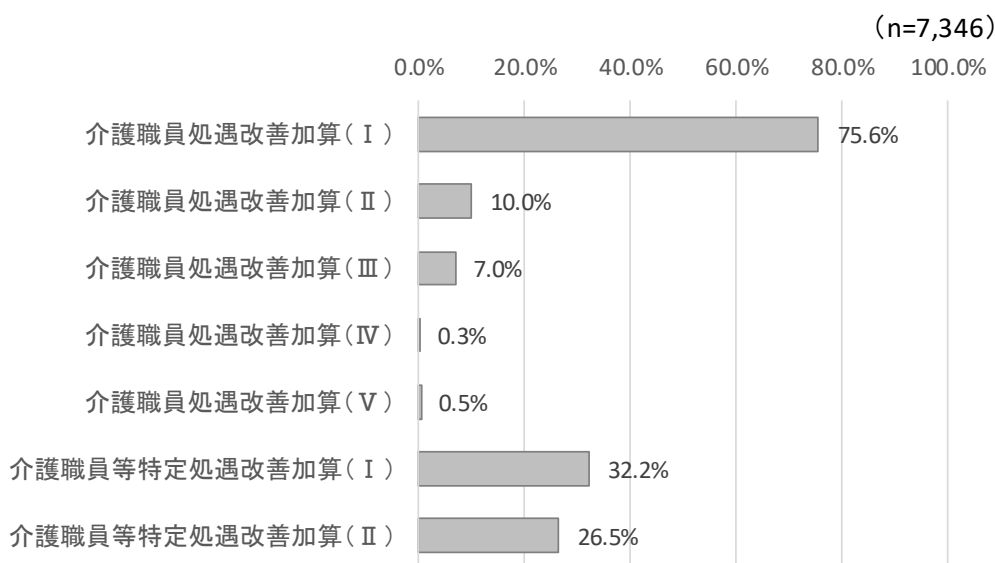
令和2年度の「介護職員処遇改善加算（Ⅰ）」を算定している事業所の割合は81.0%となっている。また、「介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）」を算定している事業所の割合は44.6%となっている。

全国の介護事業所の取得状況をみると、「介護職員処遇改善加算（Ⅰ）」が75.6%、「介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）」が32.3%と、本調査の回答事業所に占める割合のほうが高くなっている。

図表 2-8 問3 介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算の取得
（令和2年度）（複数回答）



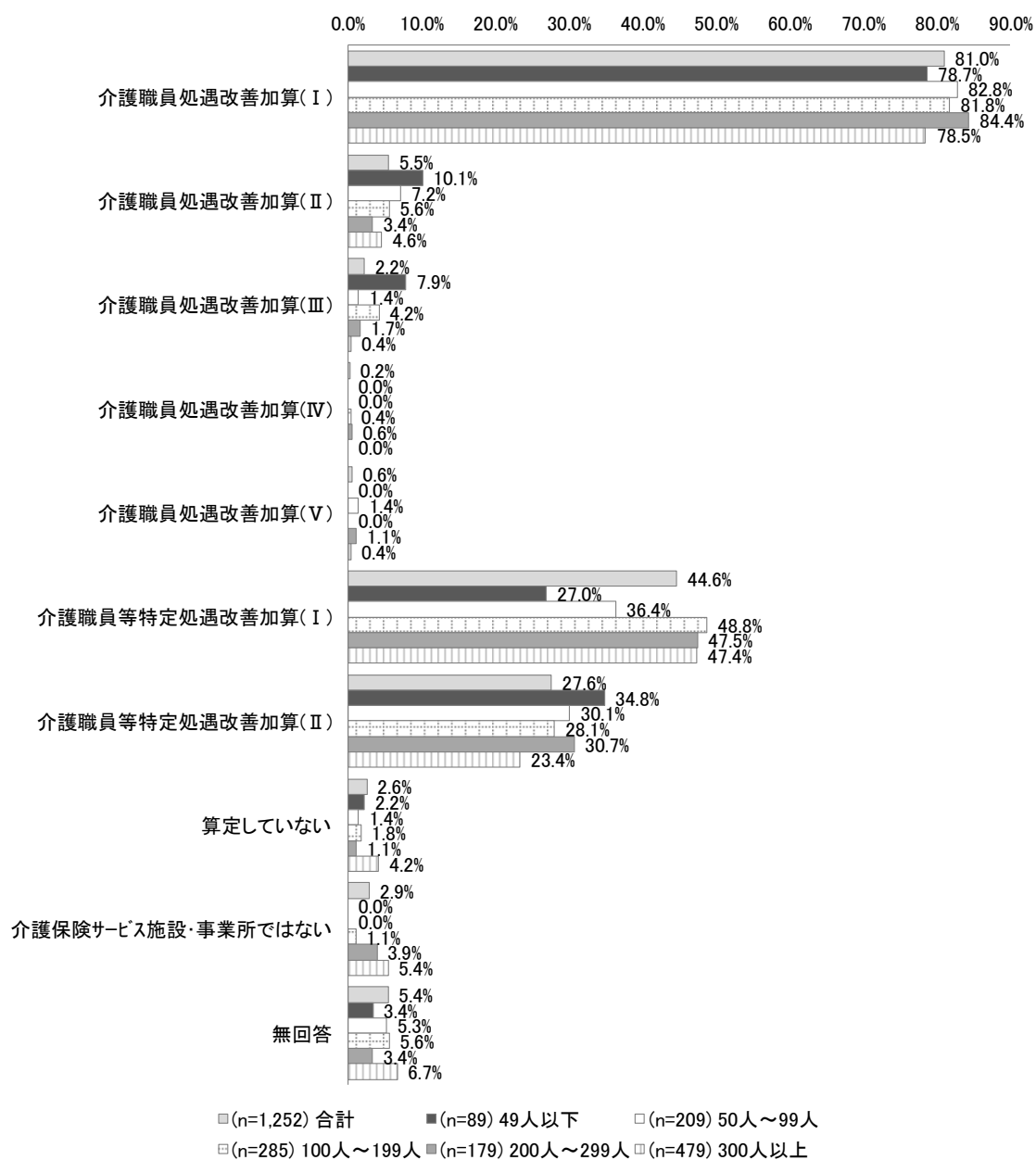
図表 2-9 （参考）令和2年度介護従事者処遇状況等調査
介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算の取得状況



（出所）厚生労働省「令和2年度介護従事者処遇状況等調査結果の概要」

法人全体の従業員別にみると、「介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）」では、比較的規模の大きい法人で取得している割合が高くなっている。

図表 2-10 問 3 法人全体の従業員別
介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算の取得(令和2年度)

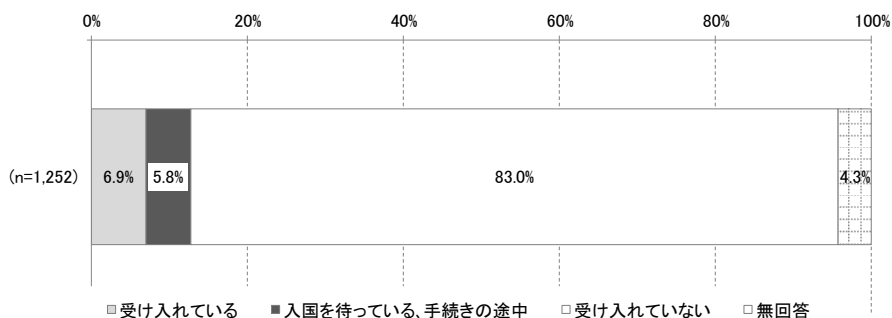


(2) 特定技能外国人の受入れ

① 特定技能外国人の受入れ状況

「受け入れている」が6.9% (87事業所)、「入国を待っている、手続きの途中」が5.8% (72事業所) だった。

図表 2-11 問4 特定技能外国人の受け入れ状況



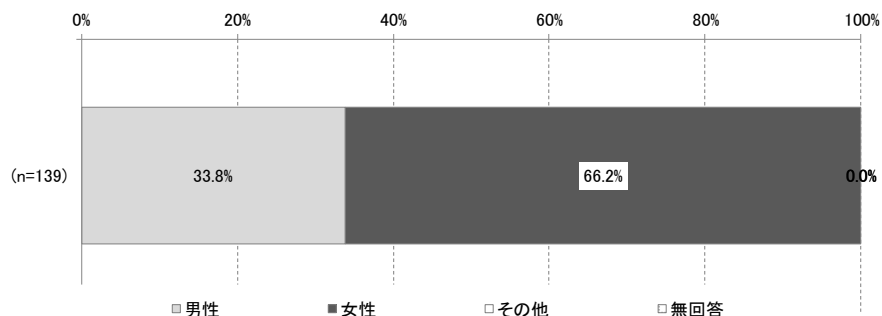
② 特定技能外国人の属性

特定技能外国人を受け入れている事業所に、特定技能外国人の属性について尋ねたところ、139人分の回答が得られた。(参考：令和2年9月末現在の特定技能1号在留外国人数(介護分野)は343人)

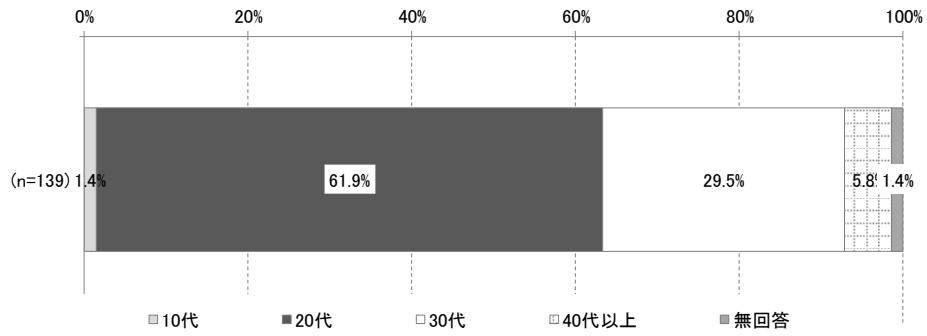
属性をみると、女性が多く(66.2%)、20代が多い(61.9%)。在留資格取得方法は、「国内試験合格」が41.0%を占める。

母国での就労経験は「あり」が47.5%(看護や介護31.7%、看護や介護以外15.8%)、「なし」が38.1%となっている。日本での就労経験は「あり」が34.6%(看護や介護28.1%、看護や介護以外6.5%)、「なし」が56.1%となっている。

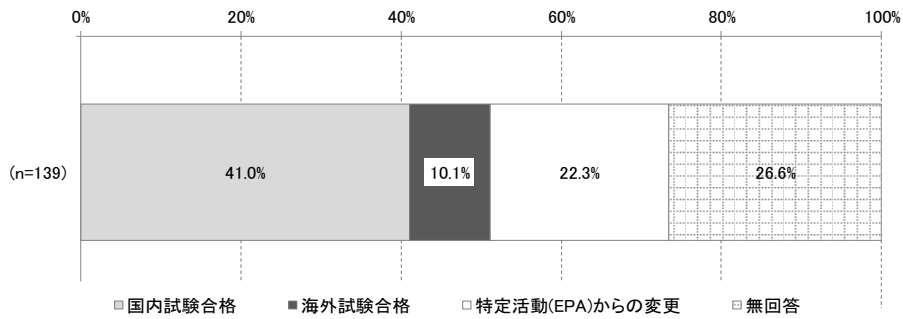
図表 2-12 問5(3)-1 性別



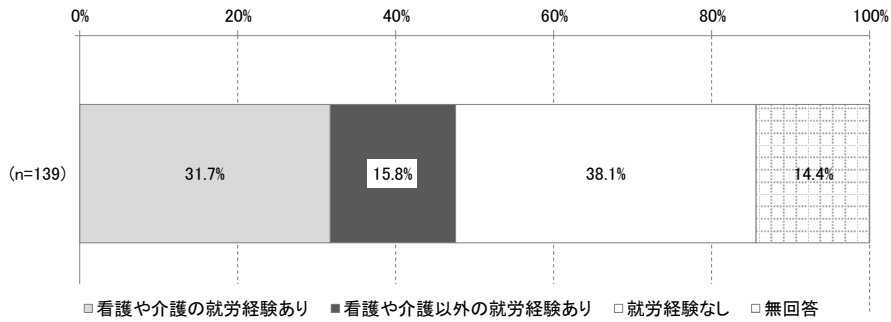
図表 2-13 問 5(3)-2 年齢



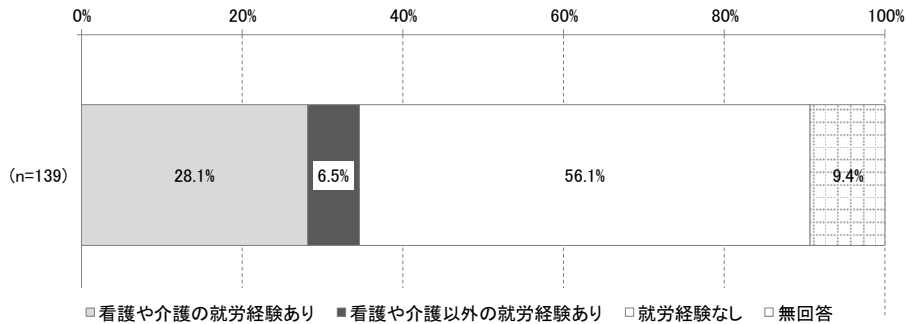
図表 2-14 問 5(3)-3 在留資格取得方法



図表 2-15 問 5(3)-4 母国での就労経験



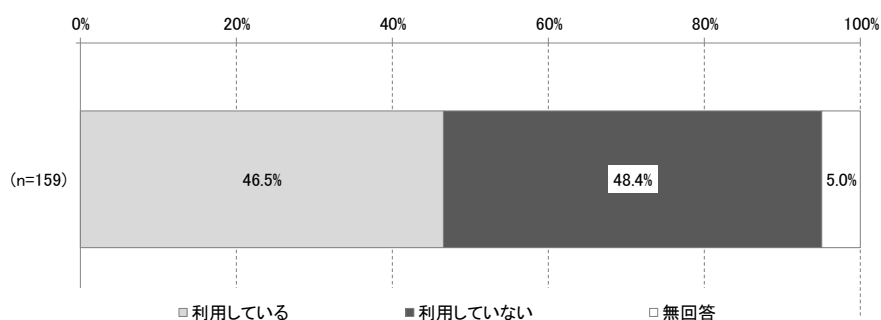
図表 2-16 問 5(3)-5 日本での就労経験



③ 登録支援機関の利用状況

特定技能外国人を「受け入れている」、もしくは「受け入れているが、採用した特定技能外国人の入国を待っている、あるいは、受け入れるための手続きの途中である」と回答した 159 事業所に、登録支援機関の利用について尋ねたところ、「利用している」が 46.5%、「利用していない」が 48.4%だった。

図表 2-17 問 6(1) 登録支援機関の利用状況

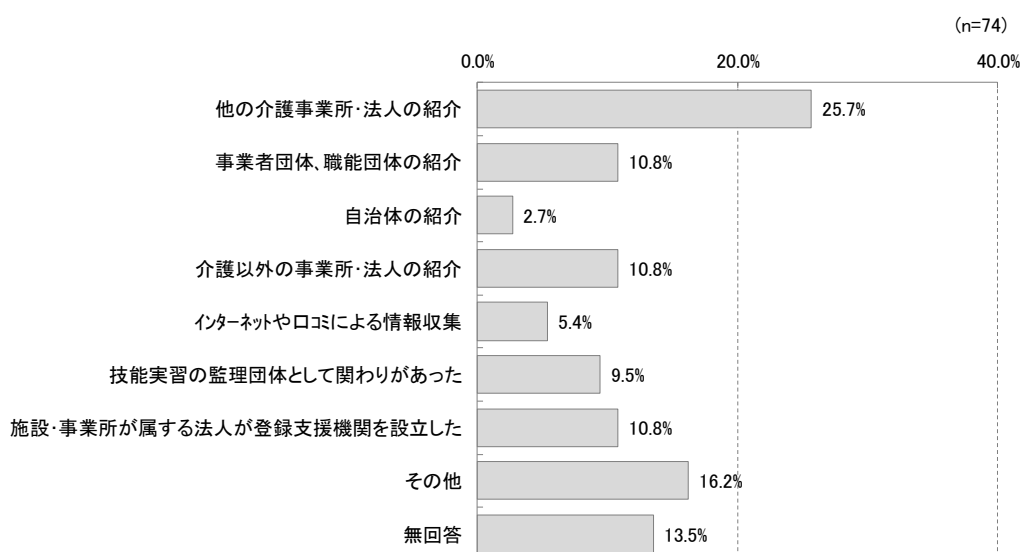


④ 登録支援機関の選定方法

登録支援機関を利用している 74 事業所に、その選定方法を尋ねたところ、「他の介護事業所・法人の紹介」の割合が 25.7%となっている。次いで、「その他」が 16.2%、「事業者団体、職能団体の紹介」、「介護以外の事業所・法人の紹介」が 10.8%となっている。

「その他」には、「行政書士の紹介」等の回答がみられた。

図表 2-18 問 6(2) 登録支援機関の選定方法(複数回答)

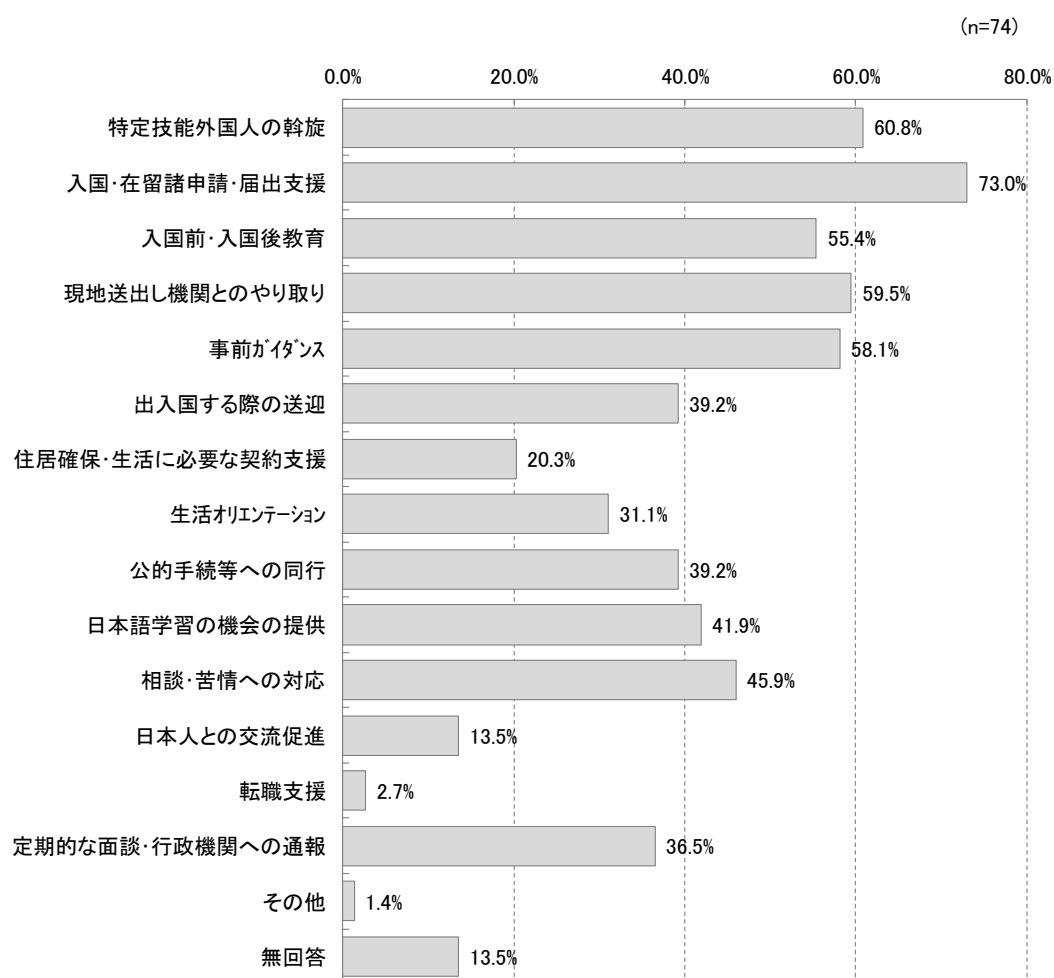


⑤ 登録支援機関から受けている支援

登録支援機関から受けている支援は、「入国・在留諸申請・届出支援」の割合が最も高く73.0%となっている。次いで、「特定技能外国人の斡旋（60.8%）」、「現地送出し機関とのやり取り（59.5%）」となっている。

「住居確保・生活に必要な契約支援」は20.3%、「日本人との交流促進」が13.5%と比較的割合が低い。

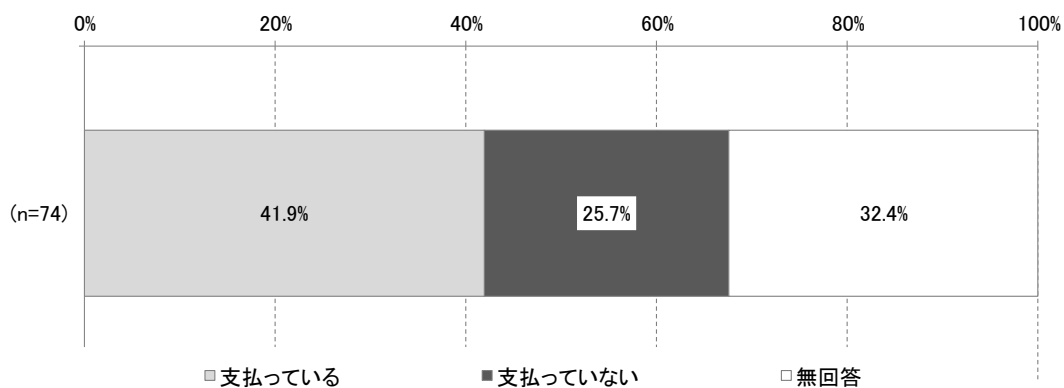
図表 2-19 問 6(3) 登録支援機関から受けている支援(複数回答)



⑥ 登録支援機関に支払っている費用

登録支援機関に支払う費用について、特定技能外国人を受け入れた後にも費用を「支払っている」事業所は41.9%、「支払っていない」事業所は25.7%だった。

図表 2-20 問 6(5) 特定技能外国人の受入れ後の登録支援機関への費用支払い



また、受入れ1人あたりの「支援委託手数料」、「その他（紹介手数料、申請届出支援費用、事前教育費など）」、「特定技能外国人受入れ後に支払う費用」を尋ねたところ、46件の回答が得られた（次頁参照）。

「特定技能外国人の斡旋」、「入国前・入国後教育」や「日本語学習の機会の提供」の教育関係が含まれていると費用が高めになるなど若干の傾向はみられるが、受けている支援内容によって、また登録支援機関によって支払う費用は様々である。

図表 2-21 問 6(4)(5) 登録支援機関に支払う費用(特定技能外国人1人あたり、単位:円)
 (選択肢一覧:⑤~⑭は省令で定められた10項目)

① 特定技能外国人の斡旋	② 入国・在留諸申請・届出支援
③ 入国前・入国後教育	④ 現地送出し機関とのやり取り
⑤ 事前ガイダンス	⑥ 出入国する際の送迎
⑦ 住居確保・生活に必要な契約支援	⑧ 生活オリエンテーション
⑨ 公的手続き等への同行	⑩ 日本語学習の機会の提供
⑪ 相談・苦情への対応	⑫ 日本人との交流促進
⑬ 転職支援(人員整理等の場合)	⑭ 定期的な面談・行政機関への通報
⑮ その他	

<選択肢①~⑮の全ての支援を受けているもの>

登録支援機関から受けている支援	支援委託手数料 (円)	その他(紹介手数料、 申請届出費用、事前教 育費等) (円)	受入れ後の支払い (円/月)
①②③④ ⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭ (10項目) ⑮	20,000	800,000	-

<上記以外で③入国前・入国後教育、あるいは⑩日本語学習の機会の提供を含むもの>

(③入国前・入国後教育と⑩日本語学習の機会の提供の両方)

登録支援機関から受けている支援	支援委託手数料 (円)	その他(紹介手数料、 申請届出費用、事前教 育費等) (円)	受入れ後の支払い (円/月)
①②③④ ⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑭ (10項目中9項目)	45,000	-	-
①②③④ ⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑭ (10項目中9項目)	372,000	-	25,000
①②③④ ⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑭ (10項目中9項目)	40,000	500,000	-
①②③④ ⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ (10項目中8項目)	670,000	25,000	35,000
①②③ ⑤⑦⑧⑨⑩⑪⑭ (10項目中7項目)	30,000/月	600,000	30,000
①②③④ ⑤⑥⑦⑩⑪⑭ (10項目中6項目)	15,000/月	100,000~200,000	-
①②③④ ⑤⑥⑨⑩⑪⑭ (10項目中6項目) (同内容の回答2件)	20,000	600,000	20,000
①②③④ ⑤⑥⑨⑩⑭ (10項目中5項目)	800,000	-	30,000
①②③④ ⑤⑩⑪⑫⑬ (10項目中5項目)	23,083	383,632	-

①②③④ ⑤⑥⑨⑩ (10項目中4項目)	300,000	300,000	-
①②③④ ⑤⑥⑧⑩ (10項目中4項目)	25,000	1,050,000	25,000
①②③④ ⑤⑩⑭ (10項目中3項目)	51,700	22,000+事前教育費	33,000
①②③④ ⑤⑩ (10項目中2項目)	800,000	70,000	38,000
①②③④ ⑩⑭ (10項目中2項目)	20,000	0	-
①③④ ⑨⑩	1,400,000	-	40,000
②③④ (あっせんなし) ⑤⑥⑨⑩⑭⑮	0	0	30,000

(③入国前・入国後教育のみ、⑩日本語学習の機会の提供は受けていない)

登録支援機関から受けている支援	支援委託手数料 (円)	その他 (紹介手数料、 申請届出費用、事前教 育費等) (円)	受入れ後の支払い (円/月)
①②③④ ⑤⑥⑨⑩	25,000	300,000	-
①②③④ ⑤⑥⑨⑭	35,000	171,600	38,000
①②③④ ⑤⑥⑧⑨	200,000	500,000	25,000
①②③④ ⑤ (同内容の回答2件)	2,160,000	-	-
①②③④ ⑤	25,000	650,000	-
①②③④ ⑤⑥⑨	0	600,000	全員で30,000
①③④ ⑤⑥	280,000	-	40,000
②③④ (あっせんなし) ⑤⑧⑨⑩⑭ (同内容の回答2件)	0	0	30,000
②③④ (あっせんなし) ⑤⑦⑧⑨⑩	230,000	1,074,000	-
①②③④	700,000	500,000	-

(⑩日本語学習の機会の提供のみ、③入国前・入国後教育は受けていない)

登録支援機関から受けている支援	支援委託手数料 (円)	その他 (紹介手数料、 申請届出費用、事前教 育費等) (円)	受入れ後の支払い (円/月)
①② ⑤⑩⑪⑭ (同内容の回答2件)	30,000	996,000	-
② ⑤⑦⑧⑨⑩⑪⑫ (同内容の回答5件)	25,000	-	25,000

<その他>

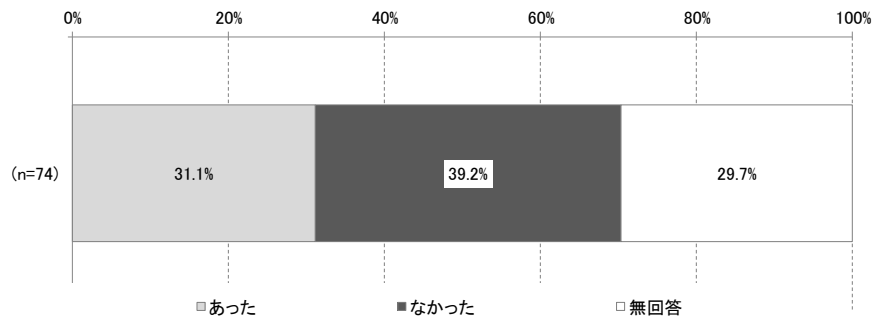
登録支援機関から受けている支援	支援委託手数料 (円)	その他（紹介手数料、 申請届出費用、事前教 育費等）（円）	受入れ後の支払い (円/月)
⑤⑧	22,000	0	22,000
②④	27,500	-	-
①②④ ⑤⑥	803,000	743,000	-
① ⑭	100,000	400,000	33,000
①②	-	-	10,000
②④ ⑥⑧⑨⑪⑭	30,000	25,000	30,000
①②④ ⑤⑥	-	1,050,000	-
②	35,000	-	-
②	11,000	27,500	-

(注)「支援委託手数料」、「その他」、「受入れ後の支払い」のいずれも「0（ゼロ）」だった回答を除き、得られた回答を全て掲載している。

⑦ 特定技能外国人を受け入れるための手続き

特定技能外国人の受け入れに際して、予想外に時間のかかった手続き、煩雑だった手続きの有無を尋ねたところ、「あった」の割合が31.1%、「なかった」の割合が39.2%だった。

図表 2-22 問 7(2) 予想外に時間のかかった手続き、煩雑だった手続きの有無



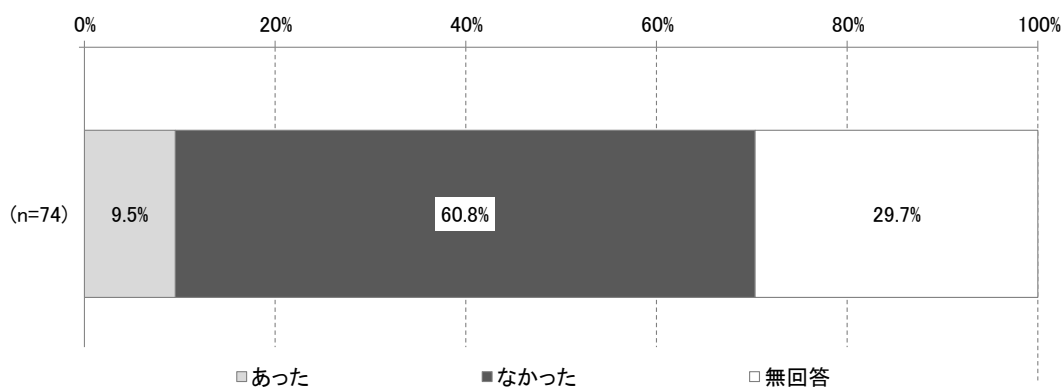
<予想外に時間のかかった手続き、煩雑だった手続き>

- ・在留資格「留学」から「特定技能」への変更申請時の必要書類の莫大さ
- ・外国人受入れ指導の研修、各部門管理者
- ・VISA がおりにのに時間がかかった。
- ・入国手続き
- ・入国までの手続き書類
- ・外国の送出し機関と支援事業機関との調整に時間がかかり（2年）来日できなかった。
- ・入国管理局での手続きに時間がかかった。
- ・現地での面接、申請書類等
- ・入国管理局への在留カード変更申請書類
- ・受入れ予定人数が多いことと、提出資料が多いため、1人1人の分をチェックするのに時間がかかりました。
- ・資料提出書類に時間がかかった。
- ・POLP、POEA への登録
- ・法人の代表者の住民票や決算書提出など
- ・報酬に関する説明書、在留資格（入管の最終手続き）
- ・住宅や家財道具の調達
- ・入国前の書類不備が多くあり実習生の入国が遅れた。
- ・入国までの時間
- ・入国管理局へ提出する役所でだしてもらい各種証明書の取り寄せが大変だった。
- ・役所でだしてもらい各証明書の取り寄せ
- ・労務管理に関すること（労働時間の設定、賃金、住居に関する負担）

また、予定していなかった手続きを求められたことは、「あった」の割合が9.5%、「なかった」の割合が60.8%となっている。

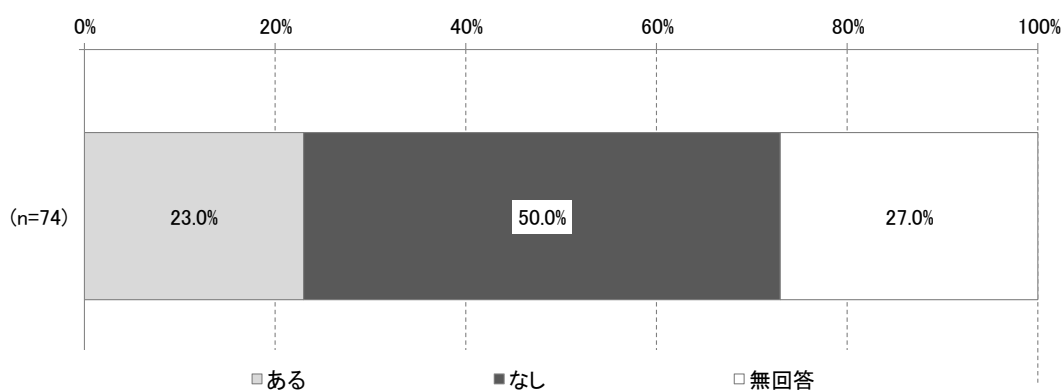
具体的には、「こちらから紹介した実習生だったのに毎月お金がかかる」、「POLO、POEAへの登録」、「日本国内での現地大使館による法人の面談」、「法人マイナンバーがあるのに、各方面まわる必要があり手間。なぜ提出が必要か不明。」、「給与振込用と送金用の口座、2つを開設しなければならなかった」等の回答がみられた。

図表 2-23 問 7(3) 予定していなかった手続きを求められたことの有無



これらの手続きを進める際に参照した資料の有無については、「なし」の割合が50.0%だった。

図表 2-24 問 7(1) 手続きを進める際に参照した資料の有無

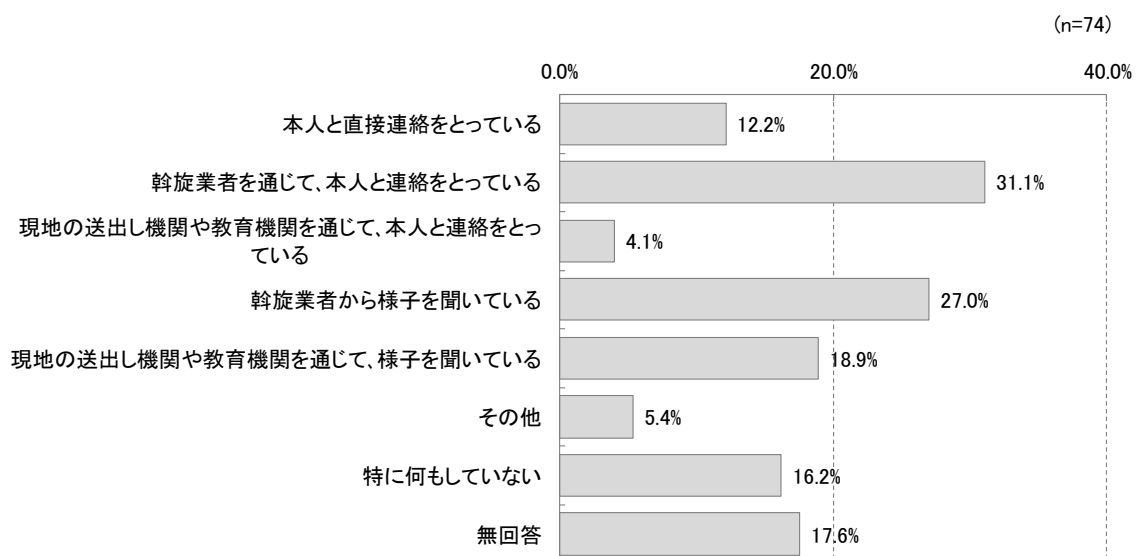


⑧ 内定し、入国を待っている特定技能外国人に対する対応

「斡旋業者を通じて、本人と連絡をとっている」の割合が最も高く 31.1%となっている。次いで、「斡旋業者から様子を聞いている (27.0%)」、「現地の送出し機関や教育機関を通じて、様子を聞いている (18.9%)」となっている。

「特に何もしていない」事業所は 16.2%だった。

図表 2-25 問 7(4) 内定し、入国を待っている特定技能外国人に対する対応(複数回答)

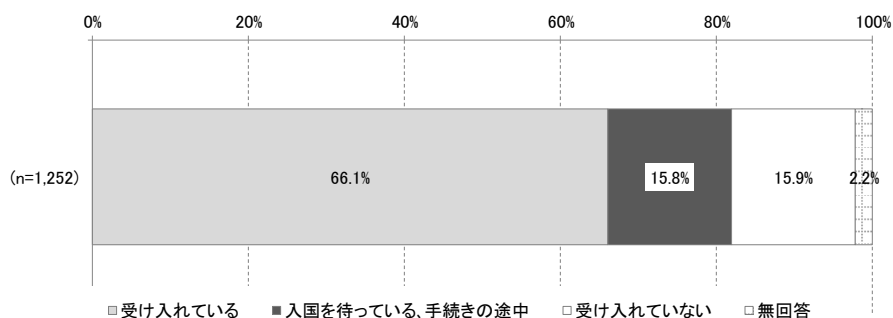


(3) 技能実習生の受入れ

① 技能実習生の受入れ状況

「受け入れている」の割合が 66.1%、「入国を待っている、手続きの途中」の割合が 15.8%だった。

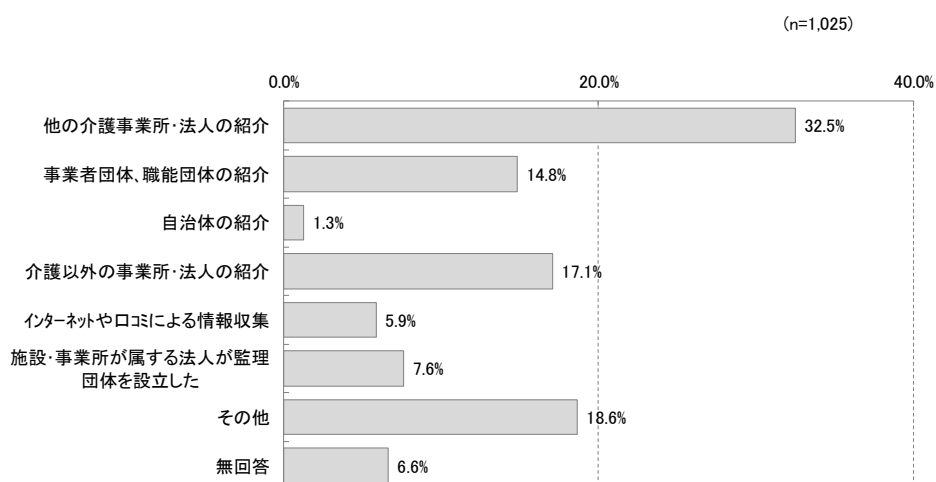
図表 2-26 問 8 技能実習生の受け入れ状況



② 監理団体の選定方法

技能実習生を「受け入れている」あるいは「入国を待っている、手続きの途中」と回答した 1,025 事業所に、監理団体の選定方法を尋ねたところ、「他の介護事業所・法人の紹介」の割合が最も高く 32.5%となっている。次いで、「その他 (18.6%)」、「介護以外の事業所・法人の紹介 (17.1%)」となっている。

図表 2-27 問 9(2) 監理団体の選定方法(複数回答)



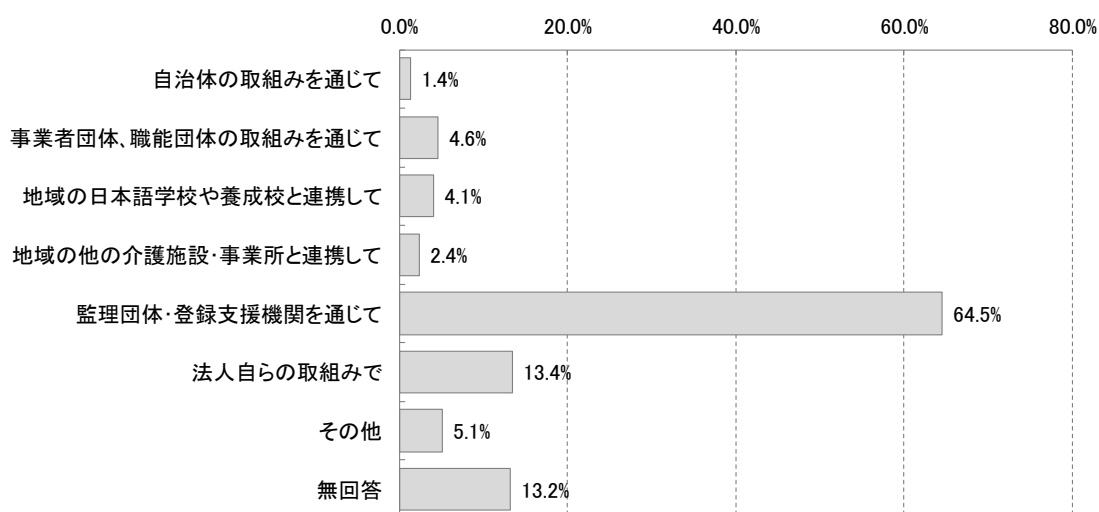
(4) 現地の送出し機関や教育機関との関係

① 外国人介護人材の受入れルートを確認する方法

「監理団体・登録支援機関を通じて」の割合が最も高く 64.5%となっている。次いで、「法人自らの取組みで (13.4%)」となっている。

図表 2-28 問 10 外国人介護人材の受入れルートを確認する方法(複数回答)

(n=1,252)

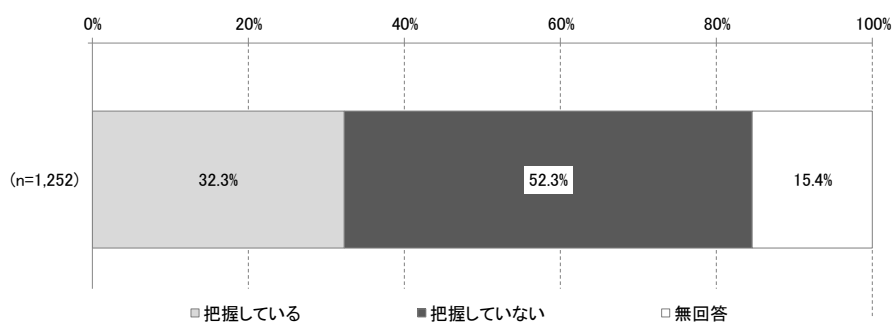


② 送出し機関に支払う費用の把握状況

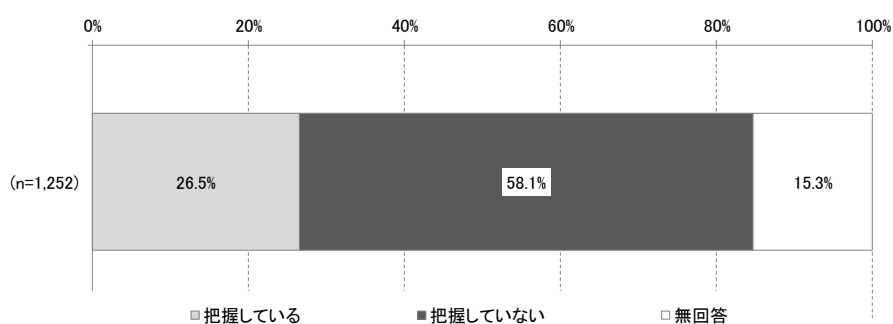
送出し機関に支払う費用について「把握していない」の割合が最も高く 52.3%となっている。次いで、「把握している」が32.3%となっている。

また、現地での教育にかかる費用についても、把握していない」の割合が最も高く 58.1%となっている。次いで、「把握している」が26.5%となっている。

図表 2-29 問 11(2) 送出し機関に支払う費用の把握状況



図表 2-30 問 12 現地での教育にかかる費用の把握状況



(5) 外国人介護職員の受入れ体制

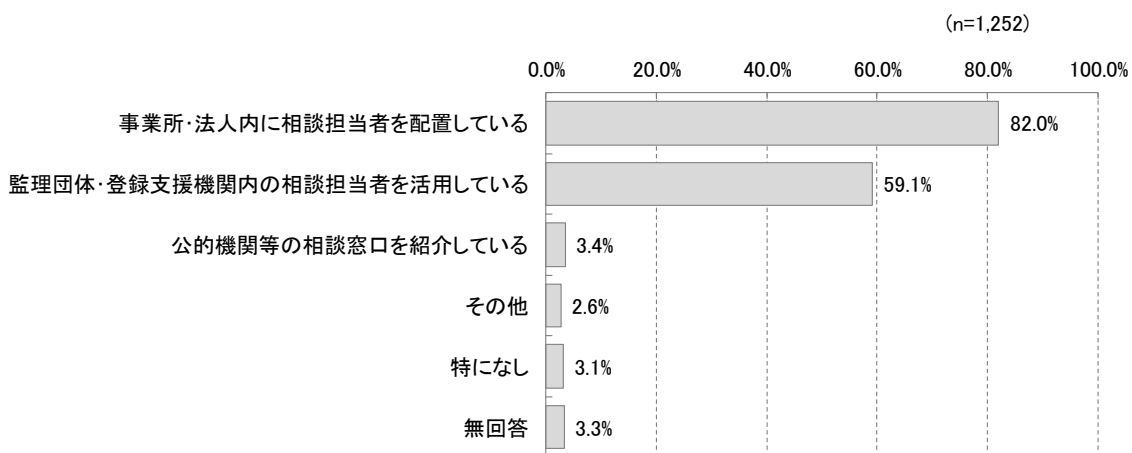
ここからは、回答のあった全ての事業所に対して、外国人介護職員の受入れ体制について尋ねた結果を記載する。

① 相談支援

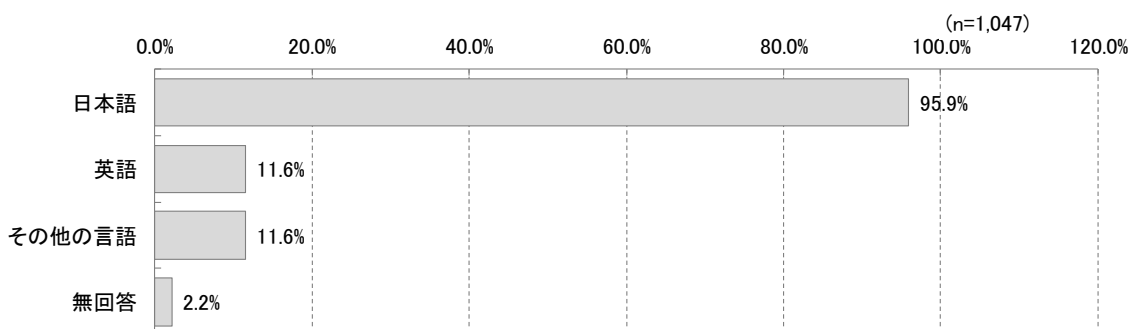
「事業所・法人内に相談担当者を配置している」の割合が最も高く 82.0%となっている。次いで、「監理団体・登録支援機関内の相談担当者を活用している (59.1%)」となっている。

相談担当者が対応できる言語は、「日本語」の割合が最も高く 95.9%となっている。次いで、「英語 (11.6%)」、「その他の言語 (11.6%)」となっている。

図表 2-31 問 13 外国人介護職員に対して設けている相談支援の体制(複数回答)



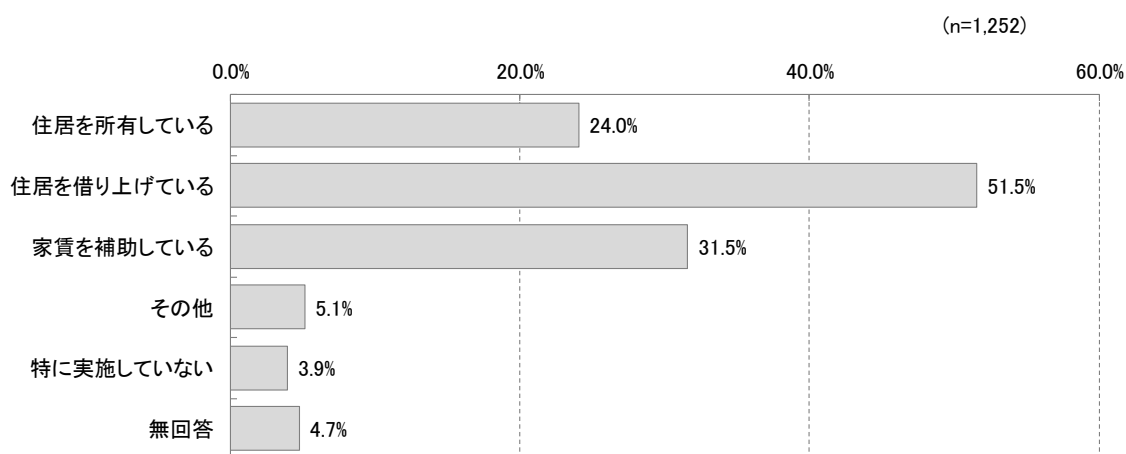
図表 2-32 問 13-1 相談担当者が対応できる言語(複数回答)



② 住居の確保についての支援

「住居を借り上げている」の割合が最も高く 51.5%となっている。次いで、「家賃を補助している (31.5%)」、「住居を所有している (24.0%)」となっている。

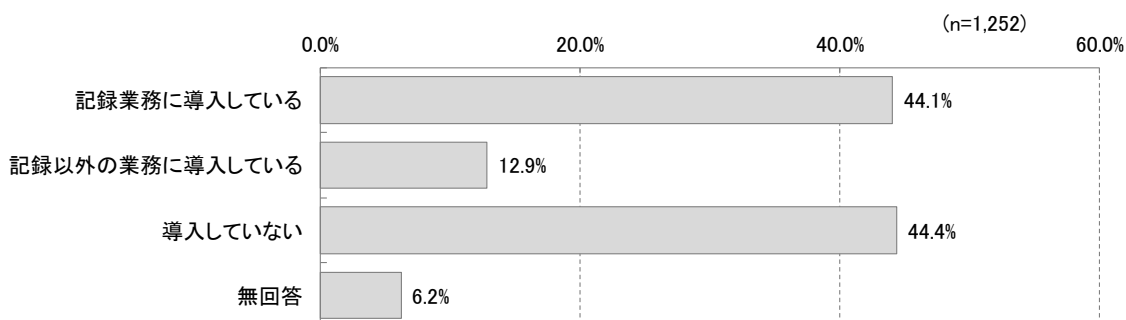
図表 2-33 問 14 外国人介護職員の住居の確保にあたり行っている支援(複数回答)



③ 介護業務への ICT の導入状況

「導入していない」の割合が最も高く 44.1%となっている。次いで、「記録業務に導入している (44.4%)」、「記録以外の業務に導入している (12.9%)」となっている。

図表 2-34 問 15 介護業務への ICT の導入状況(複数回答)



図表 2-35 問 15 介護業務への ICT の導入状況(自由記述)

キーワード	件数
PC・タブレット・iPad	191
ソフト（音声入力、タブレット・iPad との重複は除く）	86
システム	42
電子カルテ	25
音声入力	9
ロボット	6
請求業務	21
日本語教育・学習・Eラーニング・研修	12
眠りスキャン・離床センサー	9
インカム	5
面会	5
会議	4
多言語対応	2
その他（未整理）	72

(注) 有効な自由記述のあった 490 件の回答について、キーワード別に件数を記載した。

図表 2-36 問 15 介護業務への ICT の導入状況別

本人調査 Q19-6 本人の施設への満足度(日本語の勉強への支援)

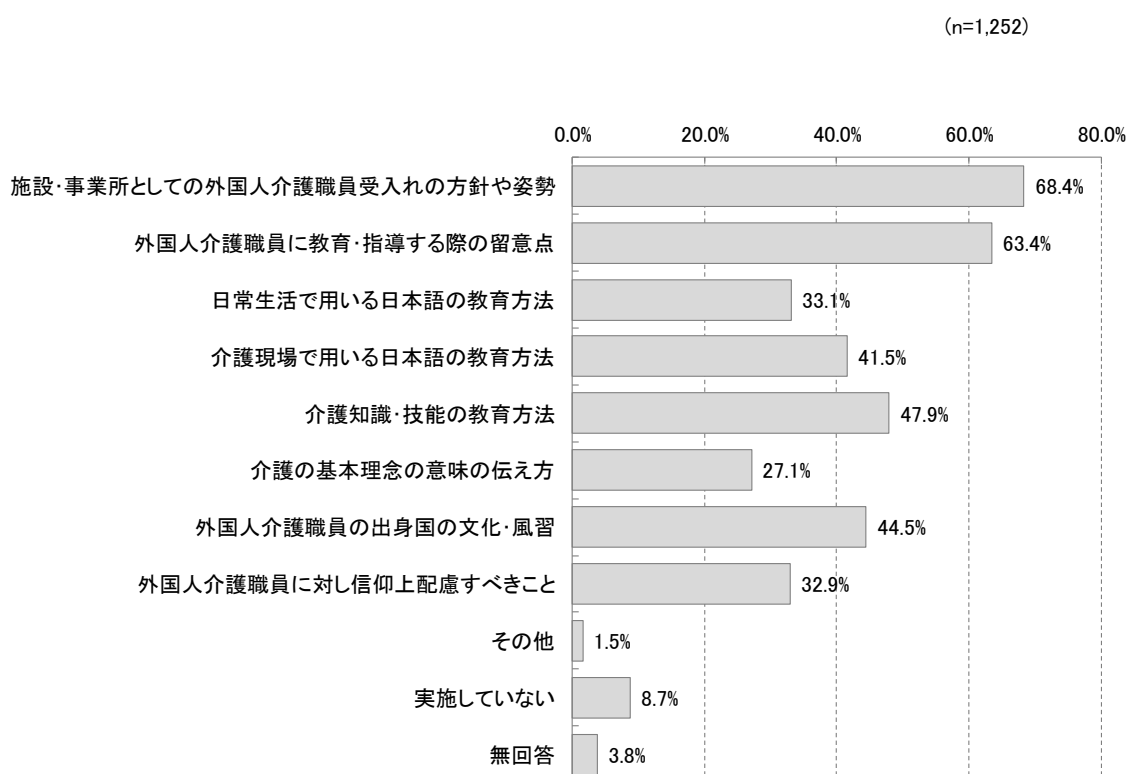
(単位 上段:人、下段:%)

	合計	満足	やや満足	やや不満	不満	受けていない、機会がない	無回答
全体	1,221 100.0	529 43.3	488 40.0	122 10.0	23 1.9	43 3.5	16 1.3
導入している	639 100.0	285 44.6	267 41.8	46 7.2	17 2.7	15 2.3	9 1.4
導入していない	509 100.0	207 40.7	196 38.5	69 13.6	6 1.2	24 4.7	7 1.4
無回答・不明	73 100.0	37 50.7	25 34.2	7 9.6	0 0.0	4 5.5	0 0.0

④ 外国人介護職員を受け入れるにあたり、日本人職員に対して実施している研修等のテーマ

「施設・事業所としての外国人介護職員受入れの方針や姿勢」の割合が最も高く 68.4% となっている。次いで、「外国人介護職員に教育・指導する際の留意点 (63.4%)」、「介護知識・技能の教育方法 (47.9%)」となっている。

図表 2-37 問 16 外国人介護職員を受け入れるにあたり、日本人職員に対して実施している研修等のテーマ(複数回答)

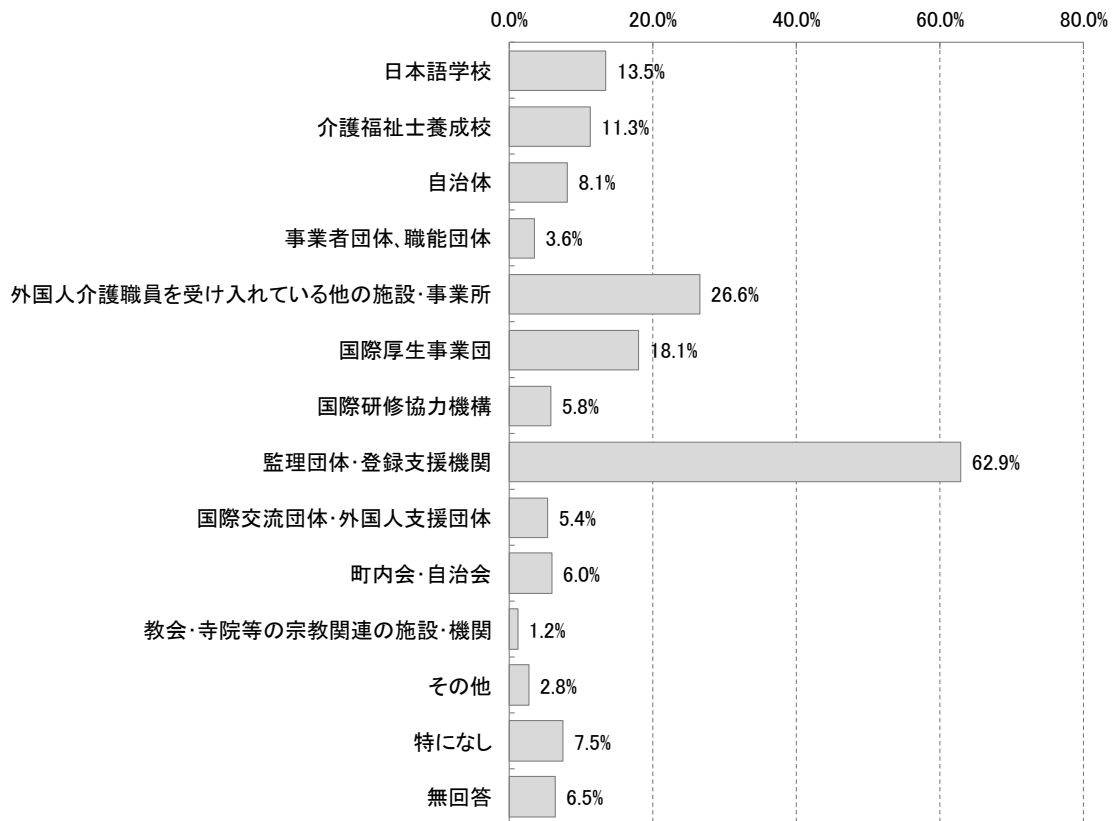


⑤ 外国人介護職員の定着・活躍支援について連携している関係機関・団体

「監理団体・登録支援機関」の割合が最も高く62.9%となっている。次いで、「外国人介護職員を受け入れている他の施設・事業所（26.6%）」、「国際厚生事業団（18.1%）」となっている。

図表 2-38 問 17 外国人介護職員の定着・活躍支援について、
連携している関係機関・団体（複数回答）

(n=1,252)

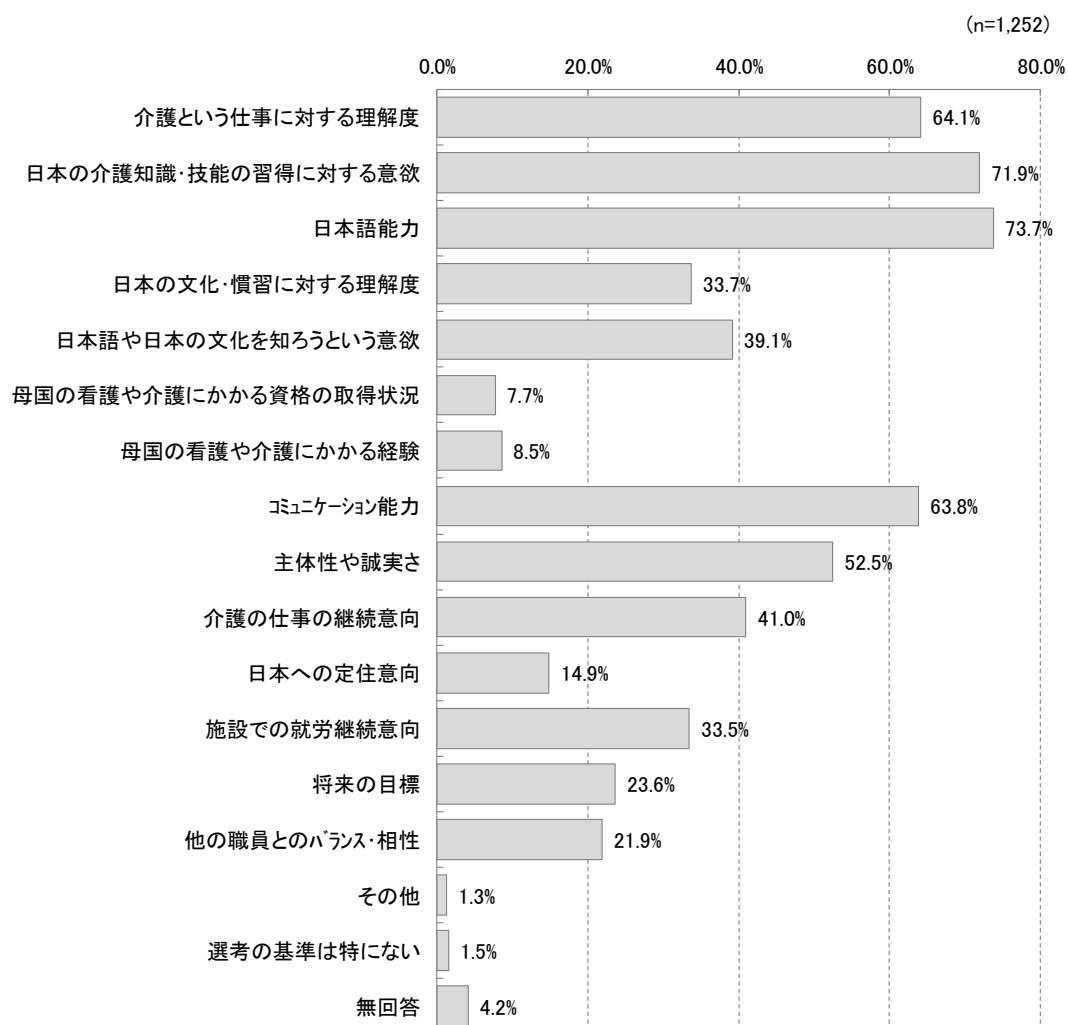


(6) 外国人介護職員のキャリア支援

① 受入れにあたり重視していること（採用のポイント）

「日本語能力」の割合が最も高く73.7%となっている。次いで、「日本の介護知識・技能の習得に対する意欲（71.9%）」、「介護という仕事に対する理解度（64.1%）」となっている。

図表 2-39 問 18 外国人介護職員の受入れにあたり、重視していること(複数回答)



② 外国人介護職員に対する理解

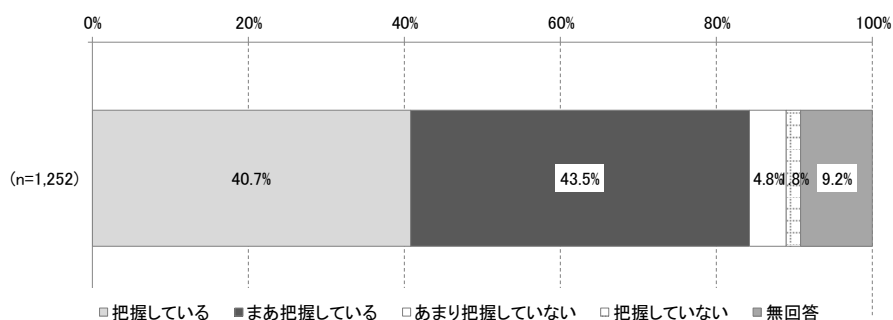
受け入れている外国人介護職員の「日本で介護を選択した理由」、「日本で介護の仕事をする上での目標や目的」、「将来の目標や希望」について、概ね把握していると考えている事業所が多い。

日本で介護の仕事を選択した理由は、「把握している」の割合が高く 40.7%、「まあ把握している」が 43.5 となっている。

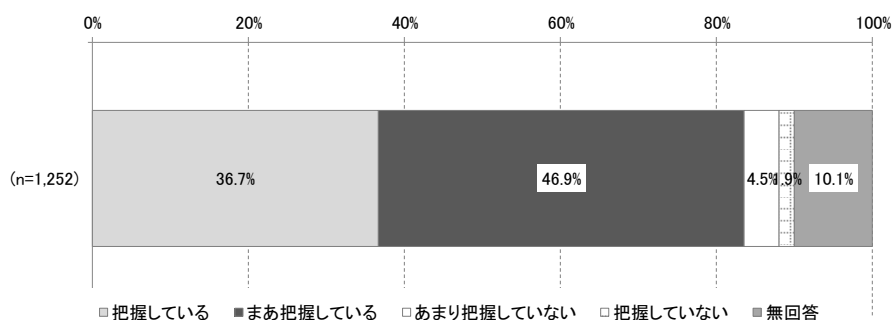
日本で介護の仕事をする上での目標や目的は、「まあ把握している」の割合が最も高く 46.9%、「把握している」が 36.7%となっている。また、「日本で介護の仕事をする上での目標や目的」で最も多いものは、「仕送りや貯蓄」の割合が最も高く 36.0%となっている。

将来の目標や希望は、「まあ把握している」の割合が最も高く 47.1%となっている。次いで、「把握している (31.1%)」となっている。

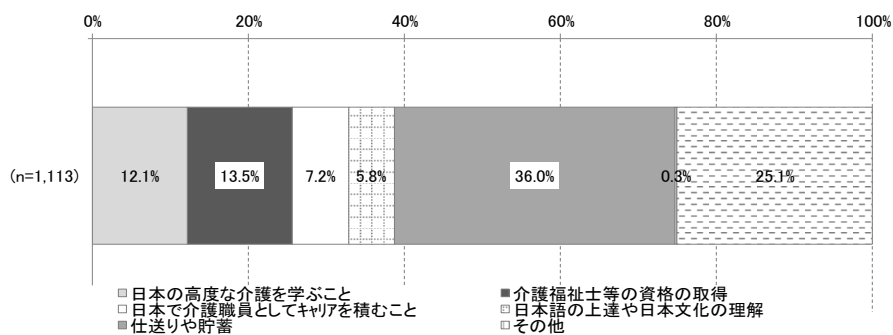
図表 2-40 問 19 日本で介護の仕事を選択した理由



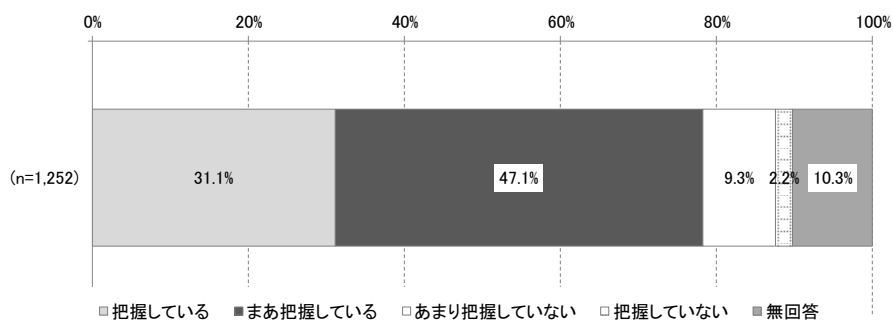
図表 2-41 問 19 日本で介護の仕事をする上での目標や目的



図表 2-42 問 19-1 外国人介護職員の「日本で介護の仕事をする上での目標や目的」で最も多いもの



図表 2-43 問 19 将来の目標や希望

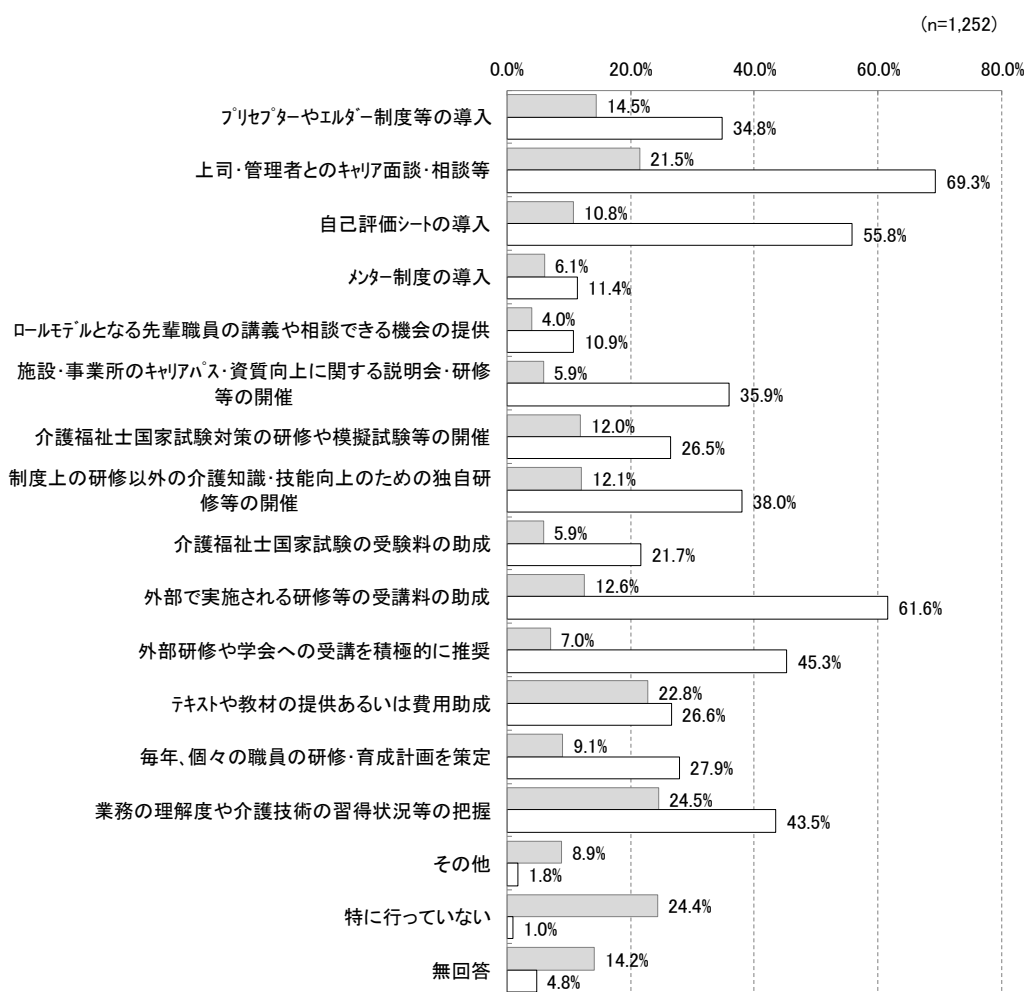


③ 外国人介護職員に対して実施しているキャリア支援の取組み

外国人だけに実施しているキャリア支援の取組みは、「業務の理解度や介護技術の習得状況等の把握」の割合が最も高く24.5%となっている。次いで、「特に行っていない」が24.4%、「テキストや教材の提供あるいは費用助成」が22.8%となっている。

外国人か日本人かを問わず実施しているキャリア支援の取組みは、「上司・管理者とのキャリア面談・相談等（69.3%）」、「外部で実施される研修等の受講料の助成（61.6%）」、「自己評価シートの導入（55.8%）」の割合が高い。

図表 2-44 問 21(1)(2) 外国人介護職員に対して実施している
キャリア支援の取組み(複数回答)

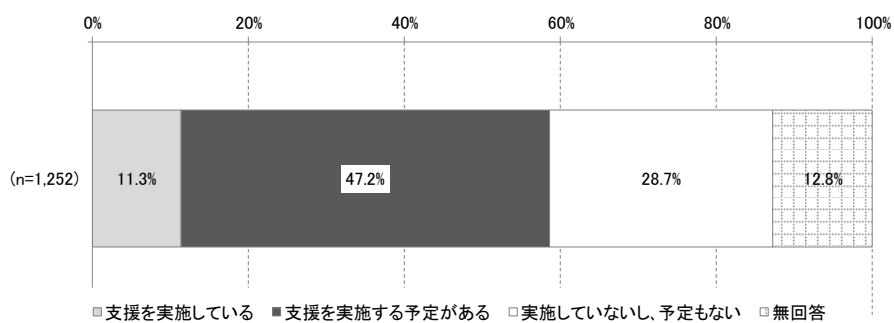


※上段：外国人だけに実施している取組み

下段：日本人か外国人かを問わず実施している取組み

- ④ 特定技能外国人や技能実習生が介護福祉士国家支援に合格するための支援
「支援を実施している」が 11.3%、「支援を実施する予定がある」が 47.2%となっている。

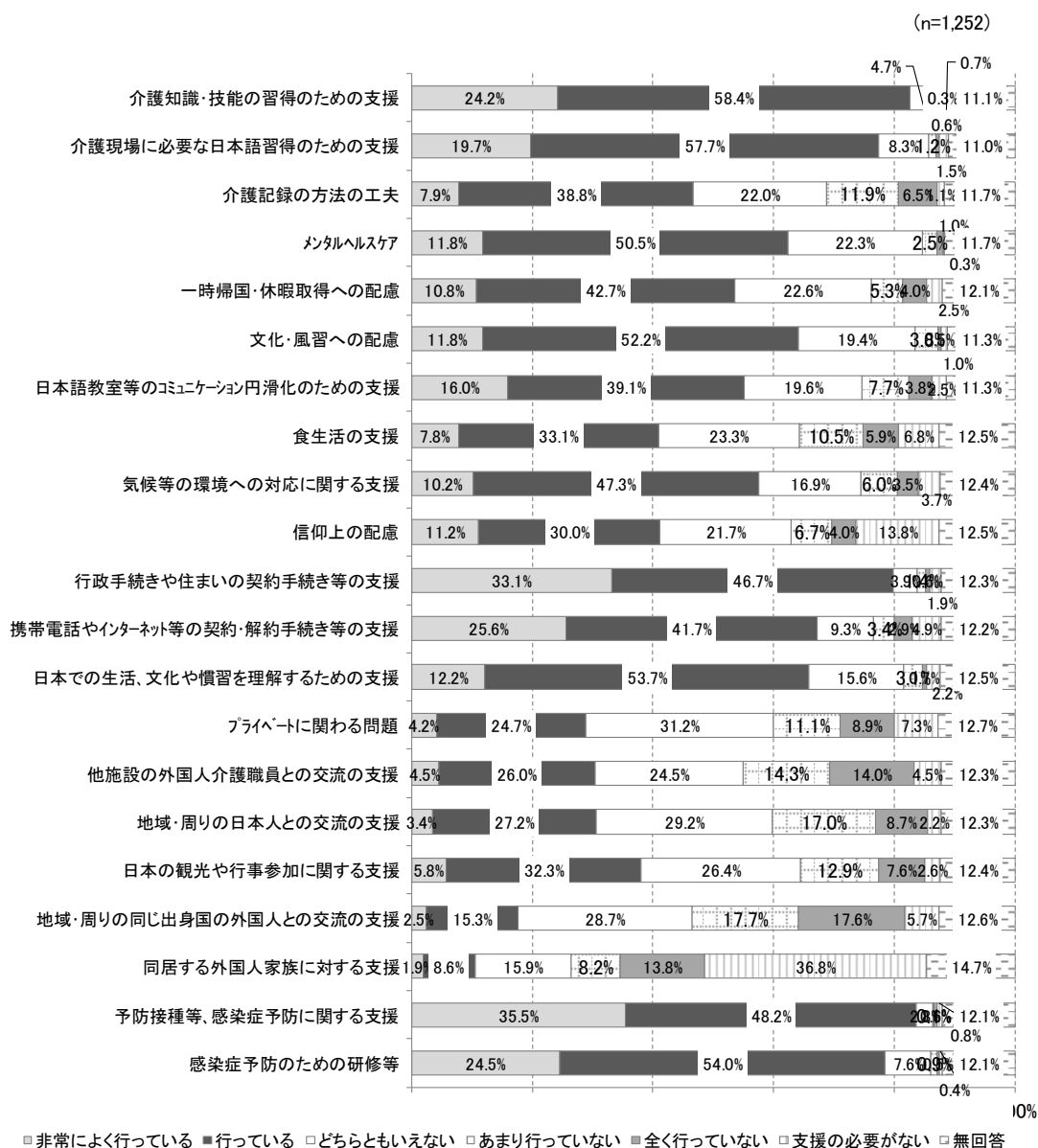
図表 2-45 Q21(3) 介護福祉士国家試験に合格するための支援の実施状況



⑤ 外国人介護職員の就労環境や生活面の支援

「非常によく行っている」と「行っている」の割合の和でみると、「予防接種等、感染症予防に関する支援」は83.7%、「介護知識・技能の習得のための支援」は82.6%と8割以上の事業所が実施している。次いで「感染症予防のための研修等」は78.5%、「介護現場に必要な日本語習得のための支援」は77.4%となっている。

図表 2-46 問 22 外国人介護職員の就労環境や生活面の支援(複数回答)



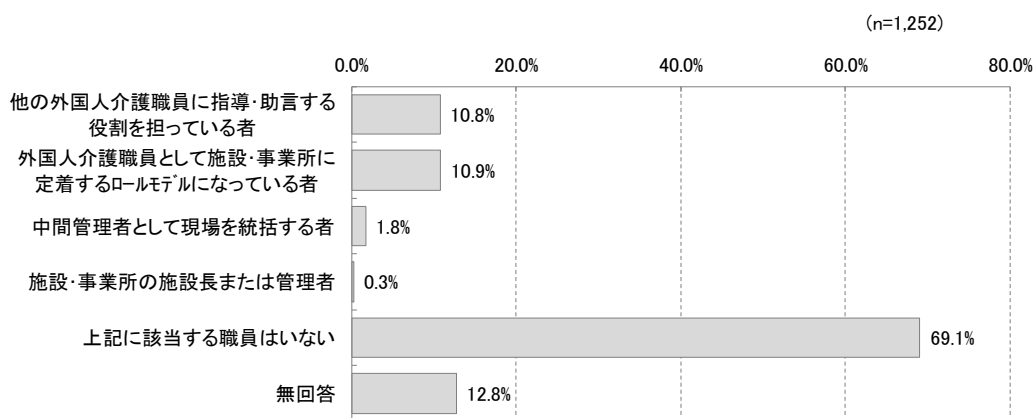
(7) 現在受け入れている外国人介護職員の現状と期待

① 施設・事業所内での活躍の現状

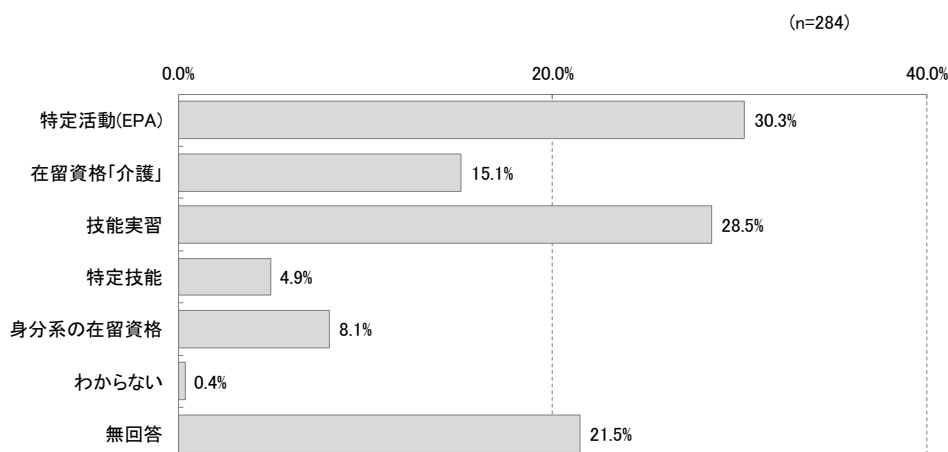
施設・事業所内で、他の職員に指導・助言する役割等を担う外国人介護職員の存在を尋ねたところ、「該当する職員はいない」の割合が最も高く 69.1%となっている。次いで、「外国人介護職員として施設・事業所に定着するロールモデルになっている者」が 10.9%、「他の外国人介護職員に指導・助言する役割を担っている者」が 10.8%となっている。

他の職員に指導・助言する役割を担う者がいる事業所に、該当者の在留資格を尋ねたところ、「特定活動（EPA）」が 30.3%、「技能実習」が 28.5%となっている。

図表 2-47 問 20 現在受け入れている外国人介護職員のうち、以下に該当する方



図表 2-48 問 20-1 該当する方の在留資格



② 個々の職員の能力・スキル等の評価

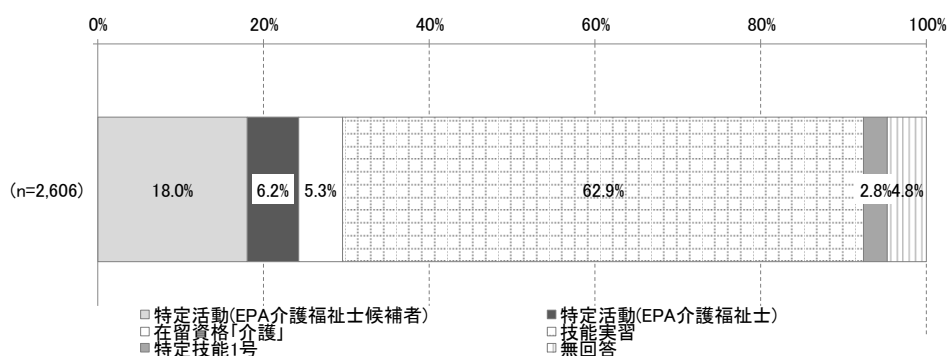
i) プロフィール

現在受け入れている個々の外国人介護職員について評価を依頼したところ、2,606 人分のデータが得られた。

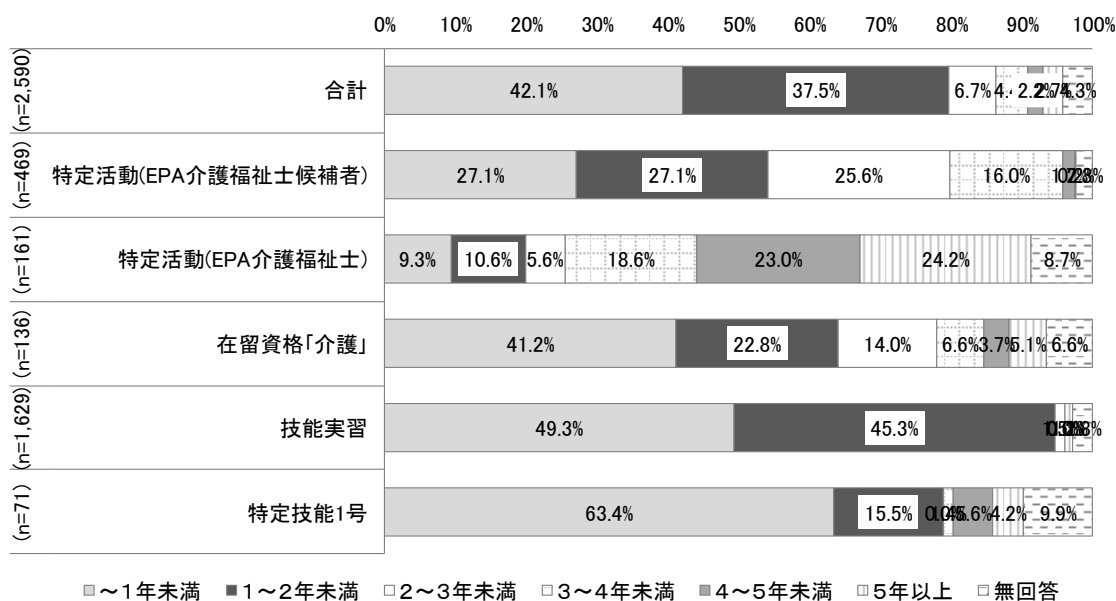
2,606 人のプロフィールについて、在留資格は「技能実習」の割合が最も高く 62.9%となっている。

施設・事業所での就労期間をみると、「～1年未満」が 42.1%、「1～2年未満」が 37.5%となっている。在留資格別では、特定活動（EPA 介護福祉士候補者、EPA 介護福祉士）は、他の在留資格と比べて就労期間が長くなっている。

図表 2-49 事業所調査票②Q1-1 評価対象となった外国人介護職員の在留資格



図表 2-50 事業所調査票②Q1-1 施設・事業所での就労期間

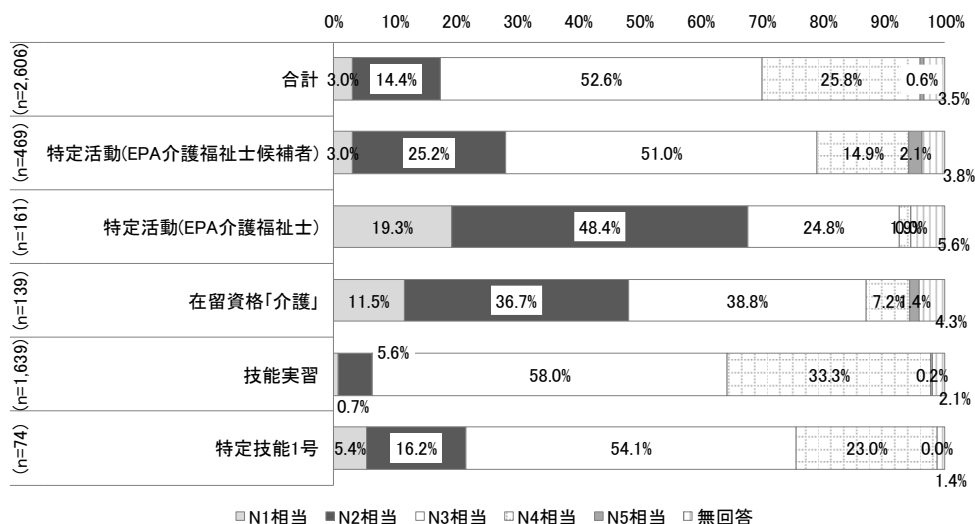


i) 日本語能力

日本語能力は、「N3相当」が52.6%だった。

在留資格別に見ると、「特定活動（EPA介護福祉士）」、「介護」では、N1、N2の割合が比較的高い。「特定技能1号」では、「N3相当」の割合が高く、54.1%だった。

図表 2-51 事業所調査票②Q1-2 在留資格別 現在の日本語能力

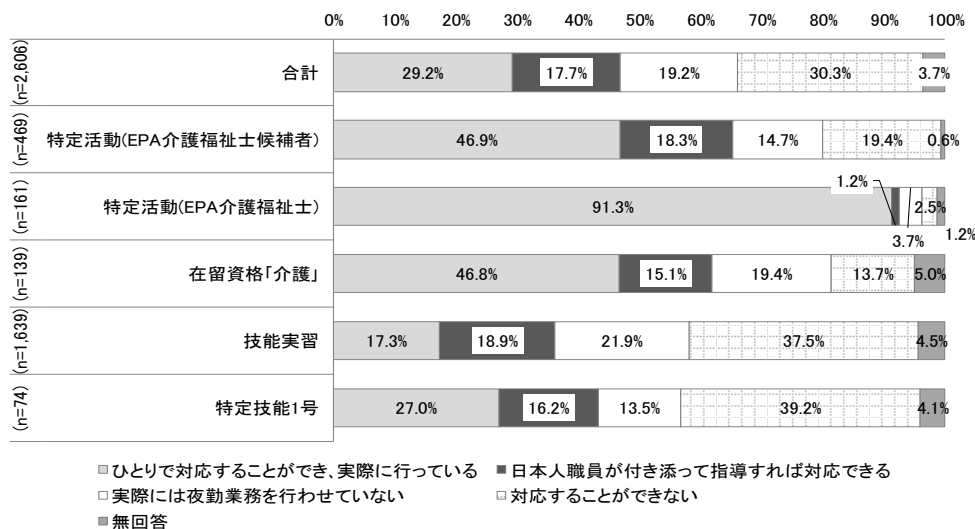


ii) 夜勤業務

夜勤業務は、「ひとりで対応することができ、実際に行っている」が29.2%、「対応することができない」が30.3%だった。

在留資格別にみると、「特定活動（EPA介護福祉士）」では「ひとりで対応することができ、実際に行っている」が91.3%となっている。

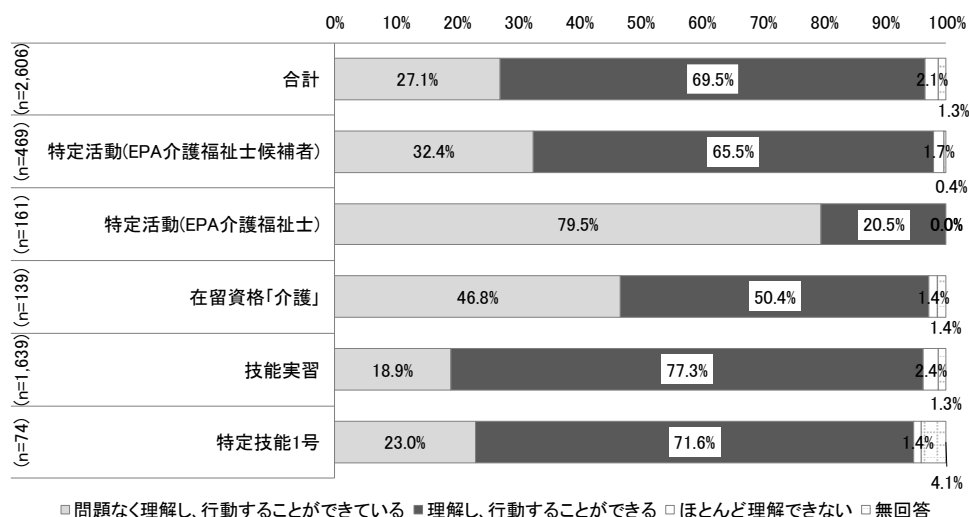
図表 2-52 事業所調査票②Q2-1 在留資格別 夜勤業務



iii) 引継ぎ・申し送りの理解

引継ぎ・申し送りの理解は、「理解し、行動することができる」が69.5%を占めている。在留資格別にみると、「特定活動（EPA介護福祉士）」では、「問題なく理解し、行動することができる」の割合が79.5%となっている。

図表 2-53 事業所調査票②Q2-2 在留資格別 引継ぎ・申し送りの理解

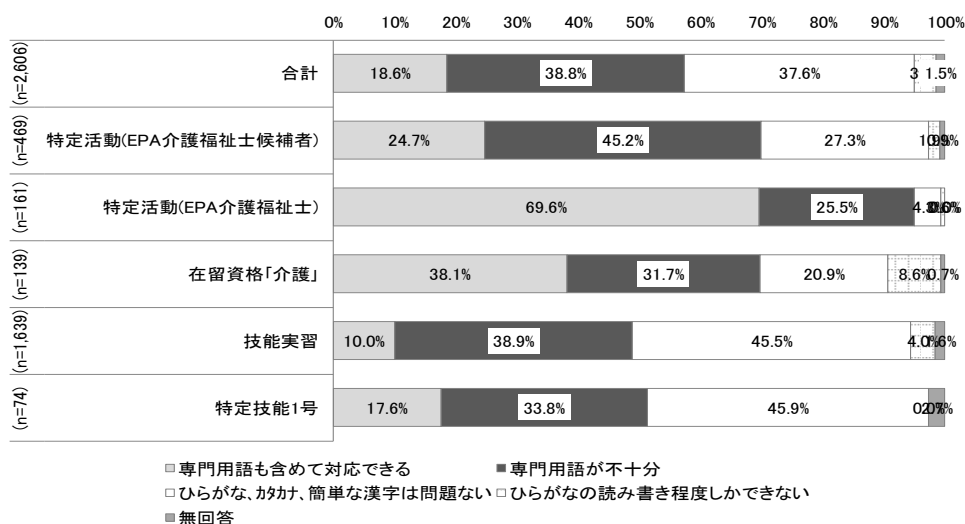


iv) 介護記録等、業務上の文書を読む能力

業務上の文書を読む能力は、「専門用語が不十分」が38.8%、「ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は問題ない」が37.6%だった。

在留資格別にみると、「特定活動（EPA介護福祉士）」では、「専門用語が不十分」の割合が69.6%となっている。

図表 2-54 事業所調査票②Q2-3 在留資格別 介護記録等、業務上の文書を読む能力

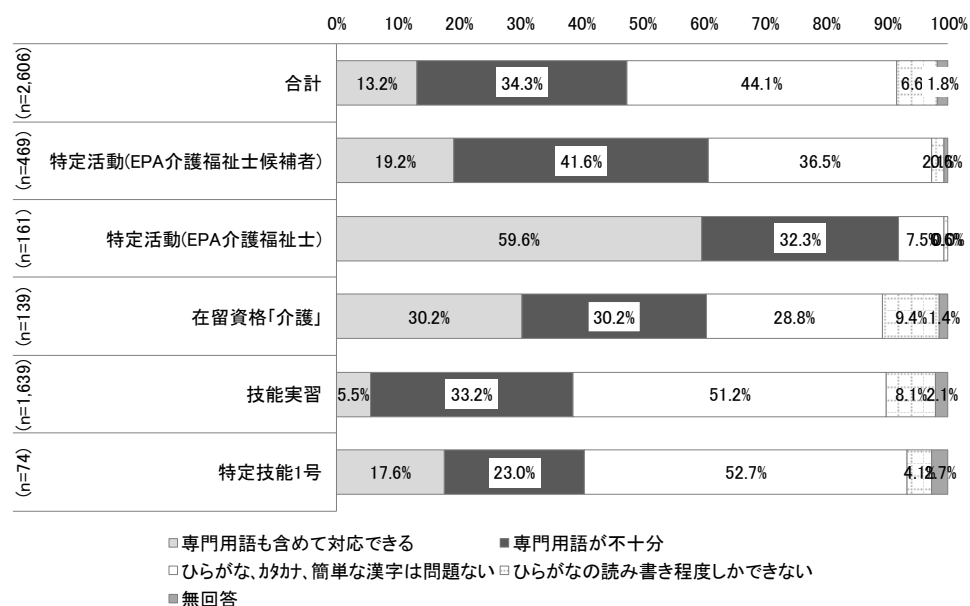


v) 介護記録等、業務上の文書を書く能力

業務上の文書を書く能力は、「専門用語が不十分」が34.3%、「ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は問題ない」が44.1%だった。

在留資格別にみると、「特定活動（EPA介護福祉士）」では「専門用語も含めて対応できる」の割合が59.6%となっている。

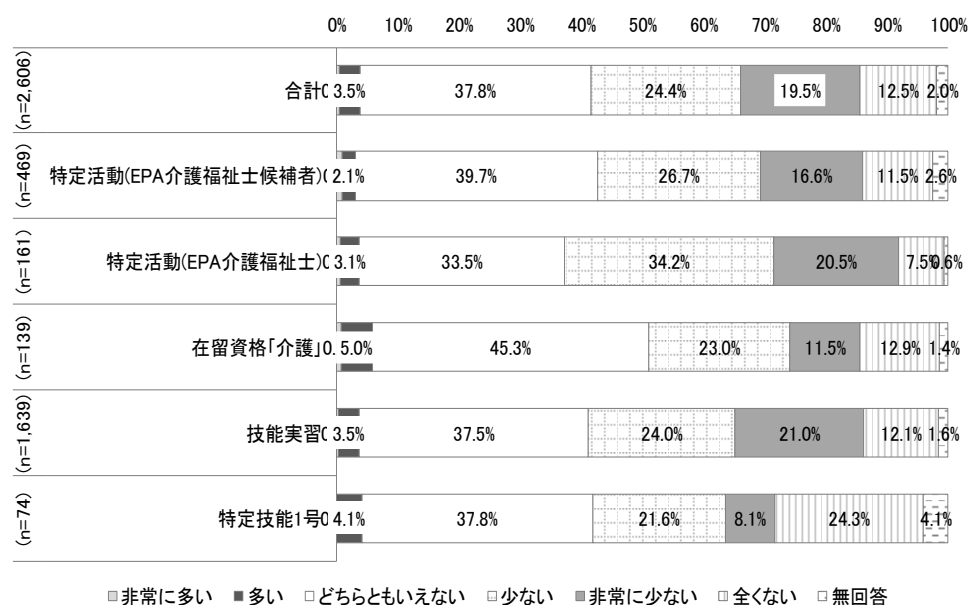
図表 2-55 事業所調査票②Q2-4 在留資格別 介護記録等、業務上の文書を書く能力



vi) ヒヤリハットの数

ヒヤリハットの数は、「どちらともいえない」が37.8%となっている。

図表 2-56 事業所調査票②Q2-5 在留資格別 ヒヤリハットの数

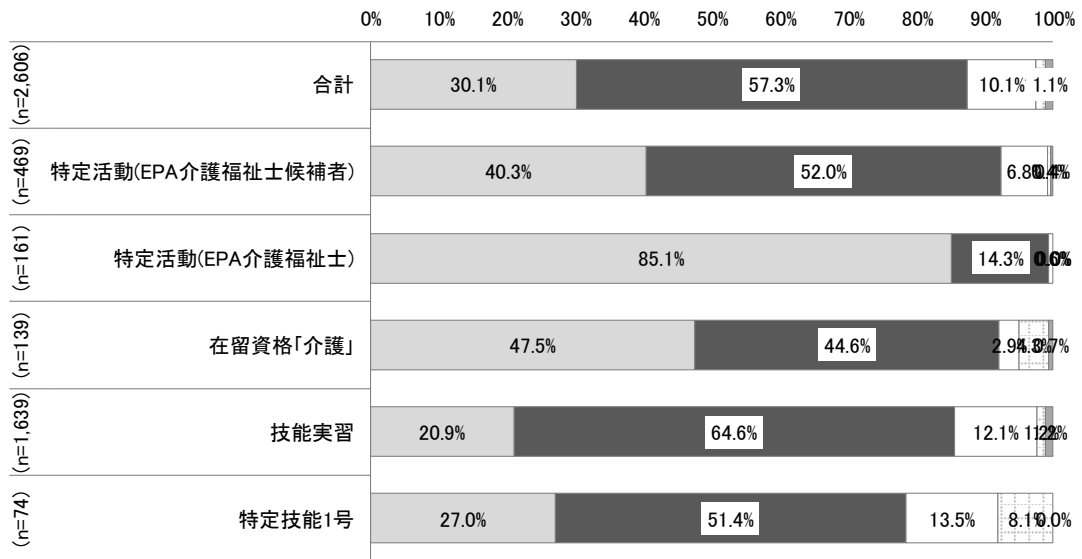


vii) 現在の直接介助のスキル

現在の直接介助のスキルは、「ひとりで対応することができる」が30.1%、「場合によってはフォローが必要」が57.3%だった。

在留資格別にみると、「特定活動（EPA介護福祉士）」は「ひとりで対応することができる」が85.1%になっている。

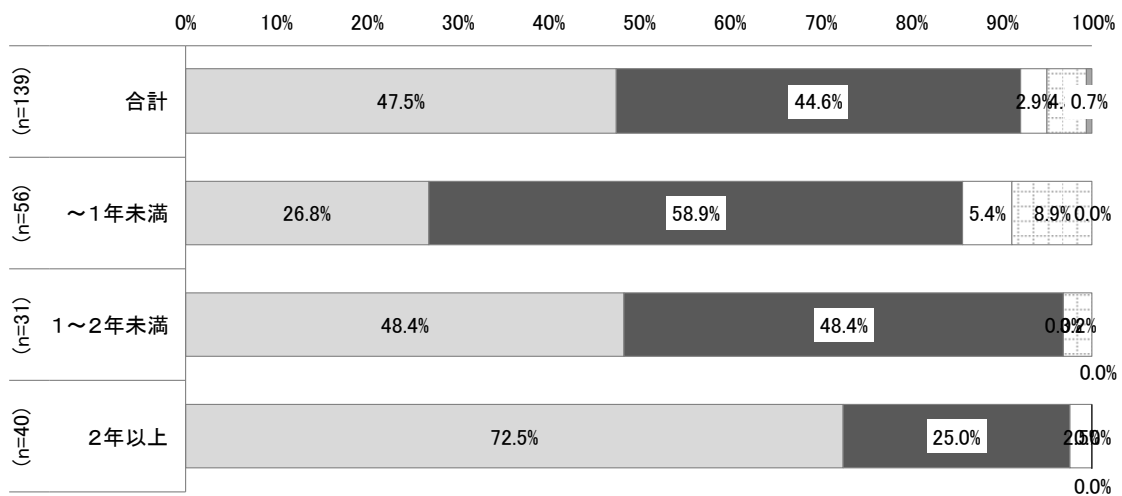
図表 2-57 事業所調査票②Q2-6 在留資格別 現在の直接介助のスキル



□ひとりで対応することができる ■場合によってはフォローが必要 □多くの場合ではフォローが必要
□他の職員の付き添いが必要 ■無回答

図表 2-58 事業所調査票②Q2-6 施設・事業所での就労期間別

現在の直接介助のスキル(在留資格「介護」)

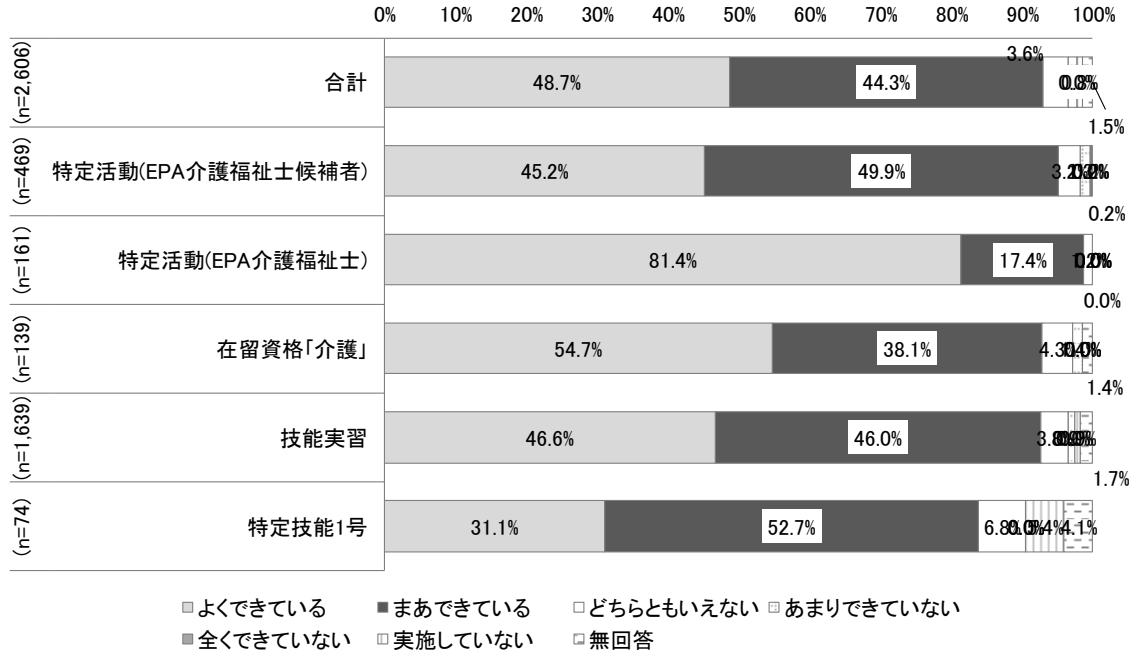


□ひとりで対応することができる ■場合によってはフォローが必要 □多くの場合ではフォローが必要
□他の職員の付き添いが必要 ■無回答

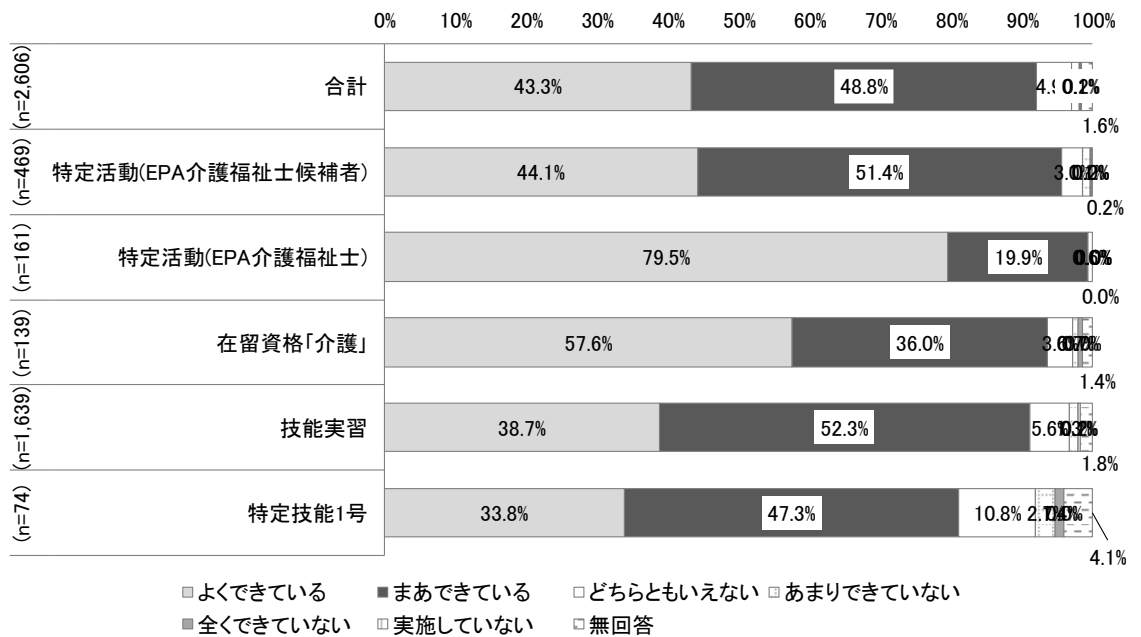
viii) 個別の介護業務についての評価

いずれの業務においても「特定活動（EPA介護福祉士）」に対する評価が高い。

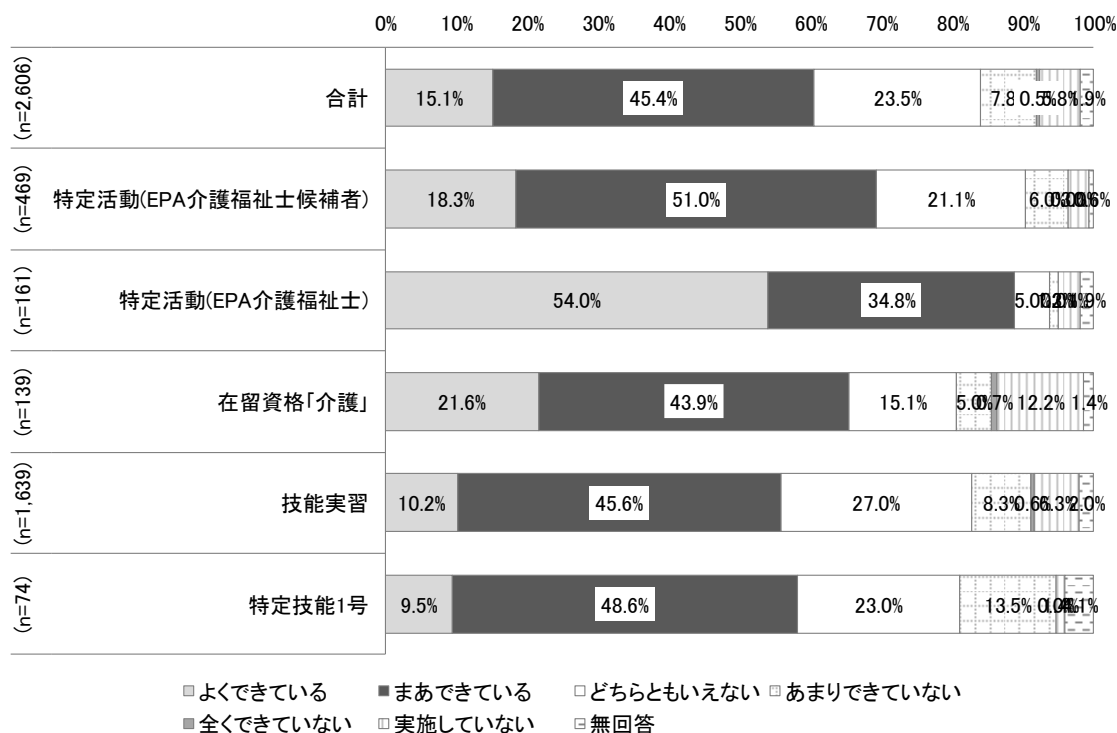
図表 2-59 事業所調査票②3-1 在留資格別 生活援助



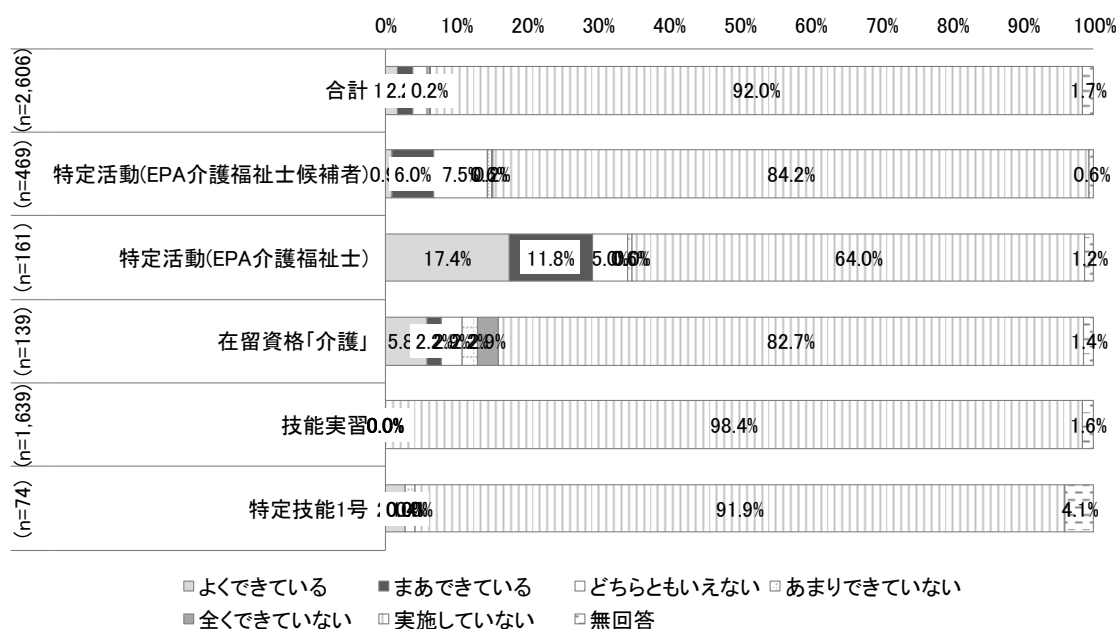
図表 2-60 事業所調査票②3-2 在留資格別 身体介護



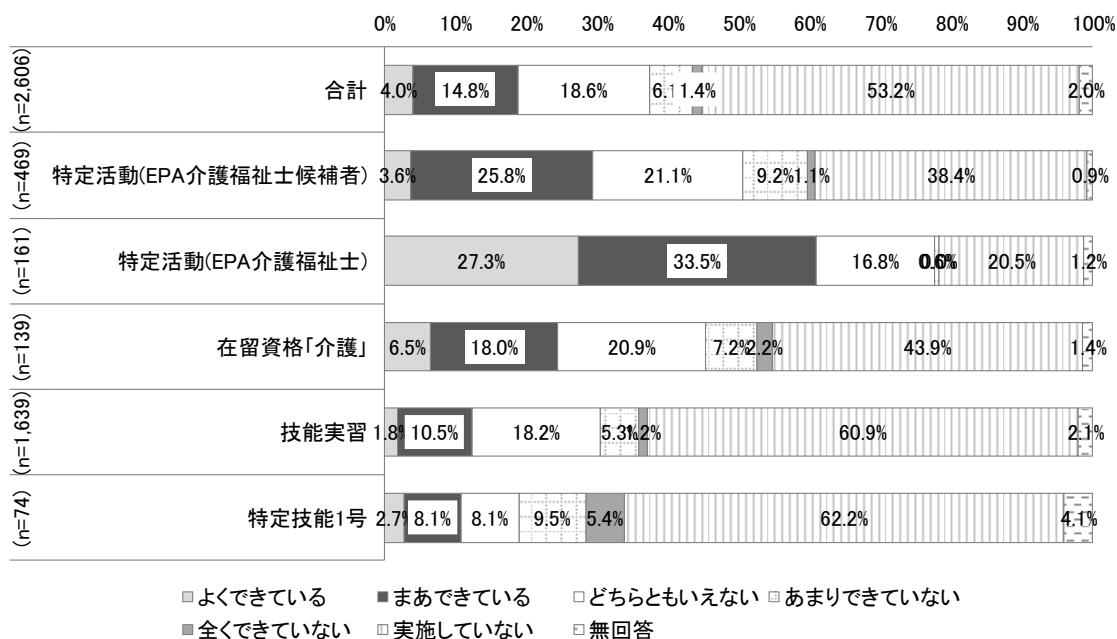
図表 2-61 事業所調査票②3-3 在留資格別 認知症ケア



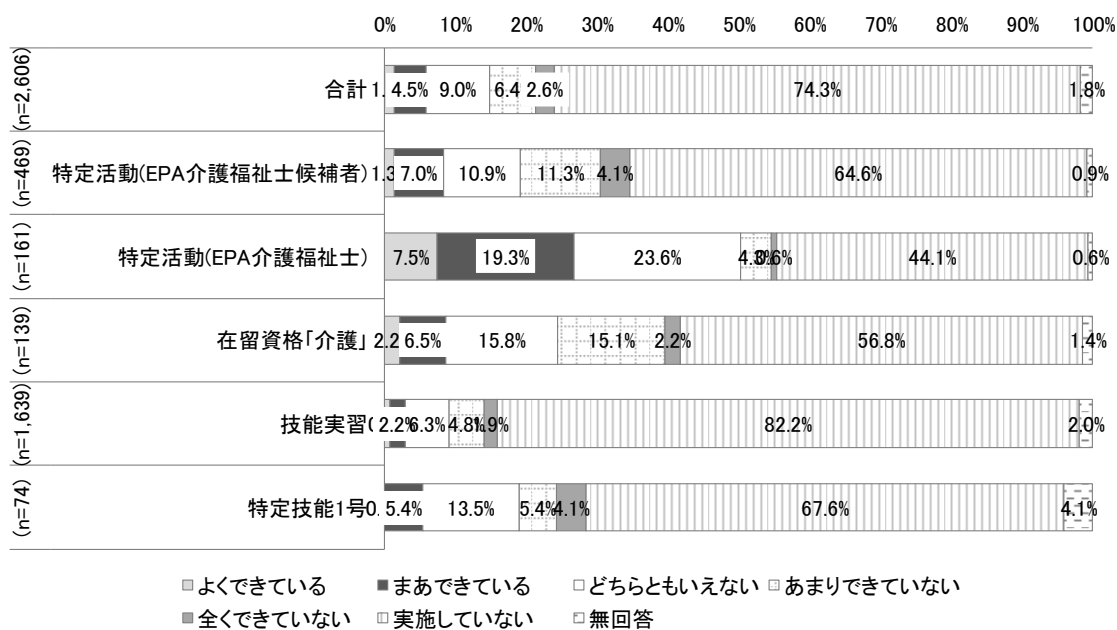
図表 2-62 事業所調査票②3-4 医療的ケア(喀痰吸引、経管栄養)



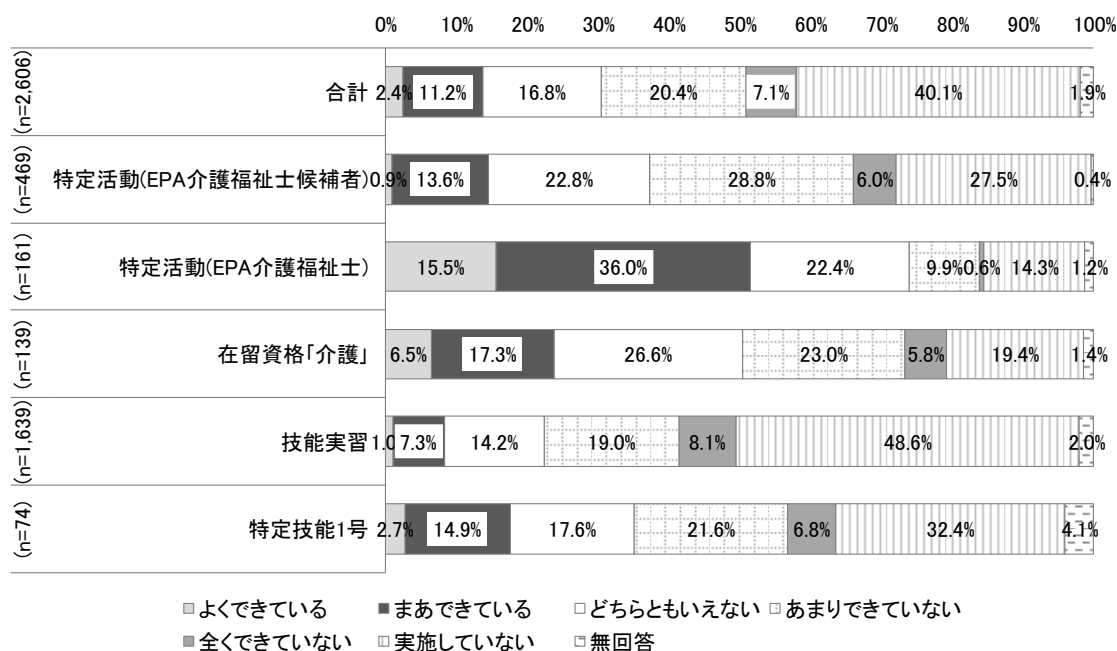
図表 2-63 事業所調査票②3-5 終末期ケア



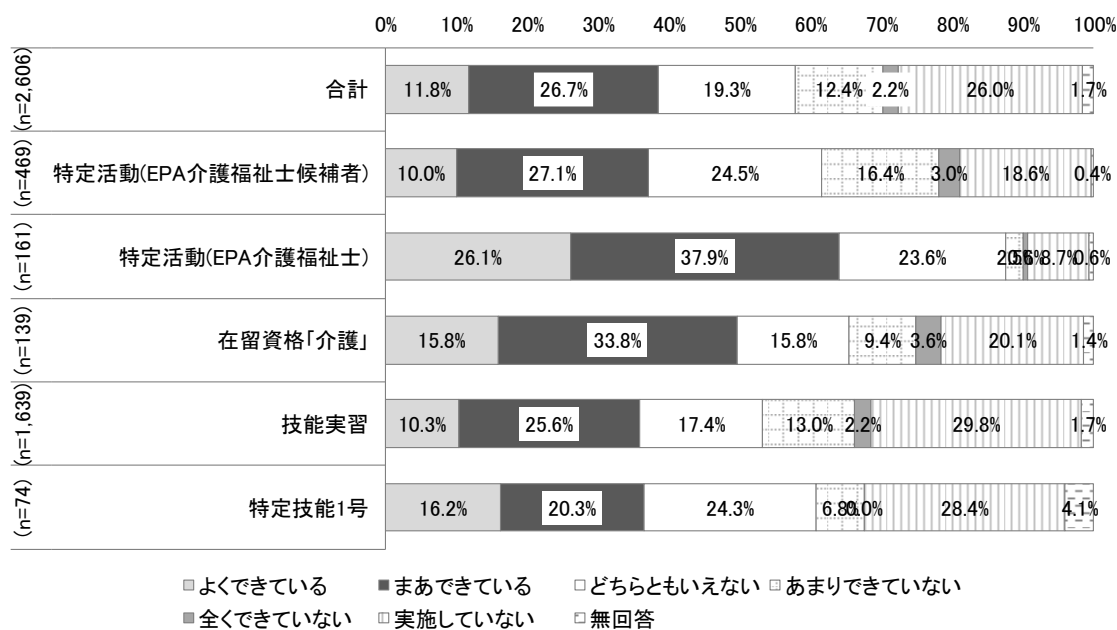
図表 2-64 事業所調査票②3-6 介護計画の作成・見直し



図表 2-65 事業所調査票②3-7 ケース会議やカンファレンスでの発言



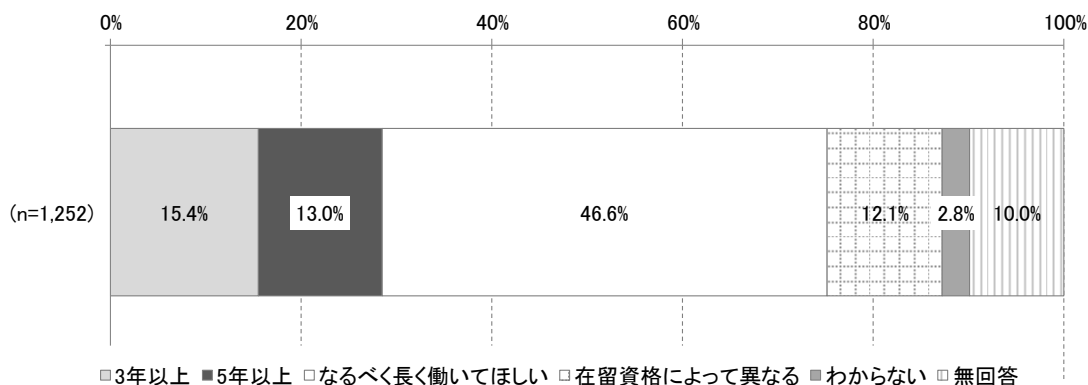
図表 2-66 事業所調査票②3-8 レクリエーションの運営や進行



③ 今後の期待

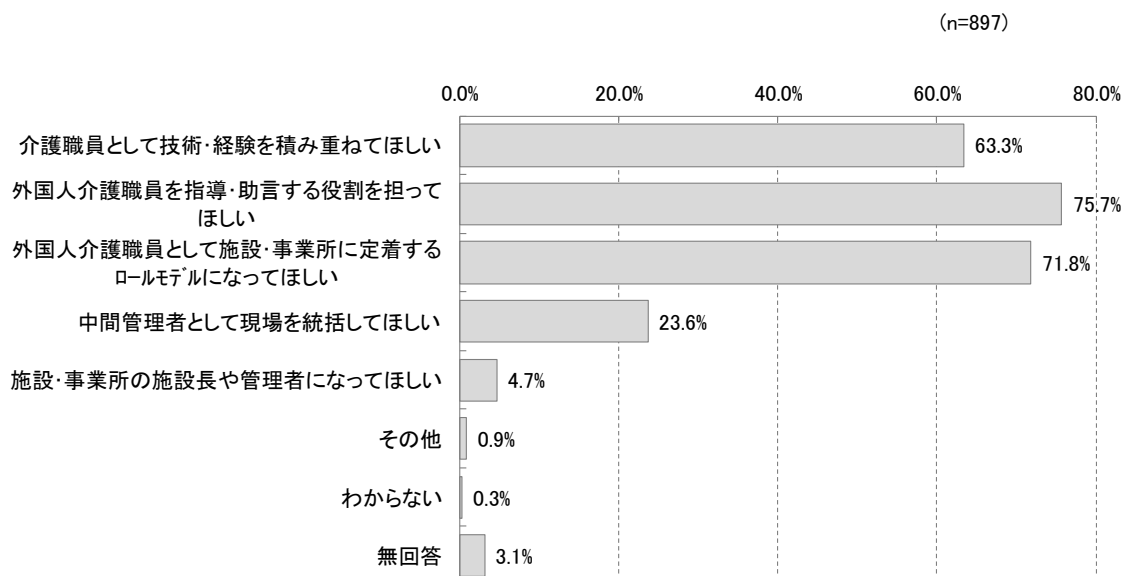
現在受け入れている外国人職員について、働いてほしい年数を尋ねたところ、「なるべく長く働いてほしい」の割合が最も高く 46.6%となっている。次いで、「3年以上 (15.4%)」、「5年以上 (13.0%)」となっている。

図表 2-67 問 23 外国人介護職員に働いてほしい年数



外国人介護職員に5年以上働いてほしいと回答した事業所が、将来、外国人介護職員に期待する職位や役割は、「外国人介護職員を指導・助言する役割を担ってほしい」の割合が最も高く 75.7%となっている。次いで、「外国人介護職員として施設・事業所に定着するロールモデルになってほしい (71.8%)」、「介護職員として技術・経験を積み重ねてほしい (63.3%)」となっている。

図表 2-68 問 23-1 将来、外国人介護職員に期待する職位や役割(複数回答)



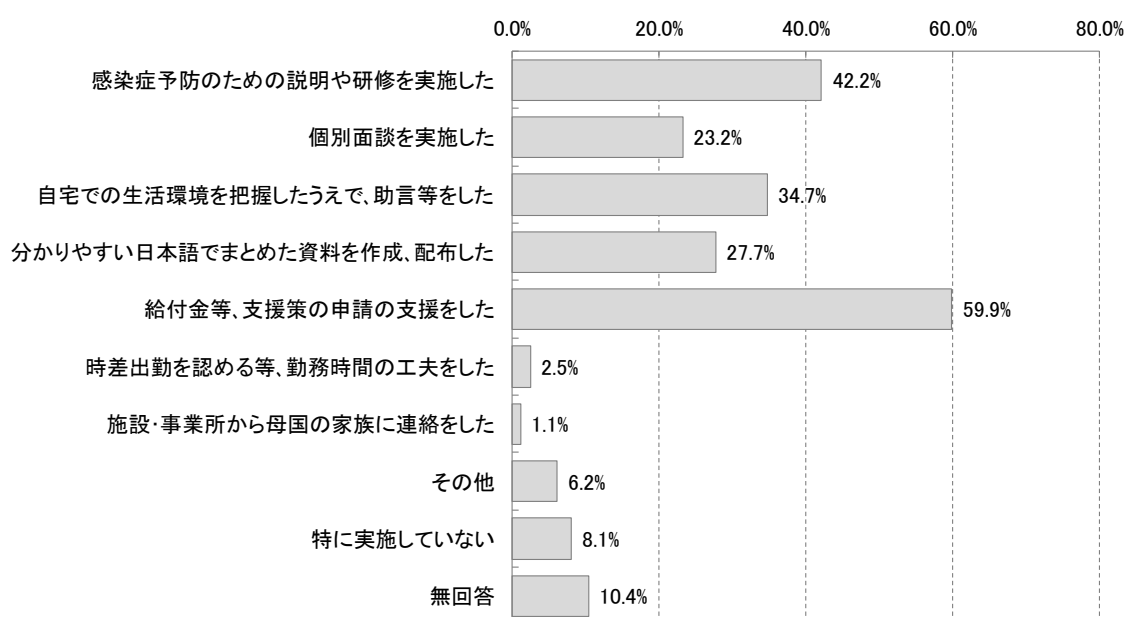
(8) 新型コロナウイルス感染症への対応

① 外国人介護職員への対応

「給付金等、支援策の申請の支援をした」の割合が最も高く 56.9%となっている。次いで、「感染症予防のための説明や研修を実施した (42.2%)」、「自宅での生活環境を把握したうえで、助言等をした (34.7%)」となっている。

図表 2-69 Q24 COVID-19 の影響を踏まえて、外国人介護職員に実施した対応 (複数回答)

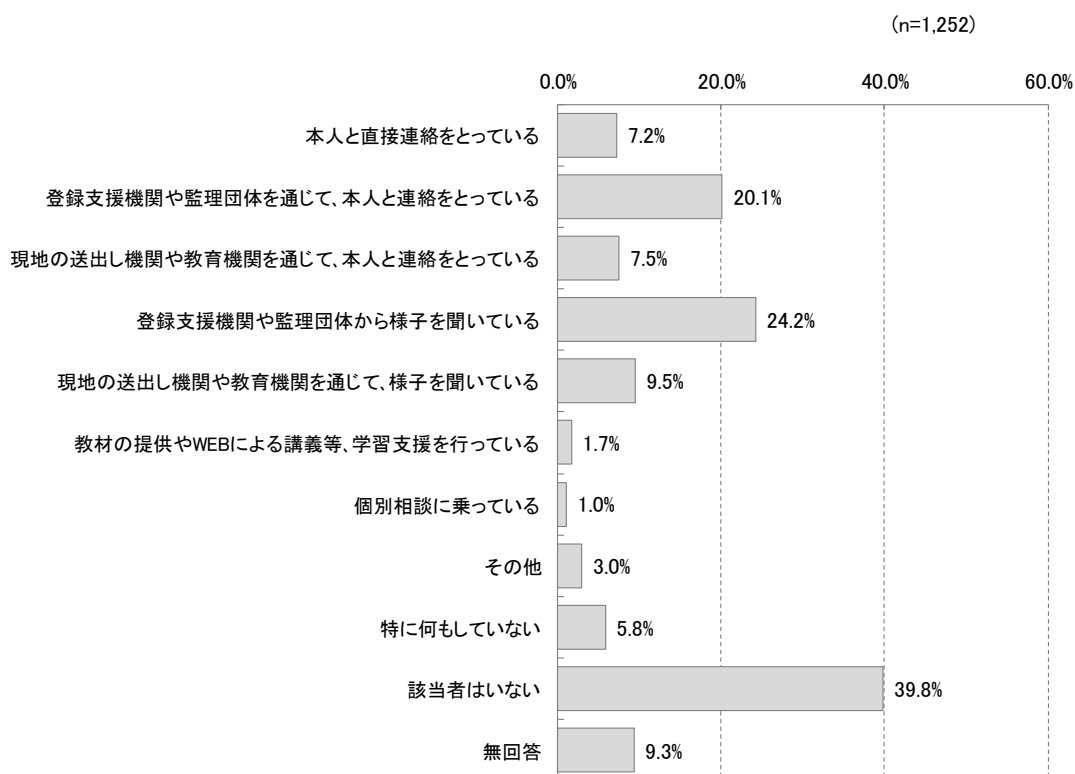
(n=1,252)



② 新型コロナウイルスの影響で入国できない外国人職員への対応

「該当者はいない」を除くと、「登録支援機関や監理団体から様子を聞いている (24.2%)」、「登録支援機関や監理団体を通じて、本人と連絡をとっている (20.1%)」となっている。

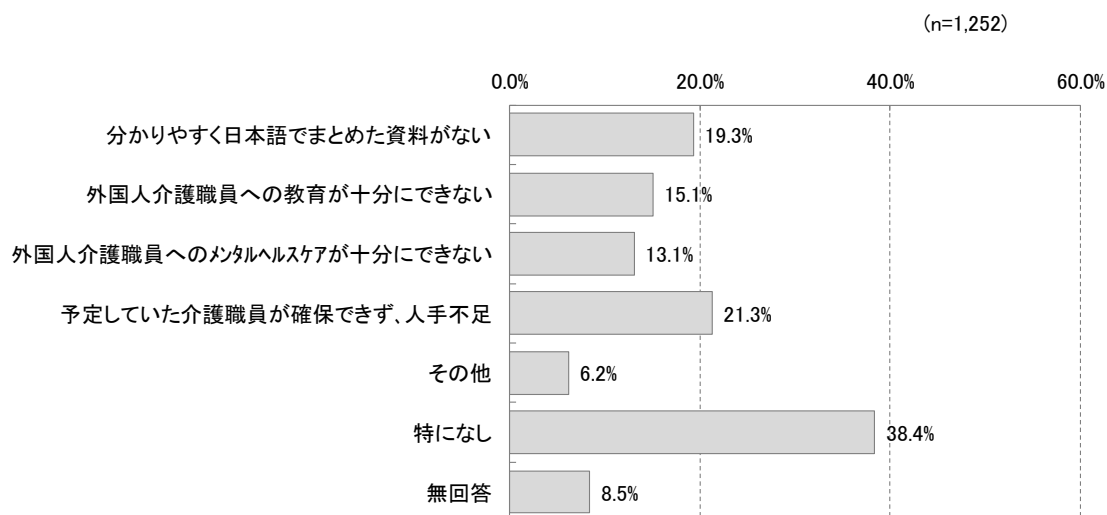
図表 2-70 問 25 COVID-19 の影響で入国できない外国人介護職員への対応(複数回答)



③ 新型コロナウイルスの影響による課題、支援を必要としていること

「特になし」の割合が最も高く38.4%となっている。次いで、「分かりやすく日本語でまとめた資料がない(19.3%)」、「予定していた介護職員が確保できず、人手不足(21.3%)」となっている。

図表 2-71 問 26 COVID-19 の影響での課題、支援を必要としていること(複数回答)



<「その他」回答>

(母国語で記載された資料の不足)

- ・感染予防に関する母国語資料がない。
- ・情報をまとめて、ベトナム語にした資料がない。
- ・中国語でまとめた資料がない。
- ・母国語でまとめた資料がない。
- ・感染症予防に関する情報を分かりやすく母国語でまとめた資料がない。
- ・母国語で対応した資料があるとわかる。

(メンタルケア)

- ・一時帰国ができず、メンタル面での心配がある。
- ・メンタルケアが難しい。
- ・母国への帰国が難しく不安になっている。
- ・技能実習生を母国に帰してあげられないこと。

(職場や地域との交流の機会の不足)

- ・地域交流活動や、日本の文化や風習に対しての活動が出来ずにいる。

- ・新型コロナウイルス感染予防の為、職場以外での交流の機会を設けられないこと。
- ・日本語教室への参加ができない。日本の文化に接触させてあげられない。
- ・技能実習生が日本の文化に親しむ機会が少なくなった。
- ・他事業所で受入れている実習生や同胞との交流ができない。(イベントや会食など)
- ・歓迎会や懇親会を開催してあげられない
- ・グループ内の他事業所とのコミュニケーションがとれず、メンタル的にダメージがあるかと思われる。
- ・どこにも遠方に行けない。
- ・入国ができていない。今いる外国人介護職員と交流を深めにくい。

(法人・事業所の費用負担)

- ・コロナの影響は外国人に限っての事ではないのですが、入国後2週間のレジデンストラック費用はかなり負担が大きいです。

(受入れの準備、人員計画への影響)

- ・一時帰国後の再入国ができない。(EPA介護福祉士候補者)
- ・入国予定が分からず、受け入れ準備がすすまない。
- ・1月に来るので実際にどのくらいコミュニケーションをとれるか心配だが、毎月Zoomで連絡をとっていたし、実際に面接をして採用したので人なりはわかっているが、どのような指導をしたら伝わるのか今は不安。
- ・入国の目処が立たない。
- ・2021年度の人員確保の再調整が必要となる。
- ・今後の見通しが立たなくなった。安心かつスムーズな往来ができるようお願いしたい。
- ・母国での日本語検定試験が中止になっており、試験が受けられない事情が続いている。
- ・スケジュールの再三の変更への対応、それによるコスト増

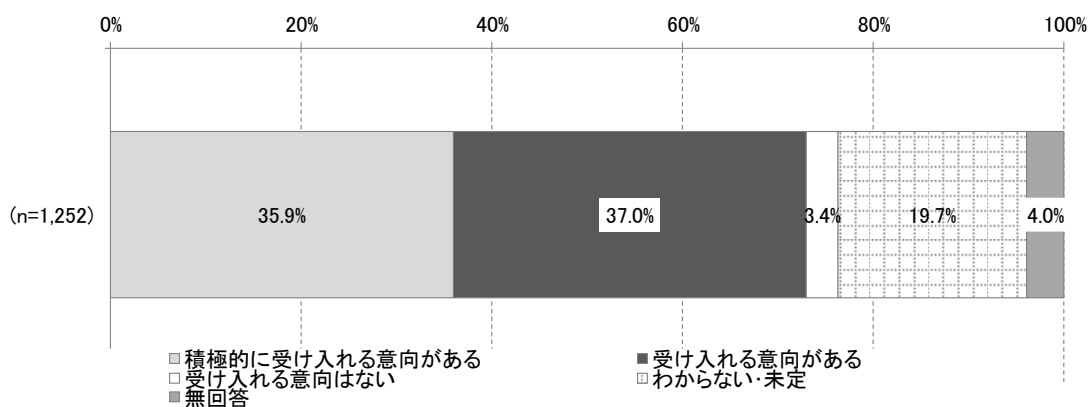
(9) 外国人介護職員の今後の受入れ意向

① 今後3年間の受入れ意向

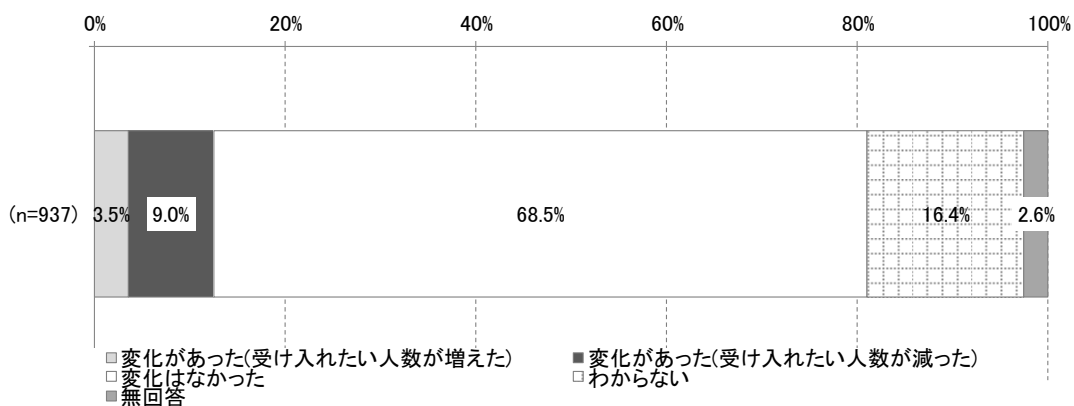
「積極的に受け入れる意向がある」が35.9%、「受け入れる意向がある」が37.0%となっている。

新型コロナウイルスの影響による変化については、「変化はなかった」の割合が最も高く68.5%となっている。

図表 2-72 問 27 今後3年間の外国人介護職員の受入れ意向

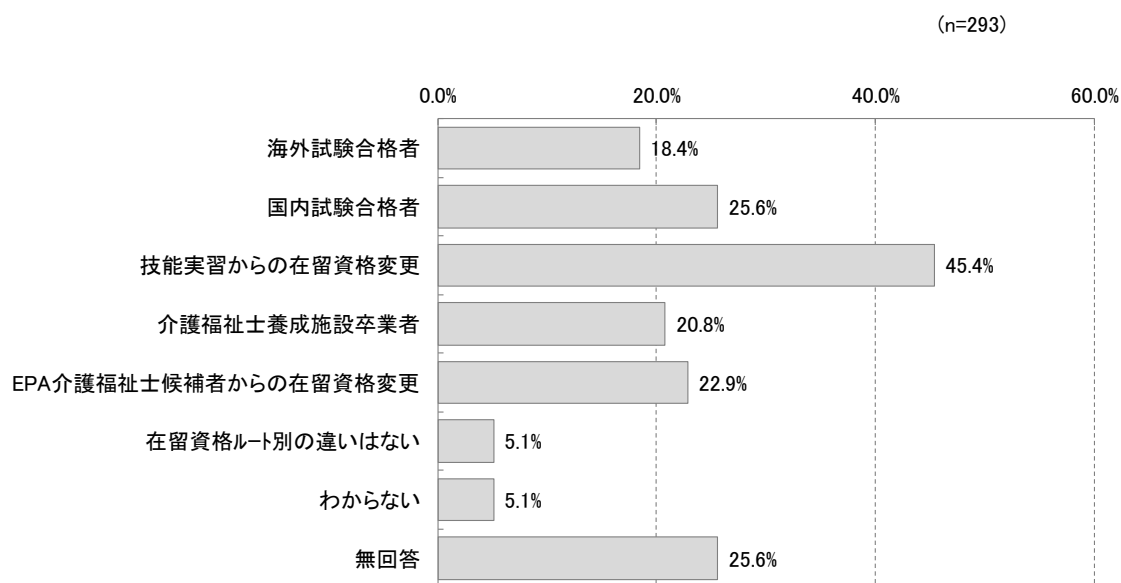


図表 2-73 問 27-1 COVID-19の影響による今後3年間の外国人介護職員の受入れ意向の変化



特定技能外国人を「1人以上」受け入れたいと回答した事業所に、どのようなプロセスで在留資格「特定技能」を得た方を受け入れたいかを尋ねたところ、「技能実習からの在留資格変更」の割合が最も高く45.4%となっている。次いで、「国内試験合格者(25.6%)」、「海外試験合格者(18.4%)」となっている。

図表 2-74 問 28-1 どのようなプロセスで在留資格「特定技能」を得た人材を受け入れたいか(複数回答)



第3章 外国人介護職員向けアンケート調査

1. 調査実施概要

(1) 調査の目的

外国人介護職員の4つの受入れルートで入国・在留している外国人介護職員本人に対して、従事する職務内容、介護知識・技能及び日本語能力の実態、育成や支援の取組み、今後の働き方やキャリア形成の考え等について定量的に実態を把握するためにアンケート調査を実施する。

(2) 調査対象

EPA介護職員、在留資格「介護」を取得した外国人介護職員、介護職種で技能実習を行う技能実習生、介護分野で就労する特定技能外国人。

(3) 調査方法

事業所調査とともに、外国人職員本人調査票（以下、本人調査票という。）を同封し、上記の調査対象に該当する外国人介護職員に対して調査票を配布してもらった。言語は、日本語版と英語版で実施した。なお、回収は、原則本人から直接返送してもらった。

(4) 調査実施期間

令和2年11月4日～令和2年12月11日

(5) 調査項目

- ・ 本人の属性（在留資格、性別、国籍、日本における滞在期間）
- ・ 職歴やこれまでのキャリア（来日前の状況の整理）
- ・ 来日時及び現在の日本語能力
- ・ 現在の就労・実習先の満足度
- ・ 送金の有無
- ・ 近隣の日本人住民との関わり
- ・ 最近1年間で困ったこと、新型コロナウイルス感染症に関して困ったこと
- ・ 今後の進路（1-2年後、5年後の展望） など

(6) 回収結果

合計 1,057 施設、2,472 人の有効回答があった。事業所別回答人数が 4 人以下の施設で、95.4%を占める。なお、事業所調査票配付数が 5,515 件（宛先不明による返送分を除いた件数）のため、事業所基準の回収率は 19.2%。

事業所別回答人数	事業所数	人数
1 人	287 事業所	287
2 人	395 事業所	790
3 人	229 事業所	687
4 人	97 事業所	388
5 人	21 事業所	105
6 人	11 事業所	66
7 人	5 事業所	35
8 人	5 事業所	40
9 人	2 事業所	18
10 人	1 事業所	10
11 人	2 事業所	22
12 人	2 事業所	24
合計	1,057 事業所	2,472人

2. 調査結果概要

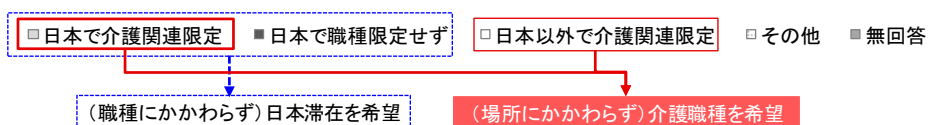
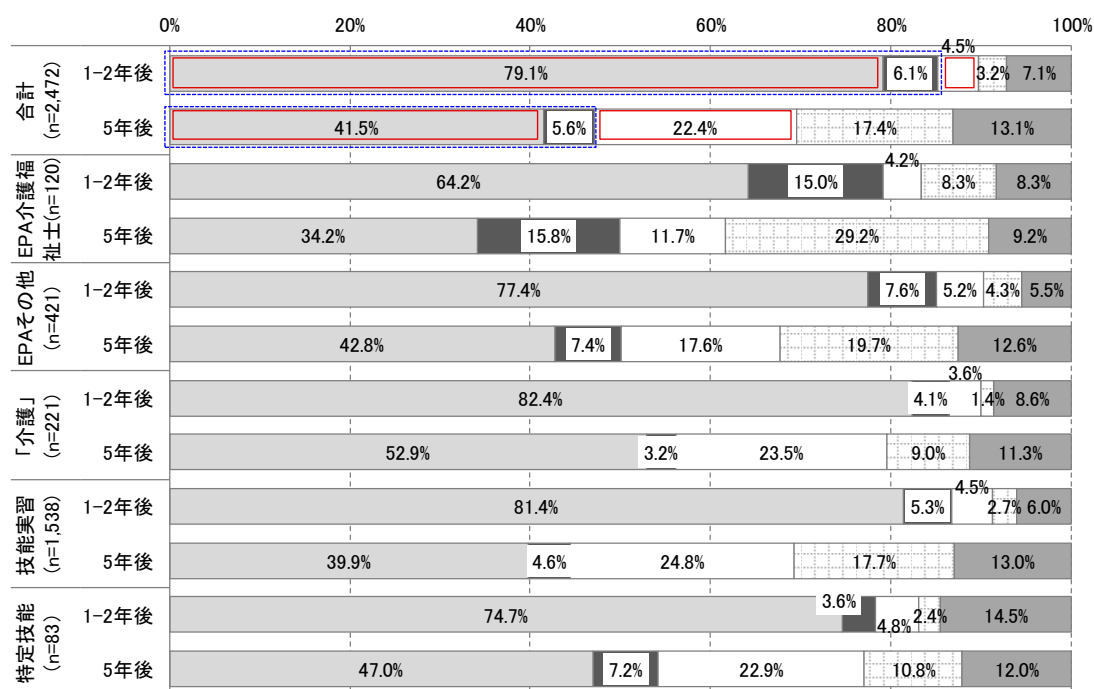
(1) 将来展望と要因分析

※問番号は、調査票の番号（調査票上では、「問」を「Q」と表記）

① 将来自分が住む場所と希望する仕事内容の関係

- 1-2年後は、「日本で介護関連の仕事をしていきたい」という回答が、全体で79.1%と最も高くなっている。
- 5年後は、「日本で介護関連の仕事をしていきたい」が、全体で41.5%と最も高くなっており、次いで「日本以外で介護関連の仕事をしていきたい」が、22.4%となっている。
- 在留資格別では、「日本で介護関連の仕事をしていきたい」という回答について、1-2年後、5年後ともに「介護」が最も高くなっている（それぞれ、82.4%、52.9%）。

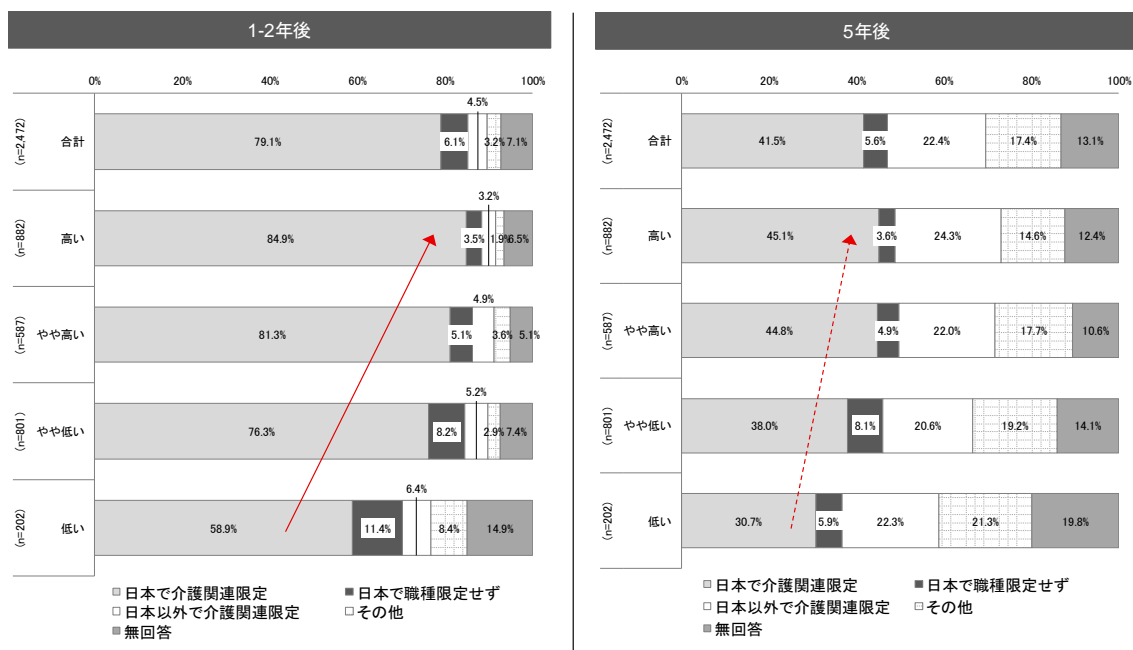
図表 3-1 自分が住む場所と希望する仕事内容の関係(在留資格別)



② 職場満足度と将来の希望

- 1-2年後、5年後ともに、就労条件の満足度が高いほど、「日本で介護関連に限って就労したい」と考えている割合が高くなる傾向がみられ、特にこの傾向は1-2年後の方が顕著にみられる。
- また、1-2年後では、就労条件の満足度が高いほど、「日本で職種を限定せずに働きたい」と考える割合が低くなる傾向がみられる。

図表 3-2 就労条件満足度と将来の希望



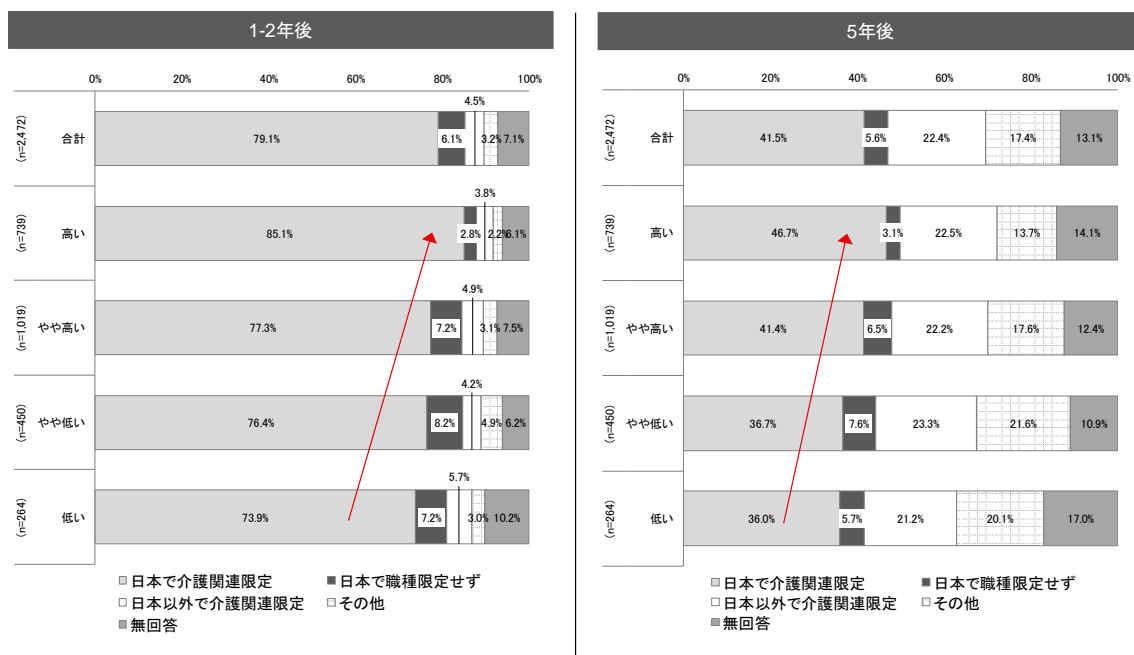
(注) 就労条件満足度 (問 19)

①給料、②休日の取りやすさ、③労働時間、④利用者との関係、⑤施設の職員との関係 の5項目について、「満足」を4点、「やや満足」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点として換算した後、5項目の点数を合計し、集計した(20点満点、分布を勘案し順序化)。

③ 施設からの各種支援満足度と将来の希望

- 1-2年後、5年後ともに、施設・事業所からの各種支援への満足度が高いほど、「日本で介護関連に就労したい」と考えている割合が高くなる傾向がみられ、1-2年後では85.1%、5年後では46.7%となっている。
- また、5年後では、施設・事業所からの各種支援への満足度が高いほど、「日本以外で介護関連に就労したい」と考えている割合も最も高くなっている。

図表 3-3 施設からの各種支援満足度と将来の希望



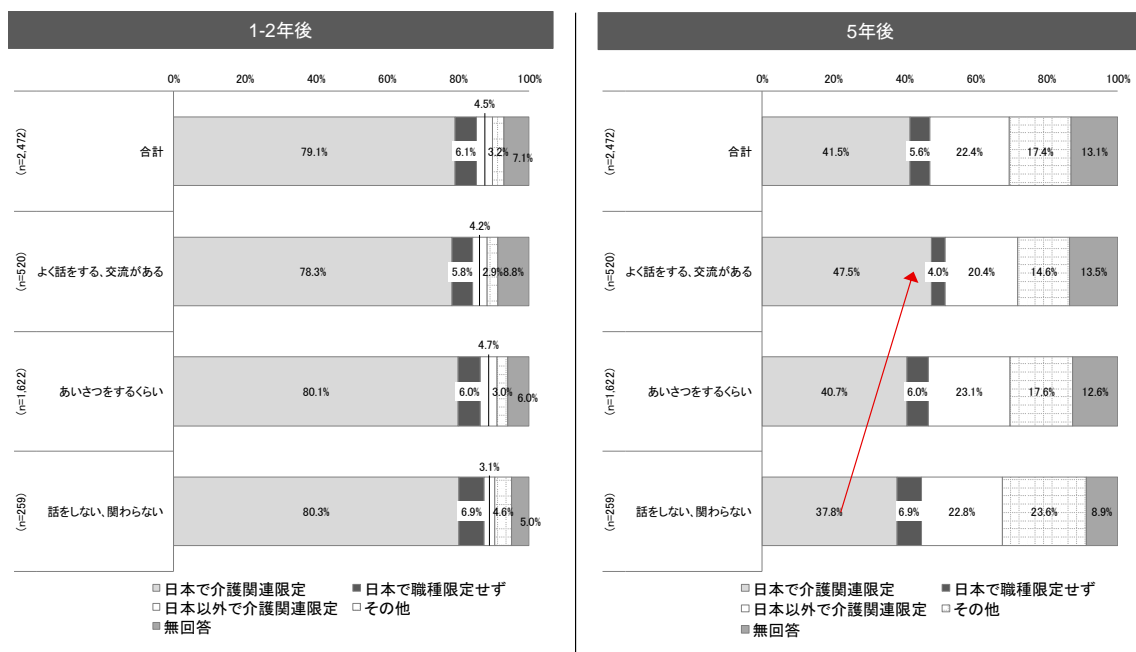
(注) 施設からの各種支援満足度 (問 19)

⑥日本語の勉強への支援、⑦介護の技術・能力を高める研修・支援、⑧将来のキャリアに関する説明・支援、⑨家族への支援、⑩まわりの日本人と交流する機会、⑪自分の国や文化を教える機会 の6項目について、「満足」を4点、「やや満足」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点、「受けていない、機会がない」を0点として換算した後、6項目の点数を合計し、集計した(24点満点、分布を勘案し順序化)。

④ 地域の関わりと将来の希望

- 地域の日本人住民との交流度合いと将来の希望について、1-2年後では明確な相関関係はみられない。
- だが、5年後には、「日本で介護関連に限って就労したい」と考えている割合について、地域の日本人住民と関わっている層ほど、割合が高まる傾向が顕著にみられており、地域住民との関わりは中長期的な定着面で効果があることがうかがわれる。

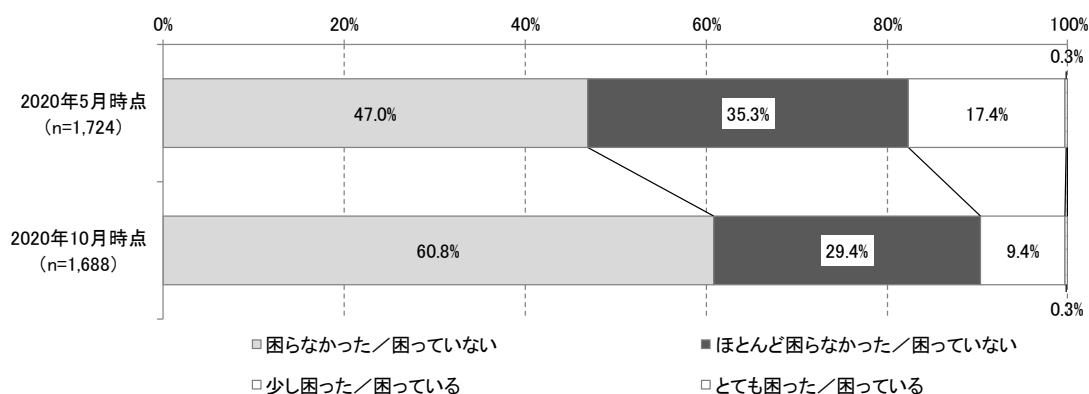
図表 3-4 地域の日本人との関わり度合いと将来の希望



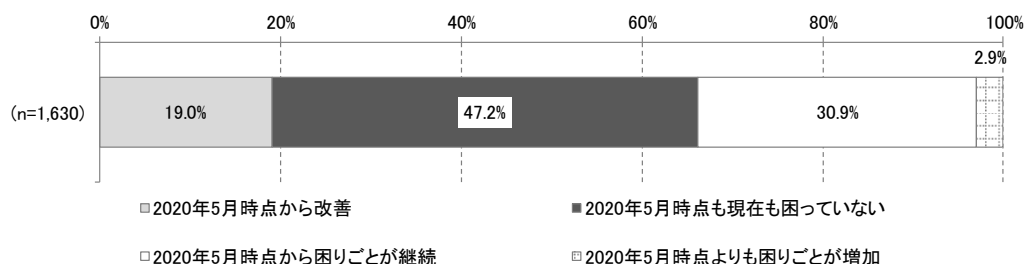
(2) 新型コロナウイルス感染症の影響による困りごと

- 新型コロナウイルス感染症の影響による困りごととして、緊急事態宣言が発令されていた2020年5月時点と、調査実施の2020年10月時点を比較したところ、全体として、「困らなかった／困っていない」と回答する割合が、2020年5月時点（47.0％）に比べて、2020年10月時点（60.8％）が増加している。
- また、2020年5月と10月時点の困りごとの状況を比較すると、2020年10月時点において、「2020年5月から改善」が19.0％、「2020年5月時点も現在（2020年10月時点）も困っていない」が47.2％となっている一方、「2020年5月時点から困りごとが継続」（30.9％）もしくは「2020年5月時点よりも困りごとが増加」（2.9％）の割合も33.8％ある。

図表 3-5 新型コロナウイルス感染症の影響による困りごとの状況（推移）
（2020年5月・10月比較、無回答除く）



図表 3-6 新型コロナウイルス感染症の影響による困りごとの状況（変化）
（2020年5月・10月比較、無回答除く）



（注）新型コロナウイルス感染症の影響による困りごとの状況（問 25）

1.信頼できる情報がどこにあるかわからない、2.感染症や予防に関する日本語が難しい 3.困ったときに頼れる人がいない 4.支援策があっても、日本語なので申請方法がわからない 5.働く時間が減った 6.給料が減った 7.休みがとりにくくなった、忙しくなった 8.そのほか 8項目について、困った／困っていると回答した数を合計した、集計した（困りごとなし：困らなかった／困っていない、困りごと1つ：ほとんど困らなかった／困っていない、困りごと2-4つ：少し困った／困っている、困りごと5つ以上：とても困った／困っている）。

(3) 在留資格別の状況

① EPA 介護福祉士

- 日本居住期間は5年以上が76.7%、現在就労する施設・事業所での期間は5年以上が65.8%となっており、また年齢層も30-39歳が66.7%となっている。
- 介護知識・技能の自己評価、場面別の日本語レベルともに、他の在留資格に比べて最も高く、また同時に給与レベルも最も高くなっている。日本語の自主学習の方法も、「自分で勉強の目標を決めている」(55.0%)が他の在留資格に比べて最も高くなっている。

② EPA その他

- 国籍別では多い順にフィリピン、インドネシア、ベトナムとなっている。日本居住期間は、1年以上3年未満が67.9%を占めており、EPA 介護福祉士候補者が大半を占めている。そのため、介護福祉士国家試験の受験意向ありは、92.4%と他の在留資格に比べて、最も高くなっている。
- 母国での日本の介護についての勉強方法は、「日本から先生がきて、教えてもらった」の割合が61.0%と、他の在留資格に比べて最も高くなっている。

③ 「介護」

- 介護知識・技能に関する自己評価は、EPA 介護福祉士に次いで2番目に高い結果となっている。
- 「日本で介護関連の仕事をしていきたい」という回答について、1-2年後、5年後ともに「介護」が最も高くなっている(それぞれ、82.4%、52.9%)。

④ 技能実習

- 日本で介護の仕事をしたと思った理由は、「日本語を学びたいから」(76.5%)、「日本の介護を学びたいから」(75.6%)が、それぞれ70%を超えており、他の在留資格よりも高くなっている。
- 相対的に給与水準が低い人が多い一方で、母国への送金額は多い傾向がうかがわれる。

⑤ 特定技能

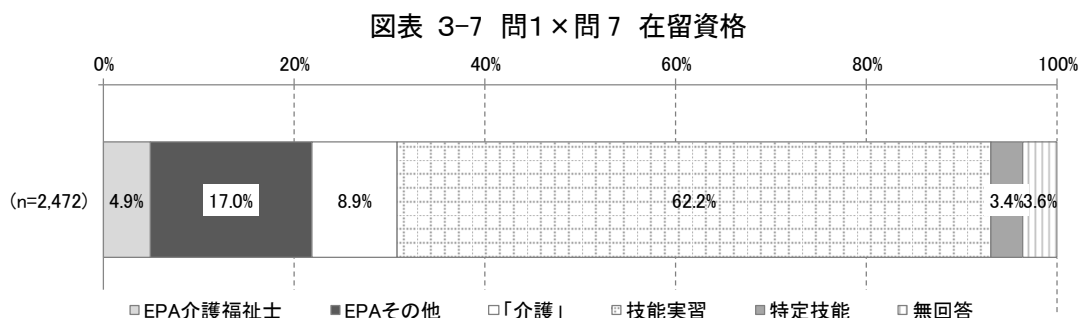
- 資格取得のルートは、「日本で試験を受けて合格した」が48.2%で最も高く、次いで「EPA 介護福祉士候補者の期間を4年間終えて、在留資格を変えた」が24.1%であった。「日本以外の国・地域で試験を受けて合格した」も22.9%いた。
- 「日本で介護関連の仕事をしていきたい」という回答について、5年後は「介護」に次いで、2番目に高い割合となっている。また、就労先変更意向について、「今、働いている施設・事業所でそのまま働きたい」の割合が1-2年後、5年後ともに、他の在留資格に比べて最も高くなっている。

3. 調査結果

(1) 回答者の基本属性

① 在留資格

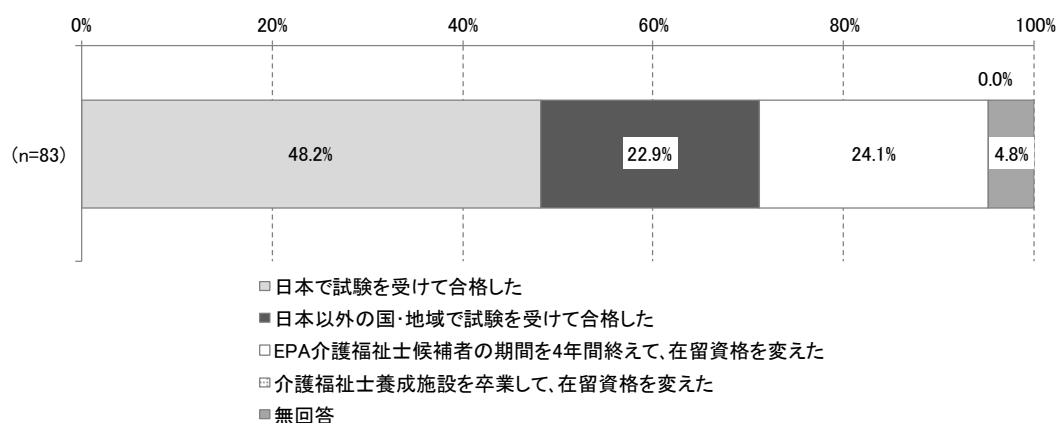
在留資格は、「EPA 介護福祉士」が 4.9%、「EPA その他」が 17.0%、「介護」が 8.9%、「技能実習」が 62.2%、「特定技能」が 3.4%だった。



(注) 「EPA その他」は、EPA 介護福祉士候補者及び介護福祉士国家試験不合格者。
EPA 介護福祉士と EPA その他の在留資格は特定活動。

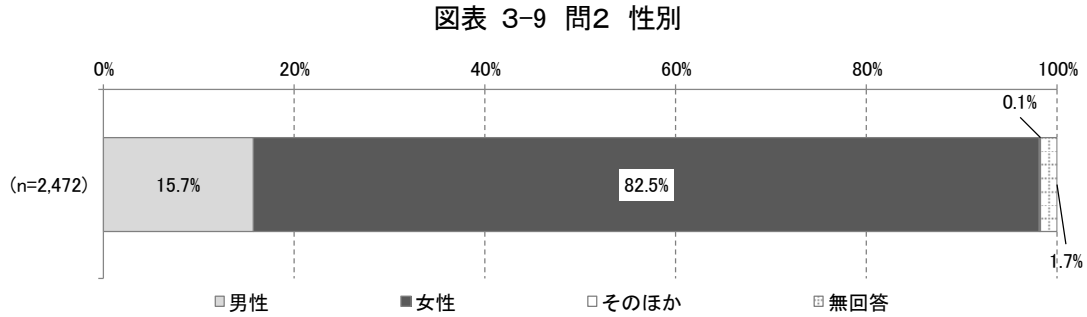
在留資格が「特定技能」と回答した人について、資格取得のルートは、「日本で試験を受けて合格した」が 48.2%で最も高く、次いで「EPA 介護福祉士候補者の期間を 4 年間終えて、在留資格を変えた」が 24.1%であった。「日本以外の国・地域で試験を受けて合格した」も 22.9%いた。

図表 3-8 問1付問 特定技能の資格取得ルート



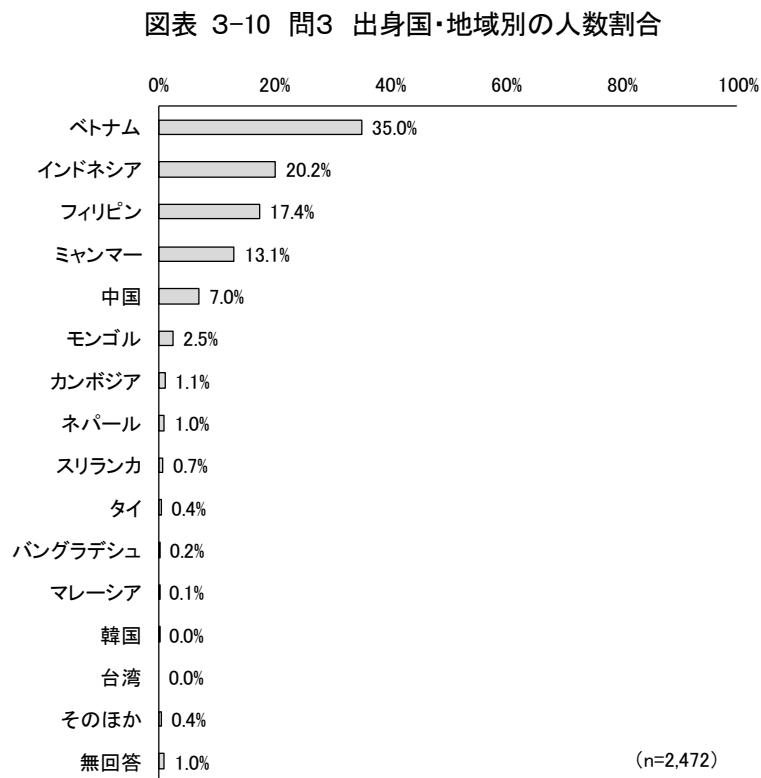
② 性別

性別は、「女性」が82.5%、「男性」が15.7%だった。



③ 出身国・地域別の人数割合

出身国・地域は、「ベトナム」が35.0%、「インドネシア」20.2%、「フィリピン」が17.4%で、上位3か国で72.6%を占めている。

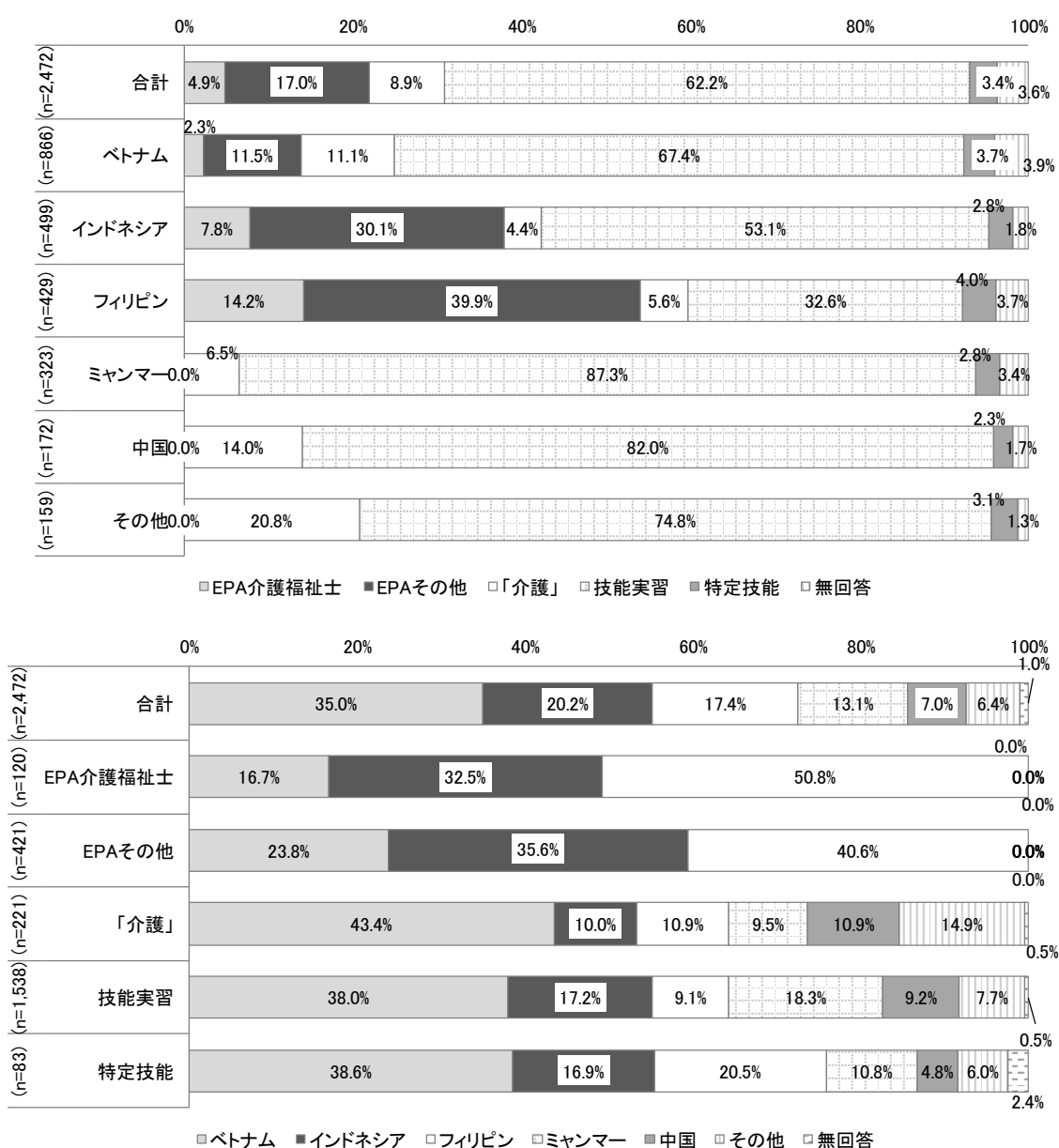


④ 出身国・地域（上位5か国）と在留資格の関係

出身国・地域別にみると、ベトナムとインドネシアは、「技能実習」が最も高い（それぞれ67.4%、53.1%）。フィリピンでは、EPA その他が最も高く39.9%となっている。ミャンマー、中国は、「技能実習」が8割以上を占めている。

在留資格別では、EPA 介護福祉士で「フィリピン」が50.8%で最も高く、「介護」で「ベトナム」が43.4%と約半数を占めている。技能実習、特定技能でもベトナムが最も高くなっている（それぞれ38.0%、38.6%）。

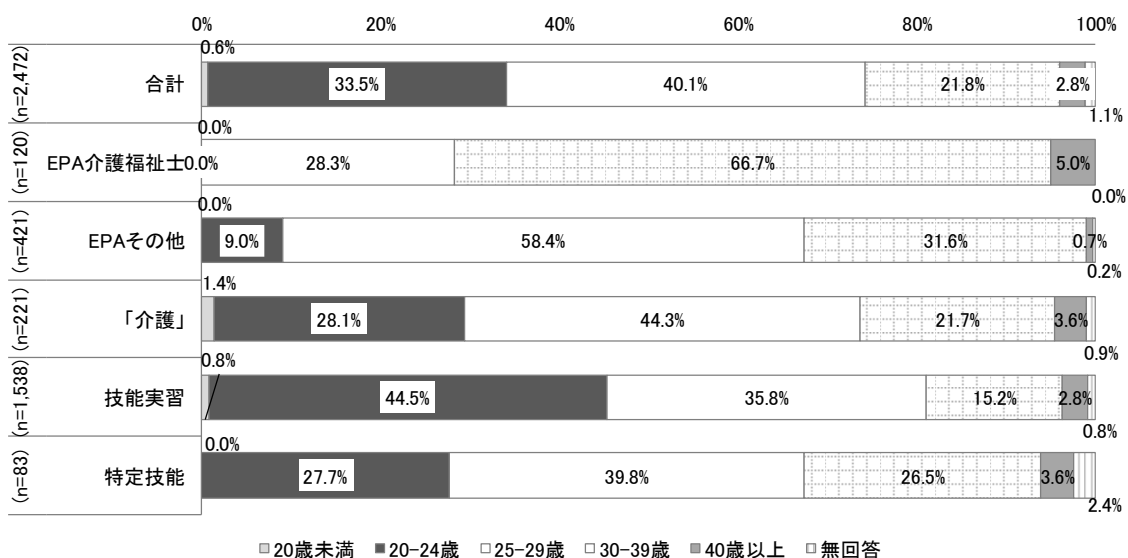
図表 3-11 問3 出身国・地域(上位5か国)と、在留資格の関係



⑤ 年齢

全体では、「25-29歳」が最も高く40.1%、次いで「20-24歳」が33.5%であった。
 在留資格別では、「EPA（介護福祉士・その他）」、「特定技能」、「介護」、「技能実習」の順に若年化する傾向があった。特定技能で「30-39歳」が26.5%と、EPA介護福祉士（66.7%）、EPAその他（31.6%）に次いで高くなっている。

図表 3-12 問4 年齢(在留資格別)



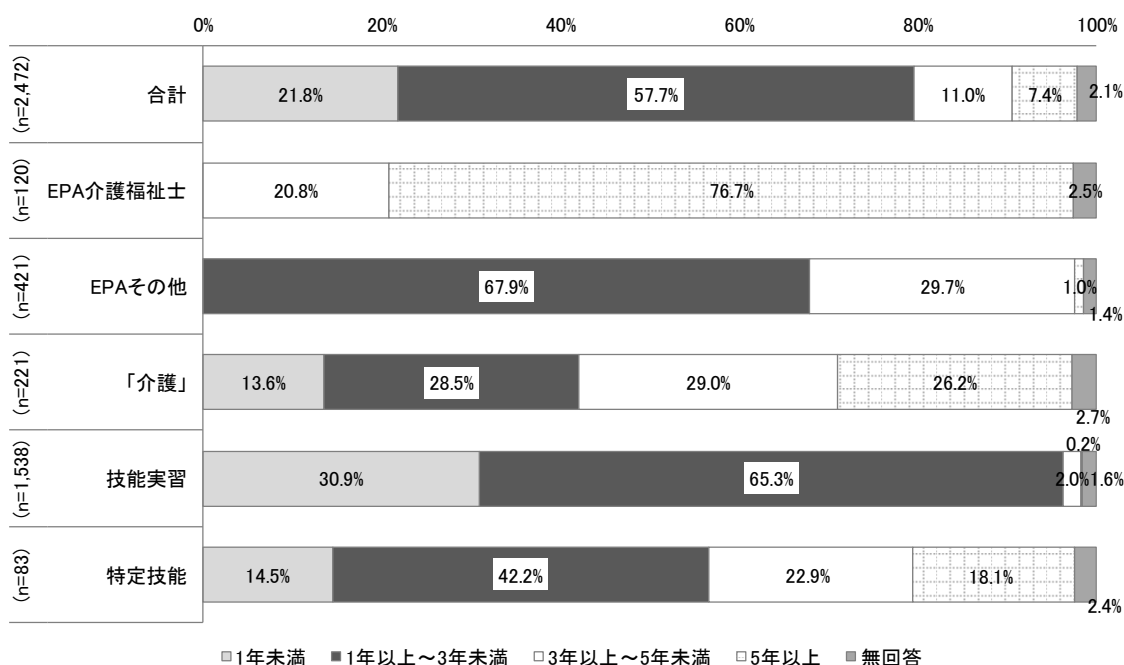
⑥ 日本の居住期間

日本の居住期間は、全体では「1年以上～3年未満」が57.7%と最も高くなっている。在留資格別では、EPA介護福祉士で「5年以上」が最も高く76.7%、EPAその他で「1年以上～3年未満」が最も高く67.9%となっている。

「介護」で「1年以上～3年未満」(28.5%)、「3年以上～5年未満」(29.0%)、「5年以上」(26.2%)が同程度の割合、技能実習で「1年以上～3年未満」が最も高く65.3%となっている。

また、特定技能で「1年以上～3年未満」が最も高く42.2%、「3年以上～5年未満」(22.9%)と「5年以上」(18.1%)が同程度の割合となっている。

図表 3-13 問5 日本の居住期間(在留資格別)



⑦ 現在の介護施設・事業所での就労期間

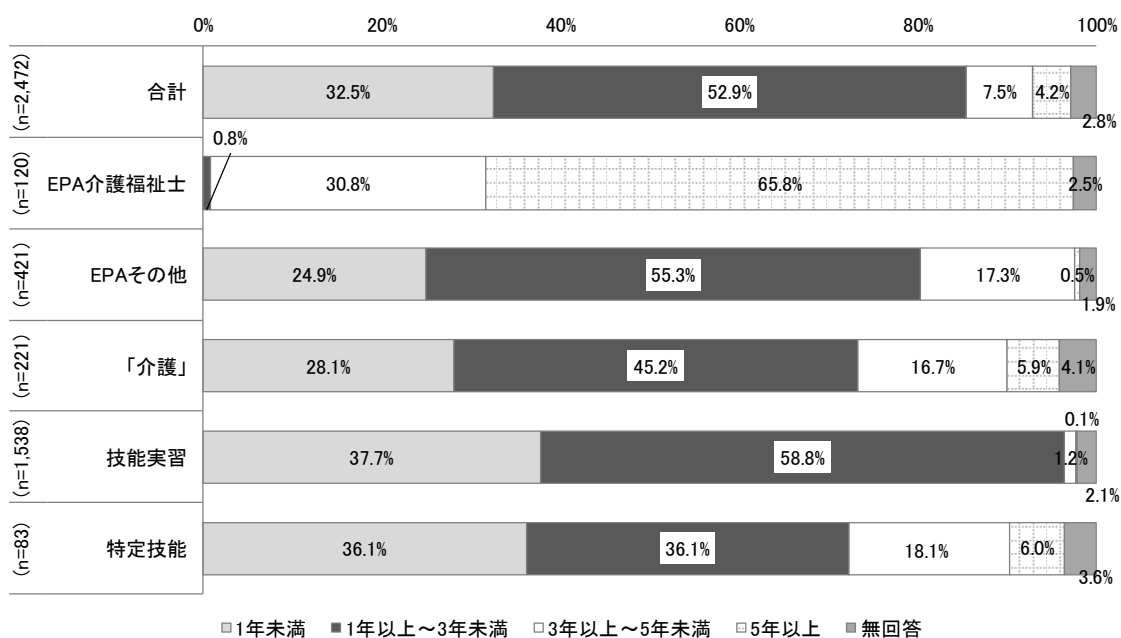
現在の介護施設・事業所での就労期間は、全体では「1年以上～3年未満」が52.9%と最も高く、次いで「1年未満」が32.5%となっている。

在留資格別では、EPA介護福祉士で「5年以上」が最も高く65.8%、EPAその他で「1年以上～3年未満」が最も高く55.3%となっている。

「介護」で「1年以上～3年未満」が最も高く45.2%、技能実習でも「1年以上～3年未満」が最も高く58.8%となっている。

また、特定技能で「1年未満」と「1年以上～3年未満」が36.1%で同じ割合となっている。

図表 3-14 問5 現在の介護施設・事業所での就労期間(在留資格別)

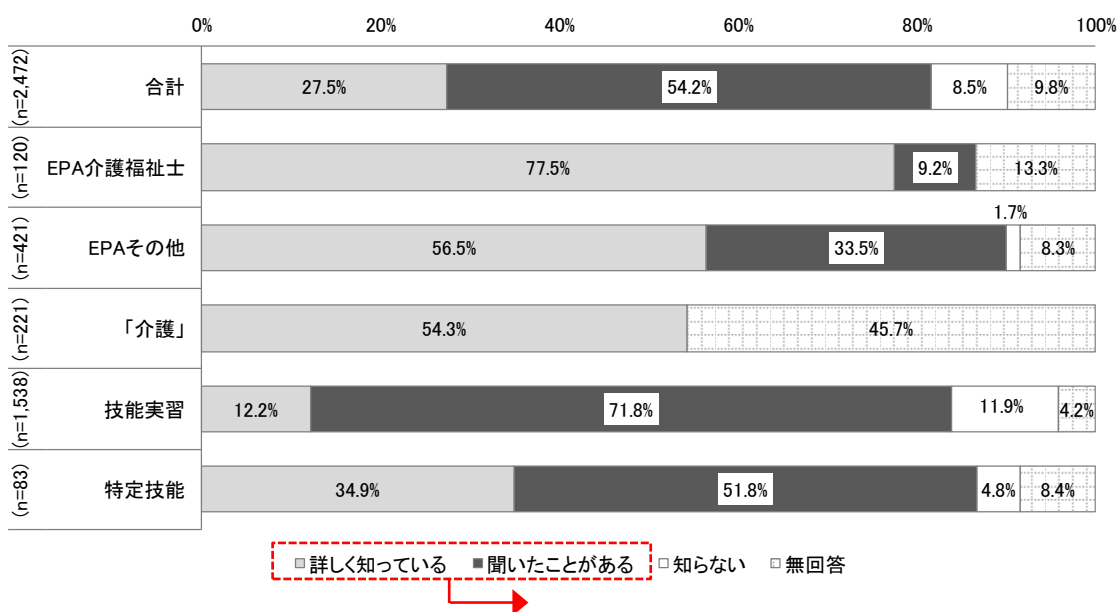


⑧ 介護福祉士国家試験の認知状況

介護福祉士国家試験の認知状況は、全体では「聞いたことがある」が最も高く 54.2%、次いで「詳しく知っている」が 27.5%となっている。

在留資格別では、特定技能で「詳しく知っている」が 34.9%、「聞いたことがある」が 51.8%となっている。

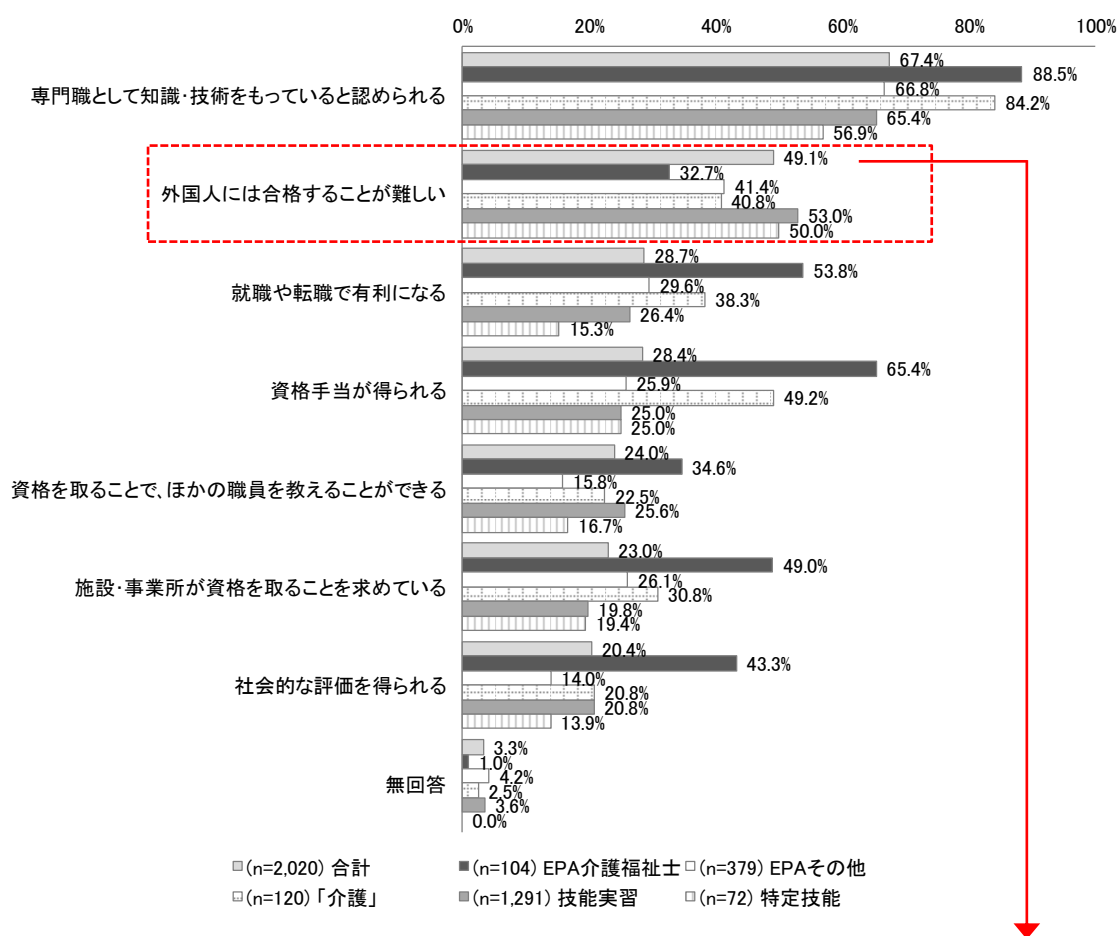
図表 3-15 問6 介護福祉士国家試験の認知状況(在留資格別)



上記の設問で、「詳しく知っている」または「聞いたことがある」と回答した人に対して、介護福祉士国家資格はどのような資格と認識しているか尋ねたところ、全体では「専門職として知識・技術をもっていると認められる」が最も高く 67.4%、次いで「外国人には合格することが難しい」が 49.1%となっている。

在留資格別では、EPA 介護福祉士と「介護」で「専門職として知識・技術をもっていると認められる」が最も高くなっている（それぞれ 88.5%、84.2%）。また、EPA 介護福祉士では、「資格手当が得られる」（65.4%）、「就職や転職で有利になる」（53.8%）、「施設・事業所が資格を取ることを求めている」（49.0%）、「社会的な評価を得られる」（43.3%）、「資格を取ることでほかの職員を教えることができる」（34.6%）、の各項目で、他の在留資格に比べて最も高くなっている。

図表 3-16 問6付問1 介護福祉士国家資格への印象(在留資格別、複数回答)

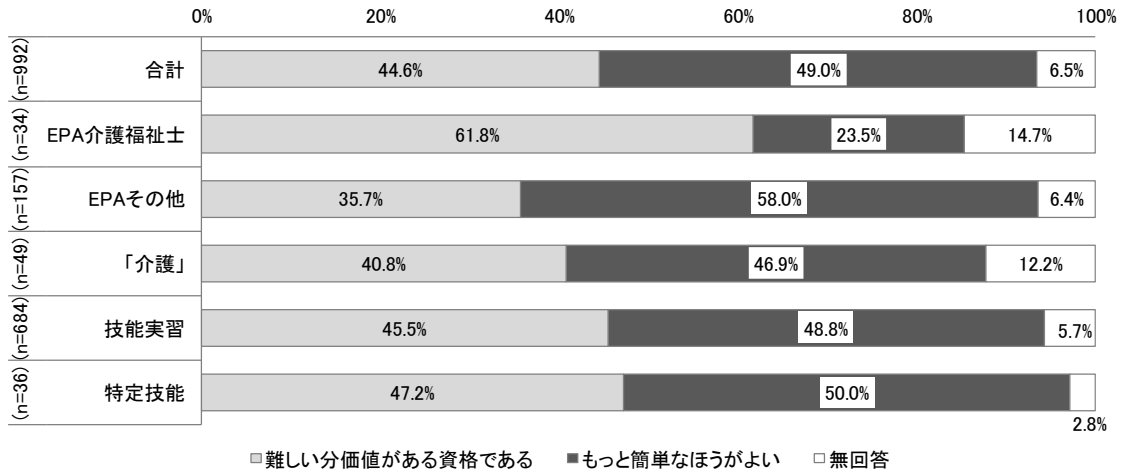


さらに、「外国人には合格することが難しい」と回答した人に対して、介護福祉士国家資格の意義について尋ねたところ、全体では「難しい分価値がある資格である」と「もっと簡単な方がよい」が同程度の割合となっている（それぞれ、44.6%、49.0%）。

在留資格別では、「難しい分価値がある資格である」が、EPA 介護福祉士が最も高く61.8%となっている。また、就労条件の満足度別では、就労条件への満足度が高いほど、「難しい分価値がある資格である」の割合が高まる傾向が顕著にみられた。さらに就労期間別では、回答数が限られるため留意が必要ではあるが、5年以上では、63.0%が「難しい分価値がある」と回答している。

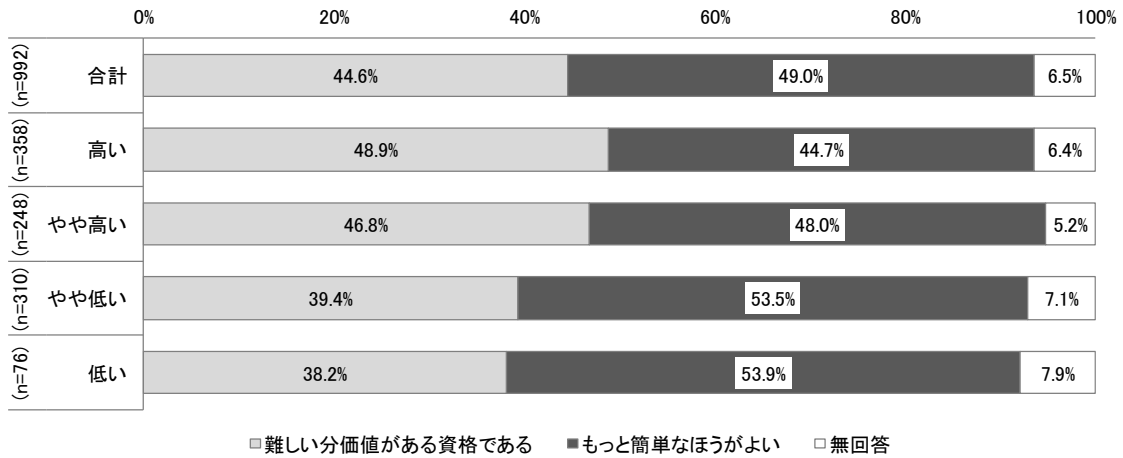
図表 3-17 問6付問2 介護福祉士国家資格の意義(在留資格別)

※「外国人には合格することが難しい」と回答した人が回答



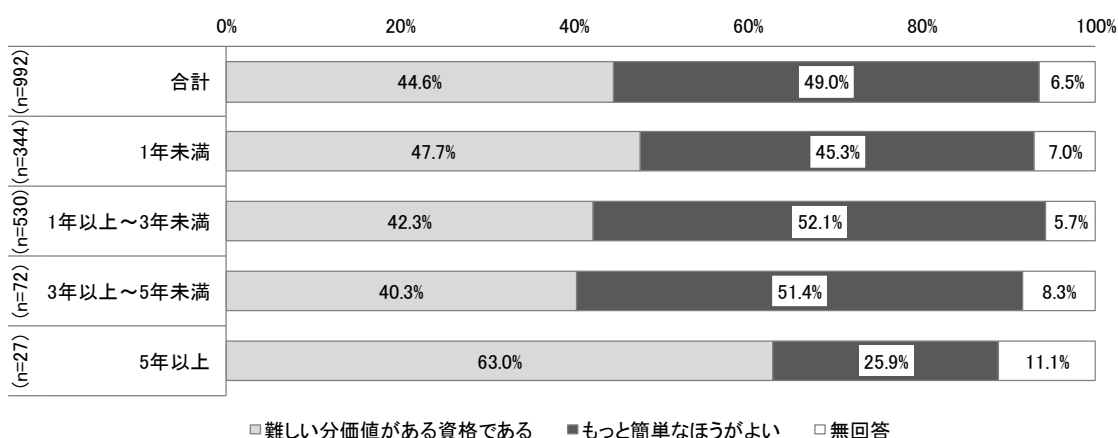
図表 3-18 問6付問2 介護福祉士国家資格の意義(就労条件の満足度別)

※「外国人には合格することが難しい」と回答した人が回答



図表 3-19 問6付問2 介護福祉士国家資格の意義(就労期間別)

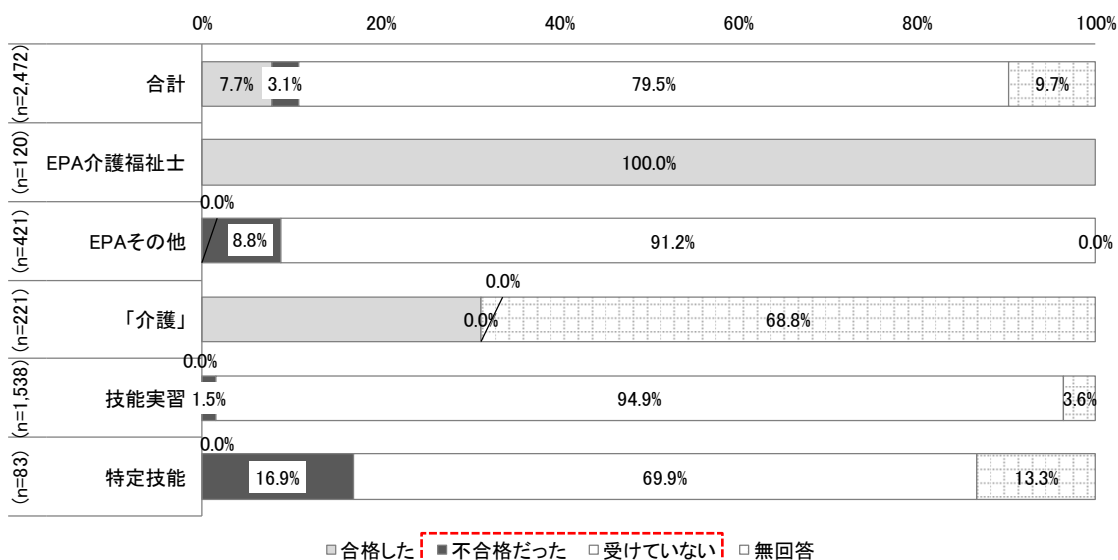
※「外国人には合格することが難しい」と回答した人が回答



⑨ 介護福祉士国家試験の受験状況

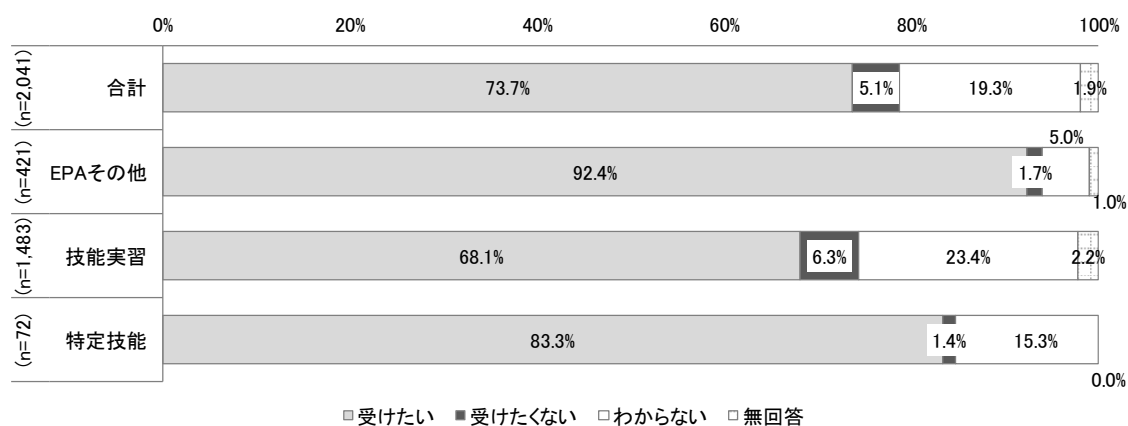
介護福祉士国家試験の受験状況は、全体では「受けていない」が最も高く 79.5%となっている。

図表 3-20 問7 介護福祉士国家試験の受験状況(在留資格別)



上記の設定で「不合格だった」または「受けていない」と回答した人に対して、介護福祉士国家試験の今後の受験意向を尋ねたところ、全体では「受けたい」が最も高く 73.7%となっている。特定技能では、「受けたい」が 83.3%となっている。

図表 3-21 問7付問 介護福祉士国家試験の今後の受験意向(在留資格別)

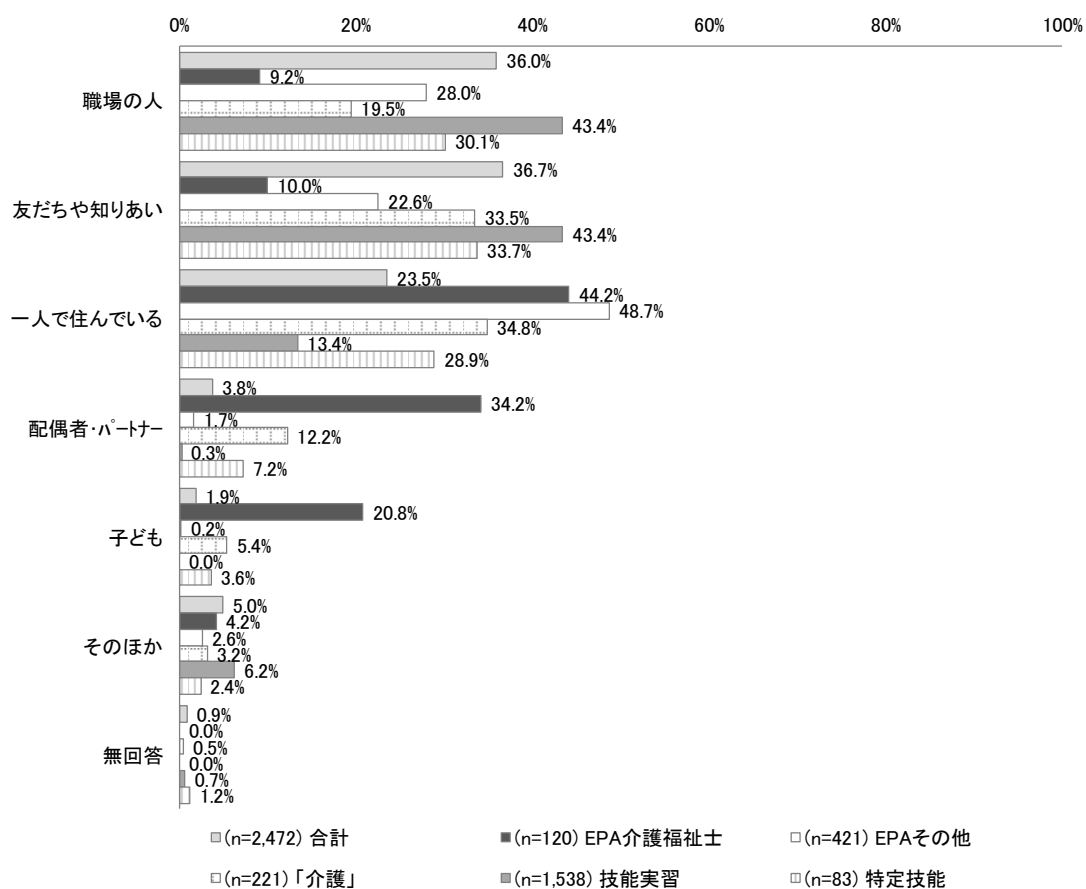


⑩ 同居者

同居者は、全体では、「職場の人」が最も高く36.0%となっている。

在留資格別では、EPA 介護福祉士、EPA その他、「介護」で「一人で住んでいる」が最も高くなっている（それぞれ44.2%、48.7%、34.8%）。一方で、技能実習は、「職場の人」と「友だちや知りあい」が43.4%で最も高い割合となっている。

図表 3-22 問8 同居者(在留資格別、複数回答)

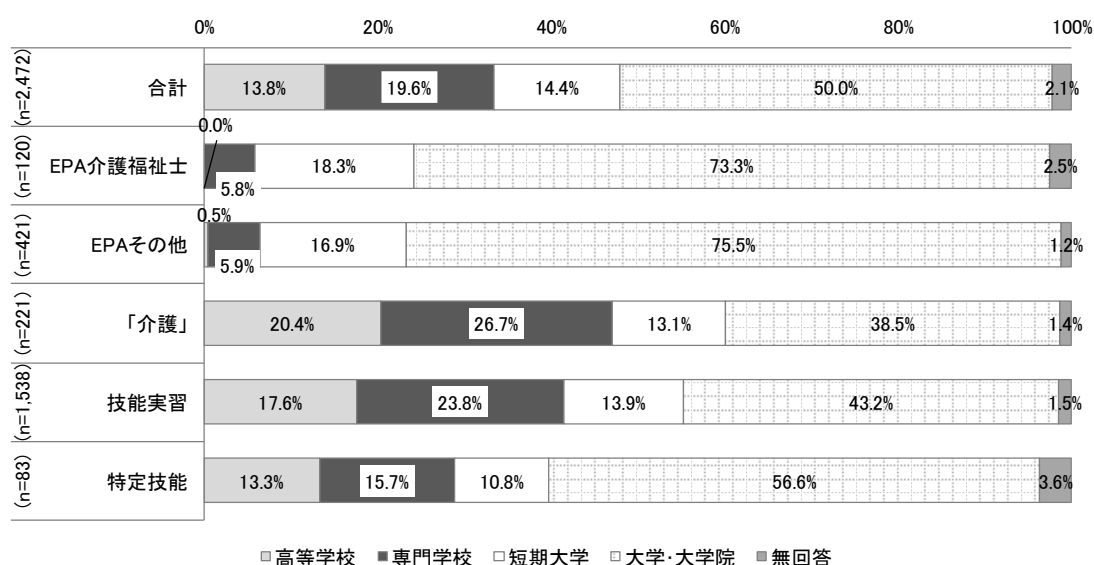


(2) (来日前の) 母国における状況

① 母国で最後に通った学校

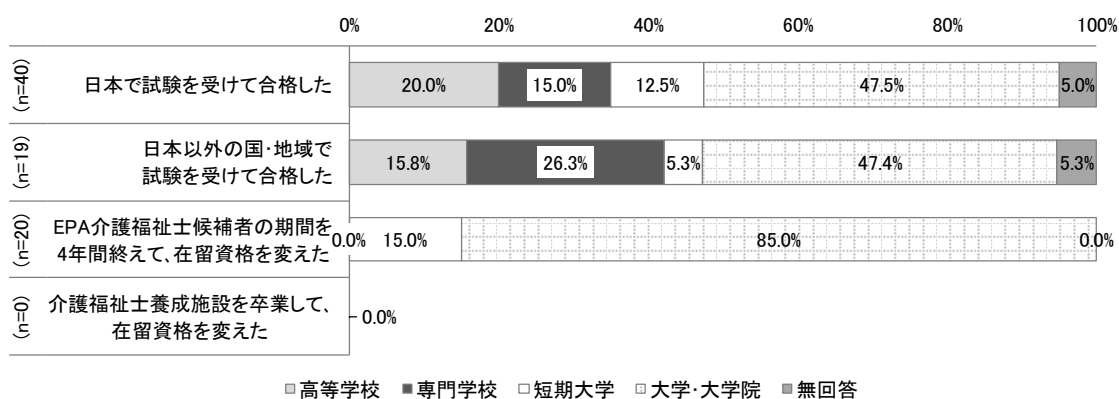
母国で最後に通った学校は、全体では「大学・大学院」が最も高く 50.0%となっている。在留資格別では、EPA 介護福祉士、EPA その他で「大学・大学院」が最も高くなっている（それぞれ 73.3%、75.5%）。特定技能も、「大学・大学院」が 56.6%で最も高い。

図表 3-23 問9① 母国で最後に通った学校(在留資格別)



特定技能の資格取得ルート別に、母国で最後に通った学校をみると、日本で試験を受けて合格した人は「大学・大学院」が最も高く 47.5%となっている（回答数が少ないため留意が必要）。

図表 3-24 問9① 母国で最後に通った学校(特定技能の資格取得ルート別)

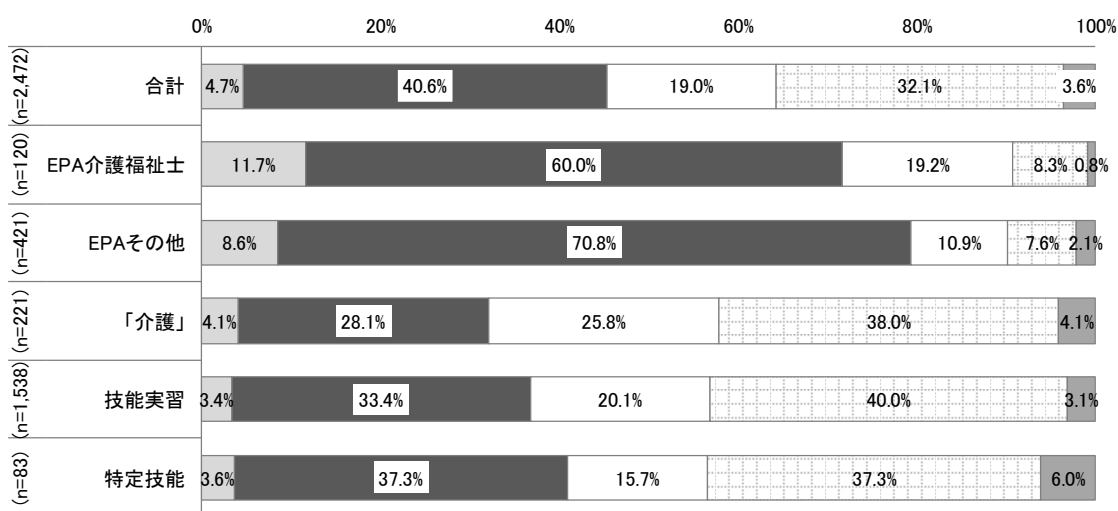


② 看護や介護の資格取得の有無

母国における看護や介護の資格取得の有無は、全体では、「看護の資格だけ取った」が40.6%で最も高く、次いで「どちらも取っていない」が32.1%となっている。

在留資格別では、EPA 介護福祉士、EPA その他で「看護の資格だけ取った」が最も高くなっている（それぞれ60.0%、70.8%）。「介護」と技能実習は、「どちらも取っていない」が最も高くなっている（それぞれ38.0%、40.0%）。特定技能は、「看護の資格だけ取った」と「どちらも取っていない」が37.3%で同じ割合になっている。

図表 3-25 問9② 母国における看護や介護の資格の有無(在留資格別)



□どちらも取った ■看護の資格だけ取った □介護の資格だけ取った □どちらも取っていない ■無回答

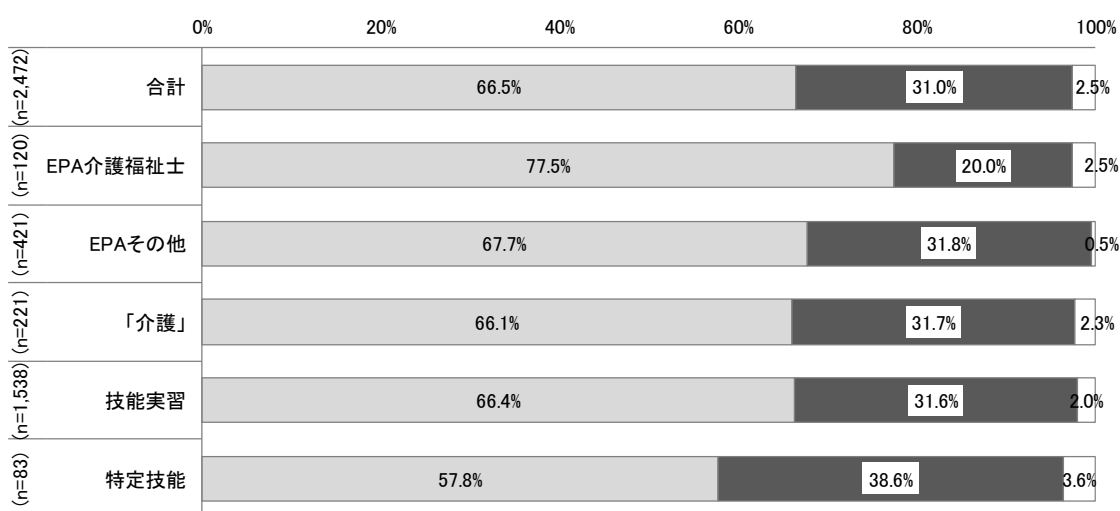
③ 母国で働いた経験の有無、有る場合の仕事内容

母国で働いた経験の有無は、全体では「ある」が66.5%となっている。

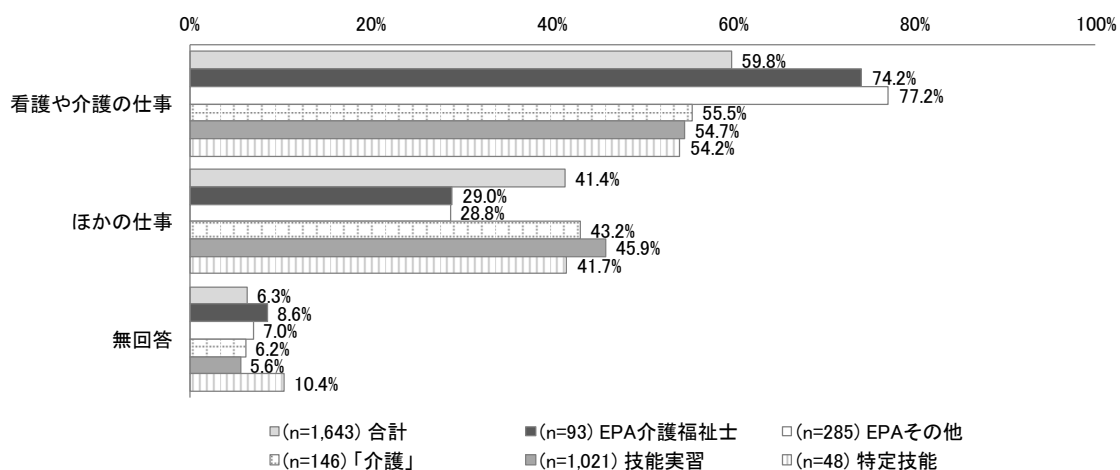
在留資格別では、EPA介護福祉士で「ある」が77.5%と最も高くなっており、特定技能は「ある」が57.8%と最も低くなっている。

母国での就労経験がある人に対して、仕事の内容を尋ねたところ、全体では「看護や介護の仕事」が59.8%で最も高くなっている。在留資格別では、EPA介護福祉士、EPAその他で「看護や介護の仕事」の割合が最も高くなっている（それぞれ74.2%、77.2%）。

図表 3-26 問9③ 母国で働いた経験の有無、
経験がある場合の仕事内容(複数回答)(それぞれ、在留資格別)



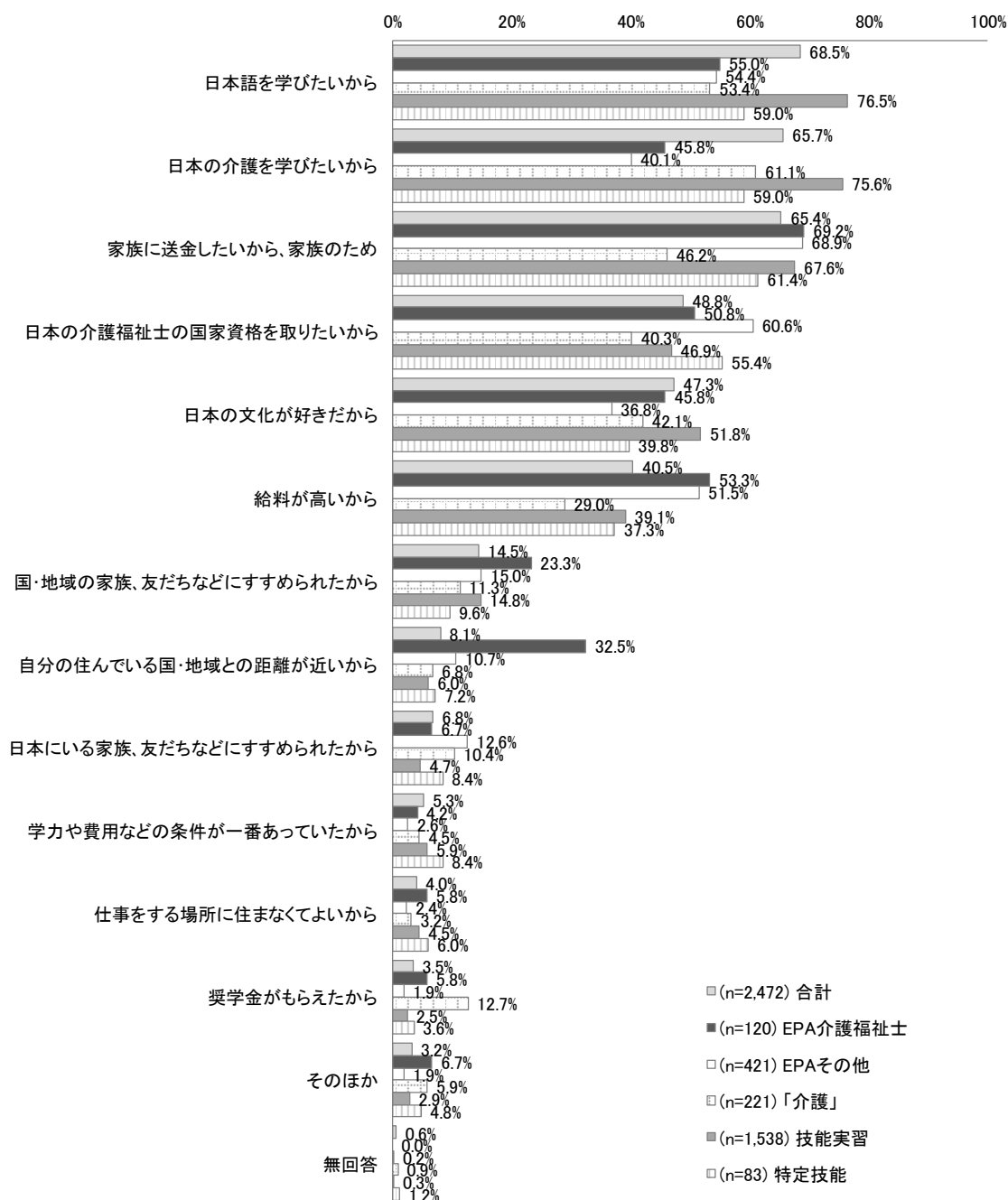
□ある ■ない □無回答



④ 日本で介護の仕事をしたと思った理由

日本で介護の仕事をしたと思った理由は、全体では「日本語を学びたいから」(68.5%)が最も高くなっており、次いで「日本の介護を学びたいから」(65.7%)となっている。在留資格別では、技能実習で「日本語を学びたいから」(76.5%)、「日本の介護を学びたいから」(75.6%)が、それぞれ70%を超えている。

図表 3-27 問10 日本で介護の仕事をしたと思った理由(在留資格別、複数回答)

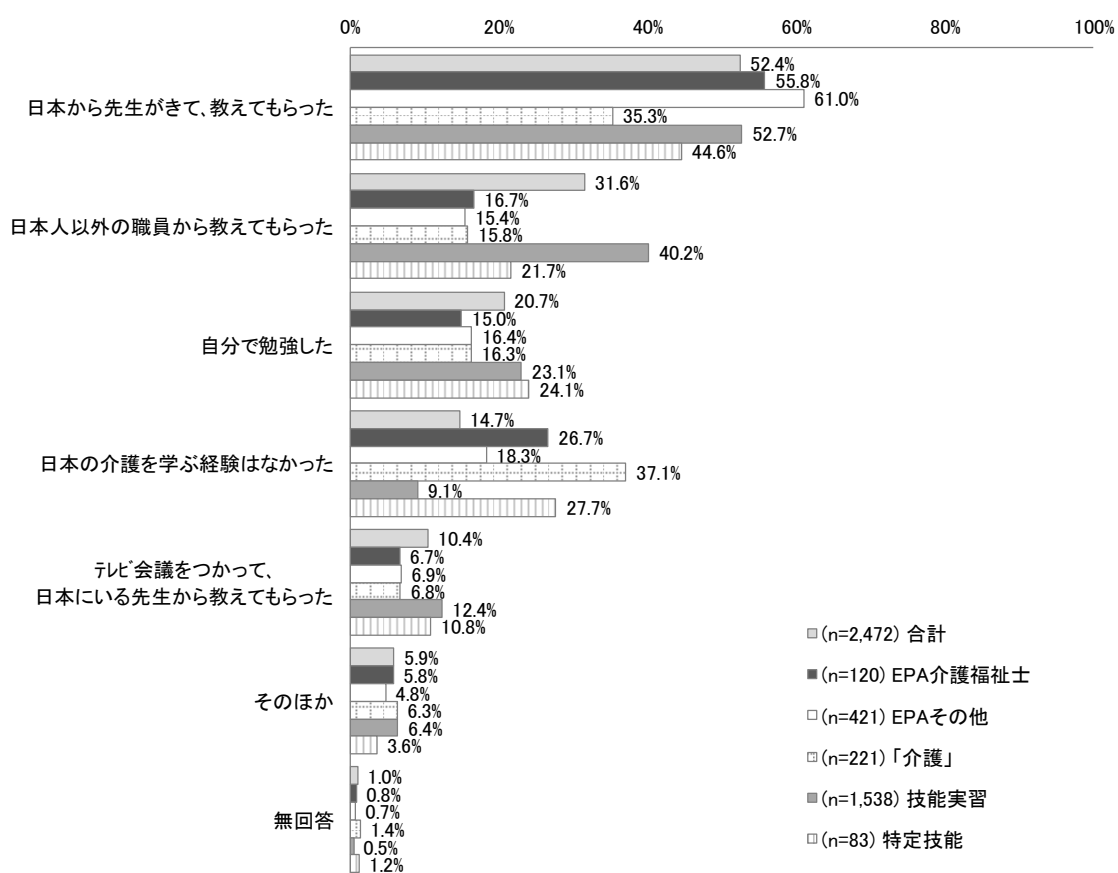


⑤ 母国での日本の介護についての勉強方法

母国において、日本の介護についての勉強方法は、全体では「日本から先生がきて、教えてもらった」(52.4%)が最も高くなっており、次いで「日本人以外の職員から教えてもらった」(31.6%)となっている。

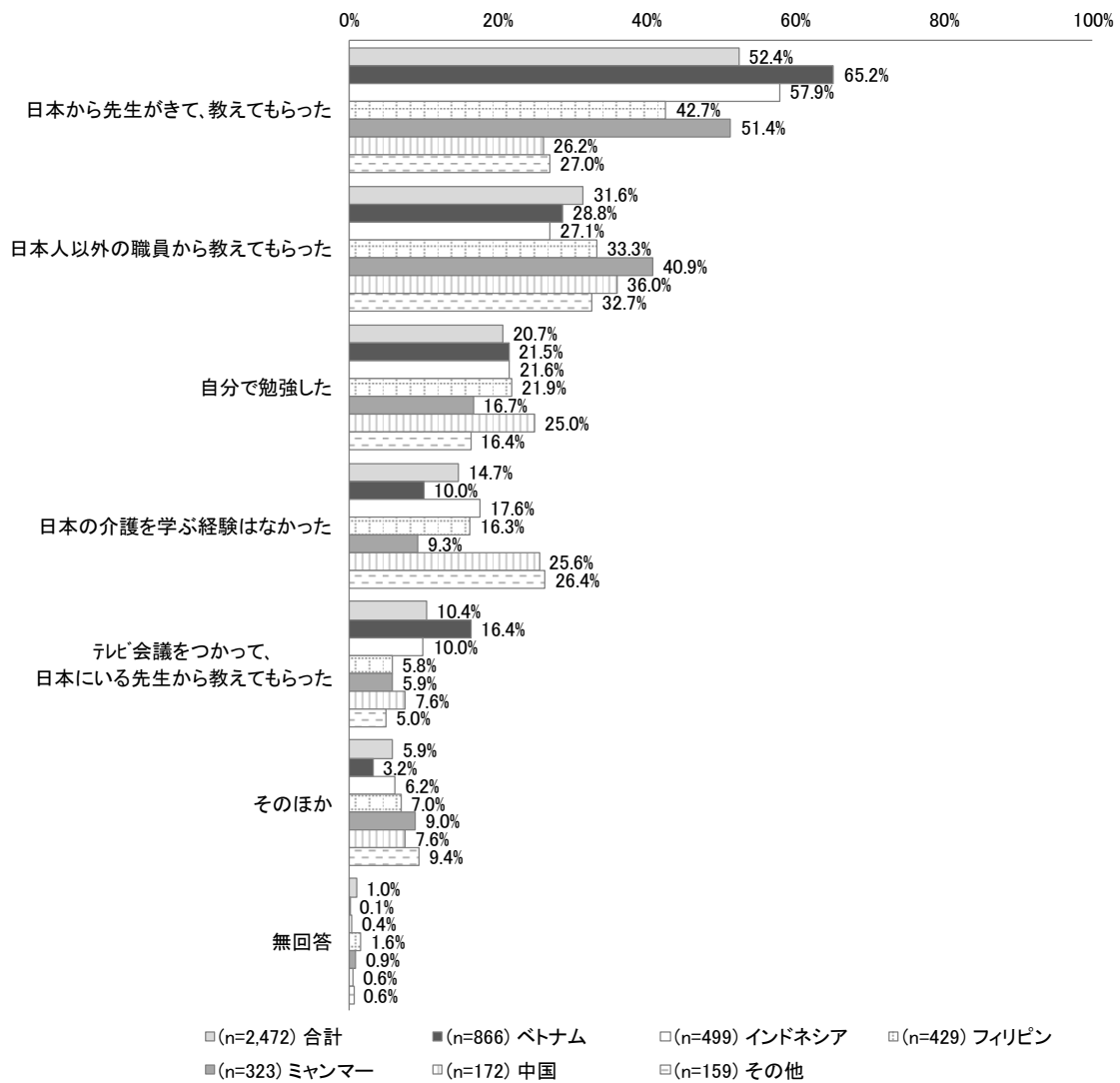
在留資格別では、EPA 介護福祉士とEPA その他で「日本から先生がきて、教えてもらった」が最も高くなっている(それぞれ55.8%、61.0%)。「日本人以外の職員から教えてもらった」が技能実習で40.2%と最も高くなっている。

図表 3-28 問 11 母国での日本の介護についての勉強方法(在留資格別、複数回答)



また、出身国・地域別では、「日本から先生がきて、教えてもらった」がベトナムで65.2%と最も高くなっており、次いで、インドネシアで57.9%となっている。一方、「日本人以外の職員から教えてもらった」がミャンマーで40.9%と最も高くなっている。

図表 3-29 問 11 母国での日本の介護についての勉強方法
(出身国・地域別(上位5か国)、複数回答)

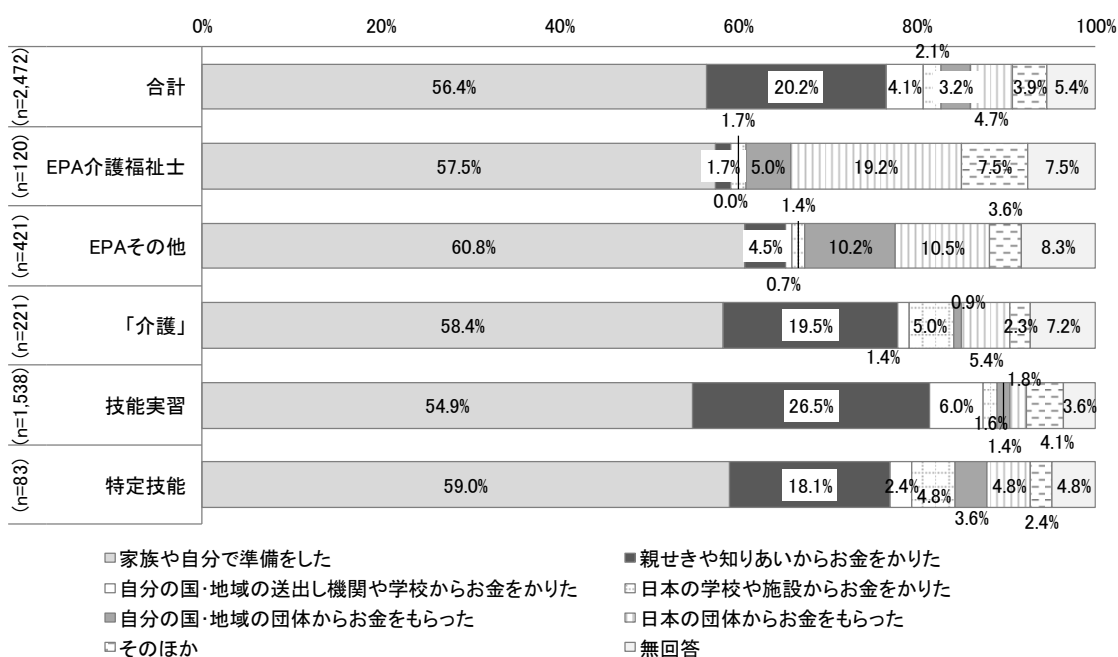


⑥ 来日のための費用準備方法

来日のための費用準備方法（複数ある場合は金額が最も多い方法）は、全体では「家族や自分で準備した（お金はかりていない）」が、56.4%と最も高くなっている。

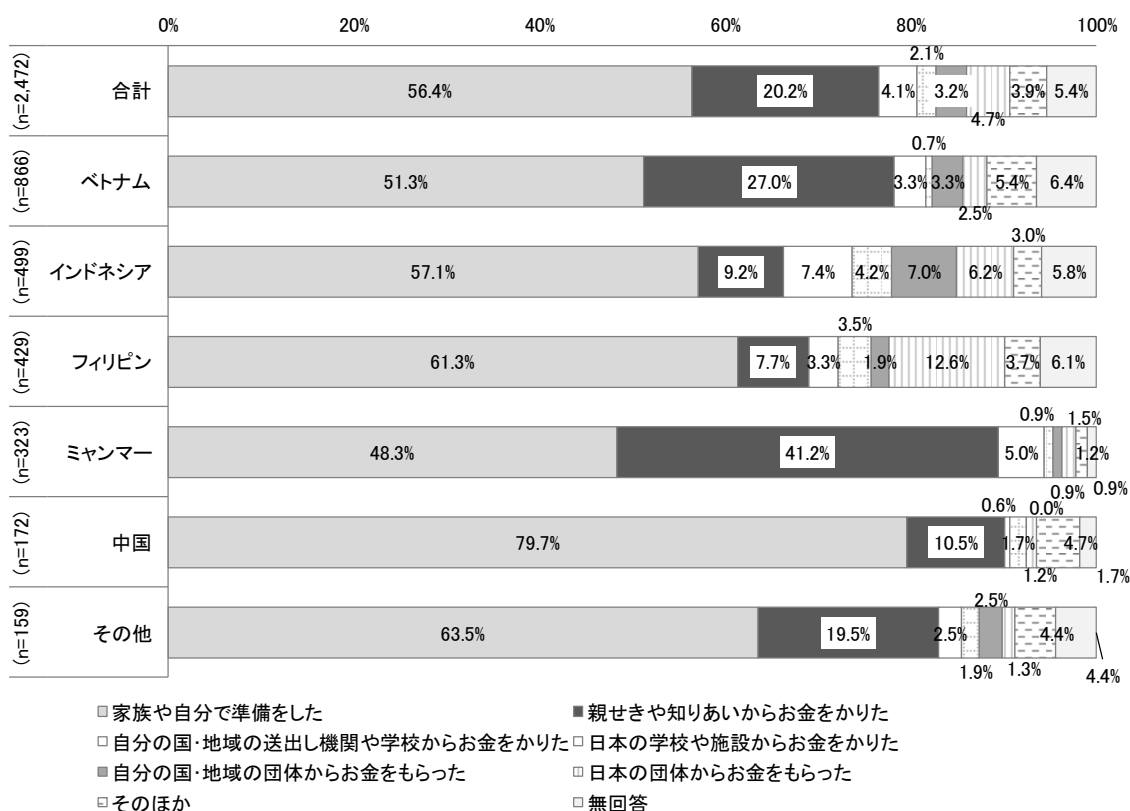
また、親せき、知りあい、送出し機関等からお金を借りている割合は合計すると、26.3%となっている。在留資格別では、EPA 介護福祉士、EPA その他、「介護」、技能実習の順に「親せきや知りあいからお金をかりた」と回答する割合が高まり、技能実習では26.5%を占めている。

図表 3-30 問12 来日のための費用準備方法（在留資格別、複数回答）



また、出身国・地域別では、「家族や自分で準備をした（お金はかりていない）」は、中国、フィリピン、インドネシアの順に高くなっている（それぞれ、79.7%、61.3%、57.1%）。また、親せき、知りあい、送出し機関、日本の学校等からお金を借りている割合は、ミャンマーで最も高く47.1%、次いでベトナムで31.0%となっている。一方で、中国、フィリピンでは1割程度にとどまっている（それぞれ12.8%、14.5%）。

図表 3-31 問12 来日のための費用準備方法(出身国・地域別(上位5か国)、複数回答)



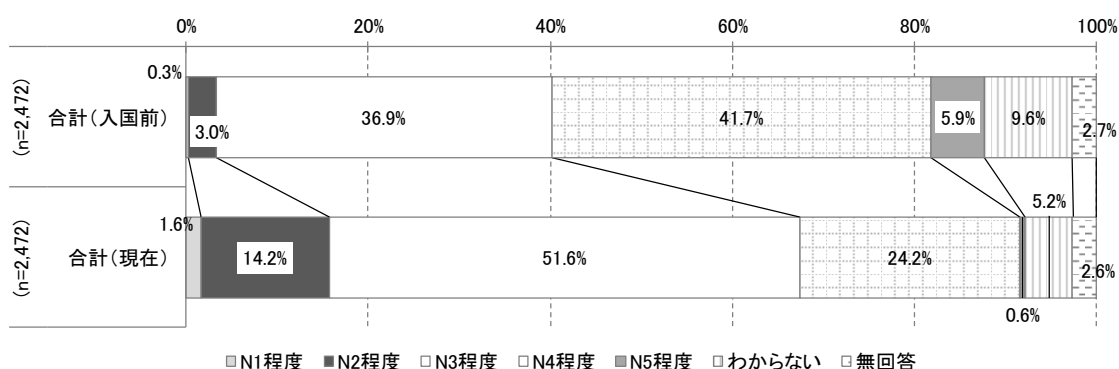
(3) 日本語能力・日本語学習の状況

※ ここでは、日本語能力を測る最も一般的な試験である、国際交流基金「日本語能力試験 (JLPT)」のレベルを参考とした。

① 日本語能力：入国（来日）前と現在の比較

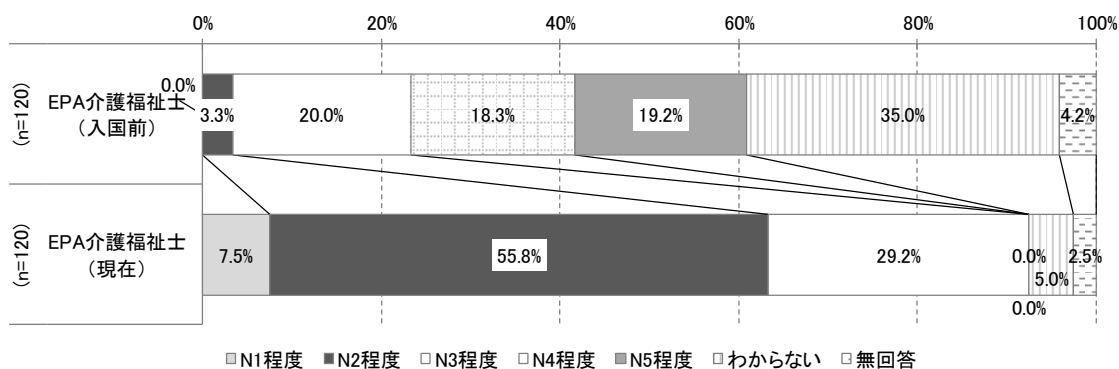
日本語能力について、入国前と現在を比較すると、すべての在留資格において現在の方が、能力が高まっている（以下では、在留資格別の集計結果を記述する）。

図表 3-32 問 13 日本語能力：入国（来日）前と現在の比較（全体）



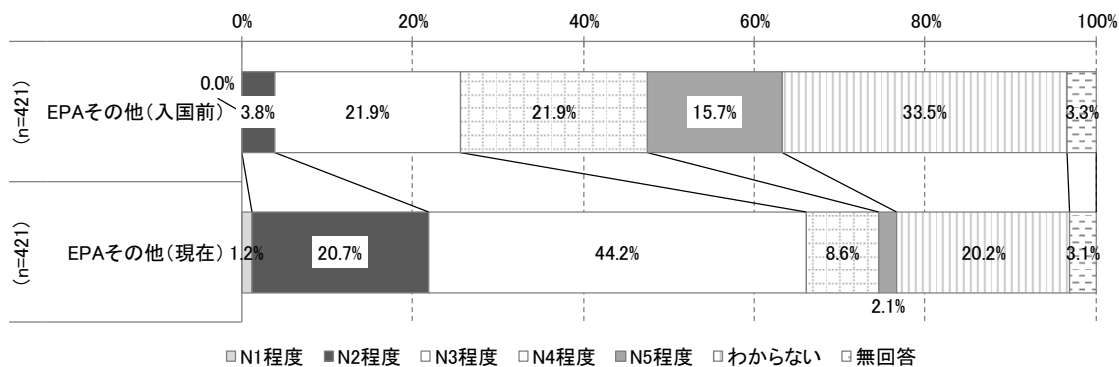
EPA 介護福祉士の日本語能力について、「N2 程度」が入国前は 3.3% だったのに対し、現在は 55.8% まで上昇している。「N1 程度」も 7.5% いる。

図表 3-33 問 13 日本語能力：入国（来日）前と現在の比較（EPA 介護福祉士）



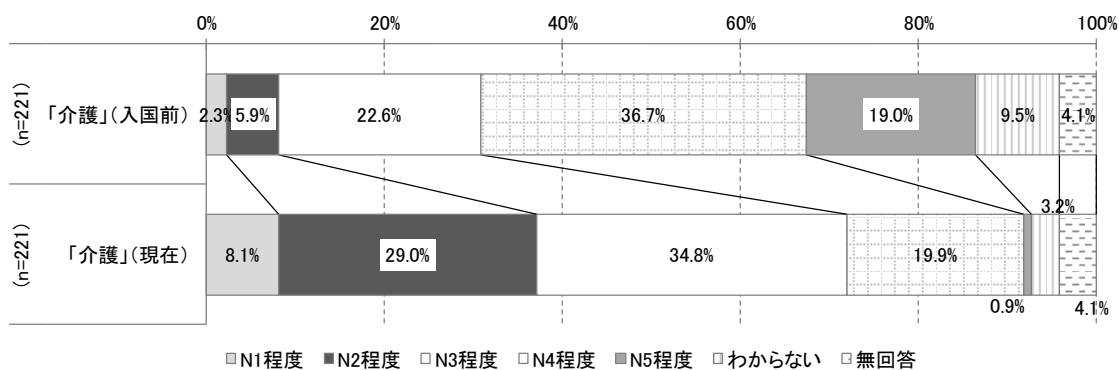
EPA その他の日本語能力について、「N2 程度」が入国前は 3.8%だったのに対し、現在は 20.7%まで上昇している。同様に、「N3 程度」が入国前は 21.9%だったのに対し、現在は 44.2%まで上昇している。

図表 3-34 問 13 日本語能力:入国(来日)前と現在の比較(EPA その他)



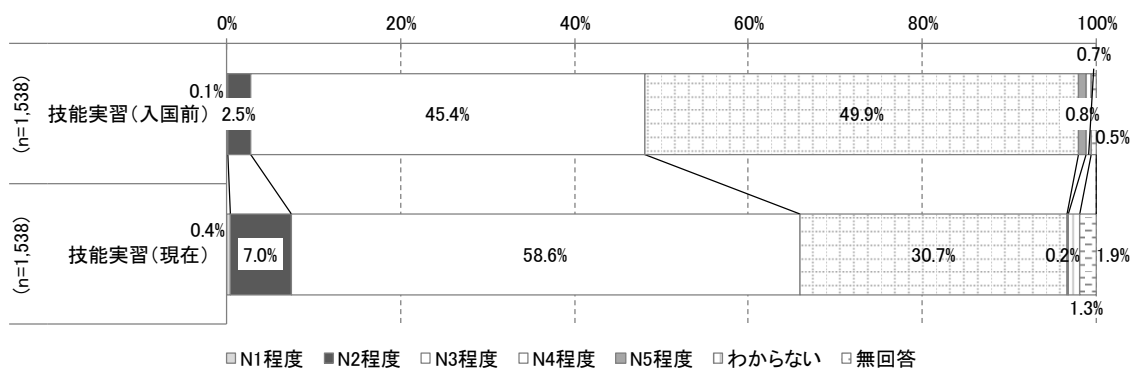
「介護」の日本語能力について、入国前は「N4 程度」が 36.7%と最も高くなっていたのに対し、現在は「N2 程度」が 29.0%、「N3 程度」が 34.8%となっている。

図表 3-35 問 13 日本語能力:入国(来日)前と現在の比較(「介護」)



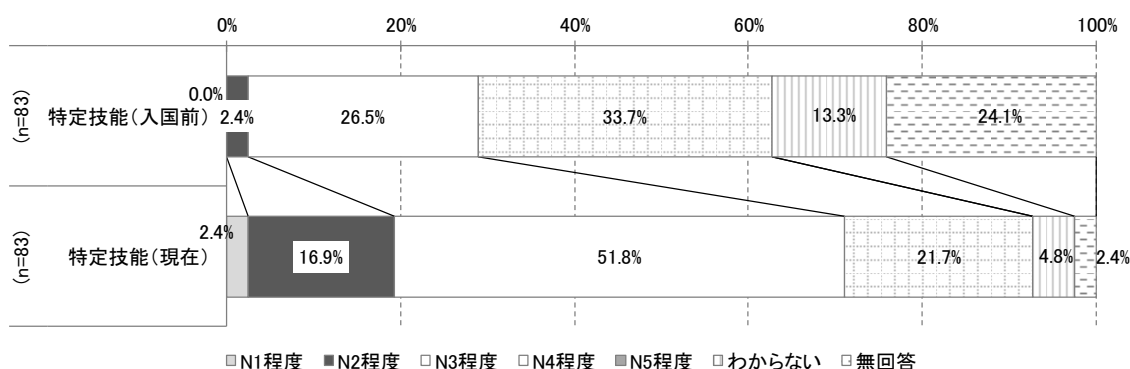
技能実習の日本語能力について、入国前は「N4 程度」が 49.9%で最も高くなっていたのに対し、現在は「N3 程度」が 58.6%で、最も高くなっている。

図表 3-36 問 13 日本語能力:入国(来日)前と現在の比較(技能実習)



特定技能の日本語能力について、入国前は「N3 程度」が 26.5%であったが、現在はその割合が 51.8%まで高くなっている。「N2 程度」も 16.9%いる。

図表 3-37 問 13 日本語能力:入国(来日)前と現在の比較(特定技能)

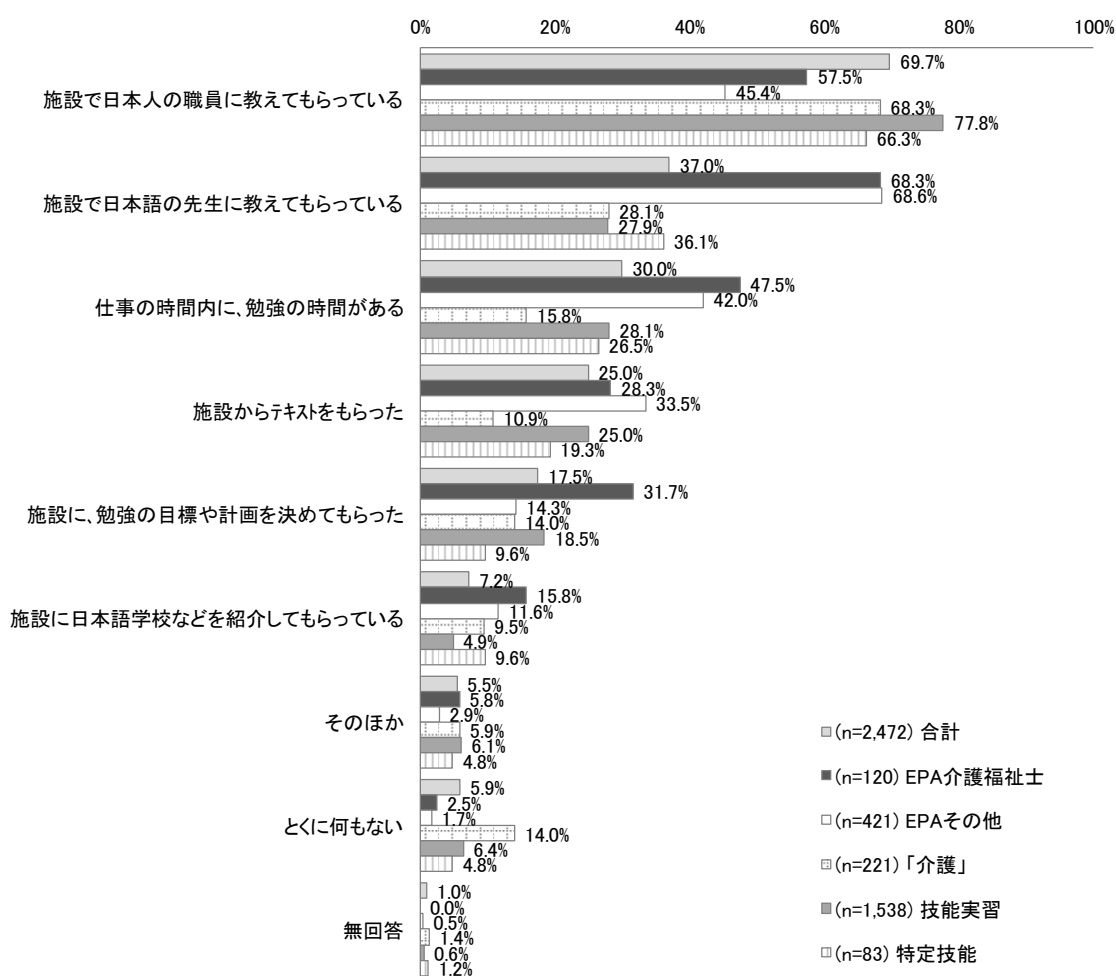


② 日本語学習方法（施設からの支援）

日本語学習に関わる「施設からの支援」について、全体では、「施設で日本人の職員に教えてもらっている」が最も高く 69.7%となっている。

在留資格別では、「介護」、技能実習、特定技能では「施設で日本人の職員に教えてもらっている」が最も高くなっている（それぞれ 68.3%、77.8%、66.3%）。EPA 介護福祉士、EPA その他では、「施設で日本語の先生に教えてもらっている」が最も高くなっている（それぞれ 68.3%、68.6%）となっている。

図表 3-38 問 14 日本語学習方法(施設からの支援)(複数回答)

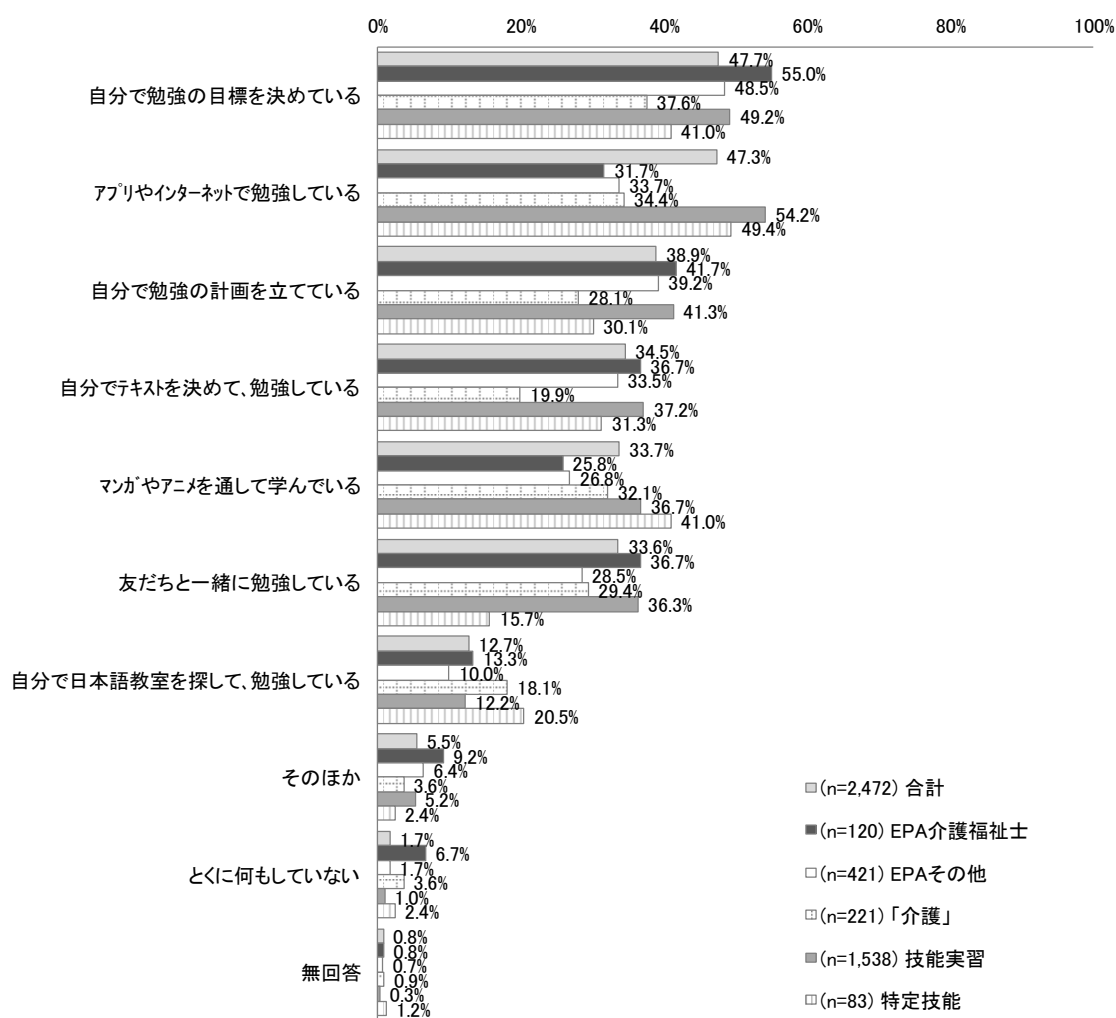


③ 日本語学習方法（自主学習）

日本語学習の「自学自習」の方法について、全体では「自分で勉強の目標を決めている」、「アプリやインターネットで勉強している」の順に高くなっている（それぞれ 47.7%、47.3%）。

在留資格別では、EPA 介護福祉士で「自分で勉強の目標を決めている」（55.0%）が最も高く、技能実習で「アプリやインターネットで勉強している」（54.2%）が最も高くなっている。

図表 3-39 問 15 日本語学習状況(自主学習)(複数回答)

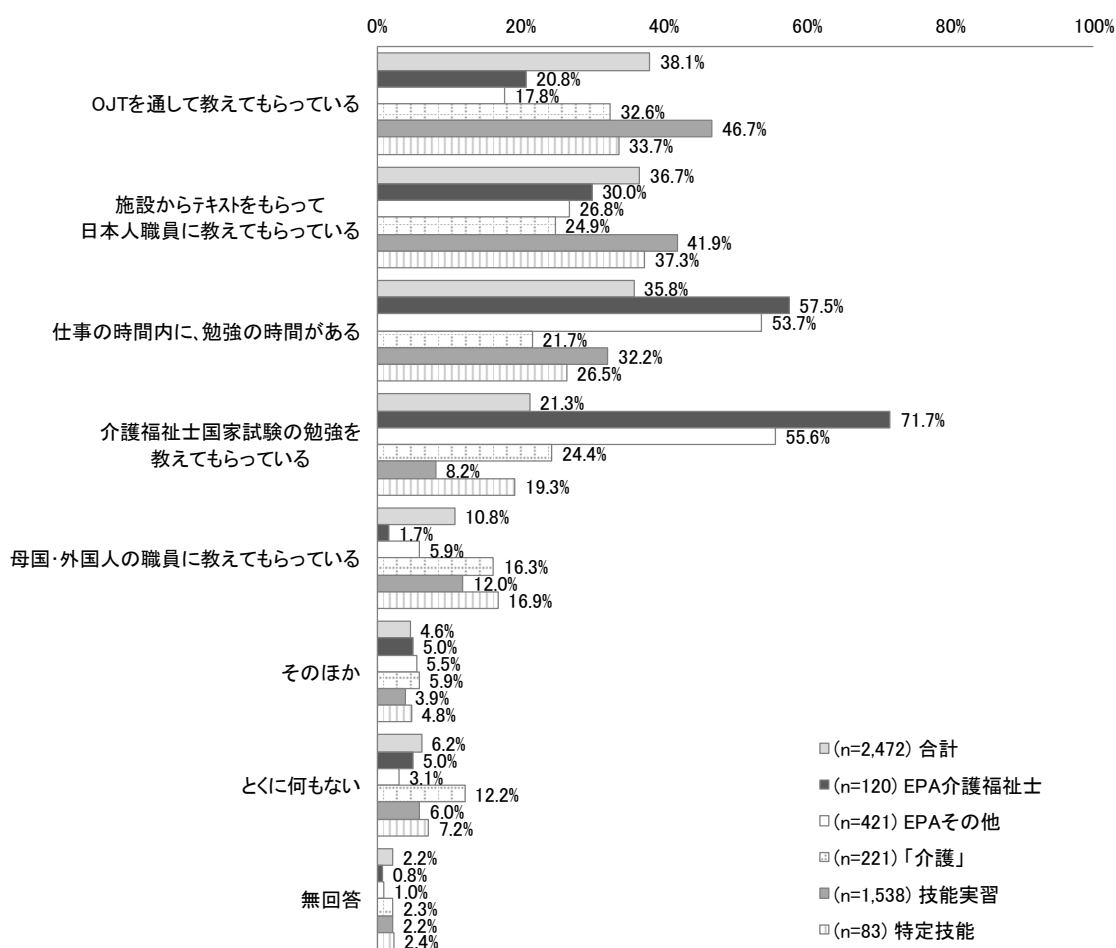


④ 介護の知識・技能に関わる学習方法（施設からの支援）

介護の知識・技能に関わる学習における「施設からの支援」について、全体では、「OJTを通して教えてもらっている」が38.1%で最も高くなっている。次いで「施設からテキストをもらって日本人職員に教えてもらっている」が36.7%となっている。

在留資格別では、EPA 介護福祉士で「仕事の時間内に、勉強の時間がある」(57.5%)、「介護福祉士国家試験の勉強を教えてもらっている」(71.7%) が高くなっている。技能実習で「OJTを通して教えてもらっている」(46.7%)、「施設からテキストをもらって日本人職員に教えてもらっている」(41.9%) が高くなっている。

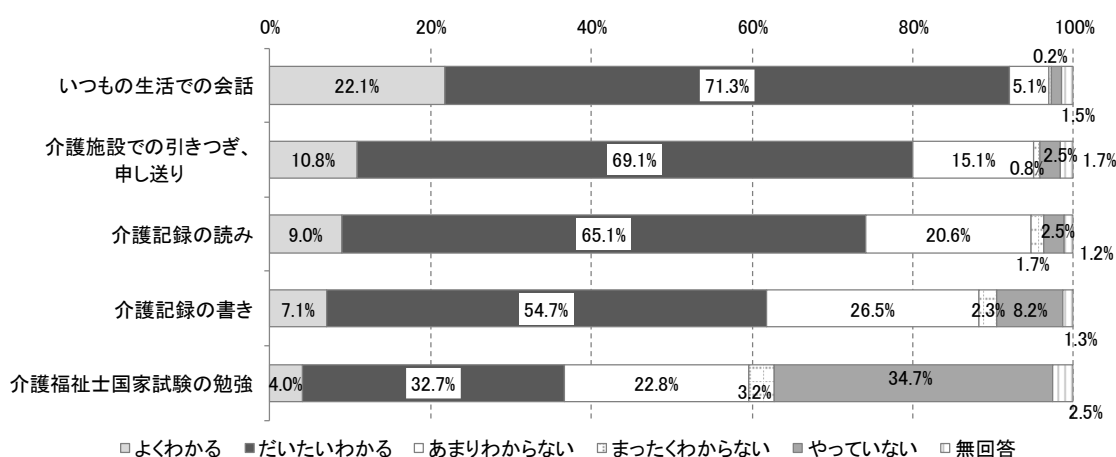
図表 3-40 問 16 介護の知識・技能に関わる学習方法（施設からの支援）（複数回答）



⑤ 介護に関わる場面別の日本語の理解度（在留資格別集計）

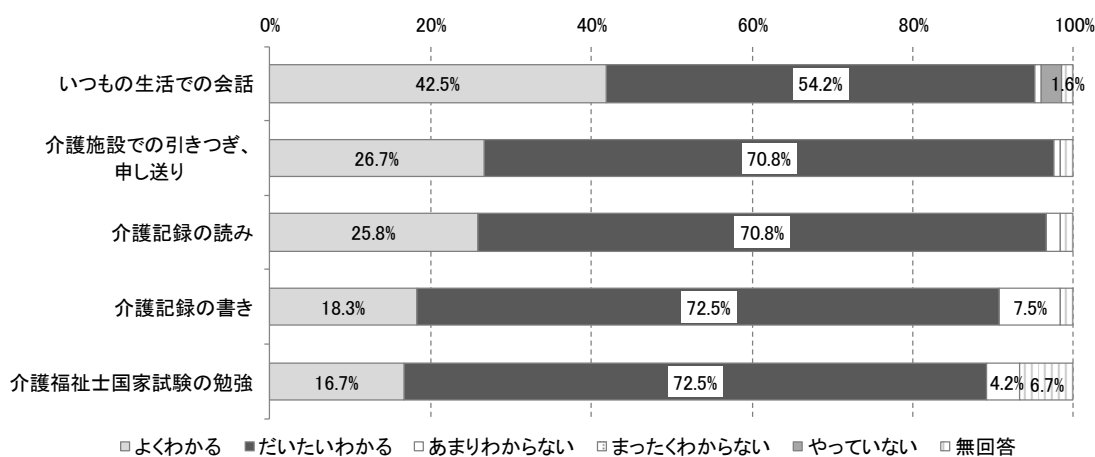
介護に関わる場面別の日本語理解度について、「よくわかる」「だいたいわかる」の合計をみると（以下同様）、全体では、「いつもの生活での会話」は93.4%で最も高い。「介護施設での引きつぎ、申し送り」が79.9%、「介護記録の読み」が74.1%、「介護記録の書き」が61.8%、「介護福祉士国家試験の勉強」が36.7%と、割合が低下する傾向にある。

図表 3-41 問 17 介護に関わる場面別の日本語の理解度(全体、n=2,472)



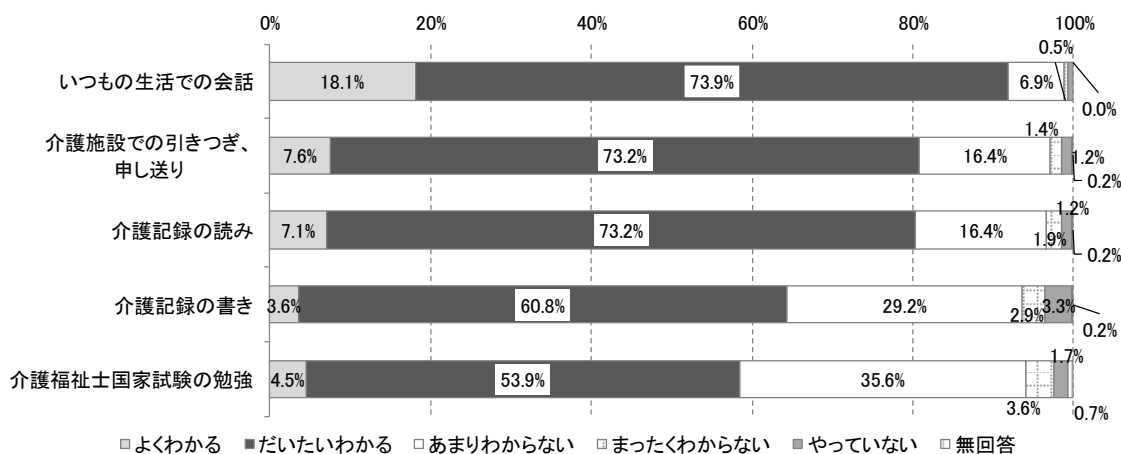
EPA 介護福祉士における、介護に関わる場面別の日本語理解度について、「よくわかる」「だいたいわかる」の合計をみると（以下同様）、「いつもの生活での会話」は96.7%、「介護施設での引きつぎ、申し送り」が97.5%、「介護記録の読み」が96.6%、「介護記録の書き」が90.8%、「介護福祉士国家試験の勉強」が89.2%となっている。

図表 3-42 問 17 介護に関わる場面別の日本語の理解度(EPA 介護福祉士、n=120)



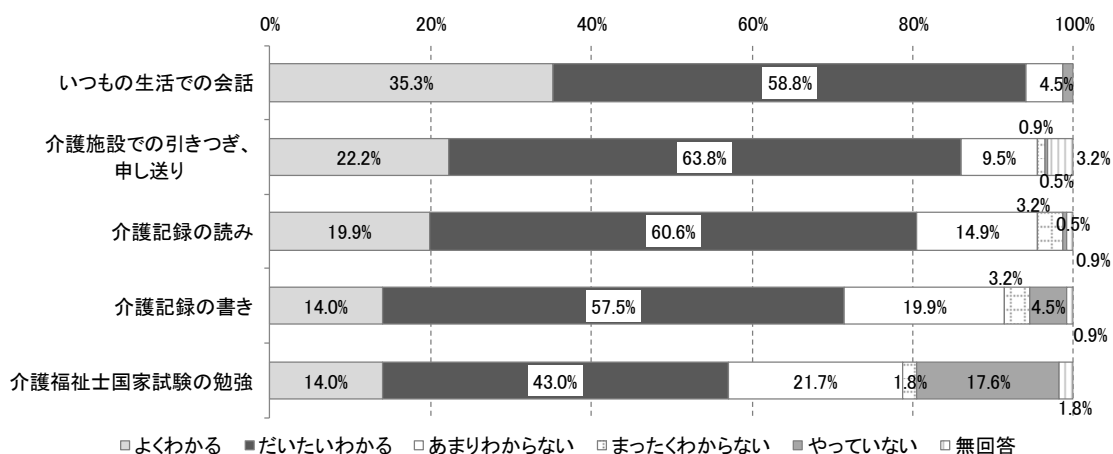
EPA その他における、介護に関わる場面別の日本語理解度について、「よくわかる」「だいたいわかる」の合計をみると（以下同様）、「いつもの生活での会話」は92.0%、「介護施設での引きつぎ、申し送り」が80.8%、「介護記録の読み」が80.3%、「介護記録の書き」が64.4%、「介護福祉士国家試験の勉強」が58.4%となっている。

図表 3-43 問 17 介護に関わる場面別の日本語の理解度(EPA その他、n=421)



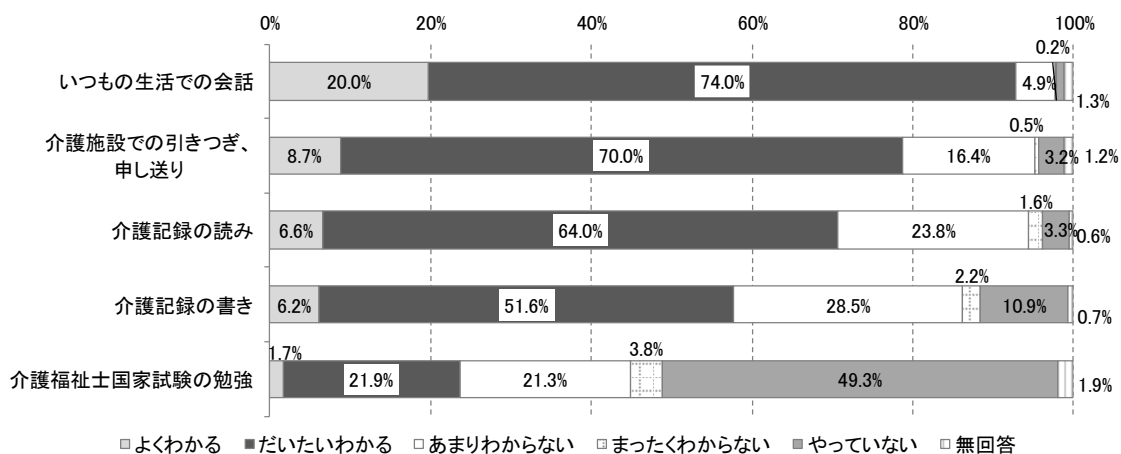
「介護」において、介護に関わる場面別の日本語理解度について、「よくわかる」「だいたいわかる」の合計をみると（以下同様）、「いつもの生活での会話」は94.1%、「介護施設での引きつぎ、申し送り」が86.0%、「介護記録の読み」が80.5%、「介護記録の書き」が71.5%、「介護福祉士国家試験の勉強」が57.0%となっている。

図表 3-44 問 17 介護に関わる場面別の日本語の理解度(「介護」、n=221)



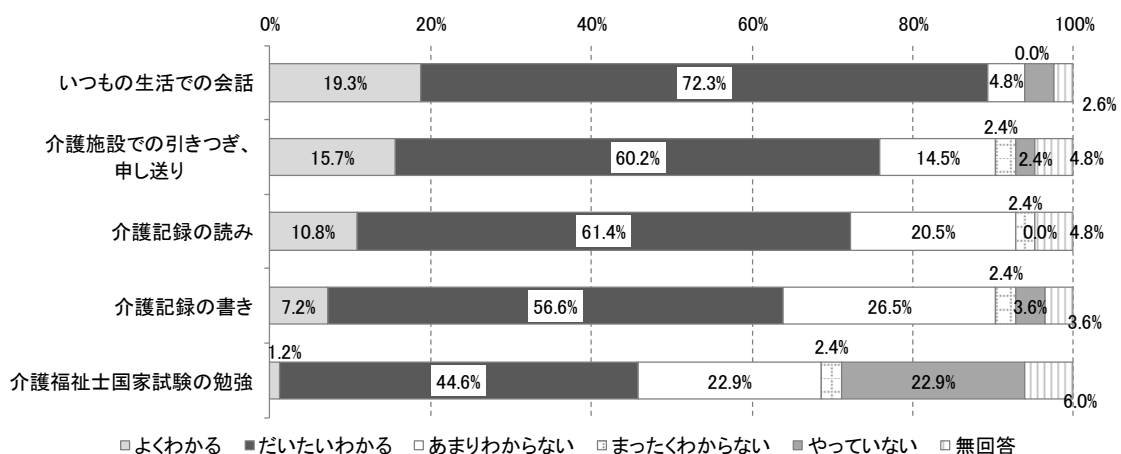
技能実習における介護に関わる場面別の日本語理解度について、「よくわかる」「だいたいわかる」の合計をみると（以下同様）、「いつもの生活での会話」は94.0%、「介護施設での引きつぎ、申し送り」が78.7%、「介護記録の読み」が70.6%、「介護記録の書き」が57.8%、「介護福祉士国家試験の勉強」が23.6%となっている。

図表 3-45 問 17 介護に関わる場面別の日本語の理解度(技能実習、n=1,538)



特定技能における介護に関わる場面別の日本語理解度について、「よくわかる」「だいたいわかる」の合計をみると（以下同様）、「いつもの生活での会話」は91.6%、「介護施設での引きつぎ、申し送り」が75.9%、「介護記録の読み」が72.2%、「介護記録の書き」が63.8%、「介護福祉士国家試験の勉強」が45.8%となっている。

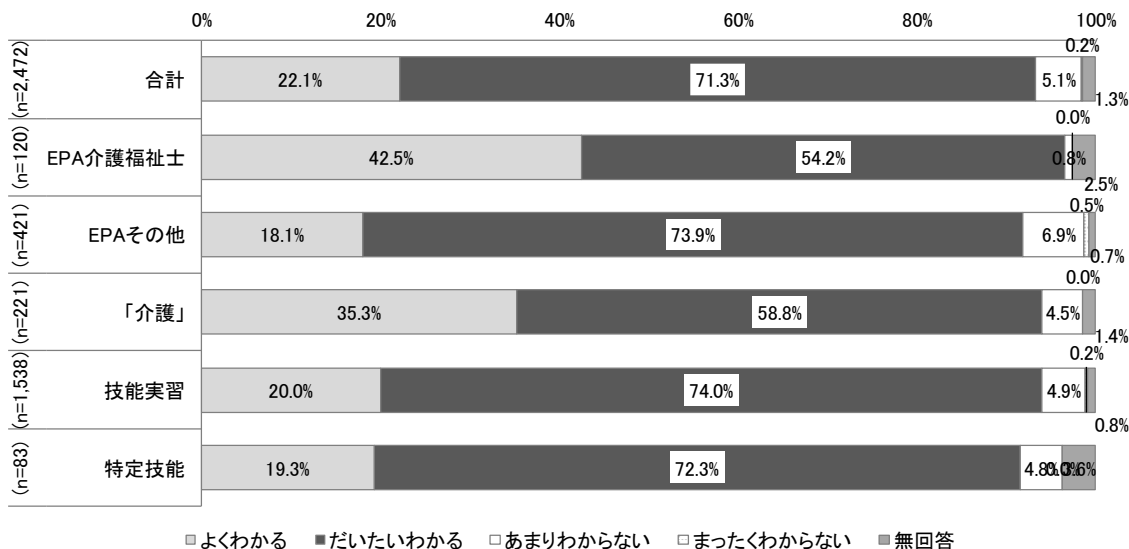
図表 3-46 問 17 介護に関わる場面別の日本語の理解度(特定技能、n=83)



⑥ 介護に関わる場面別の日本語の理解度（場面別集計）（問 17）

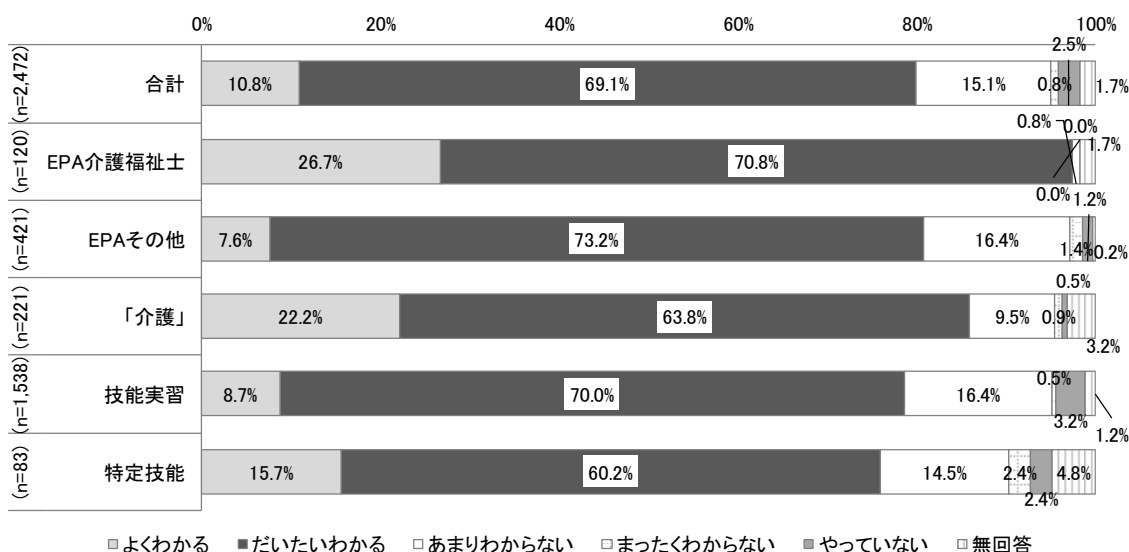
「いつもの生活での会話」について、すべての在留資格で「よくわかる」「だいたいわかる」の合計が9割を超えている。

図表 3-47 問 17 介護に関わる場面別の日本語の理解度（いつもの生活での会話）



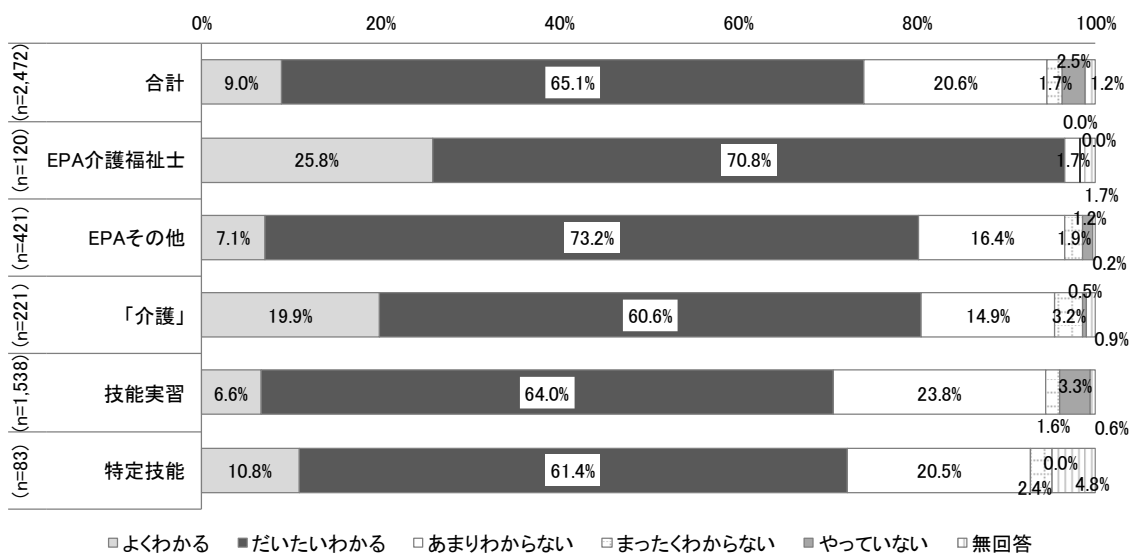
「介護施設での引きつぎ・申し送り」について、「よくわかる」「だいたいわかる」の合計は、EPA 介護福祉士が97.5%、次いで「介護」が86.0%となっている。

図表 3-48 問 17 介護に関わる場面別の日本語の理解度（介護施設での引きつぎ・申し送り）



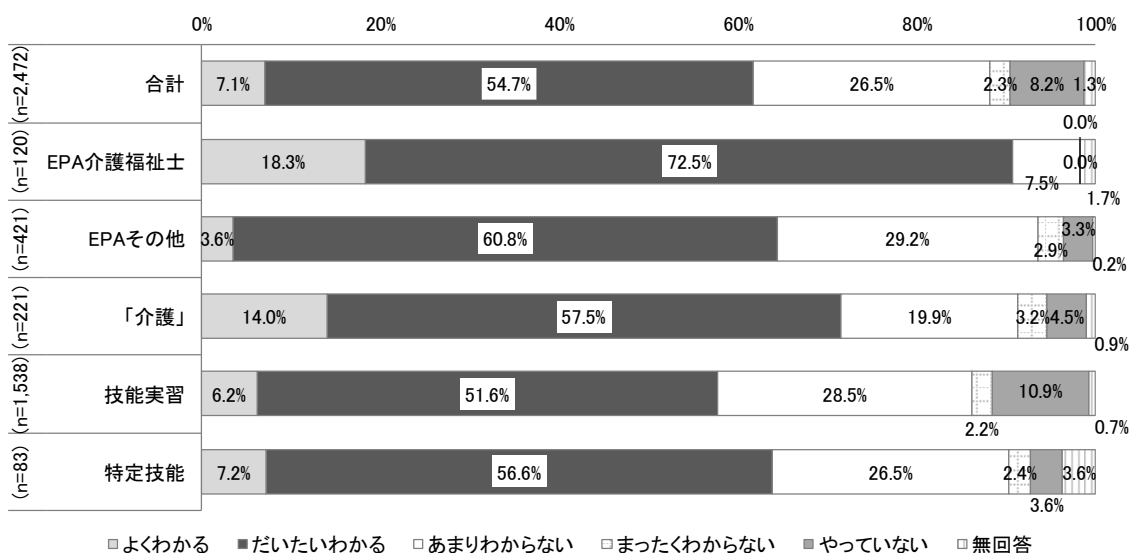
「介護記録の読み」について、「よくわかる」「だいたいわかる」の合計は、EPA介護福祉士96.6%、次いで「介護」が80.5%となっている。

図表 3-49 問 17 介護に関わる場面別の日本語の理解度(介護記録の読み)



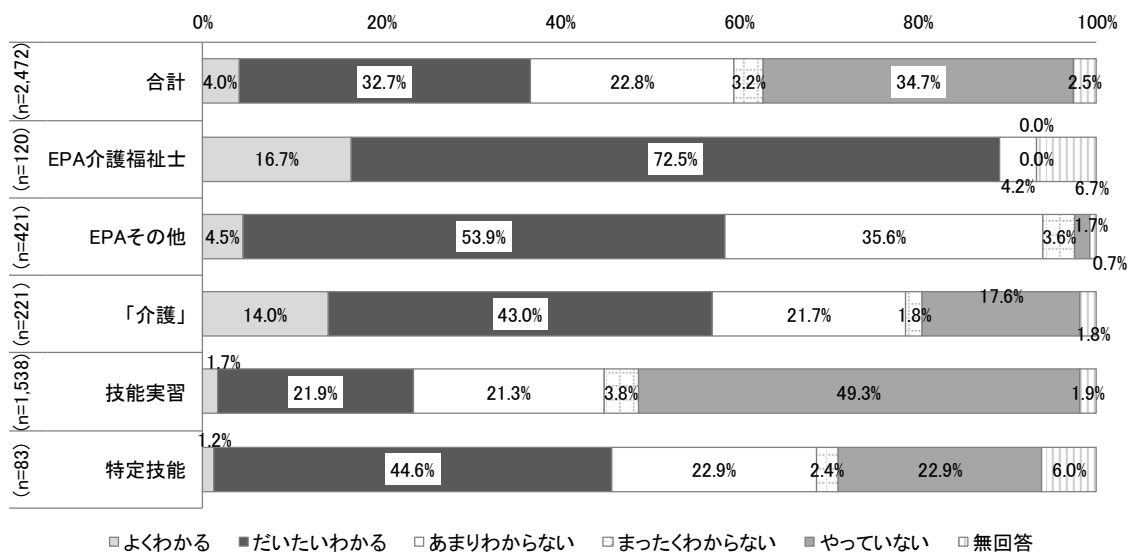
「介護記録の書き」について、「よくわかる」「だいたいわかる」の合計は、EPA介護福祉士が最も高く90.8%、次いで「介護」が71.5%となっている。

図表 3-50 問 17 介護に関わる場面別の日本語の理解度(介護記録の書き)



「介護福祉士国家試験の勉強」について、「よくわかる」「だいたいわかる」の合計は、EPA 介護福祉士が最も高く 89.2%、次いでEPA その他が 58.4%となっている。

図表 3-51 問 17 介護に関わる場面別の日本語の理解度
(介護福祉士国家資格の勉強)



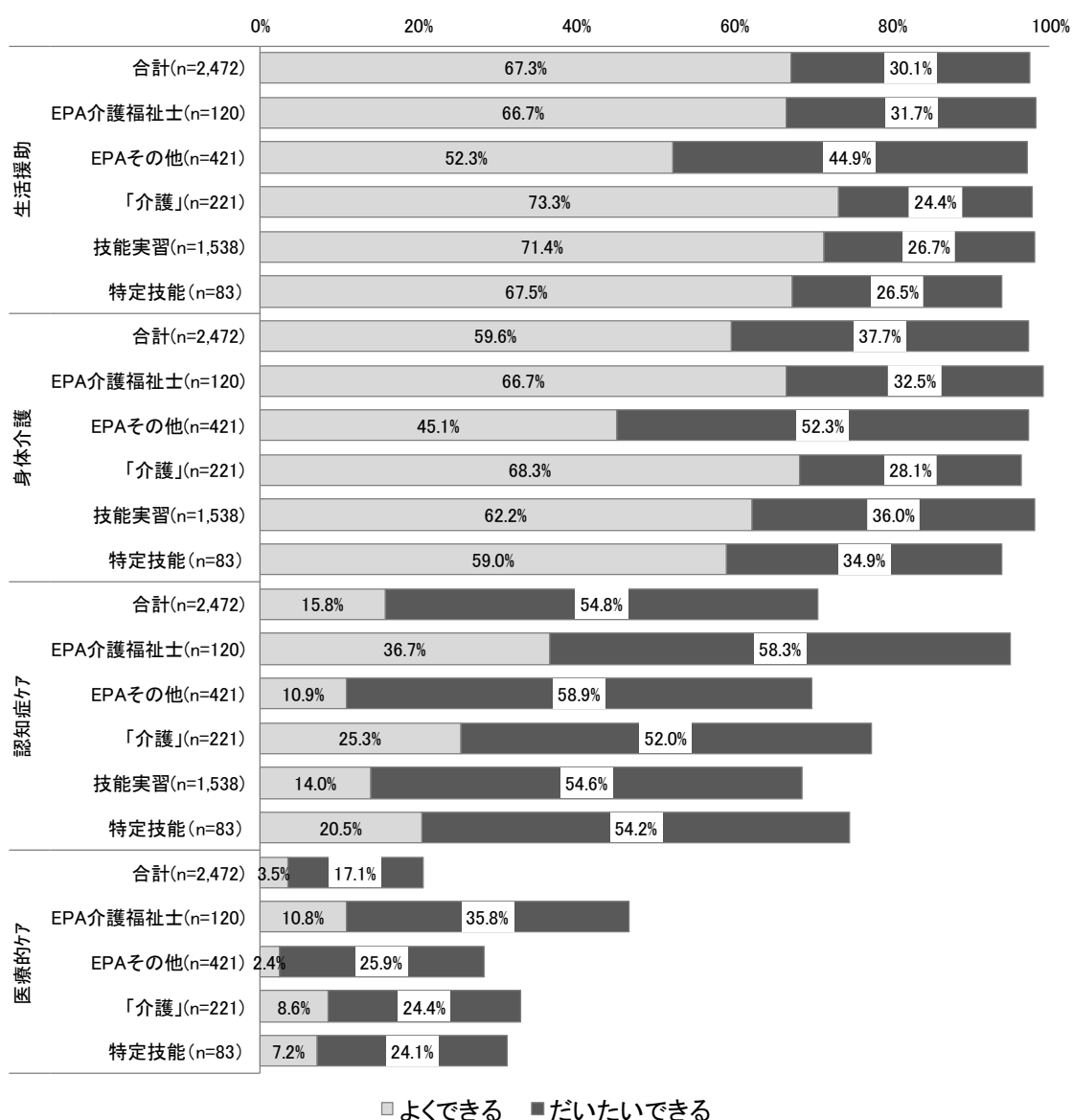
(4) 仕事について

① 介護関連の業務遂行の自己評価

介護関連の業務遂行について、全体として、「生活援助」、「身体介護」は「よくできる」、「だいたいできる」と回答する割合が9割を超えている。

また、在留資格別では、EPA介護福祉士、「介護」の順に、自己評価が高くなっている。

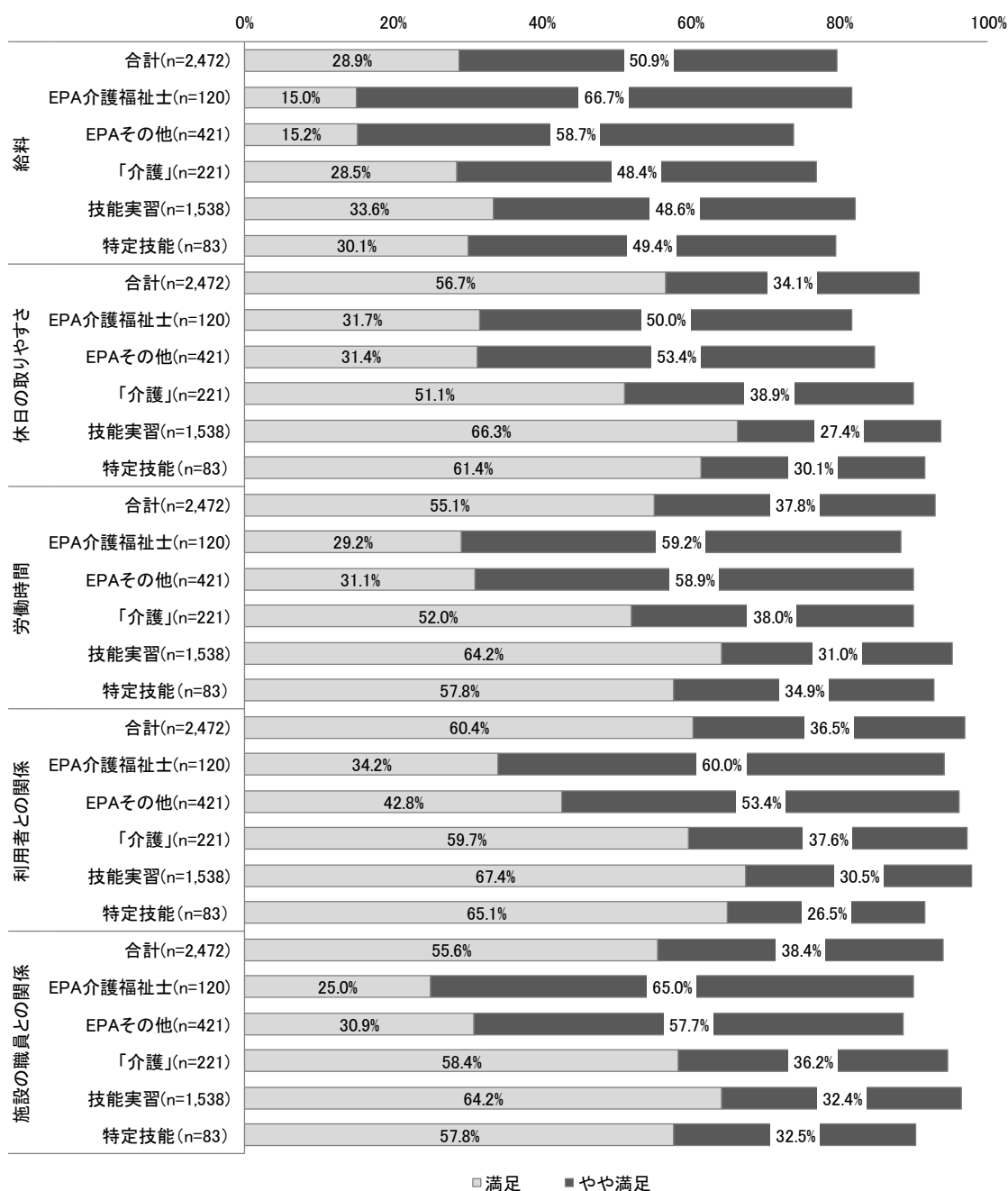
図表 3-52 問 18 介護関連の業務遂行の自己評価(在留資格別)
(「よくできる」と「だいたいできる」を足した割合を集計)



② 働いている施設の満足度（就労条件面）

働いている施設の就労条件面に対する満足度は、各項目概ね高い結果が得られており、各項目 8 割以上の満足度となっている。全体では、「利用者との関係」が最も満足度が高く 96.9%となっている。

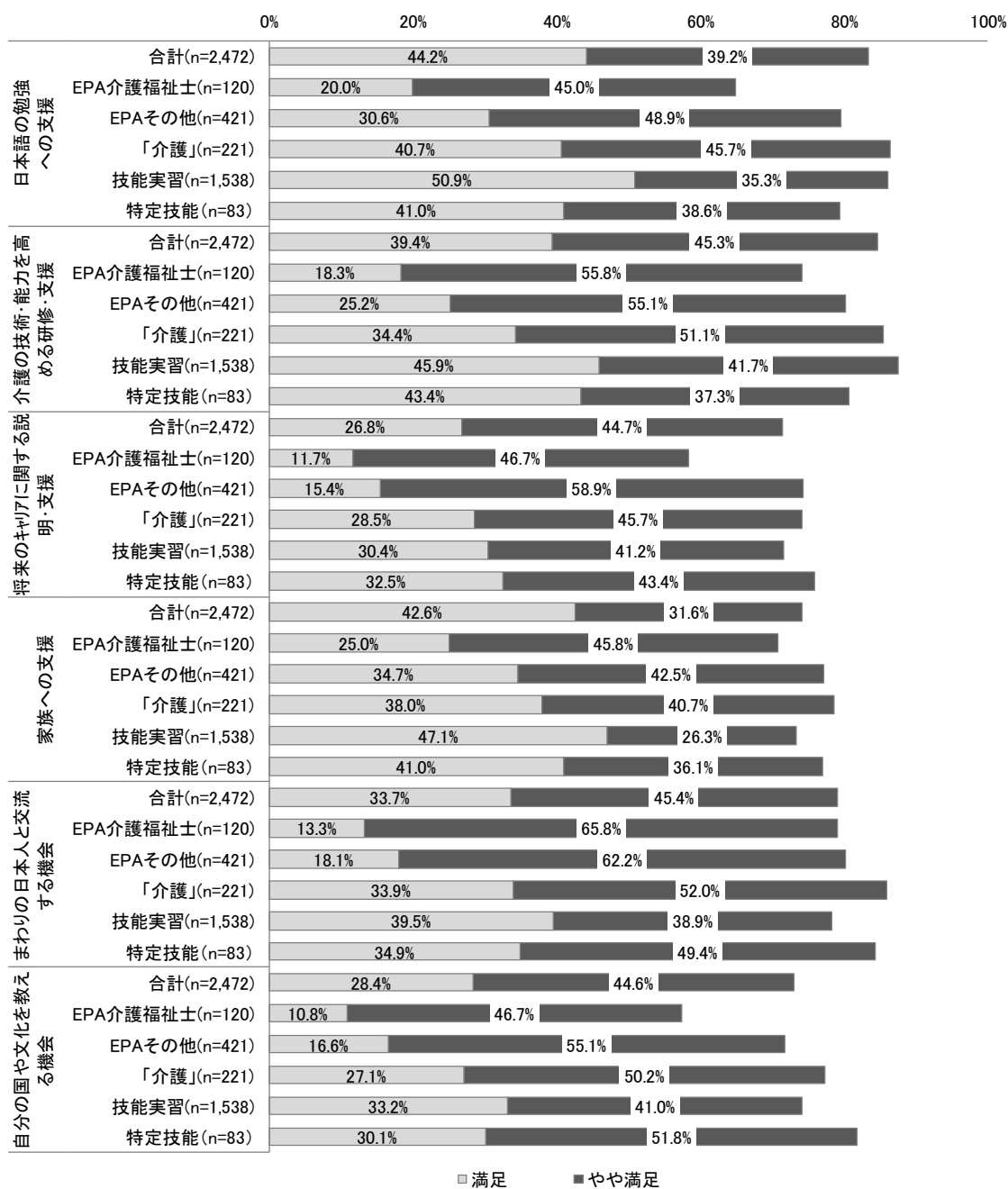
図表 3-53 問 19 働いている施設の満足度(就労条件面)
(「満足」と「やや満足」を足した割合を集計)



③ 働いている施設の満足度（施設からの各種支援面）

施設からの各種支援面における満足度は、全体では 7 割から 8 割程度の満足度となっている。在留資格別では、「介護」が、各項目での満足度が比較的高い結果となっている。

図表 3-54 問 19 働いている施設の満足度（施設からの各種支援面）
（「満足」と「やや満足」を足した割合を集計）



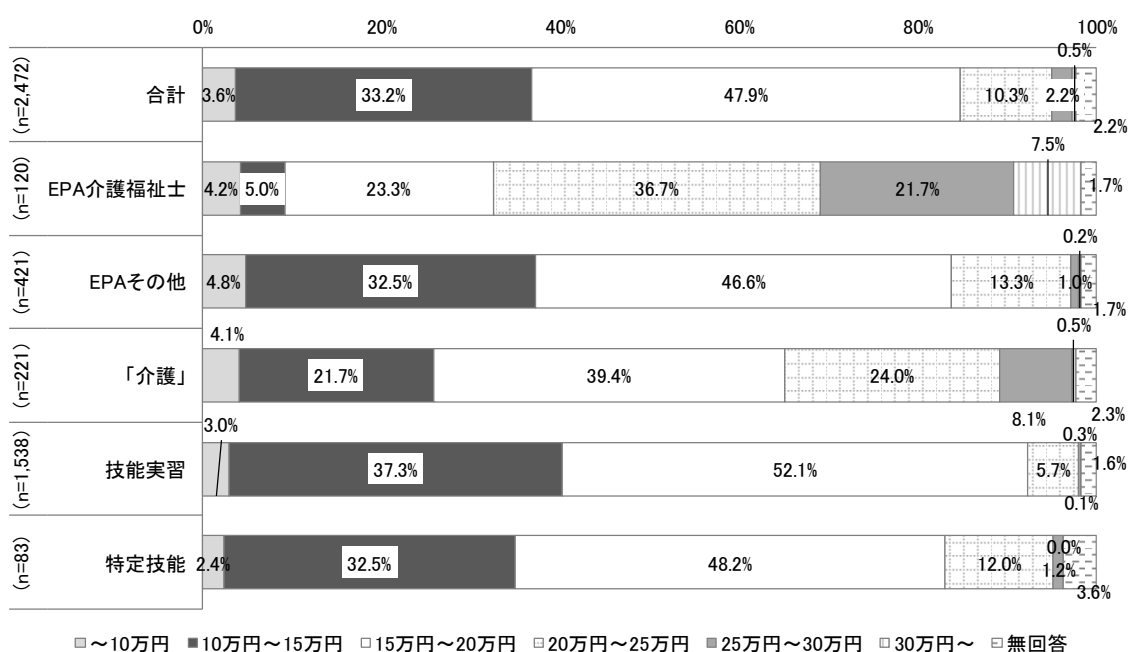
④ 1か月あたりの給与

1か月あたりの給与は、全体では「15万円～20万円」が47.9%と最も高くなっている。

在留資格別では、EPA介護福祉士が「20万円～25万円」が36.7%と最も高く、更に高い「25万円～30万円」も21.7%となっている。「介護」では「20万円～25万円」が39.4%と最も高くなっている。

また、技能実習と特定技能では、「15万円～20万円」が最も高くなっている（それぞれ、52.1%、48.2%）おり、「10万円～15万円」も3割以上となっている（それぞれ37.3%、32.5%）。

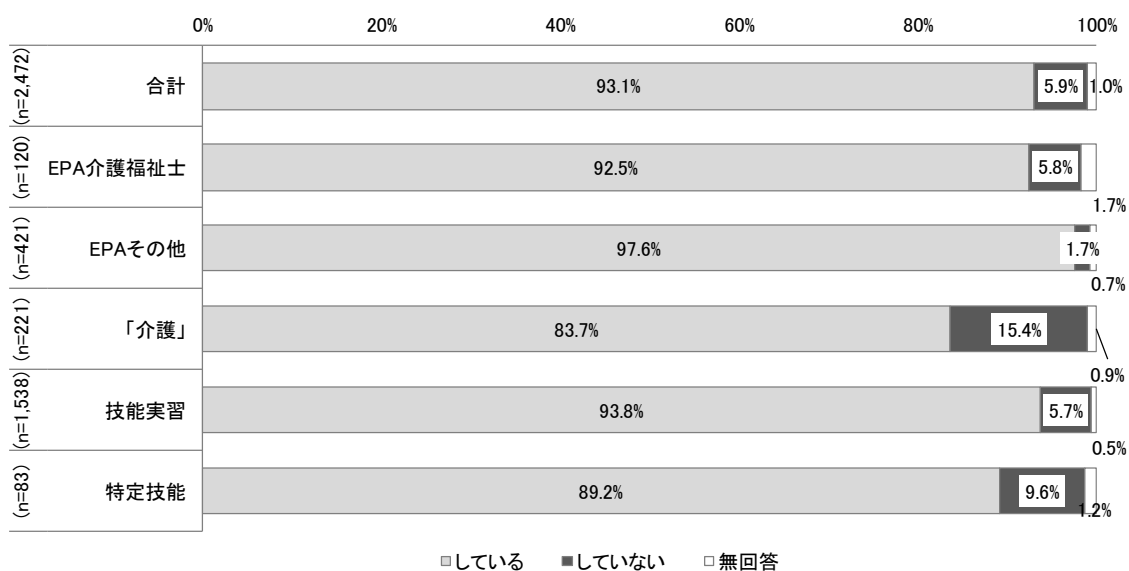
図表 3-55 問 20 1か月あたりの給与(在留資格別)



⑤ 送金状況

送金は、全体では93.1%が「送金をしている」と回答している。在留資格別では、「介護」で「送金している」が83.7%と若干低くなっている。

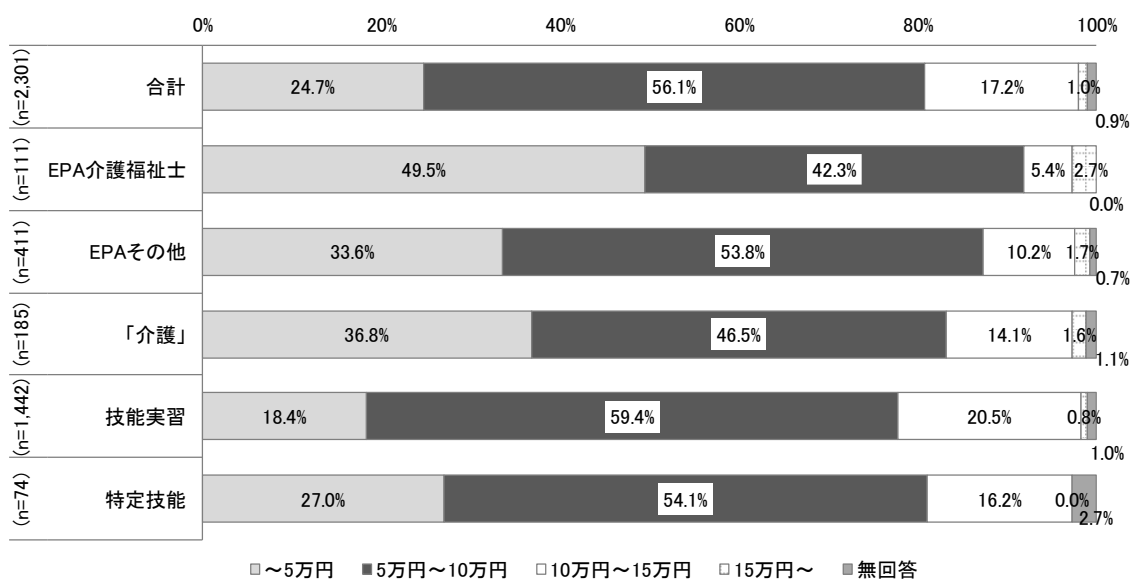
図表 3-56 問 21① 送金状況(在留資格別)



⑥ 送金金額 (1ヵ月あたり)

送金金額は、全体では「5万円～10万円」が最も高く56.1%となっている。在留資格別では、技能実習で「10万円～15万円」が20.5%と高くなっているように、送金金額が高い傾向がある。

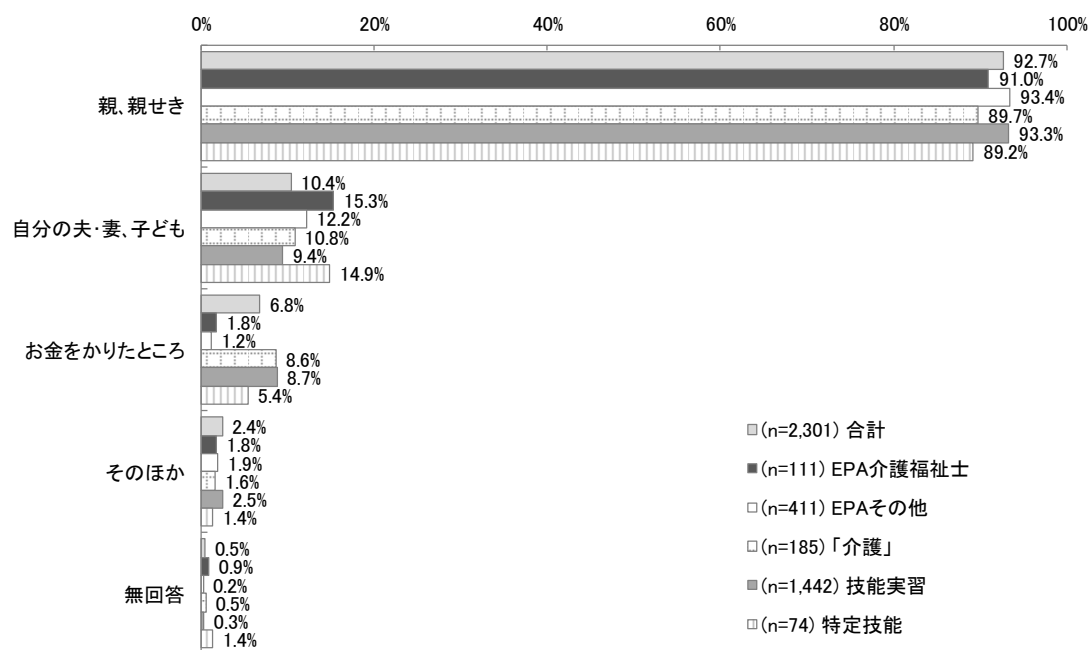
図表 3-57 問 21② 送金金額(1ヵ月あたり、在留資格別)



⑦ 送金先

送金先は、全体では「親、親せき」が92.7%となっており、他の送金先と比べて突出して高い割合となっている。

図表 3-58 問 21③ 送金先(在留資格別、複数回答)

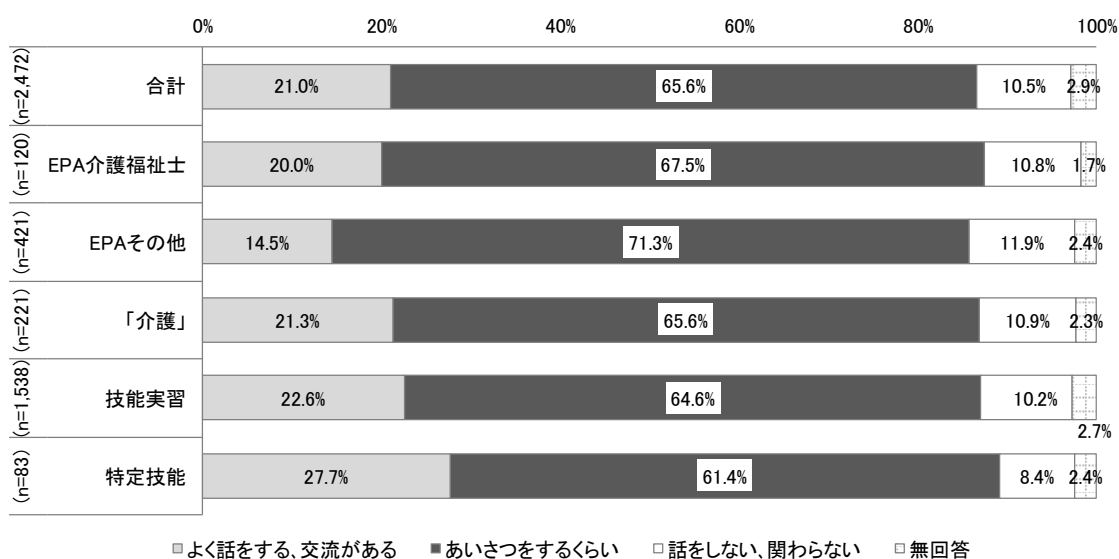


(5) 日常生活について

① 地域の日本人との関わり

現在の地域の日本人との関わりは、全体では「あいさつをするくらい」が最も高く65.6%となっている。EPA その他、「介護」、技能実習、特定技能の順に、「よく話をする、交流がある」の割合が高まっており、特定技能では27.7%となっている。

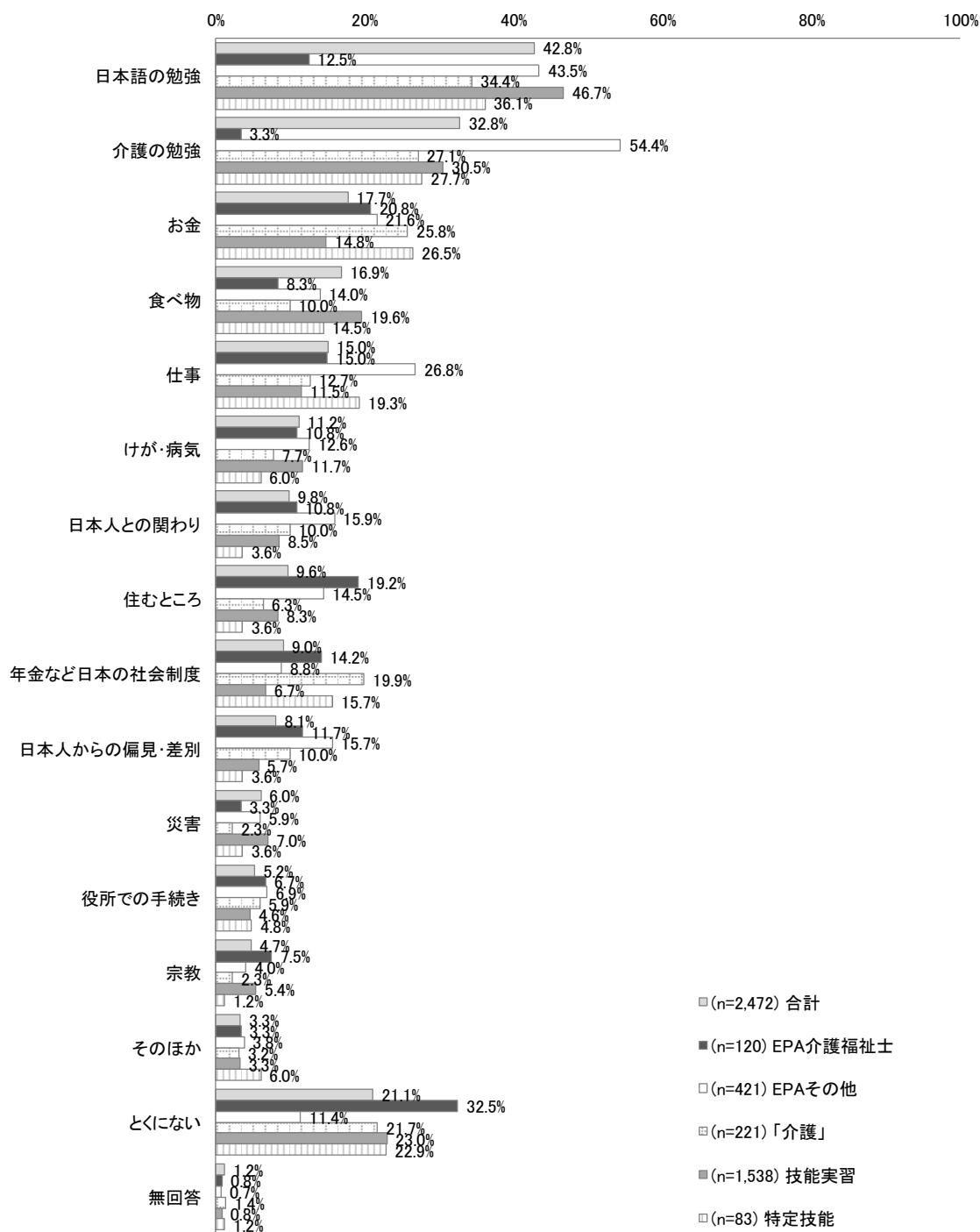
図表 3-59 問20 地域の日本人との関わり(在留資格別)



② 最近1年間、日本で困ったこと

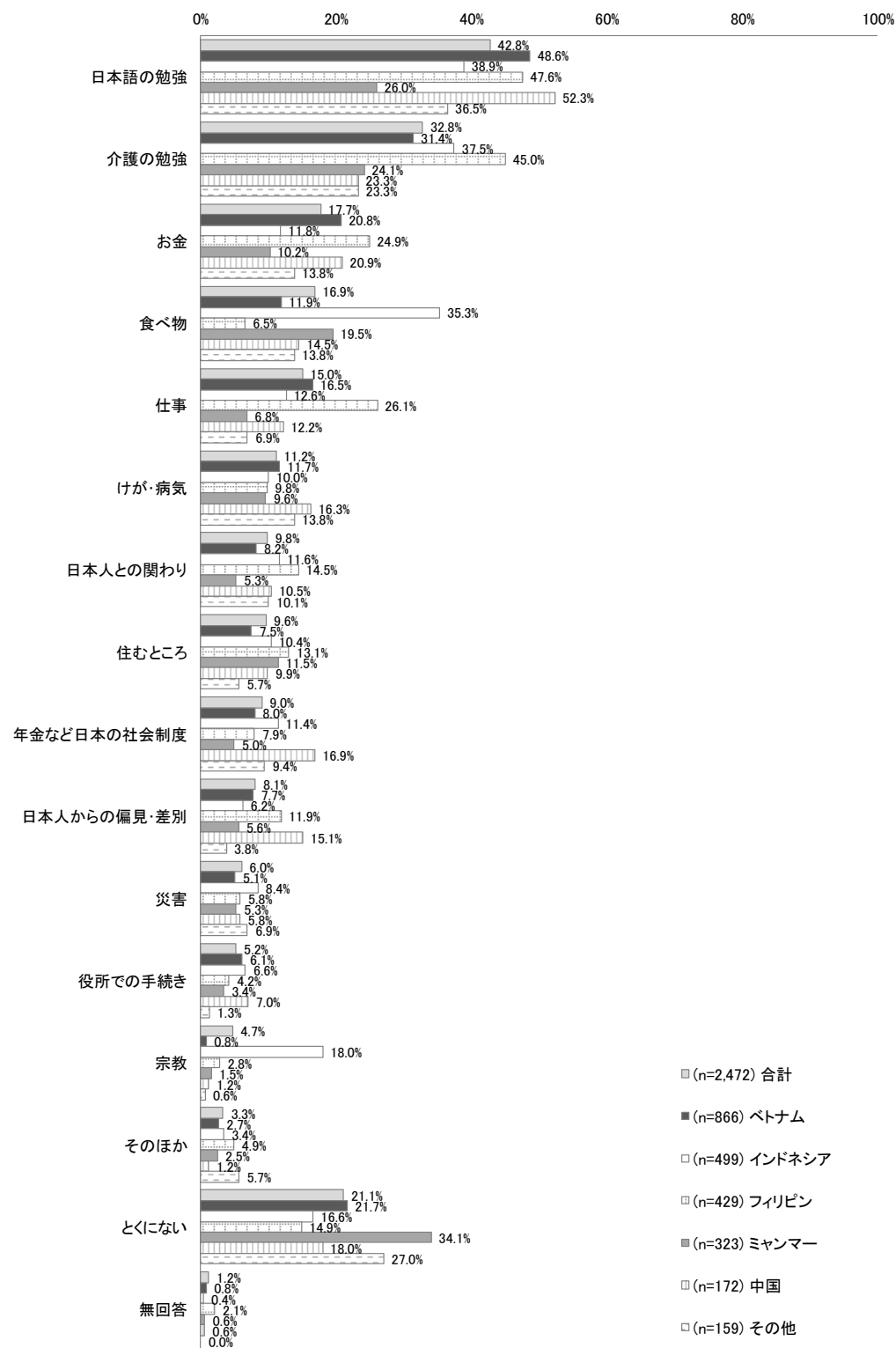
最近1年間、日本で困ったことは、全体では、「日本語の勉強」が42.8%で最も高くなっている。在留資格別では、EPA その他で「介護の勉強」が54.4%と最も高くなっている。

図表 3-60 問23 最近1年間、日本で困ったこと(在留資格別、複数回答)



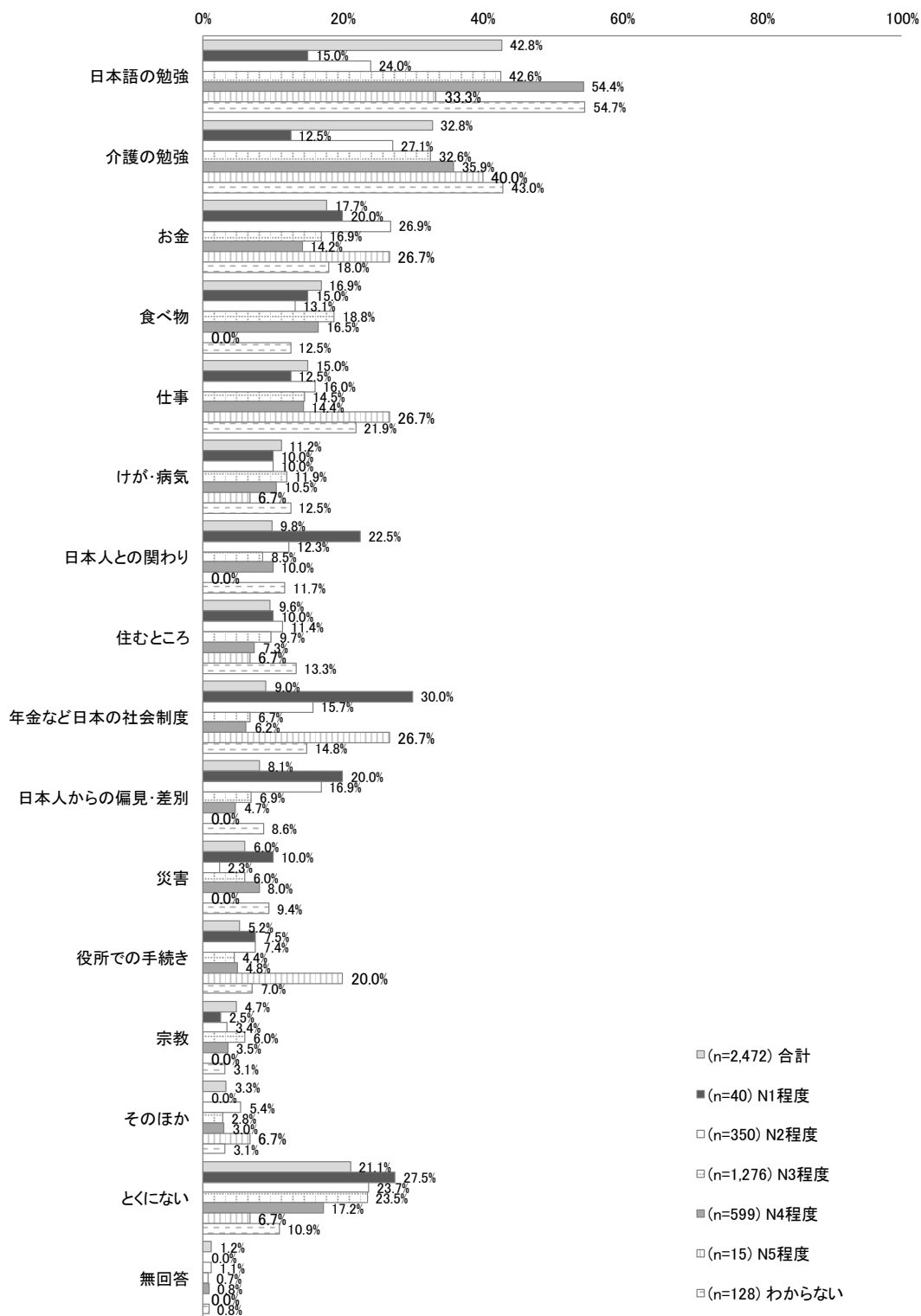
出身国・地域別にみると、中国で「日本語の勉強」(52.3%)、フィリピンで「介護の勉強」(45.0%)、インドネシアで「食べ物」(35.3%)、「宗教」(18.0%)が高い。

図表 3-61 問23 最近1年間、日本で困ったこと(出身国・地域別(上位5か国)、複数回答)



日本語能力別にみると、日本語能力が高いほど困っている項目（「年金などの日本の社会制度」(30.0%)、「日本人からの偏見・差別」(20.0%)）もある。

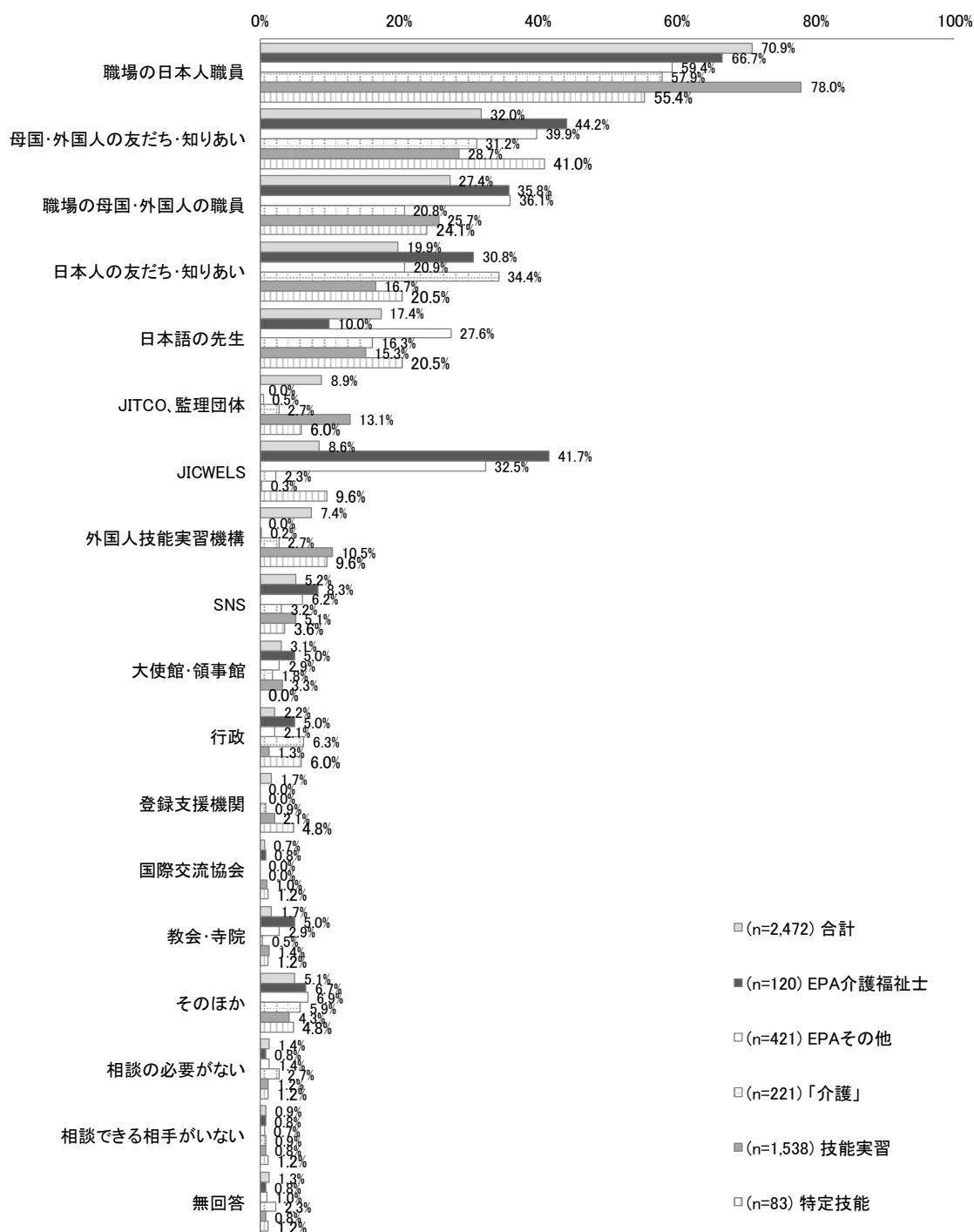
図表 3-62 問23 最近1年間、日本で困ったこと(日本語能力別、複数回答)



③ 困ったときの相談先

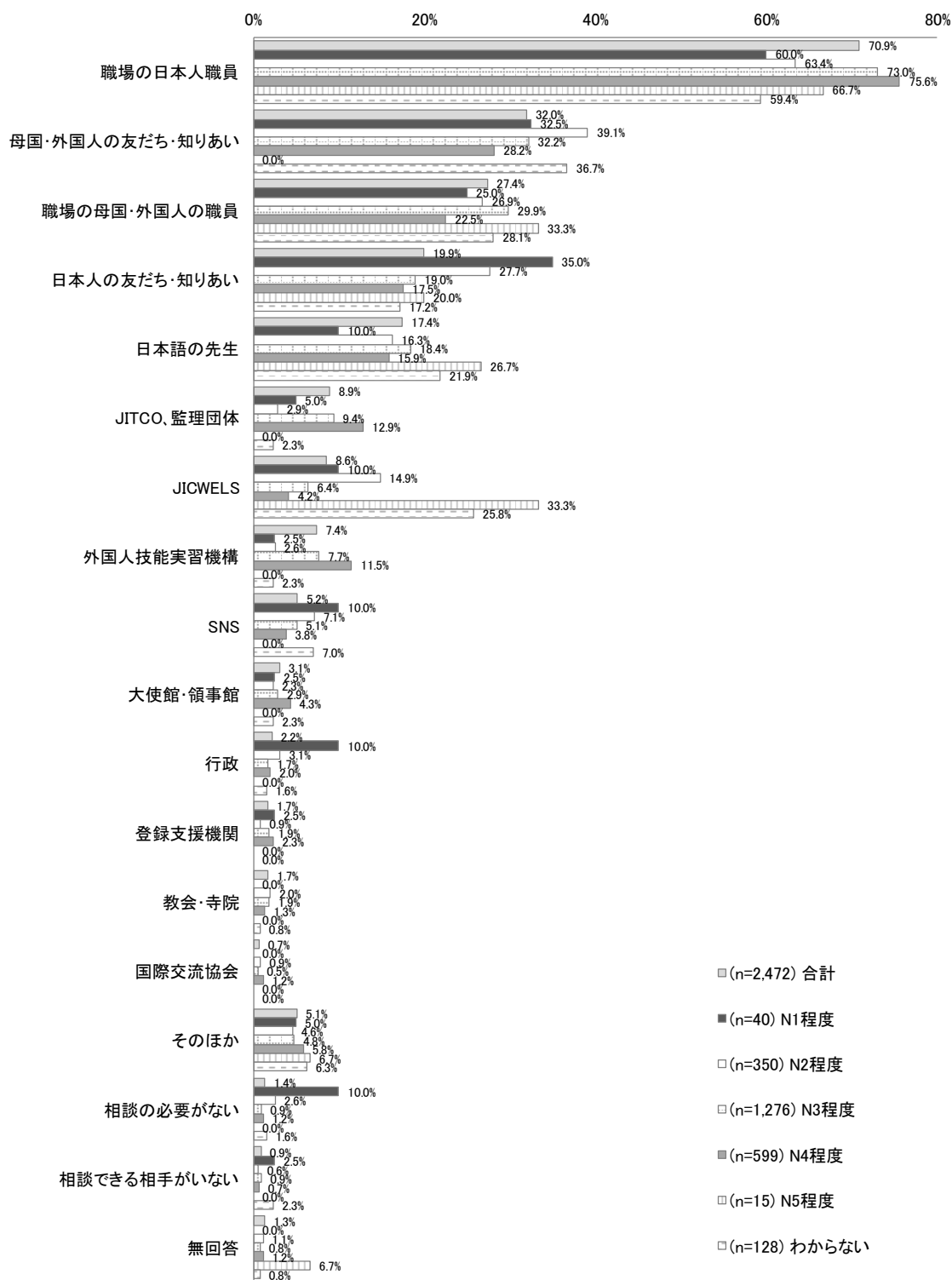
困ったときの相談先は、全体では「職場の日本人職員」が70.9%と最も高く、次いで「母国・外国人の友だち・知りあい」が32.0%となっている。

図表 3-63 問24 困ったときの相談先(在留資格別、複数回答)



日本語能力別にみると、特に、日本語能力が低いほど、職場の日本人職員を頼りにしている傾向がある（N5程度は、有効回答が15件のため解釈には留意）。

図表 3-64 問24 現在の日本語能力と相談先との関係（日本語能力別、複数回答）



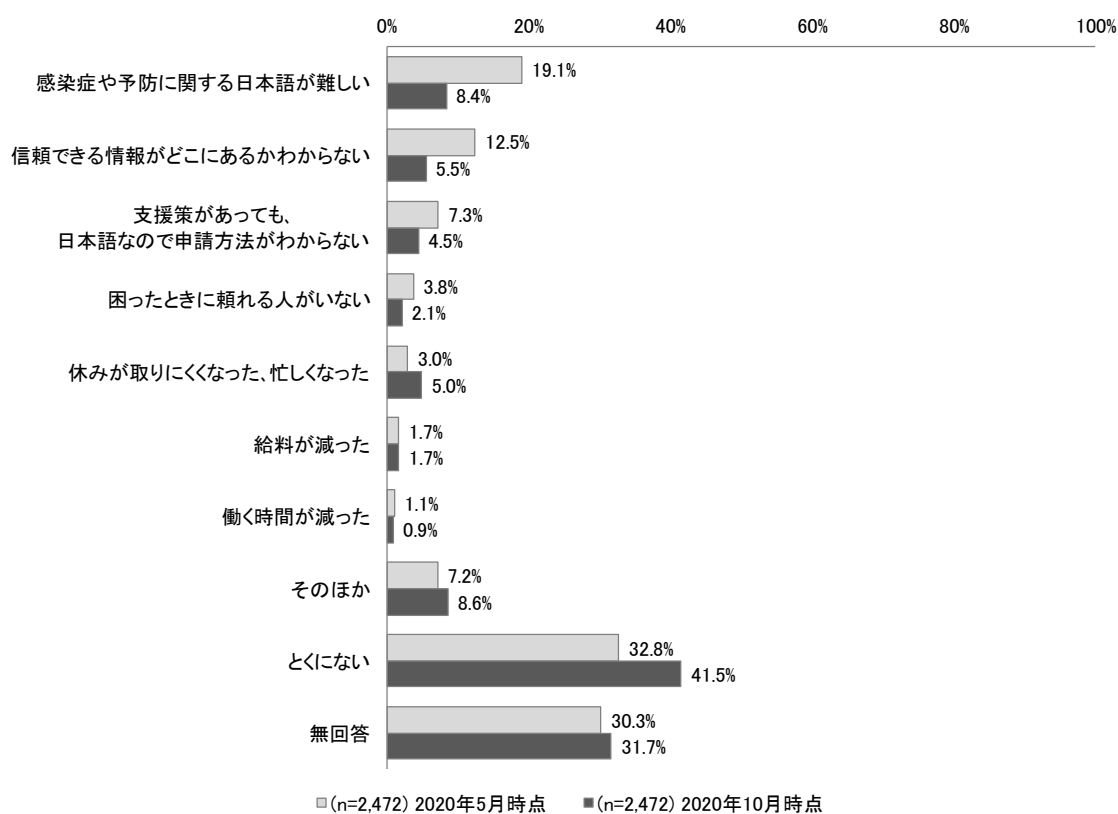
④ 新型コロナウイルス感染症の影響で困ったこと

新型コロナウイルス感染症の影響で困ったことについて、全体として緊急事態宣言発令中であった2020年5月に比べて、調査時点である2020年10月の方が困っていることは少なくなっている。

困っていることは「とくにない」と回答した割合が、2020年5月時点は32.8%、2020年10月時点は41.5%と高くなっている。

困っていることがあると回答した内容をみると、「感染症や予防に関する日本語が難しい」（2020年5月時点：19.1%→2020年10月時点：8.4%）、「信頼できる情報がどこにあるかわからない」（2020年5月時点：12.5%→2020年10月時点：5.5%）といった項目が高くなっている。

図表 3-65 問24 新型コロナウイルス感染症の影響で困ったこと(複数回答)



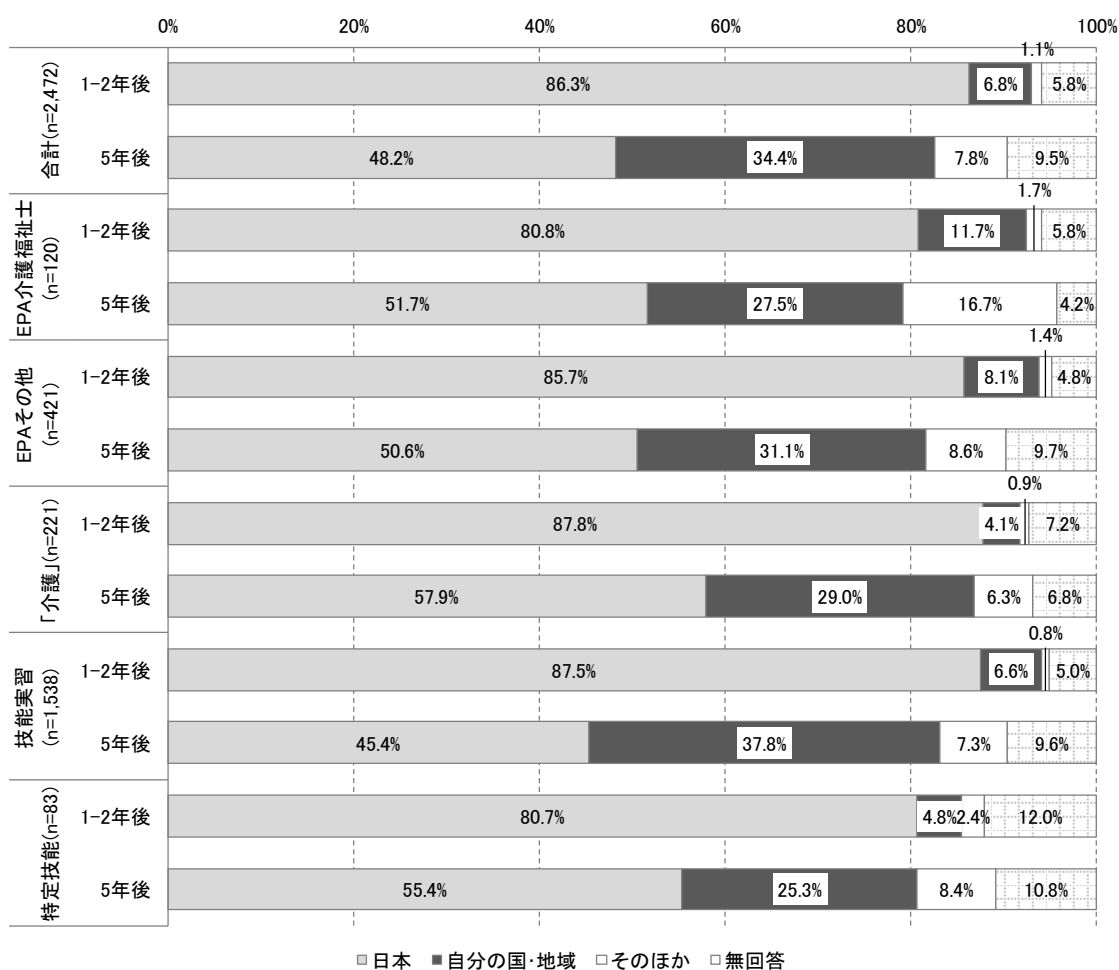
(6) 将来について

① 自分が住む場所の希望（在留資格別）

自分が住む場所の希望について、全体では「日本」が1-2年後で86.3%、5年後で48.2%となっている。

在留資格別では、5年後に「日本」を希望する人が、「介護」、特定技能の順で高くなっている（それぞれ57.9%、55.4%）。

図表 3-66 問 26 自分が住む場所の希望(在留資格別)

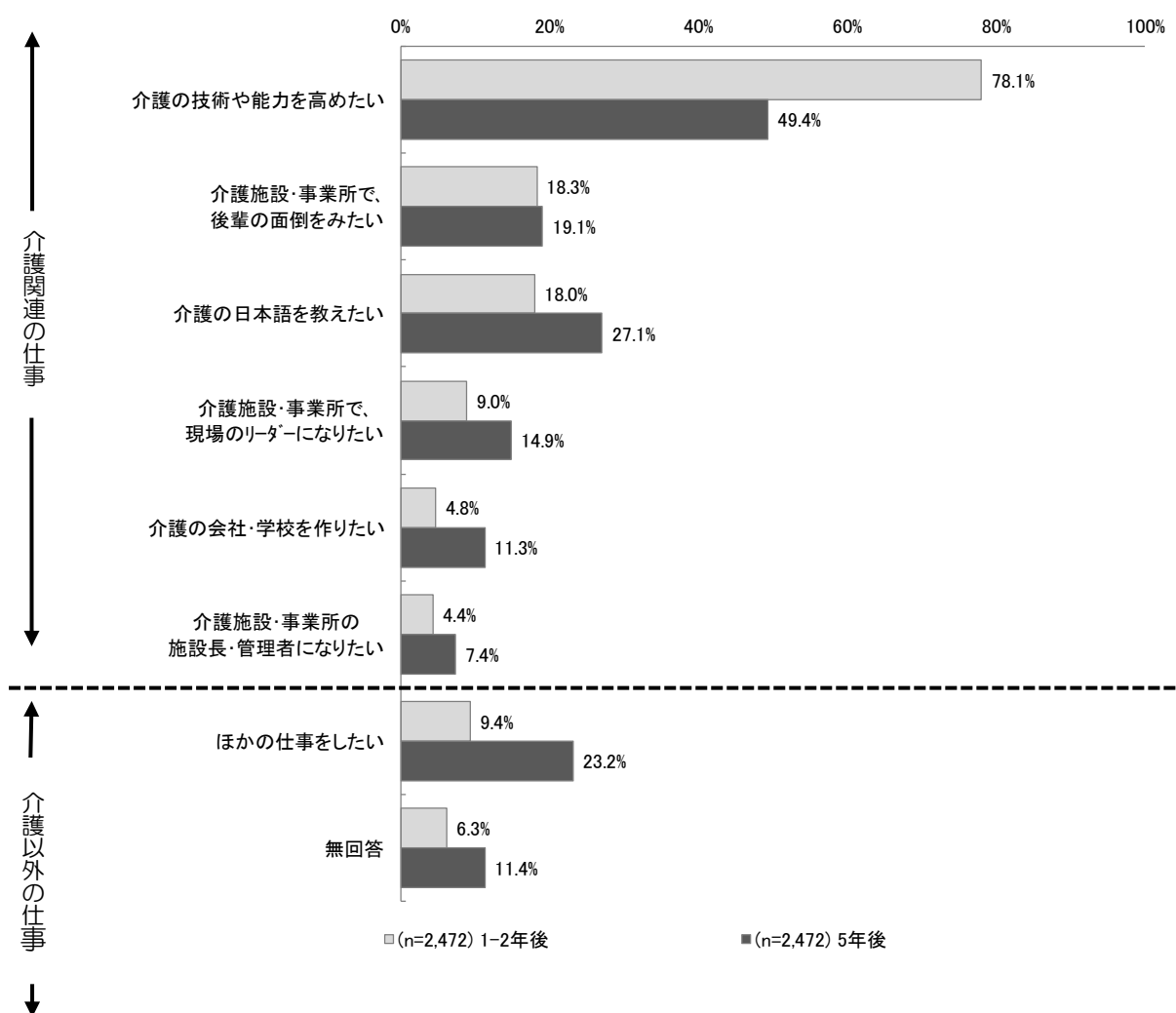


② 仕事の希望

仕事の内容に関する希望について、1-2年後、5年後ともに、「介護の技術や能力を高めたい」が最も高くなっている（それぞれ78.1%、49.4%）。

5年後には、「介護施設・事業所で、現場のリーダーになりたい」（14.9%）、「介護施設・事業所の施設長・管理者になりたい」（7.4%）といった日本でのキャリアアップを希望する回答もある。

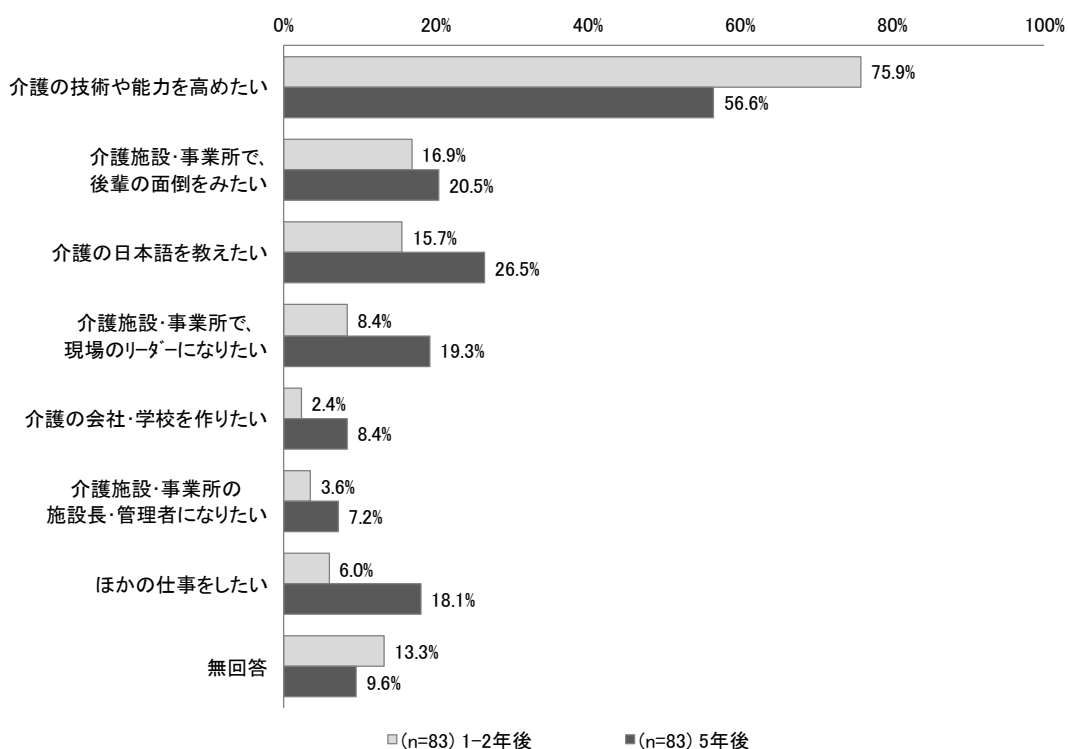
図表 3-67 問 26 仕事の希望（複数回答）



特に、特定技能の仕事の内容に関する希望について、1-2年後、5年後を比較すると、1-2年後では「介護の技術や能力を高めたい」が75.9%で最も高くなっている。

5年後では、「介護の技術や能力を高めたい」が56.6%で最も高くなっているが、次いで、「介護の日本語を教えたい」(26.5%)、「介護施設・事業所で後輩の面倒をみたい」(20.5%)の割合が高くなっている。

図表 3-68 問 26 仕事の希望(特定技能のみ、複数回答)

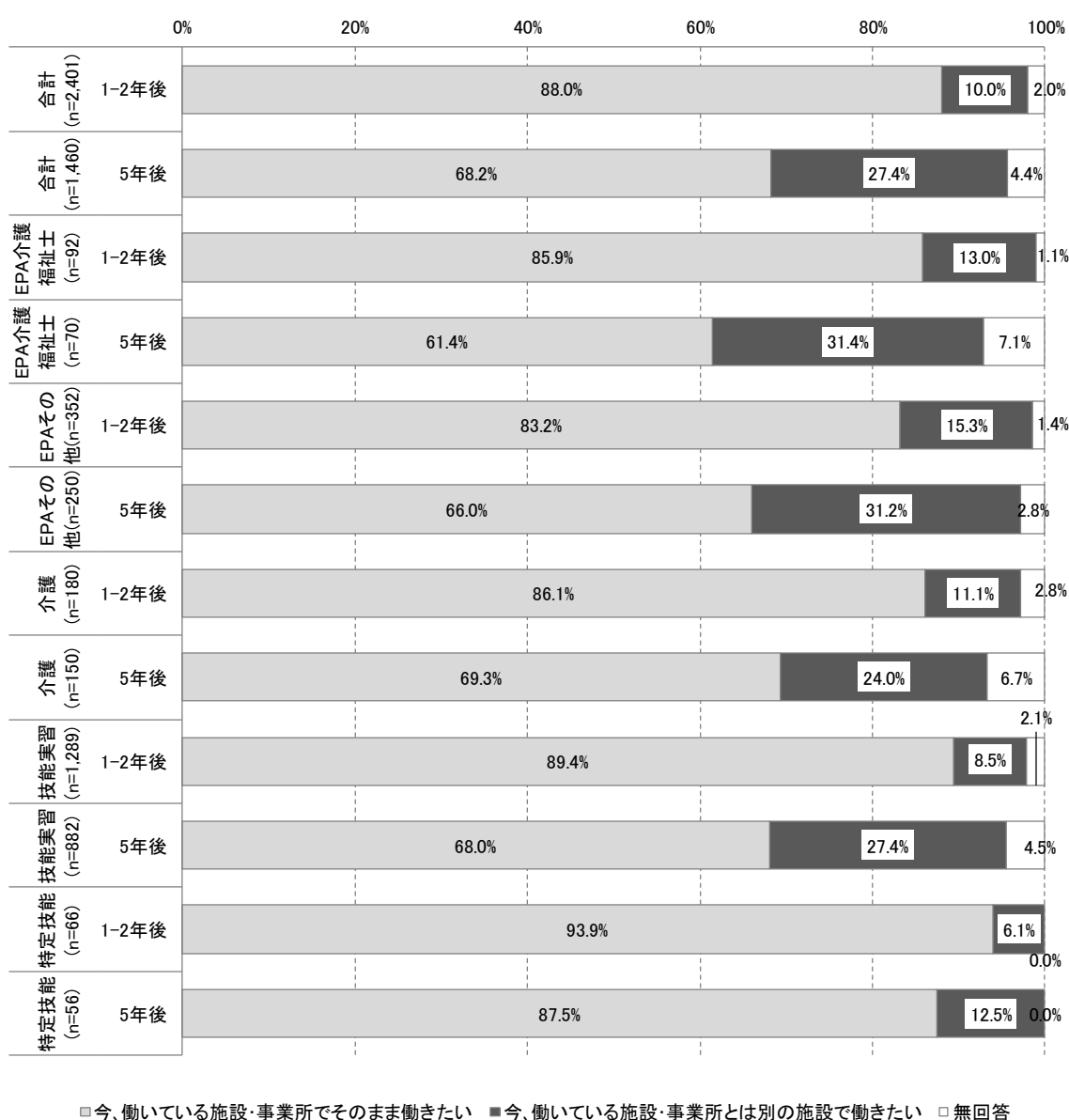


③ 就労先変更の希望（在留資格別）

1-2年後、5年後それぞれについて、介護施設・事業所において仕事をしたいと回答した人に対して、就労先変更の希望について尋ねた。

全体では、1-2年後は「今、働いている施設・事業所でそのまま働きたい」が88.0%と最も高くなっているが、5年後には68.2%まで低下する。5年後の就労先変更の希望について在留資格別では、特にEPA介護福祉士が31.4%と最も高く、特定技能は12.5%で最も低くなっている（有効回答が56件のため解釈には留意）。

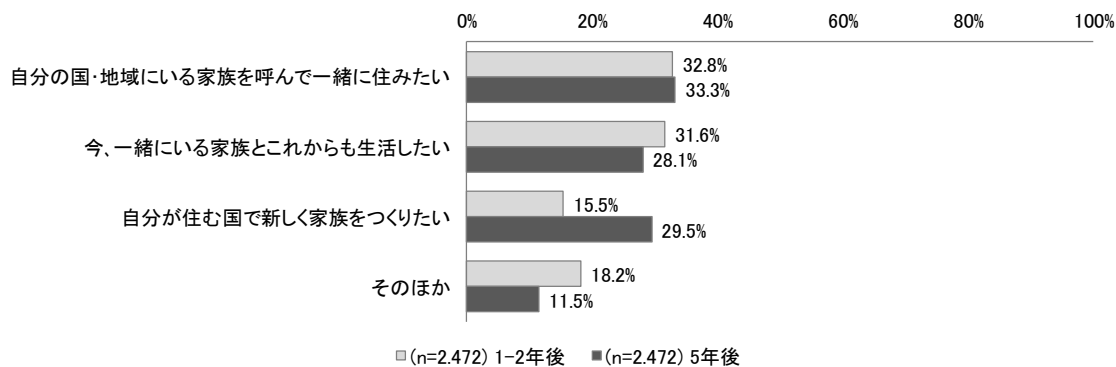
図表 3-69 問 26 就労先変更の希望(在留資格別)



④ 家族についての希望

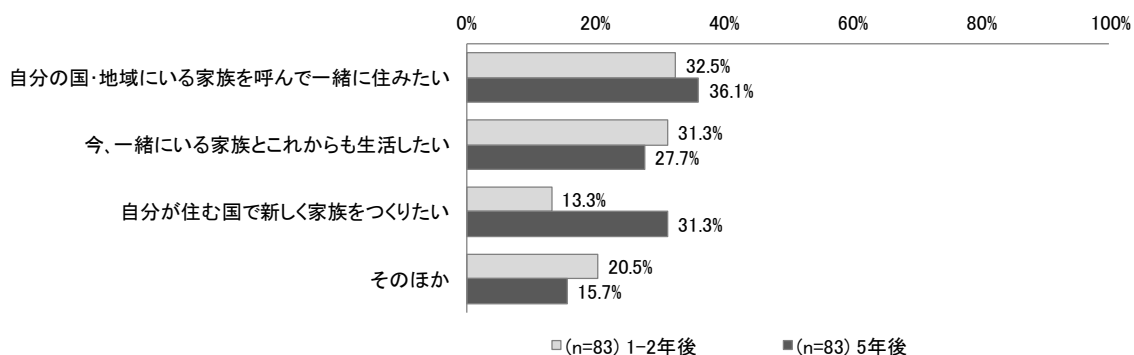
家族についての希望は、全体で、1-2年、5年後ともに「自分の国・地域にいる家族を呼んで一緒に住みたい」が最も高くなっている（それぞれ、32.8%、33.3%）。

図表 3-70 問 26 家族についての希望(複数回答)



特定技能の家族についての希望をみると、1-2年後、5年後ともに「自分の国・地域にいる家族を呼んで一緒に住みたい」が最も高くなっている（それぞれ、32.5%、36.1%）。

図表 3-71 問 26 家族についての希望(特定技能のみ、複数回答)



第4章 特定技能外国人受入れ事業所等へのヒアリング調査

1. 調査実施概要

(1) 調査の目的

特定技能外国人の就労・生活実態、及び受入れ施設における受入れの準備や支援の実態を把握するためヒアリング調査を実施した。

なお、有識者（3名）に対するヒアリング調査は、座談会形式で実施した。

(2) 調査対象

それぞれの対象ごとに、以下の件数を行った。

特定技能外国人受入れ事業所・法人（受入れ予定も含む）	3件
上記事業所・法人に所属する外国人本人	2件
登録支援機関	3件
送出し機関	2件
自治体	1件
有識者（3名：グループヒアリング・座談会形式）	1件

(3) 調査方法

対面、またはオンラインでのヒアリング調査

(4) 調査実施期間

令和2年11月～令和3年2月

(5) 調査項目

（受入れ事業所・法人）

- ・ 施設・事業所の概要
- ・ 特定技能外国人の受入れに係る取組について
- ・ 送出し国・送出し機関に係る内容について
- ・ 特定技能制度の普及拡大に向けて

（登録支援機関）

- ・ 機関の概要
- ・ 特定技能外国人（介護分野）に係る登録支援機関としての取組について
- ・ 送出し国・送出し機関に係る内容について

- ・ 特定技能制度の普及拡大に向けて

(送出し機関)

- ・ 機関の概要
- ・ 特定技能外国人（介護分野）に係る送出し機関としての取組について
- ・ 特定技能制度の普及拡大に向けて

(有識者)

- ・ ニューノーマルにおいてどのように外国人介護人材を確保するか

2. 調査結果

ヒアリング調査の結果は、本事業にて別途まとめる、「特定技能外国人の受入れに関する介護事業者向けガイドブック」に収録している。

【参考資料】

- ・ 参考資料 1 事業所向けアンケート調査票①・・・・・・・・・・ 117
- ・ 参考資料 2 事業所向けアンケート調査票②・・・・・・・・・・ 129
- ・ 参考資料 3 外国人介護職員本人向けアンケート調査票・・・・ 133

事業所調査票①

※特に注意書きがない限り、令和2年10月1日時点の状況についてお答えください。

はじめに、貴施設・事業所のご連絡先をご記入ください

法人の名称		
(調査票の宛先の) 施設・事業所名		
住所	都・道 府・県	市・区 町・村
電話番号	(市外局番：)	—
E-mail		

問0 本調査は、在留資格「特定活動(EPA)」・「技能実習」・「介護」及び「特定技能」をもって在留している外国人介護職員を受け入れている、あるいは受け入れるための手続きをしている施設・事業所を対象にしています。令和2年10月1日時点における貴施設・事業所の状況をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

※外国人介護職員：貴施設・事業所で介護職員として受け入れており、日本語が母語でない外国人

- | | |
|--|---------------------------------------|
| 1. 受け入れている | →以下の設問にご回答ください。 |
| 2. 受け入れていないが、採用した外国人介護職員の入国を待っている、
あるいは、受け入れるための手続きの途中である | →以下の設問にご回答ください。 |
| 3. 受け入れていない | →ここまでの回答で結構です。本調査票を同封の返信用封筒にてご返送ください。 |

1. 貴施設・事業所の概要についてお尋ねします

問1 貴施設・事業所が所属している法人についてお尋ねします。

(1) 法人の種類は何ですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1. 地方公共団体(市区町村、広域連合、一部事務組合) | 3. 医療法人 |
| 2. 社会福祉法人 | 4. その他(具体的に：) |

(2) 法人全体の従業員数はどのくらいですか。(あてはまる番号1つに○)

※職種や役職に関係なく、法人が実施するすべての事業に従事する常勤・非常勤の従業員数(実人数)について、あてはまる番号を選択してください。ただし、派遣労働者、委託業務従事者は除きます。

- | | | |
|------------|--------------|-----------|
| 1. 49人以下 | 3. 100人～199人 | 5. 300人以上 |
| 2. 50人～99人 | 4. 200人～299人 | |

問2 貴施設・事業所(本調査票の宛先の施設・事業所)についてお尋ねします。

(1) 施設・事業所の種類は何ですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 介護老人福祉施設(地域密着型を含む) | 6. 認知症対応型共同生活介護 |
| 2. 介護老人保健施設 | 7. 小規模多機能型居宅介護 |
| 3. 介護療養型医療施設、介護医療院 | 8. 通所介護 |
| 4. 養護老人ホーム | 9. 病院 |
| 5. 有料老人ホーム | 10. 障害児者支援施設 |
| | 11. その他(具体的に：) |

(2) (1) で回答した施設・事業所の定員・病床数をご記入ください。(あてはまる数字を記入)

定員・病床数 (令和2年10月1日現在)	人/床
----------------------	-----

(3) (1) で回答した施設・事業所の職員数をご記入ください。(令和2年10月1日現在)

(あてはまる数字を記入。いない場合は、「0(ゼロ)」を記入)

	職員数	うち介護職員	うち介護福祉士
常勤 (実人数)			
非常勤 (実人数)			
非常勤 (常勤換算数)			

※職員数については、職種や役職に関係なく、貴施設・事業所が実施するすべての事業に従事する常勤・非常勤の従業員数をご記入ください。ただし、休職者は含みません。派遣労働者、委託業務従事者は除きます。
 ※介護職員について、サービス管理責任者が介護職員を兼務している場合は人数に含めてご記入ください。

(4) (3) で回答した職員数のうち、外国人介護職員 (実人数) は何人ですか。

なお、病院の場合は、外国人介護職員の「介護」を「医療・看護」に読み替えてお答えください (以下同様)。(あてはまる数字を記入。いない場合は、「0(ゼロ)」を記入)

	EPA 介護福祉士候補者	EPA 介護福祉士	在留資格「介護」	技能実習生	特定技能1号	身分系の在留資格	留学生アルバイト
常勤 (実人数)							
非常勤 (実人数)							

※「EPA 介護福祉士候補者」「EPA 介護福祉士」とは、「日インドネシア EPA」、「日フィリピン EPA」または「日ベトナム EPA」に基づき、介護福祉士候補者または介護福祉士として雇用されている外国人介護職員のことを指します。

※「身分系の在留資格」とは、「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」のうち、いずれかの在留資格を有する外国人介護職員のことを指します。

(5) どの国・地域から外国人介護職員を受け入れていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. ベトナム	5. 中国	9. タイ	13. バングラデシュ
2. インドネシア	6. モンゴル	10. 韓国	14. マレーシア
3. フィリピン	7. ネパール	11. 台湾	15. その他
4. ミャンマー	8. スリランカ	12. カンボジア	()

問3 令和2年度で介護職員処遇改善加算 (I) ~ (V)、介護職員等特定処遇改善加算 (I) (II) を算定していますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 介護職員処遇改善加算 (I)	6. 介護職員等特定処遇改善加算 (I)
2. 介護職員処遇改善加算 (II)	7. 介護職員等特定処遇改善加算 (II)
3. 介護職員処遇改善加算 (III)	8. 算定していない
4. 介護職員処遇改善加算 (IV)	9. 介護保険サービス施設・事業所ではない
5. 介護職員処遇改善加算 (V)	

II. 特定技能外国人の受入れについてお尋ねします

問4 貴施設・事業所では、在留資格「特定技能」をもつ外国人（以下「特定技能外国人」という。）を受け入れていますか。（**あてはまる番号1つに○**）

1. 受け入れている	→問5へ
2. 受け入れていないが、採用した特定技能外国人の入国を待っている、あるいは、受け入れるための手続きの途中である	→問6へ
3. 受け入れていない	→問8へ

問5 特定技能外国人を受け入れている施設・事業所にお尋ねします。

(1) 貴施設・事業所が所属する法人内で、特定技能外国人の受入れの意思決定をしたのはいつですか。

(**あてはまる数字を記入**)

西暦 年 月

(2) 法人内で受入れの意思決定をした時から特定技能外国人の就労開始日まで、どのくらいの期間がかかりましたか。

約 日

(3) 貴施設・事業所で受け入れている特定技能外国人の属性をお答えください。

	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目
性別 (1つに○)	1. 男性 2. 女性 3. その他	1. 男性 2. 女性 3. その他	1. 男性 2. 女性 3. その他	1. 男性 2. 女性 3. その他	1. 男性 2. 女性 3. その他
年齢 (1つに○)	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代以上	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代以上	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代以上	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代以上	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代以上
国籍 (国名を記入)					
在留資格取得方法 (1つに○)	1. 国内試験合格 2. 海外試験合格 3. 特定活動 (EPA) からの変更 4. 介護福祉士養成施設修了	1. 国内試験合格 2. 海外試験合格 3. 特定活動 (EPA) からの変更 4. 介護福祉士養成施設修了	1. 国内試験合格 2. 海外試験合格 3. 特定活動 (EPA) からの変更 4. 介護福祉士養成施設修了	1. 国内試験合格 2. 海外試験合格 3. 特定活動 (EPA) からの変更 4. 介護福祉士養成施設修了	1. 国内試験合格 2. 海外試験合格 3. 特定活動 (EPA) からの変更 4. 介護福祉士養成施設修了
母国での就労経験 (1つに○)	1. 看護や介護の就労経験あり 2. 看護や介護以外の就労経験あり 3. 就労経験なし	1. 看護や介護の就労経験あり 2. 看護や介護以外の就労経験あり 3. 就労経験なし	1. 看護や介護の就労経験あり 2. 看護や介護以外の就労経験あり 3. 就労経験なし	1. 看護や介護の就労経験あり 2. 看護や介護以外の就労経験あり 3. 就労経験なし	1. 看護や介護の就労経験あり 2. 看護や介護以外の就労経験あり 3. 就労経験なし
日本での就労経験 (1つに○)	1. 看護や介護の就労経験あり 2. 看護や介護以外の就労経験あり 3. 就労経験なし	1. 看護や介護の就労経験あり 2. 看護や介護以外の就労経験あり 3. 就労経験なし	1. 看護や介護の就労経験あり 2. 看護や介護以外の就労経験あり 3. 就労経験なし	1. 看護や介護の就労経験あり 2. 看護や介護以外の就労経験あり 3. 就労経験なし	1. 看護や介護の就労経験あり 2. 看護や介護以外の就労経験あり 3. 就労経験なし

問6 登録支援機関についてお尋ねします。

(1) 登録支援機関を利用していますか。(あてはまる番号1つに○)

利用している場合は、登録支援機関の名称をご記入ください。

- | |
|------------------------|
| 1. 利用している (名称: _____) |
| 2. 利用していない →問8へ |

(2) 登録支援機関をどのようにして見つけましたか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------|------------------------------|
| 1. 他の介護事業所・法人の紹介 | 5. インターネットや口コミによる情報収集 |
| 2. 事業者団体、職能団体の紹介 | 6. 技能実習の監理団体として関わりがあった |
| 3. 自治体の紹介 | 7. 貴施設・事業所が属する法人が登録支援機関を設立した |
| 4. 介護以外の事業所・法人の紹介 | 8. その他 (具体的に: _____) |

(3) 登録支援機関にどのような支援を受けていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 特定技能外国人の斡旋 | 9. 公的手続等への同行 |
| 2. 入国・在留諸申請・届出支援 | 10. 日本語学習の機会の提供 |
| 3. 入国前・入国後教育 | 11. 相談・苦情への対応 |
| 4. 現地送出し機関とのやり取り | 12. 日本人との交流促進 |
| 5. 事前ガイダンス | 13. 転職支援 (人員整理等の場合) |
| 6. 出入国する際の送迎 | 14. 定期的な面談・行政機関への通報 |
| 7. 住居確保・生活に必要な契約支援 | 15. その他 (具体的に: _____) |
| 8. 生活オリエンテーション | |

(4) 特定技能外国人の受入れのために、登録支援機関に支払う費用はいくらですか。(あてはまる数字を記入)

- | | | | |
|---------------------------------|----------------|----------------------|---|
| ア) 支援委託手数料 | 特定技能外国人1人あたり 約 | <input type="text"/> | 円 |
| イ) その他 (紹介手数料、申請届出支援費用、事前教育費など) | 特定技能外国人1人あたり 約 | <input type="text"/> | 円 |

(5) (4) で回答した費用とは別に、特定技能外国人の受入れ後、登録支援機関に費用を支払っていますか。(あてはまる番号1つに○) 支払っている場合は、その金額をご記入ください。(あてはまる数字を記入)

- | |
|------------|
| 1. 支払っている |
| 2. 支払っていない |

▶ 特定技能外国人1人あたり 月額 約 円

問7 特定技能外国人を受け入れるための手続きについてお尋ねします。

(1) 手続きを進める際に、参照した資料 (書籍、文書、ホームページ等) はありますか。(あてはまる番号1つに○) ある場合は、その資料の具体的な名称をご記入ください。

- | |
|-------------------------|
| 1. ある
(具体的に: _____) |
| 2. なし |

(2) 予想外に時間のかかった手続き、煩雑だった手続きはありましたか。(あてはまる番号1つに○)
 あった場合は、その具体的な内容をご記入ください。新型コロナウイルス感染症の影響は考慮せずにお答えください。

1. あった (具体的に:)
2. なかった

(3) 予定していなかった手続きを求められたことはありましたか。(例: 事前に把握していなかった資料の提出等を求められた。)(あてはまる番号1つに○)
 あった場合は、その手続きを求めた機関・団体等の名称、及びその手続きの具体的な内容をご記入ください。

1. あった (名称: (具体的に:)
2. なかった

(4) 貴施設・事業所で働くことが内定し、入国を待っている特定技能外国人に対して、どのような対応をしていますか(していましたか)。(あてはまる番号すべてに○)

1. 本人と直接連絡をとっている	
2. 斡旋業者(斡旋を受けた登録支援機関)を通じて、本人と連絡をとっている	
3. 現地の送出し機関や教育機関を通じて、本人と連絡をとっている	
4. 斡旋業者(斡旋を受けた登録支援機関)から様子を聞いている	
5. 現地の送出し機関や教育機関を通じて、様子を聞いている	
6. その他(具体的に:)	
7. 特に何もしていない	

III. 技能実習生の受入れについてお尋ねします

問8 貴施設・事業所では、技能実習生を受け入れていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 受け入れている	→問9へ
2. 受け入れていないが、採用した技能実習生の入国を待っている、あるいは、受け入れるための手続きの途中である	→問9へ
3. 受け入れていない	→問10へ

問9 監理団体についてお尋ねします。(企業単独型で受け入れている施設・事業所は問10へ)

(1) 監理団体の名称をご記入ください。

--

(2) 監理団体をどのようにして見つけましたか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 他の介護事業所・法人の紹介	5. インターネットや口コミによる情報収集
2. 事業者団体、職能団体の紹介	6. 貴施設・事業所が属する法人が監理団体を設立した
3. 自治体の紹介	7. その他(具体的に:)
4. 介護以外の事業所・法人の紹介	

(3) 技能実習生の受入れ1人あたりにつき、監理団体に支払う費用（監理費）はいくらですか。技能実習生が入国していない場合は、ア)のみご記入ください。(あてはまる数字を記入)

ア) 入国前 技能実習生1人あたり 約		円
イ) 入国後 技能実習生1人あたり 月額 約		円

IV. 海外現地の送出し機関や教育機関との関係についてお尋ねします

問10 現地の送出し機関や教育機関との連携等、外国人介護人材の受入れルートをどのように確保しましたか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自治体の取組みを通じて	5. 監理団体・登録支援機関を通じて
2. 事業者団体、職能団体の取組みを通じて	6. 法人自らの取組みで
3. 地域の日本語学校や養成校と連携して	7. その他（具体的に： _____）
4. 地域の他の介護施設・事業所と連携して	

問11 現地の送出し機関についてお尋ねします。

(1) 関わりのある送出し機関の名称と所在地（国名、都市名）をご記入ください。

	名称	所在地（国名）	所在地（都市名）
ア			
イ			
ウ			
エ			
オ			

(2) 外国人介護職員の受入れ1人あたりにつき、送出し機関に支払う費用を把握していますか。(あてはまる番号1つに○) 把握している場合は金額をご記入ください。(あてはまる数字を記入)

- | |
|------------|
| 1. 把握している |
| 2. 把握していない |

→ 外国人介護職員1人あたり 約 円

問12 外国人介護職員の受入れ1人あたりにつき、現地での教育にかかる費用を把握していますか。(あてはまる番号1つに○)

把握している場合は金額をご記入ください。(あてはまる数字を記入)

- | |
|------------|
| 1. 把握している |
| 2. 把握していない |

→ 外国人介護職員1人あたり 約 円

V. 外国人介護職員の受入れ体制についてお尋ねします

問13 外国人介護職員に対してどのような相談支援の体制を設けていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| 1. 事業所・法人内に相談担当者を配置している | 4. その他(具体的に:
) |
| 2. 監理団体・登録支援機関内の相談担当者を活用している | |
| 3. 公的機関等の相談窓口を紹介している
(具体的に:
) | 5. 特になし |

問13-1 【問13で「1. 事業所・法人内に相談担当者を配置している」と回答した方】
相談担当者が対応できる言語はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------|--------------------------|
| 1. 日本語 | 3. その他の言語
(具体的に:
) |
| 2. 英語 | |

問14 外国人介護職員の住居の確保にあたり、事業所あるいは法人で、どのような支援をしていますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 住居を所有している | 4. その他(具体的に:
) |
| 2. 住居を借り上げている | |
| 3. 家賃を補助している(月額: 上限
円) | 5. 特に実施していない |

問15 貴施設・事業所では、介護業務にICT(情報通信技術)を導入していますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 記録業務に導入している | 3. 導入していない →問16へ |
| 2. 記録以外の業務に導入している | |

問15-1 【問15で「1. 記録業務に導入している」、「2. 記録以外の業務に導入している」と回答した方】
ICTをどのように導入しているか、具体的に記載してください。

問16 外国人介護職員を受け入れるにあたり、日本人職員に対して実施している研修等のテーマはどのようなものですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1. 施設・事業所としての外国人介護職員受入れの方針や姿勢 | 6. 介護の基本理念の意味の伝え方
(「尊厳の保持」「自立支援」など) |
| 2. 外国人介護職員に教育・指導する際の留意点 | 7. 外国人介護職員の出身国の文化・風習 |
| 3. 日常生活で用いる日本語の教育方法 | 8. 外国人介護職員に対し信仰上配慮すべきこと
(宗教的行事の日の休暇取得承認、宗教上禁忌とされている作業をさせない等) |
| 4. 介護現場で用いる日本語の教育方法 | 9. その他(具体的に:
) |
| 5. 介護知識・技能の教育方法 | 10. 実施していない |

問17 外国人介護職員の定着・活躍支援について、連携している関係機関・団体はどこですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---|-----------------------|
| 1. 日本語学校 | 7. 国際研修協力機構(JITCO) |
| 2. 介護福祉士養成校 | 8. 監理団体・登録支援機関 |
| 3. 自治体(都道府県、市町村) | 9. 国際交流団体・外国人支援団体 |
| 4. 事業者団体、職能団体 | 10. 町内会・自治会 |
| 5. 外国人介護職員を受け入れている他の施設・事業所(同一法人内の施設・事業所も含む) | 11. 教会・寺院等の宗教関連の施設・機関 |
| 6. 国際厚生事業団(JICWELS) | 12. その他(具体的に:
) |
| | 13. 特になし |

VI. 外国人介護職員のキャリア支援についてお尋ねします

※本調査において、「キャリア支援」とは、貴施設・事業所で働く介護職員が定着・活躍できるよう、仕事面・生活面の支援、介護職としての技能の向上やキャリアアップに向けた支援等を行うことを指します。

問18 外国人介護職員の受入れにあたり、重視していることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 介護という仕事に対する理解度	9. 主体性や誠実さ
2. 日本の介護知識・技能の習得に対する意欲	10. 介護の仕事の継続意向
3. 日本語能力	11. 日本への定住意向
4. 日本の文化・慣習に対する理解度	12. 貴施設での就労継続意向
5. 日本語や日本の文化を知ろうという意欲	13. 将来の目標
6. 母国の看護や介護にかかる資格の取得状況	14. 他の職員とのバランス・相性
7. 母国の看護や介護にかかる経験	15. その他(具体的に:)
8. コミュニケーション能力	16. 選考の基準は特にない(個別に判断している)

問19 現在受け入れている外国人介護職員の日本で介護の仕事を選択した理由、日本で介護の仕事をする上での目標や目的、将来の目標や希望を把握していますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

	把握している	まあ把握している	あまり把握していない	把握していない
日本で介護の仕事を選択した理由	1	2	3	4
日本で介護の仕事をする上での目標や目的	1	2	3	4
将来の目標や希望	1	2	3	4

問 19-1 外国人介護職員の「日本で介護の仕事をする上での目標や目的」で最も多いものは何ですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 日本の高度な介護を学ぶこと	4. 日本語の上達や日本文化の理解
2. 介護福祉士等の資格の取得	5. 仕送りや貯蓄
3. 日本で介護職員としてキャリアを積むこと	6. その他(具体的に:)

問20 現在受け入れている外国人介護職員のうち、以下に該当する方はいますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|--|
| 1. 他の外国人介護職員に指導・助言する役割を担っている者 |
| 2. 外国人介護職員として施設・事業所に定着するロールモデルになっている者 |
| 3. 中間管理者(ユニットリーダー、フロアリーダー、主任など)として現場を統括する者 |
| 4. 施設・事業所の施設長または管理者 |
| 5. 上記に該当する職員はいない →問 21 へ |

※ロールモデル：具体的な行動や考え方の模範になる人物のこと

問 20-1 【問 20 で1~4に回答した方】その方の在留資格は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 特定活動 (EPA)	4. 特定技能
2. 在留資格「介護」	5. 身分系の在留資格
3. 技能実習	6. わからない

問21 貴施設・事業所（あるいは法人）で実施しているキャリア支援の取組みについてお尋ねします。

(1) 日本人か外国人かを問わず、実施している取組みは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. プリセプターやエルダー制度等の導入	8. 選択肢7や制度上の研修以外の介護知識・技能向上のための独自研修等の開催 (他法人との共同実施を含む)
2. 上司・管理者とのキャリア面談・相談等	9. 介護福祉士国家試験の受験料の助成
3. 自己評価シート(個人目標設定シート)の導入	10. 外部で実施される研修等の受講料の助成
4. ミンター制度の導入	11. 外部研修や学会への受講を積極的に推奨
5. ロールモデルとなる先輩職員の講義や相談できる機会の提供	12. テキストや教材の提供あるいは費用助成
6. 貴施設・事業所のキャリアパス・資質向上に関する説明会・研修等の開催	13. 毎年、個々の職員の研修・育成計画を策定
7. 介護福祉士国家試験対策の研修や模擬試験等の開催	14. 業務の理解度や介護技術の習得状況等の把握
	15. その他(具体的に:)
	16. 特に行ってない

(2) 外国人介護職員だけに、実施している取組みは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. プリセプターやエルダー制度等の導入	8. 選択肢7や制度上の研修以外の介護知識・技能向上のための独自研修等の開催 (他法人との共同実施を含む)
2. 上司・管理者とのキャリア面談・相談等	9. 介護福祉士国家試験の受験料の助成
3. 自己評価シート(個人目標設定シート)の導入	10. 外部で実施される研修等の受講料の助成
4. ミンター制度の導入	11. 外部研修や学会への受講を積極的に推奨
5. ロールモデルとなる先輩職員の講義や相談できる機会の提供	12. テキストや教材の提供あるいは費用助成
6. 貴施設・事業所のキャリアパス・資質向上に関する説明会・研修等の開催	13. 毎年、個々の職員の研修・育成計画を策定
7. 介護福祉士国家試験対策の研修や模擬試験等の開催	14. 業務の理解度や介護技術の習得状況等の把握
	15. その他(具体的に:)
	16. 特に行ってない(日本人と同じ支援のみ)

※プリセプター制度: 新人職員に対して、決められた経験のある先輩職員がマンツーマンで、ある一定期間新人研修を担当する方法
 ※エルダー制度: 新人職員に決まった相談相手を配置し、仕事の仕方、学習方法、悩みごとなどの精神面、生活面など広範囲にわたり相談や支援を行う。
 ※ミンター制度: 先輩職員(ミンター)が、新人職員を援助し、味方となり、指導し、助言し、相談にのる役割を果たすもの。通常、直接的な実地指導者として関わることはなく、支援者的役割を果たす。

(3) 特定技能外国人や技能実習生についても、介護福祉士国家試験に合格するための支援を実施していますか。あるいは、実施する予定がありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 支援を実施している	3. 実施していないし、予定もない
2. 支援を実施する予定がある	

問22 外国人介護職員の就労環境や生活面に対してどのくらい支援を行っていますか。

(1から21について、それぞれあてはまる番号1つに○)

	行っている 非常に よく	行っている	いえない どちらとも	あまり行っ ていない	全く行っ ていない	支援の 必要がない
1) 介護知識・技能の習得のための支援	1	2	3	4	5	6
2) 介護現場に必要な日本語習得のための支援	1	2	3	4	5	6
3) 介護記録の方法の工夫 (ICTの活用など)	1	2	3	4	5	6
4) メンタルヘルスケア	1	2	3	4	5	6
5) 一時帰国・休暇取得への配慮	1	2	3	4	5	6
6) 文化・風習への配慮	1	2	3	4	5	6
7) 日本語教室等のコミュニケーション円滑化のための支援	1	2	3	4	5	6

	行っていない	行っている	どちらとも いえない	あまり行っ ていない	全く行っ ていない	支援の 必要がない
8) 食生活の支援	1	2	3	4	5	6
9) 気候等の環境への対応に関する支援	1	2	3	4	5	6
10) 信仰上の配慮（宗教的行事の日の休暇取得承認、宗教上禁忌とされている作業をさせない等）	1	2	3	4	5	6
11) 行政手続きや住まいの契約手続き等の支援	1	2	3	4	5	6
12) 携帯電話やインターネット等の契約・解約手続き等の支援	1	2	3	4	5	6
13) 日本での生活、文化や慣習を理解するための支援	1	2	3	4	5	6
14) プライベートに関わる問題（恋愛・金銭の貸借・副業等）	1	2	3	4	5	6
15) 他施設の外国人介護職員との交流の支援	1	2	3	4	5	6
16) 地域・周りの日本人との交流の支援	1	2	3	4	5	6
17) 日本の観光や行事参加に関する支援	1	2	3	4	5	6
18) 地域・周りの同じ出身国の外国人との交流の支援	1	2	3	4	5	6
19) 同居する外国人家族に対する支援	1	2	3	4	5	6
20) 予防接種等、感染症予防に関する支援	1	2	3	4	5	6
21) 感染症予防のための研修等	1	2	3	4	5	6

問23 現在受け入れている外国人介護職員に、どのくらいの年数、貴施設・事業所で働いてほしいですか。

※技能実習、特定技能1号については、将来的に在留資格を変更する場合も含めてお答えください。

外国人介護職員 全体（あてはまる番 号1つに○）	1. 3年以上 2. 5年以上 3. なるべく長く働いてほしい	4. 在留資格によって異なる 5. わからない	→問23-1へ →問23-1へ
「4. 在留資格によって異なる」と回答した方（それぞれあてはまる番号1つに○） ←			
特定活動（EPA）	1. 3年以上 2. 5年以上 →問23-1へ	3. なるべく長く働いてほしい →問23-1へ 4. 該当する職員はいない	
在留資格「介護」 （在留資格「介護」を 取得予定の留学生ア ルバイトを含む）	1. 3年以上 2. 5年以上 →問23-1へ	3. なるべく長く働いてほしい →問23-1へ 4. 該当する職員はいない	
技能実習	1. 3年以上 2. 5年（上限） →問23-1へ	3. なるべく長く働いてほしい →問23-1へ 4. 該当する職員はいない	
特定技能1号	1. 3年以上 2. 5年（上限） →問23-1へ	3. なるべく長く働いてほしい →問23-1へ 4. 該当する職員はいない	

問23-1 【問23で、「2. 5年以上」、「2. 5年（上限）」、「3. なるべく長く働いてほしい」と回答した方】
将来、外国人介護職員に期待する職位や役割は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 介護職員として技術・経験を積み重ねてほしい （管理的立場になることは特に期待しない）	4. 中間管理者（エグゼクティブ、フロンティア、主任 など）として現場を統括してほしい
2. 外国人介護職員を指導・助言する役割を担っ てほしい	5. 施設・事業所の施設長や管理者になっ てほしい
3. 外国人介護職員として施設・事業所に定着する ロールモデルになってほしい	6. その他（具体的に： ） 7. わからない

VII. 新型コロナウイルス感染症への対応についてお尋ねします

問24 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、外国人介護職員にどのような対応を実施しましたか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1. 外国人介護職員を集めて、感染症予防のための説明や研修を実施した | |
| 2. 個別面談を実施した | |
| 3. 外国人介護職員の自宅での生活環境を把握したうえで、助言等をした | |
| 4. 感染症や予防に関する情報を分かりやすい日本語でまとめた資料を作成、配布した | |
| 5. 給付金等、支援策の申請の支援をした | |
| 6. 時差出勤を認める等、勤務時間の工夫をした | |
| 7. 施設・事業所から母国の家族に連絡をした | |
| 8. その他（具体的に： | ） |
| 9. 特に実施していない | |

問25 新型コロナウイルス感染症の影響で、貴施設・事業所で働くことが内定しているにもかかわらず入国できず、現地で待っている外国人介護職員に対して、どのような対応をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1. 本人と直接連絡をとっている | |
| 2. 登録支援機関や監理団体を通じて、本人と連絡をとっている | |
| 3. 現地の送出し機関や教育機関を通じて、本人と連絡をとっている | |
| 4. 登録支援機関や監理団体から様子を聞いている | |
| 5. 現地の送出し機関や教育機関を通じて、様子を聞いている | |
| 6. 教材の提供やWEBによる講義等、学習支援を行っている | |
| 7. 個別相談に乗っている | |
| 8. その他（具体的に： | ） |
| 9. 特に何もしていない | |
| 10. 該当者はいない | |

問26 外国人介護職員への受入れ・支援に関連して、新型コロナウイルス感染症の影響により、貴施設・事業所で課題となっていること、支援を必要としていることは何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1. 感染症予防に関する情報を分かりやすく日本語でまとめた資料がない | |
| 2. 感染症対応で日本人職員がますます多忙になり、外国人介護職員への教育が十分にできない | |
| 3. 感染症対応で日本人職員がますます多忙になり、外国人介護職員へのメンタルヘルスクエアが十分にできない | |
| 4. 外国人介護職員が入国できないことにより、予定していた介護職員が確保できず、人手不足となっている | |
| 5. その他（具体的に： | ） |
| 6. 特になし | |

VIII. 外国人介護人材の今後の受入れ意向等についてお尋ねします

問27 貴施設・事業所における今後3年間の外国人介護職員の受入れ意向をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | | |
|-------------------|-----------|---------------|---------|
| 1. 積極的に受け入れる意向がある | →問 27-1 へ | 3. 受け入れる意向はない | →問 29 へ |
| 2. 受け入れる意向がある | →問 27-1 へ | 4. わからない・未定 | →問 29 へ |

問 27-1 新型コロナウイルス感染症の影響で、今後3年間の外国人介護職員の受入れ意向に変化はありましたか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 変化があった(受け入れたい人数が増えた) | 3. 変化はなかった |
| 2. 変化があった(受け入れたい人数が減った) | 4. わからない |

問 27-2 【問 27-1 で「1. 変化があった(受け入れたい人数が増えた)」、あるいは「2. 変化があった(受け入れたい人数が減った)」と回答した方】新型コロナウイルス感染症にどのような影響を受けたか、どのような変化があったかなど具体的にご記入ください。

問28 【問 27 で「1. 積極的に受け入れる意向がある」、「2. 受け入れる意向がある」と回答した方】今後3年間で、受け入れたい人数をお答えください。(あてはまる数字を記入)

合計			人程度
特定活動(EPA)	人程度	在留資格「介護」	人程度
技能実習	人程度	特定技能	人程度
身分系の在留資格	人程度	留学生アルバイト	人程度

問 28-1 【問 28 で、特定技能外国人を「1人以上」受け入れたいと回答した方】受け入れてみたいと思うのは、どのようなプロセスで在留資格「特定技能」を得た方ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 海外試験合格者 | 5. EPA 介護福祉士候補者からの在留資格変更 |
| 2. 国内試験合格者 | 6. 在留資格ルート別の違いはない |
| 3. 技能実習からの在留資格変更 | 7. わからない |
| 4. 介護福祉士養成施設卒業者 | |

問29 今後、外国人介護職員の受入れを増やすために、必要なことは何だと思いませんか。簡素化してほしい手続き、行政への要望等、自由にご記入ください。

事業所調査票①は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
 お手数ではございますが、事業所調査票②と一緒に、
 同封の返信用封筒(切手不要)にて、11月25日までに投函してください。

事業所調査票②

事業所名：

※ここでは、貴施設・事業所で受け入れているすべてのEPA介護職員、技能実習生、在留資格「介護」あるいは「特定技能」をもって在留する外国人介護職員の就労状況についてお伺いします。ご回答は、直属の上司の方など、当該外国人介護職員の日頃の様子が見える方にお願いします。回答欄が足りない場合は、最終ページをコピーして頂くか、調査事務局までご連絡をお願いします。

		Aさん →ご本人に「本人調査票」をお渡しください	Bさん →ご本人に「本人調査票」をお渡しください
1. プロフィール	在留資格	1. 特定活動 (EPA 介護福祉士候補者) 4. 技能実習 2. 特定活動 (EPA 介護福祉士) 5. 特定技能1号 3. 在留資格「介護」	1. 特定活動 (EPA 介護福祉士候補者) 4. 技能実習 2. 特定活動 (EPA 介護福祉士) 5. 特定技能1号 3. 在留資格「介護」
	貴事業所での就労開始年月	西暦 年 月	西暦 年 月
	現在の日本語能力	1. N1相当 4. N4相当 2. N2相当 5. N5相当 3. N3相当	1. N1相当 4. N4相当 2. N2相当 5. N5相当 3. N3相当
2. 能力・スキル等	夜勤業務	1. ひとりで対応することができ、実際に夜勤業務を行っている 2. 日本人職員が付き添って指導すれば対応することができ、実際に夜勤業務を行っている 3. 対応することはできるが、実際には夜勤業務を行わせていない 4. 対応することができない	1. ひとりで対応することができ、実際に夜勤業務を行っている 2. 日本人職員が付き添って指導すれば対応することができ、実際に夜勤業務を行っている 3. 対応することはできるが、実際には夜勤業務を行わせていない 4. 対応することができない
	引継ぎ・申し送りの理解	1. 問題なく理解し、行動することができている 2. ゆっくり指示したり、繰り返したり、平易な言葉で言い換えたりすれば、理解し、行動することができる 3. ゆっくり指示したり、繰り返したり、平易な言葉に言い換えたりしても、ほとんど理解できない	1. 問題なく理解し、行動することができている 2. ゆっくり指示したり、繰り返したり、平易な言葉で言い換えたりすれば、理解し、行動することができる 3. ゆっくり指示したり、繰り返したり、平易な言葉に言い換えたりしても、ほとんど理解できない
	介護記録等、業務上の文書を読む能力	1. 専門用語も含めて対応できる 2. ひらがな、カタカナ、常用漢字は問題ないが、専門用語が不十分 3. ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は問題ない 4. ひらがなの読み書き程度しかできない	1. 専門用語も含めて対応できる 2. ひらがな、カタカナ、常用漢字は問題ないが、専門用語が不十分 3. ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は問題ない 4. ひらがなの読み書き程度しかできない
	介護記録等、業務上の文書を書く能力	1. 専門用語も含めて対応できる 2. ひらがな、カタカナ、常用漢字は問題ないが、専門用語が不十分 3. ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は問題ない 4. ひらがなの読み書き程度しかできない	1. 専門用語も含めて対応できる 2. ひらがな、カタカナ、常用漢字は問題ないが、専門用語が不十分 3. ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は問題ない 4. ひらがなの読み書き程度しかできない
	ヒヤリハットの数の数	※同等の経験を有する日本人職員と比較して回答 1. 非常に多い 4. 少ない 2. 多い 5. 非常に少ない 3. どちらともいえない 6. 全くない	※同等の経験を有する日本人職員と比較して回答 1. 非常に多い 4. 少ない 2. 多い 5. 非常に少ない 3. どちらともいえない 6. 全くない
	現在の直接介助のスキル	1. ひとりで対応することができる 2. ほほひとりでも業務に対応することができるが、場合によってはフォローが必要 3. ひとりで行うことができる業務もあるが、多くの場合ではフォローが必要 4. ひとりで業務をこなすことは難しく、他の職員の付き添いが必要	1. ひとりで対応することができる 2. ほほひとりでも業務に対応することができるが、場合によってはフォローが必要 3. ひとりで行うことができる業務もあるが、多くの場合ではフォローが必要 4. ひとりで業務をこなすことは難しく、他の職員の付き添いが必要
3. 個別の業務についての評価	生活援助 (※1)	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない
	身体介護 (※2)	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない
	認知症ケア	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養)	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない
	終末期ケア	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない
	介護計画の作成・見直し	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない
	ケース会議やカンファレンスでの発言	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない
	レクリエーションの運営や進行	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない

※1 生活援助：掃除、洗濯、ベッドメイク、衣類の整理、配下膳など

※2 身体介護：清拭・入浴、身体整容、体位変換、移動・移乗介助、食事介助、排せつ介助など

		Cさん →ご本人に「本人調査票」をお渡しください		Dさん →ご本人に「本人調査票」をお渡しください	
1. プロフィール	在留資格	1. 特定活動 (EPA 介護福祉士候補者) 2. 特定活動 (EPA 介護福祉士) 3. 在留資格「介護」	4. 技能実習 5. 特定技能1号	1. 特定活動 (EPA 介護福祉士候補者) 2. 特定活動 (EPA 介護福祉士) 3. 在留資格「介護」	4. 技能実習 5. 特定技能1号
	貴事業所での 就労開始年月	西暦	年 月	西暦	年 月
	現在の日本語 能力	1. N1相当 2. N2相当 3. N3相当	4. N4相当 5. N5相当	1. N1相当 2. N2相当 3. N3相当	4. N4相当 5. N5相当
2. 能力・スキル等	夜勤業務	1. ひとりで対応することができ、実際に夜勤業務を行っている 2. 日本人職員が付き添って指導すれば対応することができ、実際に夜勤業務を行っている 3. 対応することはできるが、実際には夜勤業務を行わせていない 4. 対応することができない		1. ひとりで対応することができ、実際に夜勤業務を行っている 2. 日本人職員が付き添って指導すれば対応することができ、実際に夜勤業務を行っている 3. 対応することはできるが、実際には夜勤業務を行わせていない 4. 対応することができない	
	引継ぎ・申し送りの理解	1. 問題なく理解し、行動することができている 2. ゆっくり指示したり、繰り返したり、平易な言葉で言い換えたりすれば、理解し、行動することができる 3. ゆっくり指示したり、繰り返したり、平易な言葉に言い換えたりしても、ほとんど理解できない		1. 問題なく理解し、行動することができている 2. ゆっくり指示したり、繰り返したり、平易な言葉で言い換えたりすれば、理解し、行動することができる 3. ゆっくり指示したり、繰り返したり、平易な言葉に言い換えたりしても、ほとんど理解できない	
	介護記録等、業務上の文書を読む能力	1. 専門用語も含めて対応できる 2. ひらがな、カタカナ、常用漢字は問題ないが、専門用語が不十分 3. ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は問題ない 4. ひらがなの読み書き程度しかできない		1. 専門用語も含めて対応できる 2. ひらがな、カタカナ、常用漢字は問題ないが、専門用語が不十分 3. ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は問題ない 4. ひらがなの読み書き程度しかできない	
	介護記録等、業務上の文書を書く能力	1. 専門用語も含めて対応できる 2. ひらがな、カタカナ、常用漢字は問題ないが、専門用語が不十分 3. ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は問題ない 4. ひらがなの読み書き程度しかできない		1. 専門用語も含めて対応できる 2. ひらがな、カタカナ、常用漢字は問題ないが、専門用語が不十分 3. ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は問題ない 4. ひらがなの読み書き程度しかできない	
	ヒヤリハットの数	※同等の経験を有する日本人職員と比較して回答 1. 非常に多い 2. 多い 3. どちらともいえない		※同等の経験を有する日本人職員と比較して回答 4. 少ない 5. 非常に少ない 6. 全くない	
	現在の直接介助のスキル	1. ひとりで対応することができる 2. ほぼひとりでも業務に対応することができるが、場合によってはフォローが必要 3. ひとりで行うことができる業務もあるが、多くの場合ではフォローが必要 4. ひとりで業務をこなすことは難しく、他の職員の付き添いが必要		1. ひとりで対応することができる 2. ほぼひとりでも業務に対応することができるが、場合によってはフォローが必要 3. ひとりで行うことができる業務もあるが、多くの場合ではフォローが必要 4. ひとりで業務をこなすことは難しく、他の職員の付き添いが必要	
3. 個別の業務についての評価	生活援助 (※1)	1. よくできている 2. まあできている 3. どちらともいえない		4. あまりできていない 5. 全くできていない 6. 実施していない	
	身体介護 (※2)	1. よくできている 2. まあできている 3. どちらともいえない		4. あまりできていない 5. 全くできていない 6. 実施していない	
	認知症ケア	1. よくできている 2. まあできている 3. どちらともいえない		4. あまりできていない 5. 全くできていない 6. 実施していない	
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養)	1. よくできている 2. まあできている 3. どちらともいえない		4. あまりできていない 5. 全くできていない 6. 実施していない	
	終末期ケア	1. よくできている 2. まあできている 3. どちらともいえない		4. あまりできていない 5. 全くできていない 6. 実施していない	
	介護計画の作成・見直し	1. よくできている 2. まあできている 3. どちらともいえない		4. あまりできていない 5. 全くできていない 6. 実施していない	
	ケース会議やカンファレンスでの発言	1. よくできている 2. まあできている 3. どちらともいえない		4. あまりできていない 5. 全くできていない 6. 実施していない	
	レクリエーションの運営や進行	1. よくできている 2. まあできている 3. どちらともいえない		4. あまりできていない 5. 全くできていない 6. 実施していない	

※1 生活援助：掃除、洗濯、ベッドメイク、衣類の整理、配下膳など

※2 身体介護：清拭・入浴、身体整容、体位変換、移動・移乗介助、食事介助、排せつ介助など

		Eさん →ご本人に「本人調査票」をお渡しください		Fさん →ご本人に「本人調査票」をお渡しください			
1. プロフィール	在留資格	1. 特定活動 (EPA 介護福祉士候補者) 4. 技能実習 2. 特定活動 (EPA 介護福祉士) 5. 特定技能1号 3. 在留資格「介護」		1. 特定活動 (EPA 介護福祉士候補者) 4. 技能実習 2. 特定活動 (EPA 介護福祉士) 5. 特定技能1号 3. 在留資格「介護」			
	貴事業所での 就労開始年月	西暦	年	月	西暦	年	月
	現在の日本語 能力	1. N1相当 4. N4相当 2. N2相当 5. N5相当 3. N3相当		1. N1相当 4. N4相当 2. N2相当 5. N5相当 3. N3相当			
2. 能力・スキル等	夜勤業務	1. ひとりで対応することができ、実際に夜勤業務を行っている 2. 日本人職員が付き添って指導すれば対応することができ、実際に夜勤業務を行っている 3. 対応することはできるが、実際には夜勤業務を行わせていない 4. 対応することができない		1. ひとりで対応することができ、実際に夜勤業務を行っている 2. 日本人職員が付き添って指導すれば対応することができ、実際に夜勤業務を行っている 3. 対応することはできるが、実際には夜勤業務を行わせていない 4. 対応することができない			
	引継ぎ・申し送りの理解	1. 問題なく理解し、行動することができている 2. ゆっくり指示したり、繰り返したり、平易な言葉で言い換えたりすれば、理解し、行動することができる 3. ゆっくり指示したり、繰り返したり、平易な言葉に言い換えたりしても、ほとんど理解できない		1. 問題なく理解し、行動することができている 2. ゆっくり指示したり、繰り返したり、平易な言葉で言い換えたりすれば、理解し、行動することができる 3. ゆっくり指示したり、繰り返したり、平易な言葉に言い換えたりしても、ほとんど理解できない			
	介護記録等、業務上の文書を読む能力	1. 専門用語も含めて対応できる 2. ひらがな、カタカナ、常用漢字は問題ないが、専門用語が不十分 3. ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は問題ない 4. ひらがなの読み書き程度しかできない		1. 専門用語も含めて対応できる 2. ひらがな、カタカナ、常用漢字は問題ないが、専門用語が不十分 3. ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は問題ない 4. ひらがなの読み書き程度しかできない			
	介護記録等、業務上の文書を書く能力	1. 専門用語も含めて対応できる 2. ひらがな、カタカナ、常用漢字は問題ないが、専門用語が不十分 3. ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は問題ない 4. ひらがなの読み書き程度しかできない		1. 専門用語も含めて対応できる 2. ひらがな、カタカナ、常用漢字は問題ないが、専門用語が不十分 3. ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は問題ない 4. ひらがなの読み書き程度しかできない			
	ヒヤリハットの数	※同等の経験を有する日本人職員と比較して回答 1. 非常に多い 4. 少ない 2. 多い 5. 非常に少ない 3. どちらともいえない 6. 全くない		※同等の経験を有する日本人職員と比較して回答 1. 非常に多い 4. 少ない 2. 多い 5. 非常に少ない 3. どちらともいえない 6. 全くない			
	現在の直接介助のスキル	1. ひとりで対応することができる 2. ほぼひとりで業務に対応することができるが、場合によってはフォローが必要 3. ひとりで行うことができる業務もあるが、多くの場合ではフォローが必要 4. ひとりで業務をこなすことは難しく、他の職員の付き添いが必要		1. ひとりで対応することができる 2. ほぼひとりで業務に対応することができるが、場合によってはフォローが必要 3. ひとりで行うことができる業務もあるが、多くの場合ではフォローが必要 4. ひとりで業務をこなすことは難しく、他の職員の付き添いが必要			
3. 個別の業務についての評価	生活援助 (※1)	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない		1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない			
	身体介護 (※2)	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない		1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない			
	認知症ケア	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない		1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない			
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養)	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない		1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない			
	終末期ケア	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない		1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない			
	介護計画の作成・見直し	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない		1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない			
	ケース会議やカンファレンスでの発言	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない		1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない			
	レクリエーションの運営や進行	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない		1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない			

※1 生活援助：掃除、洗濯、ベッドメイク、衣類の整理、配下膳など

※2 身体介護：清拭・入浴、身体整容、体位変換、移動・移乗介助、食事介助、排せつ介助など

※回答欄が足りない場合は、お手数ですが、このページをコピーして頂くか、事務局までご連絡をお願いします。

↓任意の記号を記入

↓任意の記号を記入

		()さん→ご本人に「本人調査票」をお渡しください	()さん→ご本人に「本人調査票」をお渡しください
1. プロフィール	在留資格	1. 特定活動 (EPA 介護福祉士候補者) 4. 技能実習 2. 特定活動 (EPA 介護福祉士) 5. 特定技能1号 3. 在留資格「介護」	1. 特定活動 (EPA 介護福祉士候補者) 3. 技能実習 2. 特定活動 (EPA 介護福祉士) 4. 特定技能1号 3. 在留資格「介護」
	貴事業所での就労開始年月	西暦 年 月	西暦 年 月
	現在の日本語能力	1. N1相当 4. N4相当 2. N2相当 5. N5相当 3. N3相当	1. N1相当 4. N4相当 2. N2相当 5. N5相当 3. N3相当
2. 能力・スキル等	夜勤業務	1. ひとりで対応することができ、実際に夜勤業務を行っている 2. 日本人職員が付き添って指導すれば対応することができ、実際に夜勤業務を行っている 3. 対応することはできるが、実際には夜勤業務を行わせていない 4. 対応することができない	1. ひとりで対応することができ、実際に夜勤業務を行っている 2. 日本人職員が付き添って指導すれば対応することができ、実際に夜勤業務を行っている 3. 対応することはできるが、実際には夜勤業務を行わせていない 4. 対応することができない
	引継ぎ・申し送りの理解	1. 問題なく理解し、行動することができている 2. ゆっくり指示したり、繰り返したり、平易な言葉で言い換えたりすれば、理解し、行動することができている 3. ゆっくり指示したり、繰り返したり、平易な言葉に言い換えたりしても、ほとんど理解できない	1. 問題なく理解し、行動することができている 2. ゆっくり指示したり、繰り返したり、平易な言葉で言い換えたりすれば、理解し、行動することができている 3. ゆっくり指示したり、繰り返したり、平易な言葉に言い換えたりしても、ほとんど理解できない
	介護記録等、業務上の文書を読む能力	1. 専門用語も含めて対応できる 2. ひらがな、カタカナ、常用漢字は問題ないが、専門用語が不十分 3. ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は問題ない 4. ひらがなの読み書き程度しかできない	1. 専門用語も含めて対応できる 2. ひらがな、カタカナ、常用漢字は問題ないが、専門用語が不十分 3. ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は問題ない 4. ひらがなの読み書き程度しかできない
	介護記録等、業務上の文書を書く能力	1. 専門用語も含めて対応できる 2. ひらがな、カタカナ、常用漢字は問題ないが、専門用語が不十分 3. ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は問題ない 4. ひらがなの読み書き程度しかできない	1. 専門用語も含めて対応できる 2. ひらがな、カタカナ、常用漢字は問題ないが、専門用語が不十分 3. ひらがな、カタカナ、簡単な漢字は問題ない 4. ひらがなの読み書き程度しかできない
	ヒヤリハットの数	※同等の経験を有する日本人職員と比較して回答 1. 非常に多い 4. 少ない 2. 多い 5. 非常に少ない 3. どちらともいえない 6. 全くない	※同等の経験を有する日本人職員と比較して回答 1. 非常に多い 4. 少ない 2. 多い 5. 非常に少ない 3. どちらともいえない 6. 全くない
	現在の直接介助のスキル	1. ひとりで対応することができる 2. ほほひとりでも業務に対応することができるが、場合によってはフォローが必要 3. ひとりで行うことができる業務もあるが、多くの場合ではフォローが必要 4. ひとりで業務をこなすことは難しく、他の職員の付き添いが必要	1. ひとりで対応することができる 2. ほほひとりでも業務に対応することができるが、場合によってはフォローが必要 3. ひとりで行うことができる業務もあるが、多くの場合ではフォローが必要 4. ひとりで業務をこなすことは難しく、他の職員の付き添いが必要
3. 個別の業務に関する評価	生活援助 (※1)	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない
	身体介護 (※2)	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない
	認知症ケア	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない
	医療的ケア (喀痰吸引、経管栄養)	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない
	終末期ケア	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない
	介護計画の作成・見直し	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない
	ケース会議やカンファレンスでの発言	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない
	レクリエーションの運営や進行	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない	1. よくできている 4. あまりできていない 2. まあできている 5. 全くできていない 3. どちらともいえない 6. 実施していない

※1 生活援助：掃除、洗濯、ベッドメイク、衣類の整理、配下膳など

※2 身体介護：清拭・入浴、身体整容、体位変換、移動・移乗介助、食事介助、排せつ介助など

アンケート調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
事業所調査票①と同じ返信用封筒で、ご返送ください。

かいごせつ じぎょうしょ はたら がいこくじん 介護施設・事業所で働く外国人のみなさんへ

このアンケートは、日本の介護現場で、外国人のみなさんに、もっと活躍してもらうために、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社と、厚生労働省が行うものです。

みなさんの、日本の介護施設・事業所での様子やこれからのことについて教えてください。みなさんから答えてもらったアンケートの結果は、厚生労働省の大事な情報となります。ご協力をおねがいします。

◆おねがい◆

- このアンケートは、日本の介護施設・事業所の職員のうち、在留資格が、「特定活動(EPA)」、「介護」、「技能実習」、「特定技能」の人が答えてください。介護施設・事業所から、このアンケートをもらった本人が答えてください。
- 日本語、英語、の2つのアンケートがあります。内容は、どちらも同じです。どちらか1つを選んで答えを書いてください。
- 答えたアンケートは、**11月25日(水曜日)まで**に、いっしょに入っている「返信用封筒」に入れて、ポストに入れてください。切手はいりません。
- このアンケートに答えるとき、わからないことがありましたら、以下に連絡をしてください。

外国人介護人材調査事務局

TEL: (受付時間: 平日(土日・祝日以外) 10:00-18:00)、E-mail:

※お電話は、日本語のみの対応です。申し訳ございません。

—アンケートは、以下の記入例をもとに、答えてください—

記入例 (Sample answer)

Q あなたは日本で働いていますか (1つだけ☑)。

1. はい

2. いいえ



選んだ番号に (チェック (☑)) をつけてください

<個人情報 の とりあつかい について>

- ※ 答えていただいた内容は、外部に知られないよう管理し、一人ひとりが答えた内容がそのまま公表されることはありません。
 - ※ アンケートの集計・分析は、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が行います。当社の個人情報保護方針については、つぎのサイトをみてください (https://www.murc.jp/english/company/privacy_policy/)。個人情報は、集計作業等のために他の会社に預けることがあります。そのときには、十分な個人情報保護水準がある会社をえらび、契約等により保護水準を維持するよう管理します。
- 以上の内容をご確認いただき、ご同意のうえ、ご記入ください。また、お気づきしている個人情報の開示・削除等のおねがい、お問い合わせは、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社の上記連絡先までご連絡ください。

1. あなたの ことについて 教えてください

Q1 あなたの 在留資格を 教えてください (1つだけ☑)。

1. 特定活動 (EPA)
 2. 介護
 3. 技能実習
 4. 特定技能

SQ1 特定技能の 在留資格は どのように 取りましたか (1つだけ☑)。

1. 日本で 試験を 受けて 合格した
 3. EPA介護福祉士 候補者の 期間を 4年間 終えて、
 在留資格を 変えた
 2. 日本以外の 国・地域で 試験を 受けて 合格した
 4. 介護福祉士養成施設を 卒業して、在留資格を 変えた

Q2 性別を 教えてください (1つだけ☑)。

1. 男性
 2. 女性
 3. そのほか

Q3 どの 国・地域から 来ましたか (1つだけ☑)。

1. ベトナム
 5. 中国
 9. タイ
 13. バングラデシュ
 2. インドネシア
 6. モンゴル
 10. 韓国
 14. マレーシア
 3. フィリピン
 7. ネパール
 11. 台湾
 15. そのほか
 4. ミャンマー
 8. スリランカ
 12. カンボジア ()

Q4 今、何歳ですか (年齢を 書いてください)。

歳

Q5 ①これまでの 合計で 日本に、どのくらい 住んでいますか

年 か月
 年 か月

②日本の 介護施設・事業所で、どのくらい 働いていますか

Q6 日本の 介護福祉士 国家資格について 知っていますか (1つだけ☑)。

1. くわしく 知っている
 2. 聞いたことがある
 3. 知らない

SQ6 (Q6で、「1」または「2」を 選んだ人)日本の 介護福祉士 国家資格は どのような資格だと 思いますか (☑はいくつでも)。

1. 専門 職として 知識・技術 を もっていると みとめられる
 6. 資格手当 が 得られる
 2. 資格を取ることで、ほかの 職員を 教えることができる
 7. 外国人には 合格することが 難しい
 3. 施設・事業所が 資格を 取ることを 求めている
 4. 社会的な 評価を 得られる
 4. 社会的な 評価を 得られる
 1. 難しい分 価値がある 資格である
 5. 就 職や 転職で 有利になる
 2. もっと 簡単な ほうが よい

↳ 「7」を 選んだ 人だけ (1つだけ☑)

Q7 日本の 介護福祉士 国家試験を 受けた ことがありますか (1つだけ☑)。

1. 合格した
 2. 不合格だった
 3. 受けていない

SQ7 (Q7で、「2」または「3」を 選んだ人)これから、日本の 介護福祉士 国家試験を 受けていますか (1つだけ☑)。

1. 受けたい
 2. 受けたくない
 3. わからない

Q8 今、だれと いっしょに 住んでいますか (☑はいくつでも)。

<input type="checkbox"/> 1. 職場の人	<input type="checkbox"/> 3. 配偶者 (夫・妻)・パートナー	<input type="checkbox"/> 5. そのほか ()
<input type="checkbox"/> 2. 友だちや 知りあい	<input type="checkbox"/> 4. 子ども	<input type="checkbox"/> 6. 一人で 住んでいる

Q9 日本に 来るまえ、自分の 国・地域での あなたの ことを 教えてください。

①最後に 行った 学校はどこですか (1つだけ☑)	<input type="checkbox"/> 1. 高等学校 (高校)	<input type="checkbox"/> 3. 短期大学
	<input type="checkbox"/> 2. 専門学校	<input type="checkbox"/> 4. 大学・大学院
②看護や 介護の 資格を 取りましたか (1つだけ☑)	<input type="checkbox"/> 1. どちらも 取った	<input type="checkbox"/> 3. 介護の 資格だけ 取った
	<input type="checkbox"/> 2. 看護の 資格 だけ 取った	<input type="checkbox"/> 4. どちらも 取っていない
③働いた ことがありますか (働いた ことがある 人は、仕事の 内容も 教えてください)	(1つだけ☑)	(☑はいくつでも)
	<input type="checkbox"/> 1. ある →	<input type="checkbox"/> 1. 看護や 介護の 仕事
	<input type="checkbox"/> 2. ない	<input type="checkbox"/> 2. ほかの 仕事

Q10 なぜ、日本で、介護の 仕事を したいと 思いましたか (☑はいくつでも)。

<input type="checkbox"/> 1. 日本語を 学びたいから	<input type="checkbox"/> 7. 奨学金が もらえたから
<input type="checkbox"/> 2. 日本の 介護を 学びたいから	<input type="checkbox"/> 8. 日本の 文化 (アニメや マンガを 含む) が 好きだから
<input type="checkbox"/> 3. 日本の 介護福祉士の 国家資格を 取りたいから	<input type="checkbox"/> 9. 国・地域の 家族、友だちなどに おすすめされたから
<input type="checkbox"/> 4. 仕事を する 場所 (利用者の 家など) に 住まなくて よいから	<input type="checkbox"/> 10. 日本に いる 家族、友だちなどに おすすめされたから
<input type="checkbox"/> 5. 給料が 高いから	<input type="checkbox"/> 11. 学力や 費用などの 条件が 一番 あっていたから
<input type="checkbox"/> 6. 家族に 送金したいから、家族の ため	<input type="checkbox"/> 12. 自分の 住んでいる国・地域との 距離が 近いから
	<input type="checkbox"/> 13. そのほか ()

Q11 日本に 来るまえ、日本の 介護について どのように 学びましたか (☑はいくつでも)。

<input type="checkbox"/> 1. 自分で 勉強した	<input type="checkbox"/> 4. 教育機関で、日本人以外の 職員から 教えてもらった
<input type="checkbox"/> 2. 教育機関で、日本から 先生が きて、教えてもらった	<input type="checkbox"/> 5. そのほか ()
<input type="checkbox"/> 3. 教育機関で、テレビ会議を つかって、日本に いる 先生から 教えてもらった	<input type="checkbox"/> 6. 日本の 介護を 学ぶ 経験は なかった

Q12 日本に 来るための お金を どのように 準備しましたか (金額が いちばん 多い 方法 1つだけ☑)。

<input type="checkbox"/> 1. 家族や 自分で 準備をした (お金は かりていない)	<input type="checkbox"/> 5. 自分の 国・地域の 団体から お金を もらった
<input type="checkbox"/> 2. 親せきや 知りあいから お金を かりた	<input type="checkbox"/> 6. 日本の 団体から お金を もらった
<input type="checkbox"/> 3. 自分の 国・地域の 送りだし機関や 学校から お金を かりた	<input type="checkbox"/> 7. そのほか ()
<input type="checkbox"/> 4. 日本の 学校や 施設・事業所から お金を かりた	

Q13 日本語能力の レベルを 教えてください (日本に 来るまえと、今の それぞれ 1つだけ☑)。

①日本に 来るまえ	<input type="checkbox"/> 1. N 1 程度	<input type="checkbox"/> 2. N 2 程度	<input type="checkbox"/> 3. N 3 程度	<input type="checkbox"/> 4. N 4 程度	<input type="checkbox"/> 5. N 5 程度	<input type="checkbox"/> 6. わからない
②今 (現在)	<input type="checkbox"/> 1. N 1 程度	<input type="checkbox"/> 2. N 2 程度	<input type="checkbox"/> 3. N 3 程度	<input type="checkbox"/> 4. N 4 程度	<input type="checkbox"/> 5. N 5 程度	<input type="checkbox"/> 6. わからない

Q14 日本語の勉強について、介護施設・事業所に、どんなことをしてもらっていますか (☑はいくつでも)。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 施設・事業所で、日本人の職員に教えてもらっている | <input type="checkbox"/> 5. 施設・事業所に、勉強の目標や計画を決めてもらった |
| <input type="checkbox"/> 2. 施設・事業所で、日本語の先生に教えてもらっている | <input type="checkbox"/> 6. 仕事の時間内に、勉強の時間がある |
| <input type="checkbox"/> 3. 施設・事業所に、日本語学校などを紹介してもらっている | <input type="checkbox"/> 7. そのほか () |
| <input type="checkbox"/> 4. 施設・事業所からテキストをもらった
(テキストの名前:) | <input type="checkbox"/> 8. とくに何もなし |

Q15 日本語の勉強について、自分で、どんなことをしていますか (☑はいくつでも)。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 自分で日本語教室を探して、勉強している | <input type="checkbox"/> 4. 友だちと一緒に勉強している |
| <input type="checkbox"/> 2. 自分でテキストを決めて、勉強している
(テキストの名前:) | <input type="checkbox"/> 5. 自分で勉強の目標を決めている |
| <input type="checkbox"/> 3. アプリやインターネットで勉強している
(よく使うアプリ:) | <input type="checkbox"/> 6. 自分で勉強の計画を立てている |
| <input type="checkbox"/> 7. マンガやアニメを通して学んでいる
(よく使うウェブサイト:) | <input type="checkbox"/> 8. そのほか () |
| <input type="checkbox"/> 9. とくに何もしていない | |

Q16 介護の勉強について、介護施設・事業所に、どんなことをしてもらっていますか (☑はいくつでも)。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 施設・事業所からテキストをもらって日本人職員に教えてもらっている (テキストの名前:) | <input type="checkbox"/> 4. 介護福祉士国家試験の勉強を
教えてもらっている |
| <input type="checkbox"/> 2. 母国・外国人の職員に教えてもらっている | <input type="checkbox"/> 5. 仕事の時間内に、勉強の時間がある |
| <input type="checkbox"/> 3. OJT (実際の施設・事業所での仕事) を通して
教えてもらっている | <input type="checkbox"/> 6. そのほか () |
| | <input type="checkbox"/> 7. とくに何もなし |

Q17 つぎの場面の日本語はどのくらいわかりますか (①~⑤それぞれ、1つだけ☑)。

	よくわかる	だいたいわかる	あまりわからない	まったくわからない	やっていない
(例) あいさつをするとき	<input checked="" type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	
①いつもの生活で話すとき	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	
②介護施設・事業所での引きつぎ、申し送り	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
③介護記録を読むとき	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
④介護記録を書くとき	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
⑤介護福祉士国家試験の勉強をするとき	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

2. 仕事の ことについて 教えてください

Q18 つぎの 介護の 仕事は どのくらい できますか (①～⑤それぞれ、1つだけ☑)。

	よく できる	だいたい できる	あまり できない	まったく できない	やって いない
①生活援助 (掃除、洗濯、ベッドメイクなど)	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
②身体介護 (入浴、体位変換、食事介助など)	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
③認知症ケア	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
④医療的ケア (たんの吸引、経管栄養)	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
⑤終末期ケア	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

Q19 今、あなたが 働いている 施設・事業所の 満足度を 教えてください (①～⑪それぞれ、1つだけ☑)。

	満足	やや満足	やや不満	不満	受けていない 、機会がない
①給料	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	/
②休日の取りやすさ、休みやすさ	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	
③労働時間	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	
④利用者との関係	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	
⑤施設・事業所の職員との関係	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	
⑥日本語の勉強への支援	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
⑦介護の技術・能力を高める研修・支援	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
⑧将来のキャリアに関する説明・支援	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
⑨家族への支援	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
⑩まわりの日本人と交流する機会	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
⑪自分の国や文化を教える機会	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

Q20 今の 1ヵ月あたりの 給料 (税金が引かれる前の金額) を 教えてください (1つだけ☑)。

<input type="checkbox"/> 1. ～10万円	<input type="checkbox"/> 3. 15万円～20万円	<input type="checkbox"/> 5. 25万円～30万円
<input type="checkbox"/> 2. 10万円～15万円	<input type="checkbox"/> 4. 20万円～25万円	<input type="checkbox"/> 6. 30万円～

Q21 家族などへの 送金について 教えてください。

①送金していますか (1つだけ☑)	<input type="checkbox"/> 1. <u>している</u> ⇒ つぎの ②、③も 教えてください↓	<input type="checkbox"/> 2. していない
②1ヵ月あたり どのくらい 送金していますか (1つだけ☑)	<input type="checkbox"/> 1. ～5万円	<input type="checkbox"/> 3. 10万円～15万円
	<input type="checkbox"/> 2. 5万円～10万円	<input type="checkbox"/> 4. 15万円～
③だれに 送金していますか (☑はいくつでも)	<input type="checkbox"/> 1. 親、親せき	<input type="checkbox"/> 3. お金を かりた ところ
	<input type="checkbox"/> 2. 自分の 夫・妻、子ども	<input type="checkbox"/> 4. そのほか ()

3. いつもの生活について教えてください

Q22 自分が住んでいる地域の「日本人」とどのくらい関わりがありますか (1つだけ)。

1. よく話をする、交流がある 2. あいさつをするくらい 3. 話をしない、関わらない

Q23 最近1年間、日本でどんなことに困りましたか (はいいくつでも)。

- | | | | |
|------------------------------------|--|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. お金 | <input type="checkbox"/> 5. 住むところ | <input type="checkbox"/> 9. 日本人からの偏見・差別 | <input type="checkbox"/> 13. 役所での手続き |
| <input type="checkbox"/> 2. 仕事 | <input type="checkbox"/> 6. けが・病気 | <input type="checkbox"/> 10. 宗教 | <input type="checkbox"/> 14. そのほか |
| <input type="checkbox"/> 3. 日本語の勉強 | <input type="checkbox"/> 7. 災害 (地震や台風) | <input type="checkbox"/> 11. 食べ物 | () |
| <input type="checkbox"/> 4. 介護の勉強 | <input type="checkbox"/> 8. 日本人との関わり | <input type="checkbox"/> 12. 年金など日本の社会制度 | <input type="checkbox"/> 15. とくにない |

Q24 日本で困ったときに、だれ (どこ) に相談しますか (はいいくつでも)。

- | | | |
|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 行政 (市役所など) | <input type="checkbox"/> 7. 大使館・領事館 | <input type="checkbox"/> 12. 日本語の先生 |
| <input type="checkbox"/> 2. JICWELS | <input type="checkbox"/> 8. 職場の日本人職員 (上司、同僚) | <input type="checkbox"/> 13. SNS (Twitter、facebook など) |
| <input type="checkbox"/> 3. JITCO、監理団体 | <input type="checkbox"/> 9. 職場の母国・外国人の職員 | <input type="checkbox"/> 14. 教会・寺院 |
| <input type="checkbox"/> 4. 外国人技能実習機構 (OTIT) | (先輩、同僚) | <input type="checkbox"/> 15. そのほか () |
| <input type="checkbox"/> 5. 登録支援機関 | <input type="checkbox"/> 10. 日本人の友だち・知りあい | <input type="checkbox"/> 16. 相談の必要がない |
| <input type="checkbox"/> 6. 国際交流協会 | <input type="checkbox"/> 11. 母国・外国人の友だち・知りあい | <input type="checkbox"/> 17. 相談できる相手がいない |

Q25 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響で、どんなことに困りましたか。

- ① 全国に緊急事態宣言が出ていた2020年5月に困ったこと、②最近 (2020年10月) 困っていることについてそれぞれ教えてください (あてはまる番号をいくつでも下の選択肢から選んで書いてください)

①2020年5月	②2020年10月
----------	-----------

あてはまる番号をすべて書いてください

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1. 信頼できる情報がどこにあるかわからない | 5. 働く時間が減った |
| 2. 感染症や予防に関する日本語が難しい | 6. 給料が減った |
| 3. 困ったときに頼れる人がいない | 7. 休みが取りにくくなった、忙しくなった |
| 4. 支援策があっても、日本語なので申請方法がわからない | 8. そのほか () |
| | 9. とくにない |

4. これからのことについて ^{こた} 教えてください

Q26 ^{いま} 今から、①1～2年後^{ねんご}くらい、②5年後^{ねんご}くらいに、どのように なりたいですか。

① 1～2年後 ^{ねんご} くらい	② 5年後 ^{ねんご} くらい
自分が ^す 住む ^{ばしょ} 場所について (1つだけ☑)	自分が ^す 住む ^{ばしょ} 場所について (1つだけ☑)
<input type="checkbox"/> 1. 日本 <input type="checkbox"/> 2. 自分の ^{くに} 国・ ^{ちいき} 地域 <input type="checkbox"/> 3. そのほか ()	<input type="checkbox"/> 1. 日本 <input type="checkbox"/> 2. 自分の ^{くに} 国・ ^{ちいき} 地域 <input type="checkbox"/> 3. そのほか ()
仕事 ^{しごと} について (☑は <u>いくつでも</u>)	仕事 ^{しごと} について (☑は <u>いくつでも</u>)
<input type="checkbox"/> 1. 介護 ^{かいご} の ^{ぎじゆつ} 技術や ^{のうりよく} 能力を ^{たか} 高めたい <input type="checkbox"/> 2. 介護施設 ^{かいごしせつ} ・事業所 ^{じぎょうしょ} で、後輩 ^{こうはい} の ^{めんどう} 面倒を ^み みたい <input type="checkbox"/> 3. 介護施設 ^{かいごしせつ} ・事業所 ^{じぎょうしょ} で、現場 ^{げんば} の ^{りーだー} リーダーに ^{なり} たい <input type="checkbox"/> 4. 介護施設 ^{かいごしせつ} ・事業所 ^{じぎょうしょ} の ^{しせつちやう} 施設長・ ^{かんにりしや} 管理者に ^{なり} たい <input type="checkbox"/> 5. 介護 ^{かいご} の ^{かいしや} 会社・ ^{がっこう} 学校を ^{つく} 作りたい <input type="checkbox"/> 6. 介護 ^{かいご} の ^{にほんご} 日本語を ^{おし} 教えたい <input type="checkbox"/> 7. ^{しごと} ほかの ^{しごと} 仕事を ^し したい	<input type="checkbox"/> 1. 介護 ^{かいご} の ^{ぎじゆつ} 技術や ^{のうりよく} 能力を ^{たか} 高めたい <input type="checkbox"/> 2. 介護施設 ^{かいごしせつ} ・事業所 ^{じぎょうしょ} で、後輩 ^{こうはい} の ^{めんどう} 面倒を ^み みたい <input type="checkbox"/> 3. 介護施設 ^{かいごしせつ} ・事業所 ^{じぎょうしょ} で、現場 ^{げんば} の ^{りーだー} リーダーに ^{なり} たい <input type="checkbox"/> 4. 介護施設 ^{かいごしせつ} ・事業所 ^{じぎょうしょ} の ^{しせつちやう} 施設長・ ^{かんにりしや} 管理者に ^{なり} たい <input type="checkbox"/> 5. 介護 ^{かいご} の ^{かいしや} 会社・ ^{がっこう} 学校を ^{つく} 作りたい <input type="checkbox"/> 6. 介護 ^{かいご} の ^{にほんご} 日本語を ^{おし} 教えたい <input type="checkbox"/> 7. ^{しごと} ほかの ^{しごと} 仕事を ^し したい
働く ^{しせつ} 施設・ ^{じぎょうしょ} 事業所について (1～4を ^{えら} 選んだ人、1つだけ☑)	働く ^{しせつ} 施設・ ^{じぎょうしょ} 事業所について (1～4を ^{えら} 選んだ人、1つだけ☑)
<input type="checkbox"/> 1. 今、働 ^い ている ^{はたら} 施設・ ^{じぎょうしょ} 事業所で ^{はたら} そのまま ^{はたら} 働きたい <input type="checkbox"/> 2. 今、働 ^い ている ^{はたら} 施設・ ^{じぎょうしょ} 事業所とは ^{べつ} 別の ^{しせつ} 施設で ^{はたら} 働きたい	<input type="checkbox"/> 1. 今、働 ^い ている ^{はたら} 施設・ ^{じぎょうしょ} 事業所で ^{はたら} そのまま ^{はたら} 働きたい <input type="checkbox"/> 2. 今、働 ^い ている ^{はたら} 施設・ ^{じぎょうしょ} 事業所とは ^{べつ} 別の ^{しせつ} 施設で ^{はたら} 働きたい
家族 ^{かぞく} について (☑は <u>いくつでも</u>)	家族 ^{かぞく} について (☑は <u>いくつでも</u>)
<input type="checkbox"/> 1. 今、一緒 ^{いっしょ} にいる ^{かぞく} 家族と ^{せいかつ} これからも ^{せいかつ} 生活したい <input type="checkbox"/> 2. 自分の ^{くに} 国・ ^{ちいき} 地域にいる ^{かぞく} 家族を ^{いっしょ} 呼んで ^す 一緒に ^す 住み <input type="checkbox"/> 3. 自分が ^す 住む ^{くに} 国で ^{あた} 新しく ^{かぞく} 家族を ^{つく} 作りたい <input type="checkbox"/> 4. そのほか ()	<input type="checkbox"/> 1. 今、一緒 ^{いっしょ} にいる ^{かぞく} 家族と ^{せいかつ} これからも ^{せいかつ} 生活したい <input type="checkbox"/> 2. 自分の ^{くに} 国・ ^{ちいき} 地域にいる ^{かぞく} 家族を ^{いっしょ} 呼んで ^す 一緒に ^す 住み <input type="checkbox"/> 3. 自分が ^す 住む ^{くに} 国で ^{あた} 新しく ^{かぞく} 家族を ^{つく} 作りたい <input type="checkbox"/> 4. そのほか ()

～以上で アンケート調査^{ちやうさ}は 終わり^おです。ご協力^{きやうりよく} ありがとうございます。～

令和2年度 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業
介護分野に係る特定技能等の受入れの実態に関する調査研究事業
【報告書】

令和3年3月

発行 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
住所 〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー
電話：03-6733-1021
FAX：03-6733-1029